

仙台市文化財調査報告書第424集

大野田蹟蹟

第1次調査

—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—

発掘調査報告書Ⅲ

2014年3月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第424集

お お の だ い せ き
大野田遺蹟

第1次調査

—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—

発掘調査報告書Ⅲ

2014年3月

仙台市教育委員会



Ⅵ層Ⅳ区 調査区全景（北から）



Ⅵ層Ⅳ区 配石群全景（東上空から）



VII層II区 202 配石全景（北から）



VII層II区 207 配石全景（南から）



VII層II区 208 配石全景（東から）



VII層II区 209 配石全景（東から）



VII層IV区 412 配石全景（東から）



VII層IV区 414 配石全景（南から）



VII層IV区 417 配石全景（北から）



VII層IV区 424 配石全景（東から）



V層II～IV区 調査区全景 (東から)



V層IV区 環状集石・配石群全景 (東上空から)



V層IV区 401 環状集石全景 (東から)



V層IV区 401 配石全景 (西から)



V層IV区 402 配石全景 (南から)



V層IV区 403 配石全景 (南から)



V層IV区 404 配石全景 (南東から)



繩文土器（十腰内系）



繩文土器（層之内系）



縄文土器（在地系）



縄文土器（特殊土器、鳥頭形突起が付いた浅鉢）、土製品（土笛・イノシシ・罎・キノコ・スプーン形土製品）



土製品 (土偶)



土製品 (土製円盤)



土製品（耳飾り、腕輪形土製品）、石製品（ヒスイ製垂飾）、骨角器（鏃、釣針）



石器（石鏃）

序 文

仙台市の文化財行政に対しまして、日頃から多大なご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

仙台市の南部に位置する富沢・大野田地区は、緑豊かな田園が広がる地域でありましたが、地下鉄南北線の開業を契機として、道路網の整備や宅地化が急速に進行する地域であり、仙台市中心部と結ぶ幹線道路の建設が待たれておりました。こうした動きの中で、都市計画道路「川内柳生線」の建設が計画され、昭和62・63年度に試掘調査を行い、昭和63年度の王ノ壇遺跡から調査を開始し、平成7年度の元袋遺跡、大野田遺跡の調査を持って発掘調査を終了しました。その間に富沢駅周辺土地区画整理事業が開始されました。これらの開発に伴う調査が頻繁に行われ、年毎に先人の生活文化の様相が解明されつつあるところであります。現在まで継承されてきた先人たちの文化遺産を新しい「まちづくり」の中でどのように保存し、活用していくかについては地域の方々を交えて考えていかなければならないことと存じます。

さて、このたび報告いたします大野田遺跡の発掘調査は、平成5年度から平成7年度にかけて実施されました。その結果、縄文時代から古代にいたるまで、連続として続いた人々の生活の痕跡を発見いたしました。とりわけ縄文時代後期の祭祀にかかわる資料が多数発見され、特に土偶は300点以上出土しています。これらの発見はこの地域の歴史の一端を解明するための一助となる大きな成果の一つであると存じます。本報告書はそれらの発掘調査成果をまとめたものであります。平成12年度に刊行致しました王ノ壇遺跡発掘調査報告書、同じく16年度に刊行致しました元袋遺跡の発掘調査報告書に続いて刊行致します本書をもって都市計画道路「川内・柳生線」にかかわる発掘調査を終了したことになります。本報告書の作成作業は緊急雇用創出事業として平成21年度から実施していたものであります。

最後になりましたが、仙台市では平成23年3月11日の東日本大震災からの復興に向け、「ともに、前へ仙台～3・11からの再生～」を掲げて、復興計画を進めているところです。

未曾有の大震災から3年を迎えましたが復興はまだ道半ばといえます。そうした中、本報告書の刊行にあたりまして、ご協力、ご指導、ご助言をいただきました多くの皆様や関係機関各位に心より感謝申し上げますとともに、文化財行政に対しまして、さらに大きなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、刊行のご挨拶といたします。

平成26年3月

仙台市教育委員会

教育長 上田昌孝

例 言

1. 本書は、都市計画道路「川内・柳生線」（現：「仙台・館腰線」）建設に伴い、1993年度から1995年度にかけて仙台市教育委員会が実施した「大野田遺跡」（第1次調査）の発掘調査報告書である。
2. 本書の作成業務は、仙台市教育委員会の委託を受け、株式会社ノガミが行った。これは緊急雇用創出事業による業務である。
3. 大野田遺跡第1次調査の整理作業については、遺構図のトレースは、平成22年度に三協技術株式会社、出土遺物の水洗・註記は平成21年度に三協技術株式会社、接合・復元・登録は平成22年度に株式会社玉川文化財研究所が、いずれも緊急雇用創出事業による業務として仙台市教育委員会の委託を受けて行ったものである。
4. 本書の作成および編集は、仙台市教育委員会主濱光朗・荒井 格の監理のもと株式会社ノガミが行った。遺物の整理は、縄文土器・土師器・須恵器・土製品などは主濱光朗・工藤信一郎（仙台市教育委員会）・金内元・湯原勝美・千田幸生（株式会社ノガミ）、石器・石製品は荒井 格・水野一夫・庄子裕美（仙台市教育委員会）・村端和樹・湯原勝美（株式会社ノガミ）、遺構図・写真は主濱光朗・湯原勝美が行った。
5. 本書の執筆分担は下記のとおりである。

I	1・2	主濱光朗
II	1・2	湯原勝美
III	1・2・3 1)	主濱光朗
III	3 2)・3)	湯原勝美
III	3 4)	村端和樹
IV		主濱光朗
V		主濱光朗と湯原勝美との協議による
VI		主濱光朗と湯原勝美との協議による
VII	1 1)・2)	千田幸生
VII	1 6)	村端和樹
VII	1 3)～5)、2 1)・2)、3	湯原勝美
6. 調査成果については、すでに『現地説明会資料』、『仙台市史 通史編1 原始』、『仙台市史 特別編2 考古資料』、『仙台市文化財パンフレット』第38・39・49集、『第5回土偶研究会 発表資料』などで一部公表しているが、本書の内容はそれらに優先するものである。
7. 発掘調査の記録や整理に関わる資料および出土遺物などは、仙台市教育委員会で保管している。
8. 発掘調査および報告書作成にあたり、次の方々と機関から多大な御指導・御助言・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である。

岡田康博（青森県教育委員会）、成田滋彦（青森県教育委員会）、遠藤正夫（青森市教育委員会）、
児玉大成（青森市教育委員会）、秋元信夫（鹿角市教育委員会）、藤井安正（鹿角市教育委員会）、
佐藤正彦（陸前高田市立博物館）、高橋圭介（三春町教育委員会）、上野修一（栃木県立博物館）、
富岡直人（岡山理科大学）、守田益宗（岡山理科大学）、蟹沢聡史（東北大学）、星川清親（東北大学）、
佐々木隆（仙台市科学館）

バリノサーベイ株式会社、株式会社橋本店、ヘリワーク、株式会社シン技術コンサル

なお、分析、鑑定を実施した資料もあるが、整理期間と紙面の都合により掲載できなかった。

凡 例

1. 本書の土色については「新版標準土色帖」(小山・竹原: 1975、1997)を使用した。
2. 本文および図版で使用した方位の北は座標北を基準としている。
3. 図版中のレベルは海拔標高を示す。
4. 調査区の基準点は国家座標(平面直角座標系X)に位置付けている。測量の基準線は、道路のセンター杭No.2とNo.17を結んだ線を調査区の南北の基準線として、元袋遺跡から大野田遺跡までの調査区全体にグリッドを組んだ。因みに基準点G1は杭No.2の3m南である。
座標値は、No.2: X=-197981.26 Y=4224.7496, No.17: X=-198279.9276 Y=4196.6294である。
5. 層位名は、基本層位をローマ数字、遺構内堆積土については算用数字を使用している。さらに細分される場合は、それぞれにアルファベットの小文字を併用した。
6. 本書の検出遺構の表示については次の略号を使用し、原則として区と遺構種別ごとに番号を付した。番号は、先頭に一桁の区番号、その後ろに発見した遺構種別ごとの二桁の番号を付し、三桁の算用数字で表記した。
SB: 掘立柱建物跡 SD: 溝 跡 SI: 竪穴住居跡・竪穴遺構 SK: 土 坑
SR: 河川跡 SX: 性格不明遺構 P: ビット・柱穴
集石・配石・埋設土器・小溝状遺構群は、略号を使用せず、遺構名称の先頭にそのまま番号を付した。
7. 遺構図に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。

遺 構  配石振り方  地土  柱痕跡・炭化物範囲

8. 出土遺物の分類と登録には次の略記号を使用し、分類ごとに登録番号を付した。

A: 縄文土器 C: 非ロクロ土師器 D: ロクロ土師器 E: 須恵器
Ka: 打製石器 Kb: 磨製石器 Kc: 礫石器 Kd: 石製品
N: 金属製品 O: 自然遺物 Pa: 土 偶 Pb: 装飾品
Pc: ミニチュア Pd: 土 錘 Pe: 土製円盤 Pf: その他
Q: 骨角器

9. 遺物実測図に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。

土師器・須恵器  黒色処理  剥離痕  マメツ底
土製品  アスファルト付着  黒色物付着  剥離痕  剥落痕
石 器・石製品  敲打痕  ゼ ラ  砥理面  加熱処理
 火ハネ  被熱痕  黒色物付着  煤付着
 二重パティナ・マメツ底

10. 縄文土器の展開図において▼は展開する土器の端部を示し、▽はその土器の正面図における中心位置を示しており、展開図中のスクリーン・トーンは地文あるいは充填された縄文、捺糸文等の施文範囲を示している。

目 次

序 文
例 言
凡 例

I	はじめに	1
1.	調査に至る経緯	1
2.	調査要項	1
II	遺跡の位置と環境	3
1.	遺跡の位置と地理的環境	3
2.	歴史的環境	3
III	調査の方法と概要	5
1.	調査経過と概要	5
2.	発掘調査の方法	7
3.	整理の方法	7
1)	整理の概要	7
2)	土錘の分類	9
3)	土製円盤の分類	10
4)	打製石器の分類	10
IV	基本層序	16
V	縄文時代の遺構と遺物	18
1.	Ⅶ 層	18
1)	Ⅱ区 配 石	23
	埋設土器	31
	土 坑	35
2)	Ⅲ区 埋設土器	45
	土 坑	46
3)	Ⅳ区 配 石	48
	埋設土器	62
	土 坑	77
	性格不明遺構	87
4)	Ⅴ区 土 坑	88
2.	Ⅴ 層	94
1)	Ⅱ区 土 坑	97
	河 川 跡	99
2)	Ⅲ区 竪穴遺構	129
	埋設土器	131
	土 坑	133
	溝 跡	133
	河 川 跡	135
3)	Ⅳ区 環状集石	139
	配 石	140
4)	Ⅴ区 埋設土器	146
	土 坑	147
	性格不明遺構	149
5)	Ⅴ区 配 石	150
	土 坑	150
	河 川 跡	151
6)	Ⅵ区 土 坑	210
	遺物包含層出土遺物	211
3.	遺構外出土遺物	266

VI 古墳時代以降の遺構と遺物	328
1. III 層	328
1) I 区 竪穴住居跡	335
溝 跡	336
小溝状遺構群	336
2) II 区 竪穴住居跡・竪穴遺構	337
土 坑	342
溝 跡	343
小溝状遺構群	345
3) IV 区 竪穴住居跡・竪穴遺構	347
掘立柱建物跡	362
土 坑	365
溝 跡	366
小溝状遺構群	367
4) V 区 竪穴住居跡・竪穴遺構	369
掘立柱建物跡	378
土 坑	381
溝 跡	384
小溝状遺構群	385
5) VI 区 竪穴住居跡・竪穴遺構	386
土 坑	389
溝 跡	390
小溝状遺構群	393
性格不明遺構	395
2. 遺構外出土遺物	399
VII ま と め	401
1. 縄文時代	401
1) 縄文土器	401
2) 土 偶	426
3) 土製円盤	433
4) 土 錘	437
5) その他の土製品	437
6) 打製石器	440
2. 古墳時代以降	446
1) 遺構の変遷	446
2) 墨書土器	446
3. 総 括	446

引用・参考文献

遺構一覧表

報告書抄録

付 図 大野田遺跡遺構配置図 (VII層・V層・III層)

挿 図 目 次

第 1 図 遺跡位置図	3	第 109 図 V 層 III 区 SI301 堅穴遺構 (2)・	
第 2 図 周辺の遺跡	4	SI301 堅穴遺構出土遺物	130
第 3 図 調査区位置図	6	第 110 図 V 層 III 区 埋設土器・埋設土器出土遺物 (1)	131
第 4 図 調査区設定図	7	第 111 図 V 層 III 区 埋設土器出土遺物 (2)	132
第 5 図 土鍾分類図	8	第 112 図 V 層 III 区 土坑・土坑出土遺物・溝跡	133
第 6 図 土製円盤分類図	8	第 113 図 V 層 III 区 SR301 河川跡・SR301 河川跡	
第 7 図 主な打製石器分類模式図	12	出土遺物 (1)	135-136
第 8 図 基本層序模式図	16	第 114・115 図 V 層 III 区 SR301 河川跡出土遺物 (2)・(3)	
第 9 図 VII 層遺構配置図 (1)	19・20		137-138
第 10 図 VII 層遺構配置図 (2) ピット群	21・22	第 116 図 V 層 IV 区 401 礫状集石	139
第 11～15 図 VII 層 II 区 配石 (1)～(5)	23～27	第 117～120 図 V 層 IV 区 配石 (1)～(4)	140～143
第 16 図 VII 層 II 区 配石 (6)・配石出土遺物 (1)	28	第 121 図 V 層 IV 区 配石 (5)・配石出土遺物 (1)	144
第 17・18 図 VII 層 II 区 配石出土遺物 (2)・(3)	29・30	第 122 図 V 層 IV 区 配石出土遺物 (2)	145
第 19 図 VII 層 II 区 埋設土器	31	第 123 図 V 層 IV 区 配石出土遺物 (3)・埋設土器	146
第 20～22 図 VII 層 II 区 埋設土器出土遺物 (1)～(3)	32～34	第 124 図 V 層 IV 区 土坑 (1)	147
第 23～27 図 VII 層 II 区 土坑 (1)～(5)	35～39	第 125 図 V 層 IV 区 土坑 (2)・土坑出土遺物	148
第 28～32 図 VII 層 II 区 土坑出土遺物 (1)～(5)	40～44	第 126 図 V 層 IV 区 性格不明遺構	149
第 33 図 VII 層 III 区 埋設土器・埋設土器出土遺物	45	第 127 図 V 層 V 区 配石・土坑	150
第 34 図 VII 層 III 区 土坑 (1)	46	第 128 図 V 層 V 区 SR501・502 河川跡	151
第 35 図 VII 層 III 区 土坑 (2)・土坑出土遺物	47	第 129～184 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物	
第 36～43 図 VII 層 IV 区 配石 (1)～(8)	48～57	(1)～(56)	152～207
第 44～47 図 VII 層 IV 区 配石出土遺物 (1)～(4)	58～61	第 185～186 図 V 層 V 区 SR502 河川跡出土遺物	
第 48・49 図 VII 層 IV 区 埋設土器 (1)・(2)	62・63	(1)・(2)	208-209
第 50 図 VII 層 IV 区 埋設土器 (3)・埋設土器出土遺物 (1)	64	第 187 図 V 層 VI 区 土坑・土坑出土遺物	210
第 51～62 図 VII 層 IV 区 埋設土器出土遺物 (2)～(13)	65～76	第 188～240 図 V 層 包含層出土遺物 (0)～(53)	211～263
第 63～69 図 VII 層 IV 区 土坑 (1)～(7)	77～83	第 241～302 図 遺構外出土遺物 (1)～(62)	266～327
第 70 図 VII 層 IV 区 土坑 (8)・土坑出土遺物 (1)	84	第 303 図 III 層遺構配置図 (1)	329-330
第 71・72 図 VII 層 IV 区 土坑出土遺物 (2)・(3)	85・86	第 304 図 III 層遺構配置図 (2)	331-332
第 73 図 VII 層 IV 区 性格不明遺構	87	第 305 図 III 層遺構配置図 (3)	333-334
第 74 図 VIII 層 V 区 土坑・土坑出土遺物	88	第 306 図 III 層 I 区 SI101 堅穴住居跡・	
第 75 図 V 層遺構配置図	95・96	SI101 堅穴住居跡出土遺物	335
第 76 図 V 層 II 区 土坑・土坑出土遺物 (1)	97	第 307 図 III 層 I 区 溝跡・小溝状遺構 1 群	336
第 77 図 V 層 II 区 土坑出土遺物 (2)	98	第 308・309 図 III 層 II 区 SI201 堅穴住居跡 (1)・(2)	
第 78 図 V 層 II 区 SR201 河川跡・			337-338
SR201 河川跡出土遺物 (1)	99	第 310 図 III 層 II 区 SI201 堅穴住居跡出土遺物	339
第 79～107 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物		第 311 図 III 層 II 区 SI202・SI203 堅穴遺構	340
(2)～(30)	100～128	第 312 図 III 層 II 区 SI204 堅穴住居跡	341
第 108 図 V 層 III 区 SI301 堅穴遺構 (1)	129	第 313 図 III 層 II 区 土坑	342
		第 314 図 III 層 II 区 溝跡	343
		第 315 図 III 層 II 区 小溝状遺構 I～VII 群	345-346

第 316 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI401 竪穴住居跡・ SI401 竪穴住居跡出土遺物 (1) ……	347	第 348 図	Ⅲ層Ⅴ区 SB503 掘立柱建物跡 ……	380
第 317 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI401 竪穴住居跡出土遺物 (2) ……	348	第 349 ~ 351 図	Ⅲ層Ⅴ区 土坑 (1) ~ (3) ……	381 ~ 383
第 318 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI402 竪穴住居跡 (1) ……	349	第 352 図	Ⅲ層Ⅴ区 土坑出土遺物・溝跡・溝跡出土遺物 ……	384
第 319 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI402 竪穴住居跡 (2)・ SI402 竪穴住居跡出土遺物 (1) ……	350	第 353 図	Ⅲ層Ⅴ区 小溝状遺構 I ~ V 群 ……	385
第 320・321 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI402 竪穴住居跡出土遺物 (2)・(3) ……	351・352	第 354 図	Ⅲ層Ⅵ区 SI601 竪穴住居跡 ……	386
第 322 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI403 竪穴住居跡 ……	353	第 355 図	Ⅲ層Ⅵ区 SI602・SI603・SI604 竪穴遺構 ……	387
第 323・324 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI403 竪穴住居跡出土遺物 (1)・(2) ……	354・355	第 356 図	Ⅲ層Ⅵ区 SI601 竪穴住居跡・ SI604 竪穴遺構出土遺物 ……	388
第 325 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI404 竪穴遺構・ SI404 竪穴遺構出土遺物 ……	356	第 357 図	Ⅲ層Ⅵ区土坑 (1) ……	389
第 326・327 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI405 竪穴住居跡 (1)・(2) ……	357・358	第 358 図	Ⅲ層Ⅵ区土坑 (2)・溝跡 (1) ……	390
第 328 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI405 竪穴住居跡出土遺物 ……	359	第 359 図	Ⅲ層Ⅵ区 溝跡 (2) ……	391
第 329 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI406・SI408・SI409 竪穴遺構 ……	360	第 360 図	Ⅲ層Ⅵ区 小溝状遺構 I ~ IX 群 ……	393・394
第 330 図	Ⅲ層Ⅳ区 SI406 竪穴遺構出土遺物 ……	361	第 361 図	Ⅲ層Ⅵ区 性格不明遺構 ……	395
第 331 図	Ⅲ層Ⅳ区 SB401 掘立柱建物跡 ……	362	第 362・363 図	遺構外出土遺物 (1)・(2) ……	399・400
第 332 図	Ⅲ層Ⅳ区 SB402 掘立柱建物跡 ……	363	第 364 図	縄文土器分布図 ……	405
第 333 図	Ⅲ層Ⅳ区 SB403 掘立柱建物跡 ……	364	第 365 ~ 377 図	縄文土器集成図 (1) ~ (13) ……	405 ~ 417
第 334 図	Ⅲ層Ⅳ区 土坑 ……	365	第 378 図	仙台湾 下ノ内浦遺跡 [1996]・大野田遺跡 多糸沈線文土器 変遷試案 ……	419・420
第 335 図	Ⅲ層Ⅳ区 土坑出土遺物・溝跡・溝跡出土遺物 ……	366	第 379 図	仙台湾 下ノ内浦遺跡 [1996]・大野田遺跡 柳歯状沈線文土器 変遷試案 ……	421・422
第 336 図	Ⅲ層Ⅳ区 小溝状遺構 I ~ III 群 ……	367・368	第 380 図	内面に格子目状沈線を施す深鉢 変遷試案 ……	423・424
第 337 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI501・SI502 竪穴遺構 ……	369	第 381 図	大野田遺跡出土の具系統土器を中心とする 変遷試案 ……	425
第 338 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI501 竪穴遺構出土遺物 ……	370	第 382 図	土偶分布図 ……	426
第 339 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI503 竪穴遺構 (1) ……	371	第 383 ~ 386 図	土偶集成図 (1) ~ (4) ……	427 ~ 430
第 340 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI503 竪穴遺構 (2)・ SI503 竪穴遺構出土遺物 (1) ……	372	第 387 図	文様から見た土偶 変遷試案 ……	431・432
第 341 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI503 竪穴遺構出土遺物 (2) ……	373	第 388 図	土製円盤分布図 ……	435
第 342 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI504 竪穴遺構・SI505 竪穴住居跡・ SI504 竪穴遺構出土遺物 ……	374	第 389・390 図	土製円盤の分類別長・短軸規模分布図 (1)・(2) ……	436・437
第 343 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI506 竪穴遺構 ……	375	第 391 図	土鍾の分類別出土点数 ……	438
第 344 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI507 竪穴住居跡 (1) ……	376	第 392・393 図	土製品分布図 (1)・(2) ……	439・440
第 345 図	Ⅲ層Ⅴ区 SI507 竪穴住居跡 (2) ……	377	第 394 ~ 397 図	石器分布図 (1) ~ (4) ……	442 ~ 445
第 346 図	Ⅲ層Ⅴ区 SB501 掘立柱建物跡 ……	378	第 398 図	Ⅲ層の主な遺構変遷図 ……	447
第 347 図	Ⅲ層Ⅴ区 SB502 掘立柱建物跡 ……	379	第 399 図	墨書土器分布図 ……	448
			第 400 図	墨書文字集成図 ……	448

表 目 次

第1表 打製石器分類表	13
第2表 Ⅷ層遺構一覧表 (1)	89
第3表 Ⅷ層遺構一覧表 (2)	90
第4表 Ⅷ層遺構一覧表 (3)	91
第5表 Ⅷ層遺構一覧表 (4)	92
第6表 Ⅷ層遺構一覧表 (5)	93
第7表 V層遺構一覧表 (1)	264
第8表 V層遺構一覧表 (2)	265
第9表 Ⅲ層遺構一覧表 (1)	396
第10表 Ⅲ層遺構一覧表 (2)	397
第11表 Ⅲ層遺構一覧表 (3)	398
第12表 仙台湾 (名取川下流域) の縄文時代 後期前半を中心とする土器変遷	418

第13表 土製円盤の平面形他別一覧表	433
第14表 土製円盤 b・c 類の穿孔箇所別一覧表	433
第15表 土製円盤 e 類の穿孔面別一覧表	433
第16表 土製円盤の地区別一覧表	433
第17表 土製円盤の分類別一覧表	434
第18表 土製円盤が出土した V・Ⅷ層の 主な遺構一覧表 (出土量順)	434
第19表 土錘の地区別一覧表	438
第20表 土錘の分類別一覧表	438
第21表 打製石器の器種別石材組成一覧表	441

写真図版目次

写真図版 1 遺跡写真	
写真図版 2～9 Ⅷ層Ⅱ区検出遺構 (1)～(8)	
写真図版 10 Ⅷ層Ⅱ区検出遺構 (9)・Ⅲ区検出遺構 (1)	
写真図版 11 Ⅷ層Ⅲ区検出遺構 (2)	
写真図版 12～23 Ⅷ層Ⅳ区検出遺構 (1)～(12)	
写真図版 24 Ⅷ層Ⅳ区検出遺構 (13)・V区検出遺構	
写真図版 25 V層Ⅱ区検出遺構・Ⅲ区検出遺構 (1)	
写真図版 26 V層Ⅲ区検出遺構 (2)・Ⅳ区検出遺構 (1)	
写真図版 27～29 V層Ⅳ区検出遺構 (2)～(4)	
写真図版 30 V層Ⅳ区検出遺構 (5)・V区検出遺構 (1)	
写真図版 31 V層V区検出遺構 (2)・Ⅵ区検出遺構	
写真図版 32 Ⅲ層Ⅰ区検出遺構・Ⅱ区検出遺構 (1)	
写真図版 33～35 Ⅲ層Ⅱ区検出遺構 (2)～(4)	
写真図版 36 Ⅲ層Ⅱ区検出遺構 (5)・Ⅳ区検出遺構 (1)	
写真図版 37～40 Ⅲ層Ⅳ区検出遺構 (2)～(5)	
写真図版 41 Ⅲ層Ⅳ区検出遺構 (6)・V区検出遺構 (1)	
写真図版 42～46 Ⅲ層V区検出遺構 (2)～(6)	
写真図版 47 Ⅲ層V区検出遺構 (7)・Ⅵ区検出遺構 (1)	
写真図版 48・49 Ⅲ層Ⅵ区検出遺構 (2)・(3)	
写真図版 50～54 Ⅷ層Ⅱ区遺構内出土土遺物 (1)～(5)	
写真図版 55 Ⅷ層Ⅱ区遺構内出土土遺物 (6)・Ⅲ区遺構内出土 土遺物・Ⅳ区遺構内出土土遺物 (1)	

写真図版 56～59 Ⅷ層Ⅳ区遺構内出土土遺物 (2)～(5)	
写真図版 60 Ⅷ層Ⅳ区遺構内出土土遺物 (6)・V区遺構内出土土 遺物	
写真図版 61～70 V層Ⅱ区遺構内出土土遺物 (1)～(10)	
写真図版 71 V層Ⅲ区遺構内出土土遺物 (1)	
写真図版 72 V層Ⅲ区遺構内出土土遺物 (2)・Ⅳ区遺構内出土 土遺物 (1)	
写真図版 73 V層Ⅳ区遺構内出土土遺物 (2)・V区遺構内出土 土遺物 (1)	
写真図版 74～97 V層V区遺構内出土土遺物 (2)～(25)	
写真図版 98 V層V区遺構内出土土遺物 (26)・Ⅵ区遺構内出土 土遺物	
写真図版 99～122 V層Ⅵ区遺構内出土土遺物 (1)～(24)	
写真図版 123～146 遺構外出土土遺物 (1)～(24)	
写真図版 147 Ⅲ層Ⅰ区遺構内出土土遺物・Ⅱ区遺構内出土土遺物・ Ⅳ区遺構内出土土遺物 (1)	
写真図版 148～150 Ⅲ層Ⅳ区遺構内出土土遺物 (2)～(4)	
写真図版 151 Ⅲ層V区遺構内出土土遺物 (1)	
写真図版 152 Ⅲ層V区遺構内出土土遺物 (2)・Ⅵ区遺構内出土 土遺物・遺構外出土土遺物 (1)	
写真図版 153 遺構外出土土遺物 (2)	
写真図版 154 墨書文字集成	

I はじめに

1. 調査に至る経緯

平成元年4月に政令指定都市に移行した仙台市は高速鉄道南北線の開業や、市内南北での副都心構想による開発が進められていた。これに呼応して、各地区で交通渋滞緩和に向けて、都市計画道路の建設、整備が実施され、仙台市南部の太白区では、市中心部に至る道路網の渋滞緩和と高速鉄道南北線への接続のため、南北道の建設が急がれていた。都市計画道路「川内・柳生線」は、高速鉄道長町南駅や国道286号線へ南から接続する道路として一部開通していたが、大野田地区の旧荒川から柳生地区にかけての約1.5kmの区間が未開通となっていた。

昭和62年、都市計画道路「川内・柳生線」の未開通部分の開通予定が決定されたことを受け、仙台市教育委員会では路線敷内の分布調査及び試掘調査を実施した。昭和62年度に実施した名取川以北の試掘調査では、これまで知られていた大野田遺跡、元袋遺跡の南に新たに2遺跡が発見された。それぞれ、所在する小字名から王ノ壇遺跡、皿屋敷遺跡として、新規に遺跡登録した。昭和63年度には名取川以南の柳生地区の試掘調査を実施したが、新たな遺跡は発見されなかった。分布調査及び試掘調査の結果を基に、仙台市教育委員会では仙台市建設局道路部と遺跡の取り扱いについて協議を重ね、道路建設工事に先立って、記録保存のために4遺跡の発掘調査を実施することとした。4遺跡の調査対象面積は路線幅34m、長さ約900mの約32,400㎡である。発掘調査は南半の王ノ壇遺跡、皿屋敷遺跡から始め、順次大野田遺跡、元袋遺跡の調査に着手することとした。

昭和63年度から平成4年度に王ノ壇遺跡の調査を実施し、平成3年度に皿屋敷遺跡の調査を行なった。大野田遺跡の調査は、平成4年度に遺跡南部を除く部分で試掘調査を行い、遺跡全域に古代及び縄文時代の遺構と遺物が確認され、全域の調査を実施することとした。王ノ壇遺跡の調査終了後元袋遺跡の調査と並行して平成5年度から7年度までの3ヵ年で実施し、これをもって7年半に亘る4遺跡の調査を全て終了した。都市計画道路「川内・柳生線」大野田一柳生間の全線は平成8年度に開通した。

2. 調査要項

- (1) 遺 跡 名：大野田遺跡(宮城県遺跡登録番号01094、仙台市遺跡登録番号C-112)
- (2) 所 在 地：仙台市太白区大野田字元袋、袋東(現：大野田一丁目)地内
- (3) 調 査 目 的：都市計画道路「川内・柳生線」(現：「仙台・館腰線」)建設に伴う事前調査
- (4) 調 査 主 体：仙台市教育委員会
- (5) 調 査 担 当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
- (6) 調査担当職員：小川淳一(平成5～7年度) 主演光朗(平成5～7年度) 赤澤清章(平成5～6年度)
五十嵐康洋(平成5～6年度) 川名秀一(平成5～6年度) 竹田幸司(平成5年度)
神成浩志(平成5年度) 高橋橋子(平成6～7年度)
- (7) 調 査 期 間：平成5年度 4月12日～平成6年3月25日
平成6年度 4月4日～12月22日
平成7年度 4月4日～10月13日
- (8) 調査対象面積：8,820㎡
- (9) 調 査 面 積：約7,480㎡

報告書作成要項

平成21年度

- (1) 調 査 主 体：仙台市教育委員会
- (2) 調 査 担 当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課

2. 調査要項

- (3) 調査担当職員：主査 主濱光朗
- (4) 調査組織：三協技術株式会社
調査員 島田 亘

(5) 調査期間：平成21年11月12日～平成22年3月31日
平成22年度

- (1) 調査主体：仙台市教育委員会
- (2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
- (3) 調査担当職員：主査 主濱光朗
- (4) 調査組織：株式会社玉川文化財研究所
調査員 佐々木竜郎

(5) 調査期間：平成22年5月10日～平成23年3月31日
平成23年度

- (1) 調査主体：仙台市教育委員会
- (2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
- (3) 調査担当職員：主査 主濱光朗 主任 工藤信一郎 主事 水野一男 庄子裕美
- (4) 調査組織：株式会社ノガミ
主任調査員 金内 元 調査補助員 湯原勝美

(5) 調査期間：平成23年6月7日～平成24年3月31日
平成24年度

- (1) 調査主体：仙台市教育委員会
- (2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
- (3) 調査担当職員：主査 主濱光朗 主査 荒井 格 主任 工藤信一郎 主事 庄子裕美
- (4) 調査組織：株式会社ノガミ
主任調査員 湯原勝美 調査補助員 村端和樹

(5) 調査期間：平成24年5月7日～平成25年3月29日
平成25年度

- (1) 調査主体：仙台市教育委員会
- (2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
- (3) 調査担当職員：主査 主濱光朗 主査 荒井 格 専門員 結城慎一
- (4) 調査組織：株式会社ノガミ
主任調査員 湯原勝美 調査補助員 千田幸生 佐藤典邦

(5) 調査期間：平成25年4月22日～平成26年3月31日

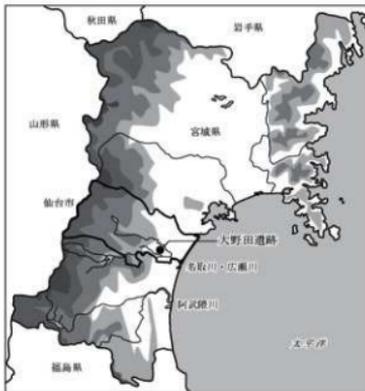
II 遺跡の位置と環境

1. 遺跡の位置と地理的環境

本遺跡は、仙台市南部の太白区大野田字元袋、袋東（現：大野田一丁目）地内に所在しており、JR 東日本東北本線太子堂駅の東約 500m、地下鉄南北線富沢駅の北東約 700m の地点に位置する。遺跡の南約 1km には名取川が東流しており、東南東約 2.7km の地点で広瀬川と合流している。

周辺の地形を概観すると、西側に南北に連なる奥羽山脈、その東部に幅 10～30km で並走する陸前丘陵、さらに東側には宮城野海岸平野が広がっている。宮城野海岸平野のうち仙台市南部の広瀬川と名取川の合流点付近では、河間低地を郡山低地、広瀬川以北を霞ノ目低地、名取川以南を名取低地と呼称している。

遺跡の所在する大野田地区は名取川の北岸にあり、郡山低地に所属する。大野田地区は、南側を東流する名取川、東・北側を袋状に蛇行する荒川によって囲まれている。荒川周辺と名取川北岸には旧河道と自然堤防が発達しており、その内側は後背湿地となっている。本遺跡は大野田地区の東部に位置し、標高 9m 前後の自然堤防上に立地している。遺跡の構成土壌はシルトを主体とした河川堆積土である。



第1図 遺跡位置図

2. 歴史的環境

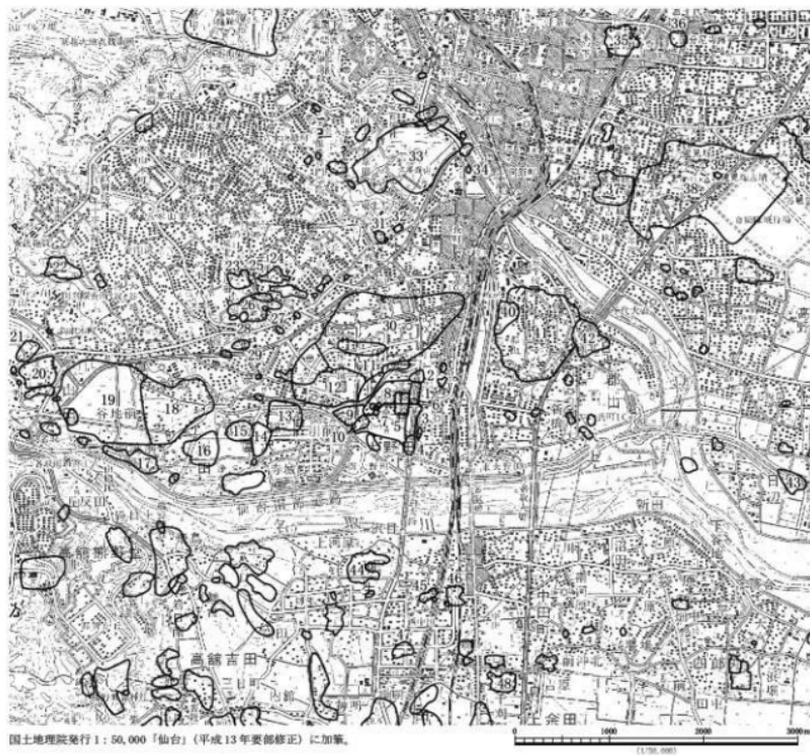
本遺跡の所在する名取川下流域には数多くの遺跡が存在しており、これまでの調査で旧石器時代から連続と続く人々の営みが見つかっている。ここでは、本遺跡の調査成果を踏まえ、断続的ではあるが大野田地区を中心とした縄文時代後期前半、古墳時代前期、奈良・平安時代の遺跡について概観する。

縄文時代の遺跡は、名取川とその支流である荒川によって形成された自然堤防上から数多く見つかっている。六反田遺跡からは後期初頭の住居跡が複数検出されており、大規模な集落跡が想定されている。下ノ内浦遺跡からは後期前葉の配石、集石、埋設土器遺構、土坑からなる墓塚が見つかっている。伊古田遺跡では後期中葉の遺物包含層から多量の土器とともに土偶が約 20 点出土している。このうち最大の土偶は高さ 41cm 以上あり、国内でも最大級のものである。本遺跡の南側に隣接する王ノ壇遺跡からは後期中葉の環状配石遺構、埋設土器遺構、竪穴遺構、土坑などが見つかっている。

古墳時代前期の集落跡は、小規模ながら大野田古墳群、伊古田遺跡、六反田遺跡、下ノ内遺跡などで検出されている。また、本遺跡から体部上半に柳葉文が施された土師器壺が出土しているが、市内での類例として、本遺跡から北東へ約 6.3km 離れた若林区の押口遺跡から出土したほぼ同様の土師器壺が確認されている。

奈良・平安時代では、山口遺跡、下ノ内浦遺跡、下ノ内遺跡、伊古田遺跡、六反田遺跡、元袋遺跡、王ノ壇遺跡などで集落跡が検出されている。生産遺構として、富沢遺跡から水田跡が見つかっているほか、大野田古墳群、王ノ壇遺跡、六反田遺跡、富沢遺跡、山口遺跡、下ノ内遺跡、下ノ内浦遺跡、伊古田遺跡、袋前遺跡、元袋遺跡などで畑跡である可能性が考えられる小溝状遺構群が多数検出されている。また、本遺跡の西側には大野田官衙遺跡が確認されている。周囲には幅約 3m の大溝が方形に廻っており、規模は東西約 190m、南北約 250m である。区内には大型の掘立建物跡が 6 棟検出されており、いずれも真北を基準に規則正しく配置されている。文献上には未見であるが、8 世紀前半頃の官衙と考えられている。

2. 歴史的環境



No.	遺跡名	立地	発掘項目	年代	No.	遺跡名	立地	発掘項目	年代
1	丸野古墳群	自然発見	歴史跡・墓跡	縄文(後)・弥生(中)・古墳・奈良・平安	23	2・6内蔵穴地蔵	仏教跡	縄文(後)	古墳(末)
2	土居遺跡	自然発見	墓跡群・古墳群	縄文(弥生)・古墳(奈良)・平安(中)・室町	24	2・9内蔵穴地蔵	仏教	古墳群	縄文(後)・平安(中)
3	土居遺跡	自然発見	墓跡群・古墳群	縄文(弥生)・弥生(中)・古墳(奈良)・平安(中)	25	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳(中)	平安(中)
4	高野古墳群	自然発見	古墳群	縄文(弥生)・平安(中)	26	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
5	高野古墳群	自然発見	古墳群	縄文(弥生)・平安(中)	27	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
6	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳	28	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
7	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳	29	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
8	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳	30	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
9	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳	31	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
10	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳	32	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
11	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳	33	2・9内蔵穴地蔵	古墳群	古墳	古墳
12	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
13	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
14	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
15	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
16	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
17	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
18	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
19	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
20	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
21	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
22	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
23	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
24	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
25	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
26	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
27	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
28	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
29	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
30	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
31	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
32	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					
33	高野古墳群	自然発見	古墳群	古墳					

第2図 周辺の遺跡

III 調査の方法と概要

1. 調査経過と概要

調査は平成5年4月12日から実施した。地権者の移転との絡みもあり、調査区南部のⅥ区を除いたⅠ区～Ⅴ区の西半部から調査を開始した。大野田遺跡の南の王ノ壇遺跡の調査において、縄文時代から中世までの遺構・遺物が検出されていることから同様の時期の遺構検出を予想して調査に入った。なお、Ⅲ区については表土を除去した時点で、既に古代の遺構面は削平されており、縄文後期の包含層と後世の水路跡が確認されたため、Ⅱ、Ⅳ区の進捗に合わせて調査を行なうこととした。平成5年11月17日に、環状集石の検出と多量の土偶等の祭祀関係の遺物が出土したことから、報道発表を行った。平成6年度にはⅠ区～Ⅴ区の東半部の調査を行ない、地権者が移転した後の敷地南部をⅥ区として東半部の調査を行なった。前年度の報道発表の反響が大きく、更に下層から配石が検出され、祭祀関係の遺物の出土量が多くなったことから、報道発表後に検出した配石遺構、祭祀関係遺物を中心とした遺物を市民に公表するため、平成6年4月20日に報道発表、4月23日に現地説明会を開催し、約550名の市民が参加した。この年度内にⅠ区～Ⅵ区の西側半断面の建設工事を行い、川内・柳生線を暫定的に開通させた。平成7年度には一旦暫定開通させたⅥ区の西半部の道路を、東側に切り回して西半部を調査し、平成7年9月29日に大野田遺跡の調査を終了した。

調査概要

平成5年度：Ⅰ区～Ⅴ区西半部の古代から縄文時代の調査

平成6年度：Ⅰ区～Ⅴ区西半部の縄文時代の調査・Ⅰ区～Ⅵ区東半部の古代から縄文時代の調査

平成7年度：Ⅵ区西半部の古代から縄文時代の調査

調査成果

Ⅶ層（縄文時代後期前葉）

- Ⅰ区：なし。
- Ⅱ区：配石17基、埋設土器6基、土坑74基。
- Ⅲ区：埋設土器4基、土坑13基。
- Ⅳ区：配石20基、埋設土器27基、土坑107基、性格不明遺構1基。
- Ⅴ区：土坑2基。
- Ⅵ区：なし。

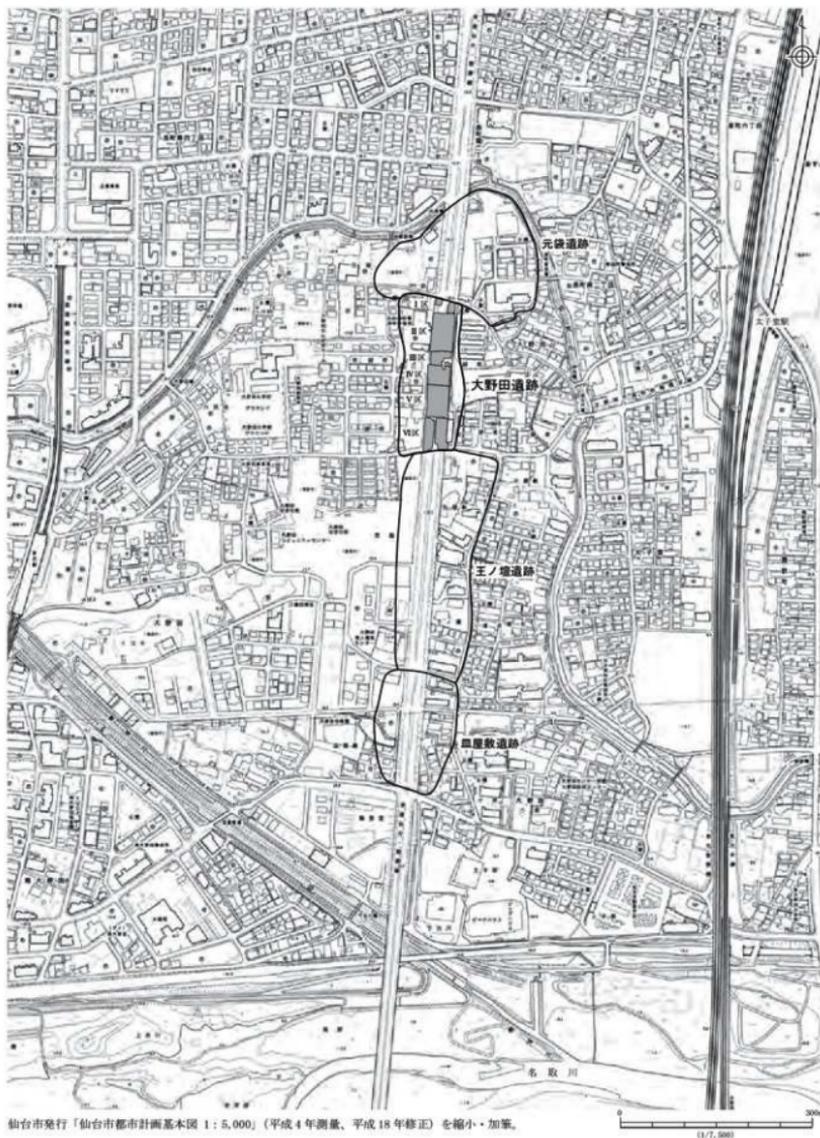
Ⅴ層（縄文時代後期前葉・晩期中葉）

- Ⅰ区：なし。
- Ⅱ区：土坑6基、河川跡1条。
- Ⅲ区：竪穴住居跡1軒、埋設土器3基、土坑2基、溝跡1条、河川跡1条。
- Ⅳ区：集石1基、配石10基、埋設土器2基、土坑21基、性格不明遺構1基。
- Ⅴ区：配石1基、土坑2基、河川跡1条。
- Ⅵ区：土坑1基。

Ⅲ層（古墳時代前期、奈良・平安時代）

- Ⅰ区：竪穴住居跡1軒、溝跡3条、小溝状遺構群1群。
- Ⅱ区：竪穴住居跡2軒、竪穴遺構2基、土坑9基、溝跡7条、小溝状遺構群8群。
- Ⅲ区：なし。
- Ⅳ区：竪穴住居跡4軒、竪穴遺構4基、掘立柱建物跡3棟、土坑13基、溝跡4条、小溝状遺構群4群。
- Ⅴ区：竪穴住居跡2軒、竪穴遺構5基、掘立柱建物跡3棟、土坑39基、溝跡7条、小溝状遺構群5群。
- Ⅵ区：竪穴住居跡1軒、竪穴遺構3基、土坑13基、溝跡5条、小溝状遺構群9群、性格不明遺構3基。

1. 調査経過と概要



第3図 調査区位置図

2. 発掘調査の方法

調査区の設定

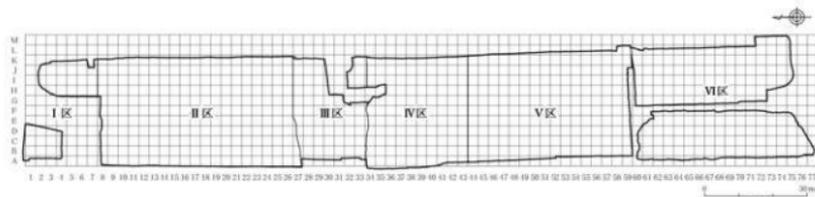
都市計画道路「川内・柳生線」の大野田遺跡にかかる部分は南北の直線道路であり、その路線幅は36m、長さは約250mである。調査区の基準線は道路のセンター杭を使用し、南北の基準線を設定後調査区全体に3mメッシュのグリッドを組んだ。グリッド南北基準線は国家座標GNから4°30′東偏している。グリッド名は東西を西から東にアルファベットで、南北を北から南へアラビア数字で表し、両者の組み合わせによって呼称することとした。調査を開始した平成5年度当初は、路線敷内の地権者の移転が完了していなかった南側部分を除き、更に付近住民の生活道路及び、調査事務所を確保したうえで調査を開始した。

調査区内の水路、地形の状況によって調査区を分け、北からⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ区とし、各区の西側半断面の調査から着手した。地権者の移転が完了した後の南側の調査区はⅥ区とし、平成6年度から調査を実施した。Ⅰ区は1～7グリッド、Ⅱ区は8～27グリッド、Ⅲ区は28～33グリッド、Ⅳ区は34～43グリッド、Ⅴ区は44～59グリッド、Ⅵ区は60～77グリッドである。

調査の記録

検出された遺構は、3mメッシュのグリッド杭を使用して基準線を設定し、簡易遣り方測量により作図した。調査区全体図を縮尺1/40の平面図、1/20の土層断面図を作成し、各遺構は縮尺1/20を基本として平面図、土層断面図を作成し、必要により縮尺1/10の遺構細部の実測図を作成した。また、縄文時代後期の柱穴群に関しては調査期間中に建物の把握に努めたが、建物の把握は困難であった。

記録写真は、遺跡全景、調査区全景、遺構の検出・調査過程・全景・細部・断面・遺物の出土状況など必要に応じて撮影した。遺跡全景、調査区全景写真については空中写真を委託して撮影したものもある。主として、35mm版の白黒及びカラーリバーサル写真を用い、状況に応じて6×7版の白黒及びカラーリバーサル写真を撮影した。調査の進行状況は随時35mm版カラーで撮影した。



第4図 調査区設定図

3. 整理の方法

1) 整理の概要

遺構の整理

遺構の実測図は発掘調査現場では平面図、断面図共に手実測で作成しており、それらを区毎、層位毎に整理した後、すべてのデジタル化を行った。デジタル化とともに層位毎に遺構配置図を作成し、合成して全体遺構配置図を作成した。遺構は種類毎に点検・整理を行い、遺構個別図を作成した。遺構の登録・表示は路号とアラビア数字で表し、区毎にそれぞれ通し番号を付けた。

報告書に掲載した遺構図の縮尺は、全体図(1/250)、各遺構図(1/60)を基本としているが、遺構の規模・特徴など必要に応じて他の縮尺を適宜用いている。

遺物の整理

出土した遺物は整理用平箱にして約2,160箱、各種サンプル類約100箱程である。発掘調査後の文化財バンプレッ

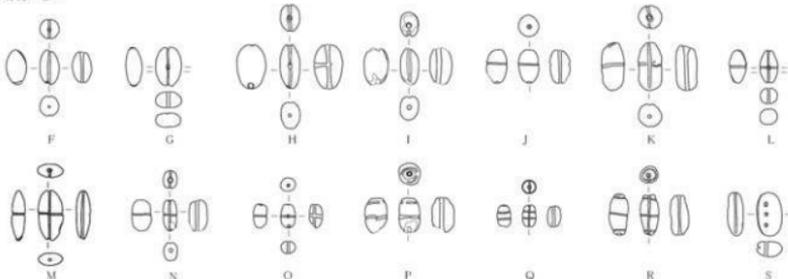
3. 整理の方法

有溝土鍾

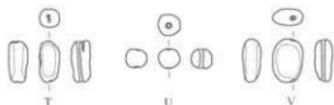
無孔のもの



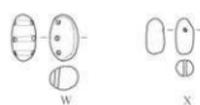
有孔のもの



管状土鍾

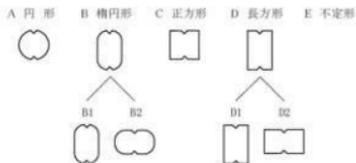


その他土鍾



土器片鍾

平面形態



挟り

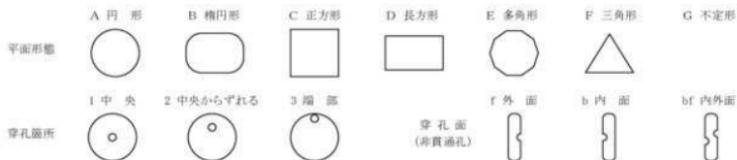
a 2箇所

b 4箇所

c その他



第5図 土鍾分類図



第6図 土製円盤分類図

ト作成時に使用した遺物については、普及啓蒙事業に使用するため他の遺物と分けて作業を行った。他の遺物については水洗作業時に縄文土器、土師器、土製品についてバインダー処理を施した。土器、土製品については接合作業を行い、残存状況と出土状況が良好なもの、特徴が明確なものを抽出して実測図を作成した。石器、石製品は分類基準によって分類されたものから出土状況が良好なもの、特徴が明確なものを抽出して実測図を作成した。実測図はデジタル化を行った。

報告書に掲載した実測図の縮尺は、土器、礫石器は1/3、土製品は1/2、剥片石器は2/3を基本としているが、遺物の大きさ、特徴など必要に応じて他の縮尺を適宜用いている。

出土した遺物のうち、土鍾、土製円盤、打製石器については下記の基準をもとに分類した。

2) 土鍾の分類

土鍾は、形態や素材の違いで、有溝土鍾、管状土鍾、その他土鍾、土器片鍾の4類に大別した。

有溝土鍾 (A～S類)

無孔のもの (A～E類) と有孔のもの (F～S類) がある。

- A: 紡錘形で、断面形は円形である。長軸に溝が巡る。
- B: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の短軸に沿って巡る。
- C: 紡錘形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。
- D: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の短軸に沿って巡る。
- E: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の長軸に沿って巡る。
- F: 紡錘形で、断面形は円形である。長軸に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。
- G: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の短軸に沿って巡る。短軸方向に孔が貫通する。
- H: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って巡る。長軸方向に孔が貫通し、短軸方向に非貫通の孔が穿たれる。
- I: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って片側だけ巡る。長軸方向に孔が貫通する。
- J: 紡錘形で、断面形は円形である。短軸に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。
- K: 紡錘形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。
- L: 紡錘形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。短軸方向に孔が貫通する。
- M: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の短軸に沿って巡る。長軸方向に孔が貫通する。なお、長軸の溝が片側だけで全周しないものもある。
- N: 紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の長軸に沿って巡る。
- O: 紡錘形で、断面形は円形である。短軸に溝が巡る。長・短軸方向にそれぞれ孔が貫通する。
- P: 紡錘形で、断面形は円形である。短軸に溝が2条巡る。長軸方向に孔が貫通する。
- Q: 紡錘形で、断面形は円形である。長軸に1条、短軸に2条の溝が十字形に巡る。長軸方向に孔が貫通する。
- R: 紡錘形で、断面形は円形である。長軸に1条、短軸に3条の溝が十字形に巡る。長軸方向に孔が貫通する。なお、長軸の溝が片側だけで全周しないものもある。
- S: 小判形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って片側だけ巡っている。短軸の中央からややずれた位置に3個の孔が並んで貫通する。

管状土鍾 (T～V類)

- T: 円柱状で、長軸方向に孔が貫通する。
- U: 球状で、中央に孔が貫通する。
- V: 小判形で、断面形は楕円形である。中心からややずれて長軸方向に孔が貫通する。

その他土鍾 (W・X類)

- W: 小判形で、断面形は楕円形である。短軸の中央からややずれた位置に3個の孔が並んで貫通する。有溝土鍾S

3. 整理の方法

類の側縁に溝をもたないものである。

X：円柱状で、断面形は円形である。中心からややずれて短軸方向に孔が貫通する。

土器片鉢

土器の破片を利用して、周縁を打ち欠いたり磨ったりして円形や方形に整形したもので、端部に袢り（ひも掛け用）が入っているものである。

平面形態からA：円形、B：楕円形、C：正方形、D：長方形の4種に分類した。このうち楕円形と長方形のものについては、両端に袢りを入れる軸の違いで1：長軸、2：短軸の2種に分けた。また、対をなす袢りの数で、a：両端で一对となる2箇所、b：長・短軸で直交して二対となる4箇所、c：その他の3種に細分した。

3) 土製円盤の分類

土製円盤は、孔の有無及び孔の貫通・非貫通の違いでa～c類の3類に大別した。a類は孔がないもの、b類は孔が開いているもの、c類は非貫通の孔が穿たれているものである。

いずれも、平面形態からA：円形、B：楕円形、C：正方形、D：長方形、E：多角形、F：三角形、G：不定形の7種に分類したのち、b・c類については、孔を開けた位置で1：中央、2：中央からずれる、3：端部の3種に分けた。また、非貫通孔を有するc類については、さらに穿孔した面でf：外面、b：内面、bf：内外面の3種に細分した。なお、a類では、通常の土器片との識別がつかないため不定形（G類）については抽出しなかった。

4) 打製石器の分類

石器は、基本的に「下ノ内遺跡」〔仙台市教育委員会2011〕に記載された分類基準に基づいて分類している。磨製石器（Kb）・礫石器（Kc）・石製品（Kd）に関しては、そのまま上記の分類基準に従って分類しており、細分等の検討は行っていない。

今回、大野田遺跡から出土した打製石器のうち登録した4,673点の分類を行なったが、上記に示された分類項目だけでは合理的に判断できない点や本遺跡出土の石器群の特色を反映できない点があるため、大枠の分類基準に従いつつも部分的な定義の変更や、分類細分項目の追加を行った。

以下、本遺跡における打製石器の分類基準を示す。

石 鏃 (Ka-a)

有 茎 (Ka-a1) いわゆる有茎鏃。a1-1～a1-8まで8種に分類した。

a1-1：先端から基部まで直線的に開き、基部は直線的ないし、若干の袢りが見られるもの。

a1-2：先端から基部まで凸状のゆるやかな丸みを有するもので、基部は直線的ないし若干の袢りが見られるもの。

a1-3：茎部の作り出しが細く、長いもの。茎部の長さが器体の約半分にせまる。

a1-4：先端から基部までの間に明瞭な屈曲点を有するもの。

a1-5：茎部の作り出しが短く、小さいもの。

a1-6：茎部の作り出しが明瞭ではなく平面形態が菱形のもの。

a1-7：平面形態が先端から基部まで内湾しながら開くもの。幅に対し長さの長いものが多い。

a1-8：先端から基部までの間に袢り状の調整が見られるもの。

平 基 (Ka-a2) 基部が平坦なもの。細分していない。

凹 基 (Ka-a3) いわゆる凹基無茎鏃。今回、a3-1～a3-2-2まで3種に分類した。

a3-1：凹部（脚部）がごく浅い袢りで形成されるもの。

a3-2-1：凹部が深い袢りで形成され、先端から基部までの間に明瞭な屈曲点を有するもの。

a3-2-2：凹部が深い袢りで形成され、先端から基部まで直線状ないしゆるやかな凸状の丸みを有するもの。

円基状 (Ka-a4) 凸状の丸い基部を持つもの。細分していない。石鏃の計測値を検討した結果、円基状としたものは他の石鏃よりも長さ・幅・厚さの数値が大きく、そのほとんどが石鏃未製品と推定できることから円基ではなく円基状とした。

未製品・失敗品 (Ka-a5) 製品としての石鏃よりも、長さ・幅・厚さの数値が大きく未製品と判断できるもの。粗

雑な両面加工体で楕円形を呈するものが多い。円基状との区別は、明瞭な先端部をもたないこと、平面形がなめらかではないこと、側面観がジグザグ状を呈することなどを基準に区別した。

欠損分類不可 (Ka-a6) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

尖頭器 (Ka-b)

細分していない。b2 以外は確認できないが項目だけ掲げておく。

有 茎 (Ka-b1)

無 茎 (Ka-b2)

欠損分類不可 (Ka-b3) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。

石 錐 (Ka-c)

棒 状 (Ka-c1) つまみ状の頭部を持たない棒状のもの。

つまみ付き (Ka-c2) c2-1 ~ c2-4 の 4 種に分類した。

c2-1: つまみ状の頭部を持ち、長い錐部を持つもの。つまみ部は円形状の小さいもの、やや幅の広いものがある。

c2-2: 縦長・長楕円形のつまみ部を持ち、つまみ部と同程度の長さの錐部を持つもの。

c2-3: つまみ部と錐部の境が明瞭ではなく、つまみ部から錐部先端まで凹状に内湾しながら徐々に細くなっているもの。

c2-4: 不定形の剥片の一端に錐部を作り出したもの。一般的につまみ部は大きく、錐部は小さい。

欠損分類不可 (Ka-c3) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

石 匙 (Ka-d)

石匙については、縦型 (d1) と横型 (d2) の 2 類に大別し、素材形状と加工部位によって細別した。

縦 型 (Ka-d1) つまみ部を基準とした場合、縦に長いもの。d1-1 ~ d1-8 まで 8 種に分類した。

d1-1: 縦長剥片 (石刃状剥片を含む) を素材とし、素材末端部側につまみ部を作り出すもの。調整は一侧縁・二側縁調整の他、端部に調整のあるものも含む。

d1-2: 縦長剥片 (石刃状剥片を含む) を素材とし、素材打面側につまみ部を作り出すもの。調整は一侧縁・二側縁調整の他、端部に調整のあるものも含む。

d1-3: 三角形～二等辺三角形の剥片を素材とし、つまみ部の反対側が尖頭状となるもの。細部調整による 2 辺が交わる場合が多い。

d1-4: 周縁部が急斜度調整で覆われ、つまみ部の反対側が弧状となるもの。つまみ部以外は調整が全周し、円形搔器状となる。

d1-5: 打面側が著しく幅広く、末端が、取束する剥片を用い、打面側の幅の広い部分につまみ部を作り出すもの。素材末端は細部調整による 2 辺が交わる。

d1-6: 横長剥片を縦位に用い、素材側縁部につまみ部を作り出すもの。素材端部側に細部調整が行われる。

d1-7: 両面調整・半両面調整により、刃部が作り出されるもの。

d1-8: 上記 d1 ~ d7 の分類基準にあてはまらないもの。

横 型 (Ka-d2) つまみ部を基準とした場合、横に長いもの。d2-1 ~ d2-6 まで 6 種に分類した。

d2-1: 横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整により直線状もしくはゆるやかな弧状を呈するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-2: 横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整によりやや凹状に内湾するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-3: 横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整により円弧状を呈するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-4: 縦長剥片を横位に用い、素材側縁部+端部に細部調整が施される。刃部は直線状もしくはゆるやかな弧状をなすものが多い。つまみ部は素材側縁部に作り出される。

3. 整理の方法

石 鏃

有 茎 (Ka-a1)



平 基 (Ka-a2) 凹 基 (Ka-a3)



石 鏃

棒 状 (Ka-c1)



つまみ付き (Ka-c2)



円基状 (Ka-c4)

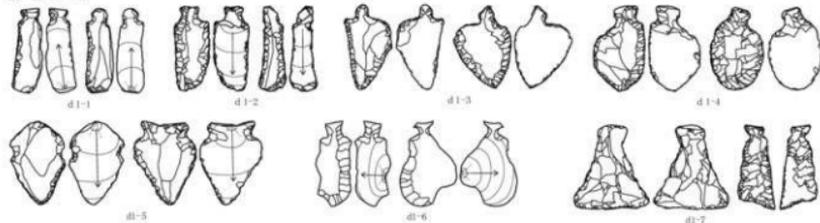


未製品・失敗品 (Ka-a5)

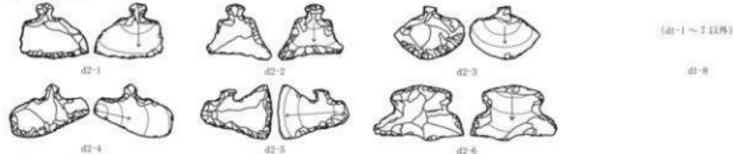


石 匙

瓶 型 (Ka-d1)

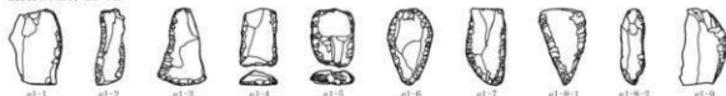


横 型 (Ka-d2)

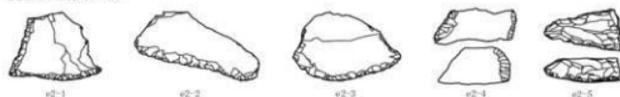


不定形石器

縦長剥片素材 (Ka-e1)



横長剥片素材 (Ka-e2)



照面縁 (Ka-e3)



挟 入 (Ka-e4)



小型剥片素材肉縁調整 (Ka-e5)



二次加工のある剥片 (Ka-e6)



微細刻離痕のある剥片 (Ka-e7)



第 7 図 主な打製石器分類模式図

第1表 打製石器分類表

種別	器種	分類	細分	備考		
打製石器	石 錐	有 茎	Ka-a1-1			
			Ka-a1-2			
			Ka-a1-3			
			Ka-a1-4			
			Ka-a1-5			
			Ka-a1-6			
			Ka-a1-7			
			Ka-a1-8			
		平 茎	Ka-a2			
			Ka-a3-1			
			Ka-a3-2-1			
			Ka-a3-2-2			
			Ka-a4			
			Ka-a5			
	尖頭器	欠損分類不可	Ka-a6			
			Ka-b1			
			Ka-b2			
	石 鏃	欠損分類不可	Ka-b3			
			棒 状	Ka-c1		
			つまみ付き	Ka-c2-1		
				Ka-c2-2		
				Ka-c2-3		
	Ka-c2-4					
	石 匙	縦 型	Ka-d1			
			Ka-d1-1			
			Ka-d1-2			
			Ka-d1-3			
			Ka-d1-4			
			Ka-d1-5			
			Ka-d1-6			
			Ka-d1-7			
		横 型	Ka-d1-8			
			Ka-d2-1			
			Ka-d2-2			
			Ka-d2-3			
			Ka-d2-4			
			Ka-d2-5			
			Ka-d2-6			
			欠損分類不可	Ka-d3		
			不定形石器	縦長剥片素材	Ka-e1-1	一側縁調整
					Ka-e1-2	二側縁調整
	Ka-e1-3	端部台形状調整				
	Ka-e1-4	端部直縁状調整 (いわゆる直刀)				
	Ka-e1-5	端部弧状調整 (ゆるやかな弧状)				
	Ka-e1-6	端部弧状調整 (収束)				
	Ka-e1-7	端部弧状調整 (いわゆる偏刀)				
	Ka-e1-8-1	端部尖頭状調整				
Ka-e1-8-2	端部尖頭状調整 (片側凹状に内湾)					
Ka-e1-9	側縁弧状調整					
横長剥片素材	Ka-e2-1	角縁状調整				
	Ka-e2-2	端部直縁状調整				
	Ka-e2-3	端部弧状調整				
	Ka-e2-4	側縁調整				
	Ka-e2-5	片面急斜度調整				
磨面縁	Ka-e3-1					
	Ka-e3-2					
抉 入	Ka-e4					
	小形剥片素材両縁調整	Ka-e5				
	二次加工のある剥片	Ka-e6				
	微細剝離痕のある剥片	Ka-e7				
	欠損分類不可	Ka-e8				
	石 莖	平両面加工	Ka-f1			
		両面加工	Ka-f2			
	打製石斧		Ka-g			
楔形石器		Ka-h				
異形石器		Ka-i				
剥 片		Ka-l				
石 鏟		Ka-m				
未製品類		Ka-n				

3. 整理の方法

d2-5: 台形状の縦長剥片を横位に用いる。素材端部・側縁部に細部調整が行われ、台形状の刃部が形成される。

つまみ部は素材側縁部に作り出される。

d2-6: 横長剥片を縦位に用いる。つまみ部は素材打面側の素材中位に近い幅の広い部分に作り出される。

欠損分類不可 (Ka-d3) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

不定形石器 (Ka-e)

不定形石器については、下ノ内遺跡における分類基準と本遺跡の分類基準とはは同様な部分と異なる部分があるので以下に説明する。

下ノ内遺跡では、e1 を削器 (石器の側縁に鋭角の刃部を持つもの)、e2 を搔器 (石器の端部に鈍角の刃部を持つもの) で分類しているが、大野田遺跡の資料を見る限り、明確に分類することは不可能で、あらゆる縁辺に二次調整を施す本遺跡の石器の特徴から、スクレイパー類として一括して把握することにし、素材形態と加工部位によって分類することとした。今回の分類では、e1 を縦長剥片素材、e2 を横長剥片素材として大別し、加工部位によって、それぞれ細分した。このような分類方法をとったのは、不定形石器の様々な形態ヴァリエーションを説明しやすいからである。縦長剥片素材のものを e1-1 ~ e1-9 の 10 種、横長剥片素材のものを e2-1 ~ e2-5 の 5 種に分類した。

e3 の鋸歯縁石器 (鋸歯状の刃部を持つもの)、e4 のノッチ (挟入状の刃部を持つもの) については、下ノ内遺跡の分類を踏襲している。e3 の鋸歯縁石器については細部調整の大きさに応じて e3-1・e3-2 の 2 種に分類した。

e5 については、下ノ内遺跡の分類では円形搔器 (石器の全周縁に刃部を持つもの) としている。今回の分類では上記とほぼ同義ではあるが、e5 をスクレイパー類として「小形剥片素材周縁調整」として認識することとした。

e6・e7 は、下ノ内遺跡の分類では、それぞれ RF (石器の一部に刃部加工が見られるもの)、UF (石器の刃部に使用痕 [摩滅・光沢] が見られるもの) とされている。また、不定形石器とは別の器種として、j: 二次加工のある剥片 (刃部加工を目的としていない二次加工) や k: 微細刺痕のある剥片 (微細な刺痕を有する剥片) という類似している異なる分類項目も存在している。今回報告する大野田遺跡の資料を観察したところ、上記の 4 分類は困難であると認識したため、今回の分類では、e6 を二次加工のある剥片 (剥片の縁辺の長さの二分の一に満たない部分的な細部調整の見られるもの)、e7 を微細刺痕のある剥片 (微細な刺痕の見られるもの) の 2 分類に限定し、不定形石器の中に統合することとした。したがって、今回の打製石器の分類項目の中には Ka-j と Ka-k は存在しないこととする。

以下に不定形石器の各分類の詳細を示す。

縦長剥片素材 (Ka-e1)

e1-1: 一側縁調整。一側縁に縁辺の長さの二分の一以上に細部調整が見られるもの。

e1-2: 二側縁調整。二側縁に縁辺の長さの二分の一以上に細部調整が見られるもの。

e1-3: 端部台形状調整。側縁と端部の細部調整により逆台形状のもの。素材打面側が幅狭く、末端側が幅広い。側縁は真っ直ぐもしくは内湾気味に開き、端部は直線状もしくはゆるやかな弧状である。

e1-4: 端部直線状調整 (いわゆる直刀)。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、端部が直線状となるもの。

e1-5: 端部弧状調整 (ゆるやかな弧状)。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、細部調整により端部がゆるやかな弧状となるもの。

e1-6: 端部弧状調整 (取束)。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、細部調整により端部が小さな弧状となるもの。一般的に素材打面側が幅広く、末端部側は幅狭となる。

e1-7: 端部弧状調整 (いわゆる偏刀)。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、細部調整により端部が弧状となるもので、弧状の部分が中心軸からずれるもの。いわゆる偏刀。

e1-8-1: 端部尖頭状調整。二側縁に細部調整が行われ、素材端部で交わり尖頭状となるもの。一般的に素材打面側が幅広く、素材末端部側で取束する。

e1-8-2: 端部尖頭状調整 (片側凹状に内湾)。二側縁に細部調整が行われ、素材端部で交わる尖頭状のもので、端部に近い片側縁を浅いノッチ状に加工するもの。

e1-9: 側縁弧状調整。一側縁のみに弧状の細部調整が行われるもの。

横長剥片素材 (Ka-e2)

e2-1: 角縁状調整。側縁と端部の細部調整により四角形から台形状となるもの。側縁部の調整と端部の調整の交わる部分に鋭い角が形成される。

e2-2: 端部直縁状調整。素材端部が細部調整によりほぼ直線状のもの。いわゆる模型削器。側縁部に調整の認められるものもあるが、鋭い角部が形成されない点で e2-1 と識別する。

e2-3: 端部弧状調整。素材端部が細部調整により弧状となるもの。e2-2 と共に主要剥離面側に調整を行うものが多い。これは素材末端部のヒンジフラクチャーを利用して急斜度の刃部を形成する意図が読み取れる。

e2-4: 側縁調整。素材側縁部のみ細部調整が見られるもの。

e2-5: 片面急斜度調整。石器背面側(被剥離面側)に片面急斜度調整が見られるもの。

鋸歯縁石器 (Ka-e3) 剥片の縁辺の二分の一以上に、連続的な鋸歯状の調整が見られるもの。e3-1・e3-2 の 2 種に分類した。

e3-1: 細かい調整を連続的にを行い鋸歯状にするもの。

e3-2: 粗い調整を連続的にを行い鋸歯状にするもの。

挟入石器 (Ka-e4) ノッチ状の細部調整が見られるもの。

小形剥片素材周縁調整 (Ka-e5) ㇿ円形搔器。長・幅比約 1:1 の寸詰まりの剥片を素材とし、周縁部に細部調整を行うもの。細部調整は全周するもの、打面部分を残すものがある。

二次加工のある剥片 (Ka-e6) 剥片の縁辺の長さの二分の一に満たない部分的な細部調整が見られるもの。

微細剥離痕のある剥片 (Ka-e7) 微細な剥離痕を有する剥片。

欠損分類不可 (Ka-e8) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

以下、出土点数が少なく細分は行っていないが分類項目だけ掲げておく。

石 筥 (Ka-f)

f1: 半両面加工。

f2: 両面加工。

打製石斧 (Ka-g)

楔形石器 (Ka-h)

両極剥離による剥離痕が明瞭に認められる石器。

異形石器 (Ka-i)

二次加工のある剥片 (Ka-j)・微細剥離痕のある剥片 (Ka-k)

前述した理由から分類項目から省く。

剥 片 (Ka-l)

石 核 (Ka-m)

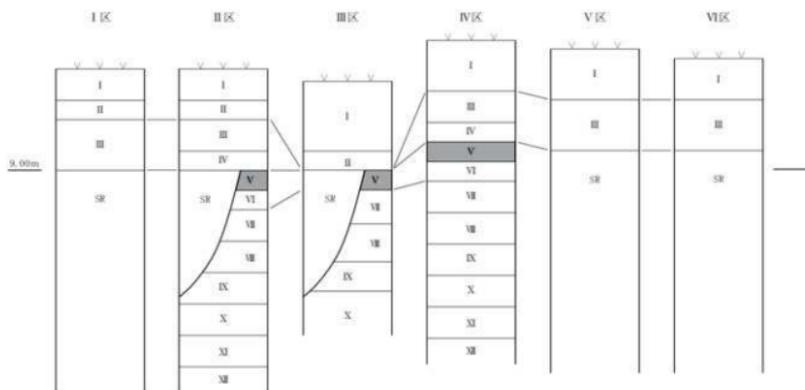
未製品類 (Ka-n)

粗雑な両面調整、もしくは片面調整が認められ、器種の特定が困難な未製品だが、尖頭器・石錐・石筥・打製石斧等の面的調整の行われる石器の未製品と推定できる石器。大きさ・形状で石鏃の未製品・失敗品 (Ka-5) と特定できないものは本項目に含めている。石核 (Ka-m) と類似するものもあるが、平坦剥離が顕著なものは本項目に含めている。

IV 基本層序

調査区が約250mの細長い範囲に亘るため、土色、土性などに若干の違いはみられ、細別される層もあるがⅠ～Ⅻ層までの大別12枚の層が確認された。

- Ⅰ層：主に粘土層で構成される。色調は灰オリーブ色（7.5Y4/2）である。Ⅳ～Ⅴ区北半を除く地域に分布し、層厚は15～25cmで、現代の水田耕作土である。層の下部には酸化鉄の集積がみられる。Ⅳ～Ⅴ区北半は水田ではなかったことから色調、土性は暗褐色（10YR3/3）のシルト層である。層中に縄文時代から現代までの遺物を含んでおり、縄文時代の配石遺構を構成する礎が地表面で見られる部分があった。
- Ⅱ層：シルト層で構成される。色調は褐灰色（10YR6/1）である。Ⅰ～Ⅲ区にみられ、Ⅴ・Ⅵ区では一部、部分的にみられる程度である。層厚は5～10cmで、水田耕作土と考えられ、酸化鉄が集積している。
- Ⅲ層：シルト層で構成される。色調は黄褐色（10YR5/6）である。粘性がやや強い。Ⅲ区以外の全域に分布しており、層厚は10～25cmで、調査区の南および北側で厚くなっている。層中に縄文時代の遺物を含んでいる。本層上面が古代および古墳時代の遺構検出面である。
- Ⅳ層：シルト層で構成される。色調は褐色（10YR4/4 一部10YR4/6）であるが一定していない。Ⅱ区およびⅣ区にのみ分布し、層厚は5～15cmで、Ⅳ区側が厚くなっている。マンガンの集積がみられる部分があり、層中に縄文時代の遺物を含んでいる。



層	土色	土性	混入物等	備考
I	灰オリーブ (7.5Y4/2)	粘土		表土。
II	褐灰 (10YR6/1)	シルト		
III	黄褐 (10YR5/6)	シルト	粘性やや有。	上面で古墳～平安時代の遺構を検出。
IV	褐 (10YR4/4)	シルト		
V	暗褐 (10YR2/2)	シルト	炭化物、焼土、骨片、砂礫多量。	遺物包含層。上面で縄文時代後期～晩期の遺構を検出。
VI	暗褐 (10YR3/3)	シルト	炭化物、焼土粒。	
VII	暗褐 (10YR3/2)	砂質シルト		上面で縄文時代後期の遺構を検出。
VIII	褐 (10YR4/4)	シルト		
IX	黄褐 (10YR5/6)	砂質シルト		
X	褐 (10YR4/4)	砂質シルト		
XI	暗褐 (10YR3/4)	シルト	砂質シルトの部分有。	
XII	褐 (7.5YR4/4)	シルト質砂		

第8図 基本層序模式図

- V層：シルト層で構成される。色調は黒色～黒褐色～暗褐色～褐色である。Ⅱ区南半部～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は15～35cmで、Ⅱ区で厚くⅢ、Ⅳ区で薄くなる。Ⅱ、Ⅲ区では3層(7.5YR2/1、10YR2/1、10YR2/3)、Ⅳ区では7層(10YR2/3、10YR2/1、10YR2/2、10YR3/2、10YR3/3、10YR3/4、10YR4/4)に細分される。層中に多量の炭化物粒や焼土粒、骨片等の有機物、砂礫を含み、さらに多量の縄文時代後期前葉の遺物を含んでおり、全城で遺物包含層となっている。特にⅡ区では大型の破片や一括遺物が多くみられ、遺物の種類も多い。Ⅲ区は上部が後世の水田耕作により削平され層厚が薄くなっている。Ⅳ区では前述のとおり、7層に細別される部分があり、包含されている遺物は磨滅した小破片が多く含まれている。これらのことからⅣ区のV層は人為的に盛土され、層上面に集石遺構、配石遺構、埋設土器等が構築されたものと考えられる。
- VI層：シルト層で構成される。色調は暗褐色(10YR3/3)である。Ⅱ区およびⅣ区の一部に分布し層厚は10cm前後である。層中に炭化物、焼土粒を含んでいる。
- VII層：主に砂質シルト層で構成される。色調は黒褐色(10YR3/2)である。Ⅱ区南半部～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は25～40cmで、Ⅱ区の一部に厚い部分がみられる。層中に炭化物粒、小礫および縄文時代後期初頭～前葉の遺物を含んでいる。層上面が縄文時代後期前葉の遺構検出面であり、配石遺構、埋設土器のほか多数の柱穴が検出された。
- VIII層：シルト層で構成される。色調は褐色(10YR4/4)である。Ⅱ区南半～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は15～40cmである。層中に風化礫の小片を含む部分がみられる。
- IX層：砂質シルト層で構成される。色調は黄褐色(10YR5/6)である。Ⅱ区南半～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は15～30cmである。層中に細砂や微砂の砂粒を含む部分がみられる。
- X層：砂質シルト層で構成される。色調は褐色(10YR4/4)である。Ⅱ区南半～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は20cm前後である。層中に砂粒を含む部分がみられる。
- XI層：シルト層で構成される。色調は暗褐色(10YR3/4)である。Ⅱ区南半とⅣ区で確認された。層厚は20～25cmである。一部に砂質シルトの部分や炭化物粒を微量に含む部分がある。
- XII層：シルト質砂層で構成される。色調は褐色(7.5YR4/4)である。Ⅱ区南半とⅣ区で確認された。層厚は20cm以上で、シルトの小ブロックを含む部分がある。

V 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構は、VII層上面とV層上面から検出した。便宜上、VII層上面から検出したものをVII層の遺構・遺物、V層上面から検出したものをV層の遺構・遺物と呼称する。

両層の間には間層（VI層）を挟むが、出土した遺物からは明瞭な時期差は確認できず、双方とも後期前葉（南境式期）の時期と考えられる。なお、V層は遺物包含層で、後期前葉の遺物を多量に包含している。

これに後続する時期の遺構として、V層で晩期中葉（大洞C₂式期）の土坑1基を検出した。調査区南端のVI区から単独で検出されたもので、ほかに該期の遺構や遺物は見つかっていない。

また、遺構は検出していないが、このほかに中期中～末葉（大木8b～10式期）にかけての遺物がわずかに出土している。

調査区の地形は全体に平坦であるが、IV区だけ周囲よりわずかに高くなっており、両層の遺構はここを中心に分布が見られる。

V層上面からは河川跡が3条見つかっている。SR201はI区からII区中央にかけて、川幅の狭いSR301はIII区南側からIV区北側にかけて、SR501はV区からVI区にかけて確認されている。堆積土はシルトを主体としており、比較的穏やかな流れであったと推測されるが、河床は深くIX層以下に及んでいる。

以下、VII層の遺構と遺物、V層の遺構と遺物をそれぞれ地区ごとに図示したのち、遺物包含層出土遺物、遺構外出土遺物の順で掲載する。遺構の詳細については、各層毎の末尾に一覧表で掲載する。

1. VII 層

遺構は、II区からIV区にかけて、配石37基、埋設土器37基、土坑196基、性格不明遺構1基を検出した。

配石には、下部に土坑を伴うものと配石のみのものがあり、配石下部の土坑には、底面中央付近に礫が1～数個検出されたものや、底面付近に赤色顔料の分布が認められたもの、耳飾りが検出されたものなどがある。また、IV区の南端には、門前貝塚で検出された海を向く配石と類似する南を向くような形の配石がみられる。配石に用いられている礫の石材は大部分が安山岩で、その他の石材は僅かである。

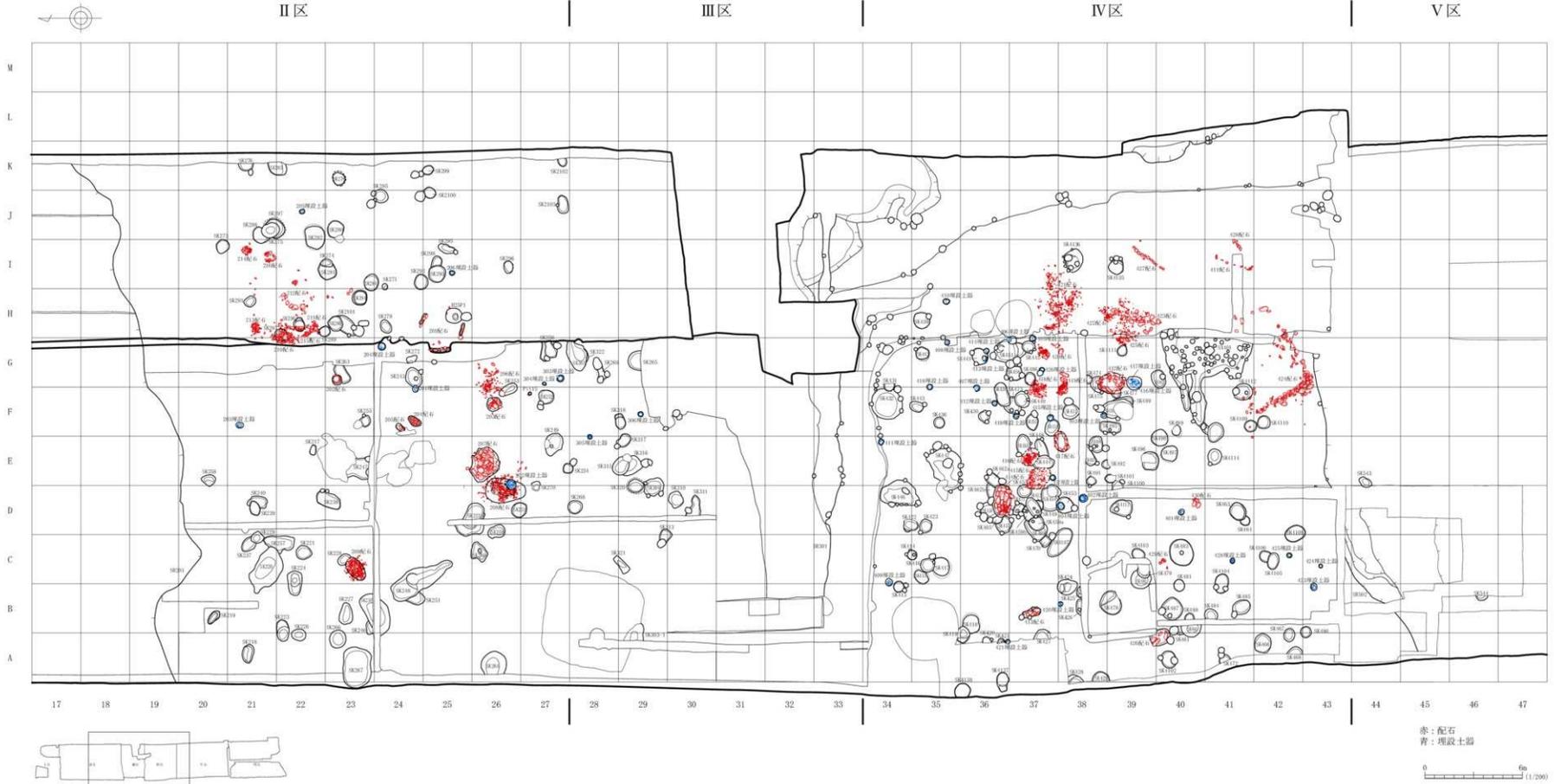
埋設土器には、内部に礫がみられるものや土器が入れ子状になっているもの、土器片や礫でふたをかぶせたような状態のもの、1基の掘り方に2個の土器が埋設されているもの等がみられる。

土坑には、耳飾りや赤色顔料の分布がみられるもの等があり、上部の配石が削平されて下部の土坑のみが検出されたものが多く存在するものと考えられる。また、底面近くで完形の土器や土偶が出土するものや焼土、炭化物と共に鳥類や魚類、獣の骨片が出土したものがある。

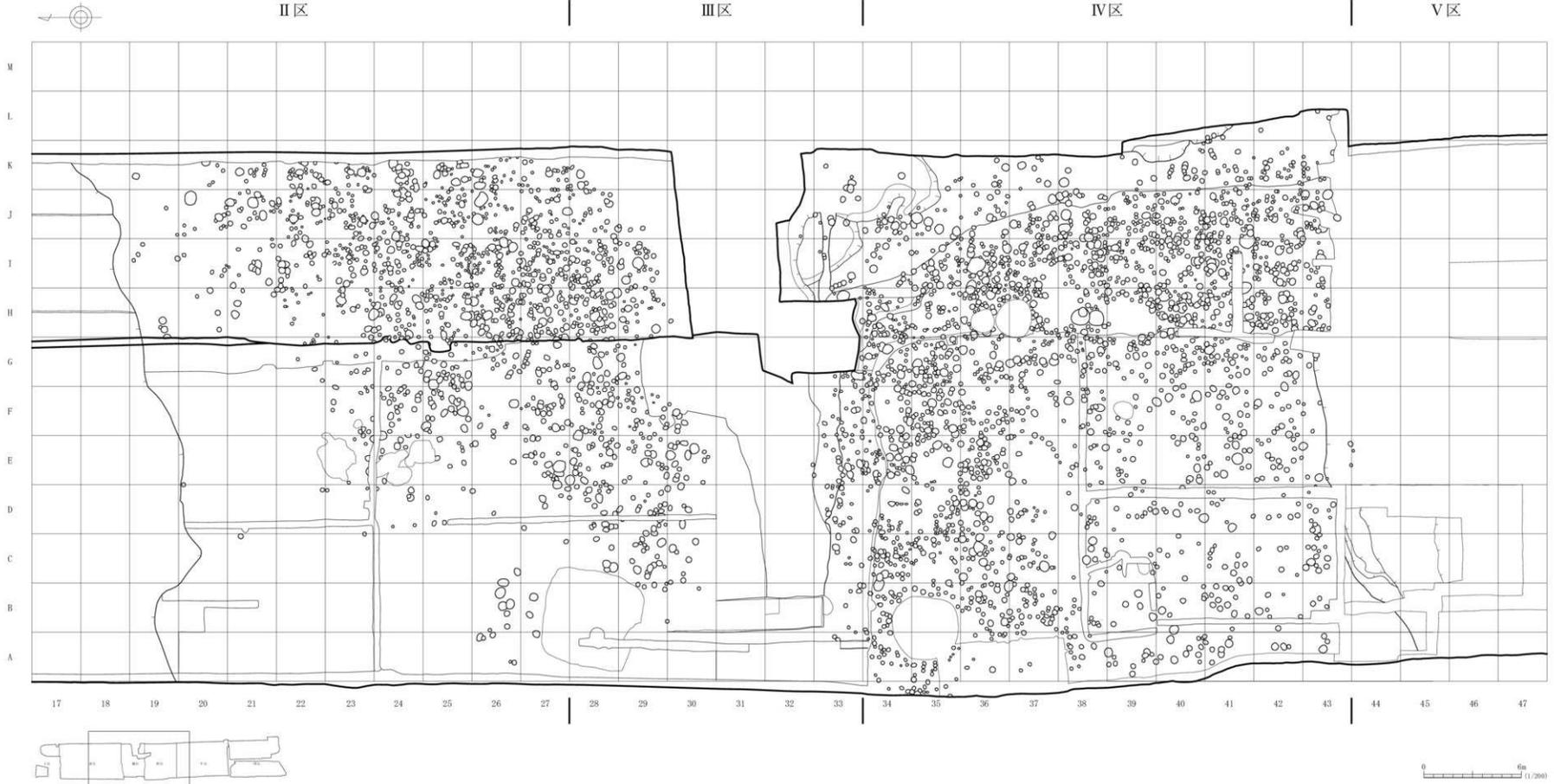
II区のピットの中には、立石の掘り方となっているものがあり、配石の一部の残存であると考えられるものや外径90～100cmで中央に径35～40cmの柱痕跡が検出され、単独で柱状のものを立てていたものと考えられるものがある。

このほかにピットが多数検出されており、柱痕跡が確認されたものが多数含まれていることから、掘立柱建物跡の存在が想定される。配石や土坑を中心として、周囲に掘立柱建物跡が多数存在する遺構の配置関係が想定されたが、具体的な掘立柱建物跡の指摘はしていない。これらのピットについてはピット群として遺構配置図のみ掲載した。

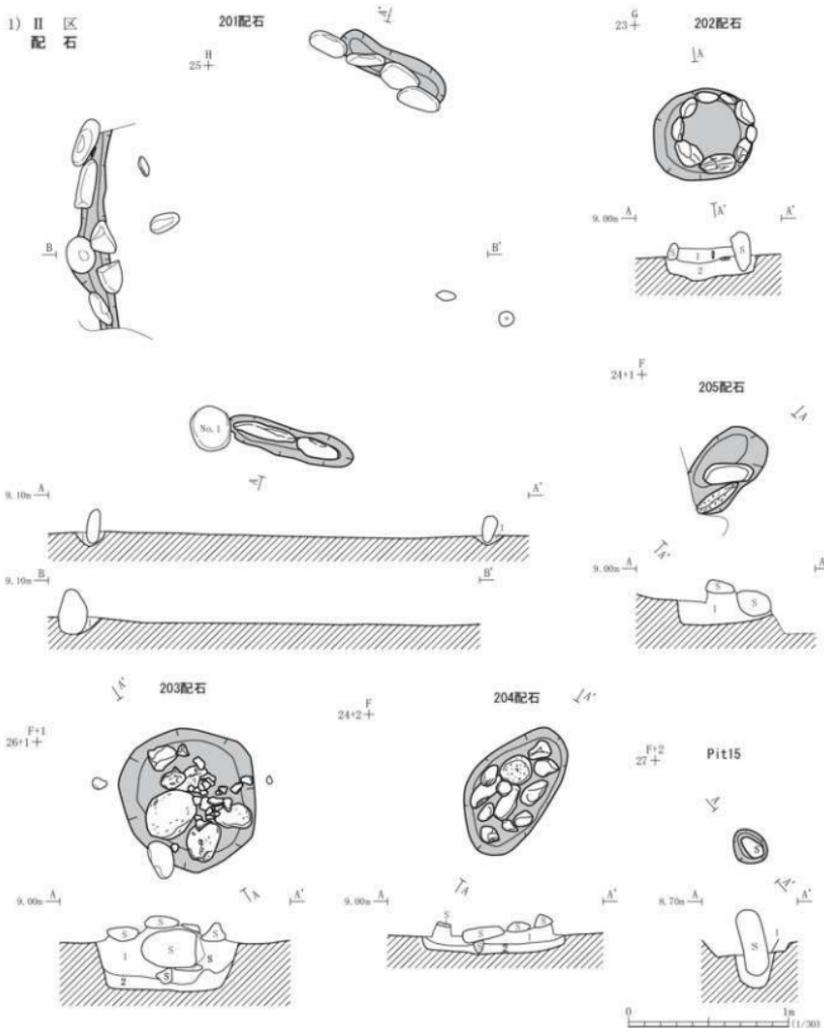
V層の河川跡に切られて、調査区北側（I区～II区中央）と中央の一部（III区南側～IV区北側）、南側（V区～VI区）は失われており、遺構配置の全容は不明である。



第9図 VII層遺構配置図(1)



第10図 Ⅴ層遺構配置図(2)ピット群



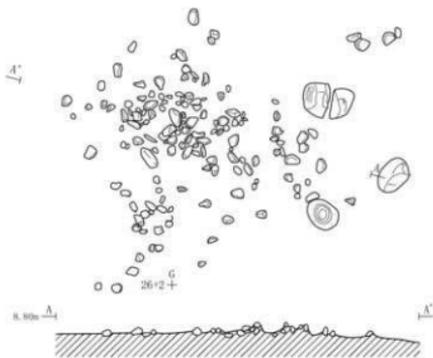
配石	層位	土色	土性	備考	配石	層位	土色	土性	備考				
201	1	10R8/2 灰黄緑	粘土質シルト	炭化物・褐色土ブロックを含む。(掘り方難し)	204	1	10R3/1 黒褐	シルト	炭化物・粘土ブロックを多量に含む。				
202	1	7.5YR5/4 紅褐色	シルト	炭化物・粘土ブロックを含む。	2	7.5YR2/1 黒	シルト質粘土	炭化物・小礫を含む。	205	1	7.5YR3/2 黒褐	シルト質粘土	炭化物・粘土ブロックを多量に含む。
	2	7.5YR2/1 黒	シルト質粘土	炭化物・粘土塊・小礫を含む。	F115	1	10R3/2 黒褐	粘土質シルト	立石掘り方。炭化物を含む。				
203	1	7.5YR2/1 黒褐	シルト	炭化物・粘土塊を多量に含む。									
	2	10R3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物・黄褐色土ブロックを含む。									

第11図 Ⅶ層Ⅱ区配石(1)

1. VII 層

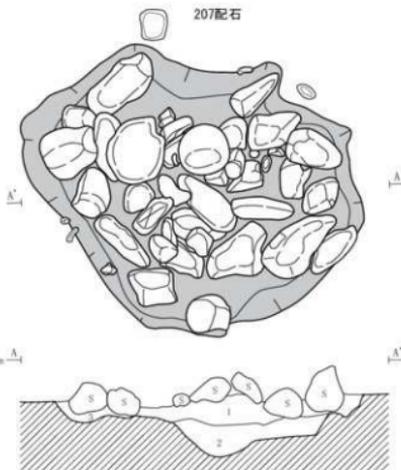
F+2
26+

206配石



207配石

E
26+



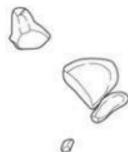
207配石 中位核出礎

E
26+



207配石 下部核出礎

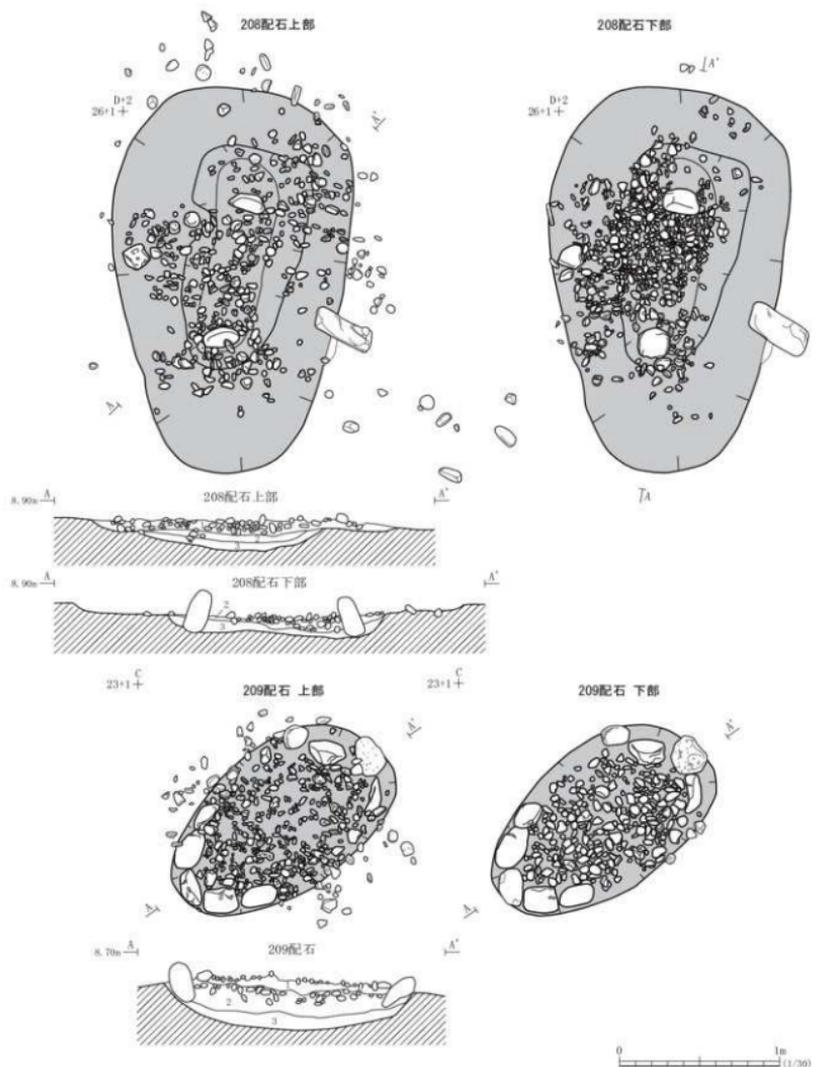
E
26+



0 1m
1/200

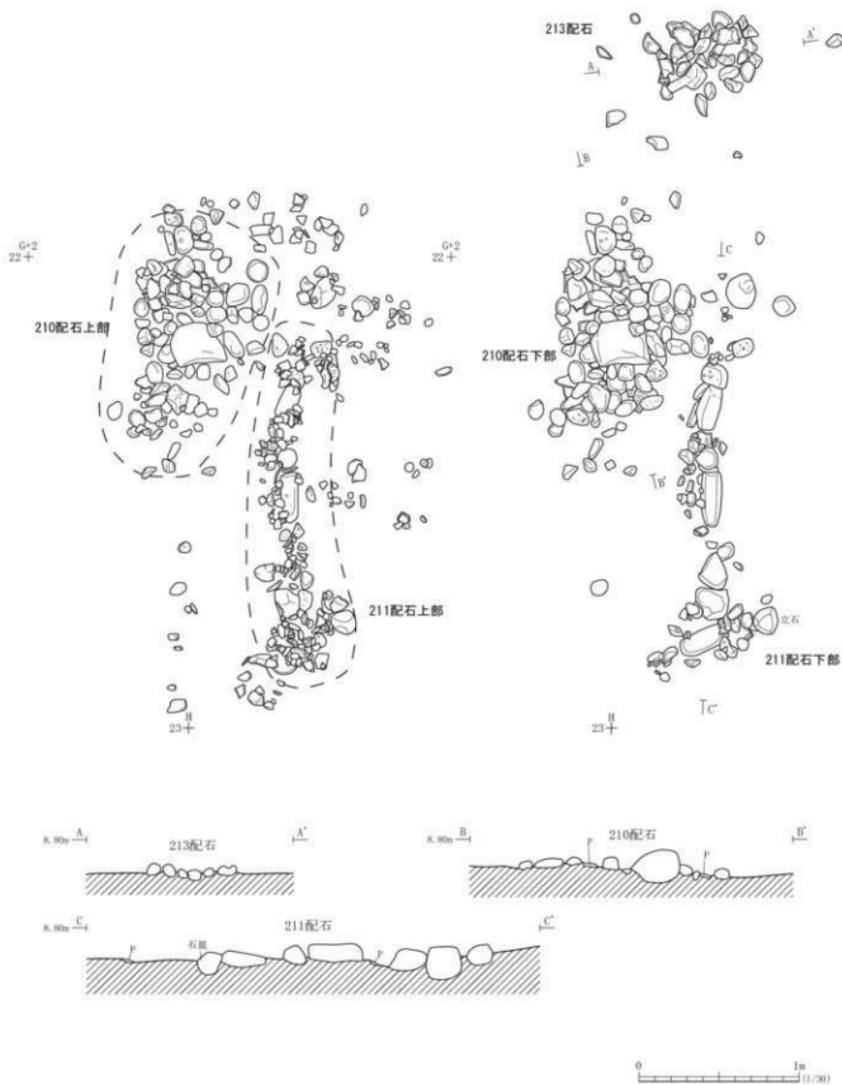
配石 番号	土色	土性	備考
207 1	7.0102/1 黒砂	シルト質粘土	炭化物・繊維を含む。
2	7.0104/3 砂	粘土	炭化物を含む。
3	10106/4 12.05a 黄砂	シルト質粘土	炭化物を含む。

第12図 VII層II区 配石(2)

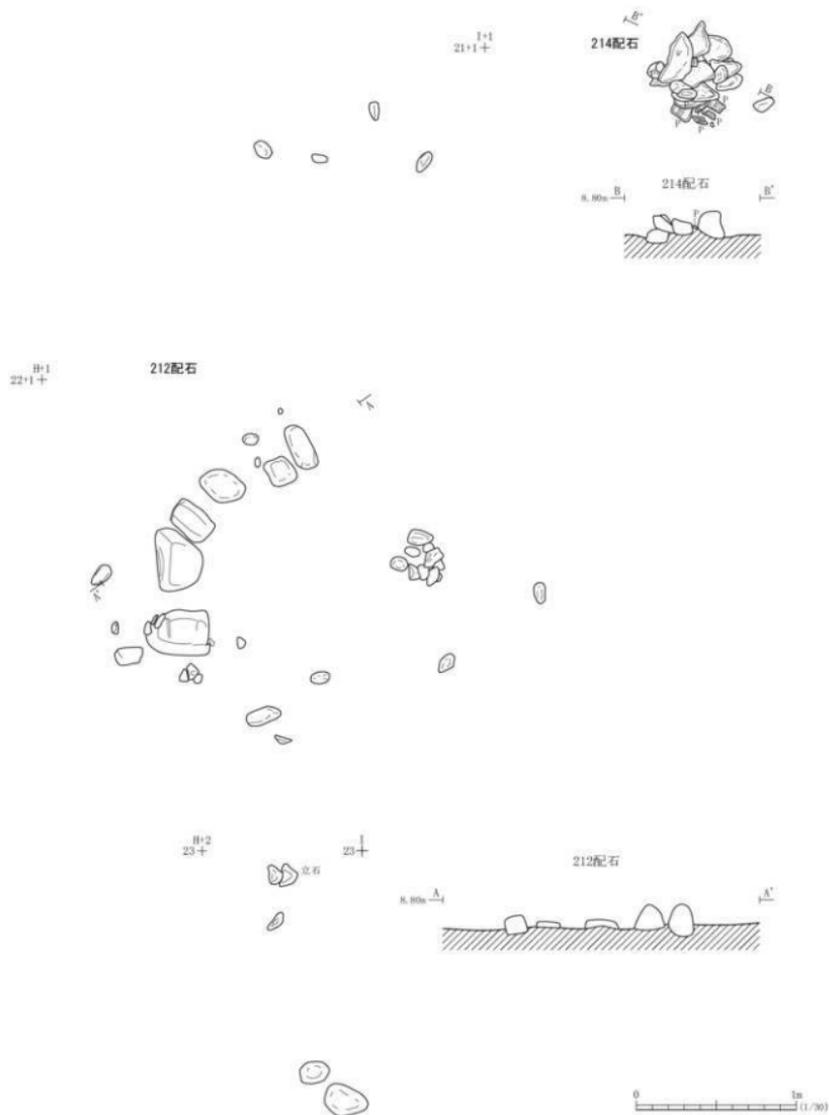


配石	層位	土色	土性	備考	配石	層位	土色	土性	備考
208	1	2.5Y3/1 黄褐色	砂質シルト	炭化物・小礫を含む。V層の土とはほとんど区別できない。	209	1	10YR4/6 紫褐色	シルト	小礫混入。
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	炭化物を含む。小礫の主体。		2	10YR4/4 紫褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む。
	3	10YR6/4 に近い黄褐色	シルト質粘土	炭化物を多量に含む。小石粒少量混入。		3	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を微量含む。

第13図 VII層II区配石(3)

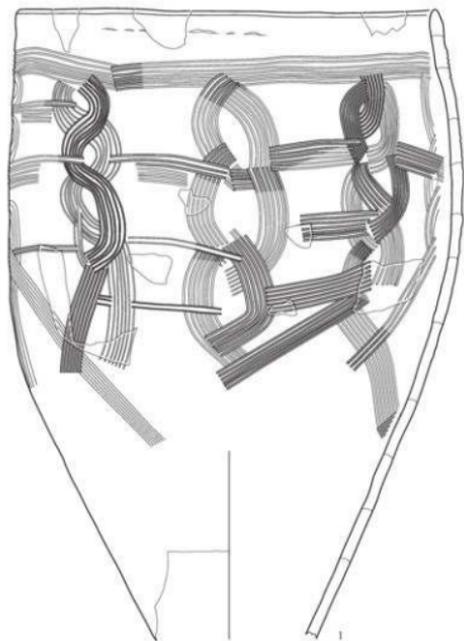
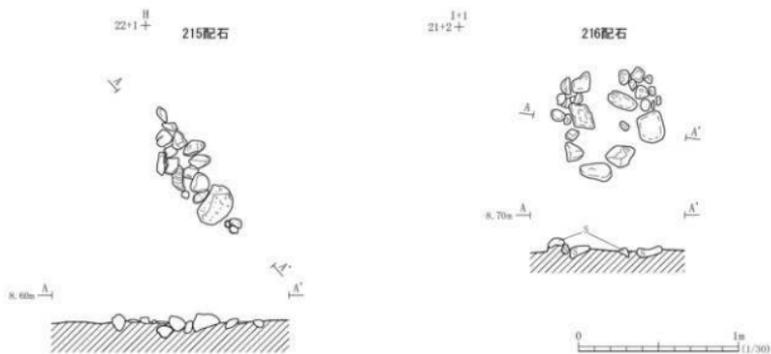


第14图 VII层II区配石(4)



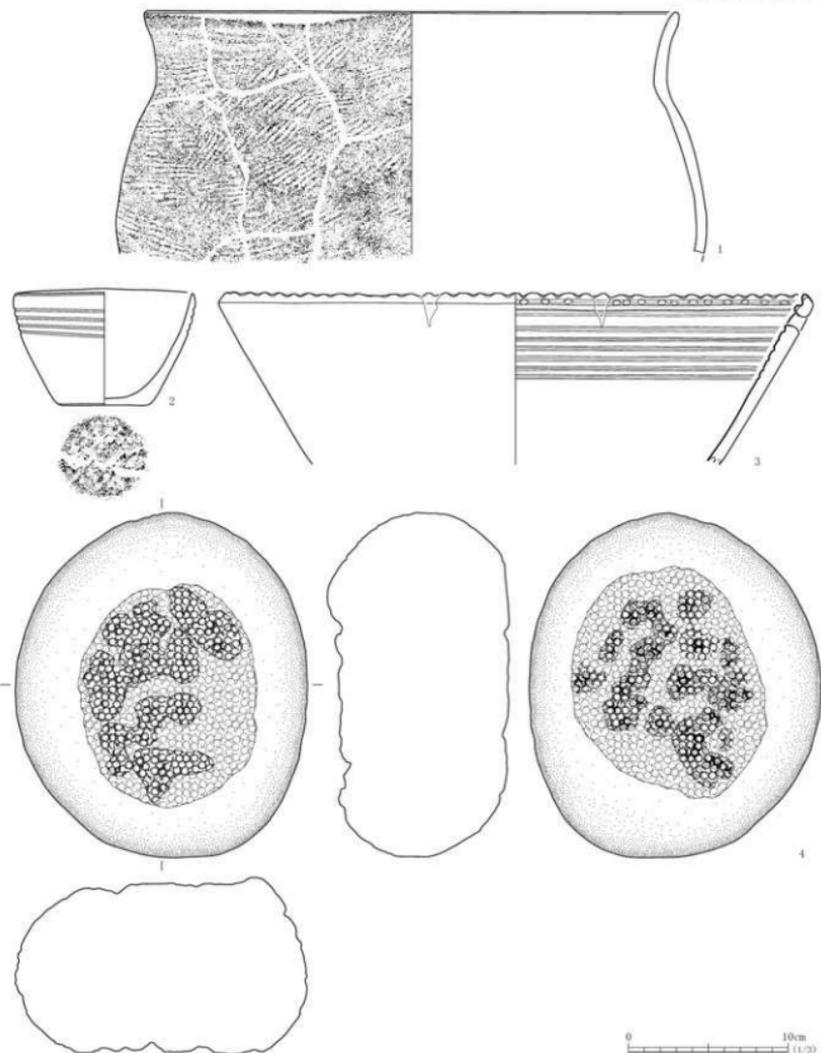
第15図 VII層II区配石(5)

1. VII 層



No.	発跡番号	出土遺物	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-421	207配石	縄文土器	深鉢	縄文状文様。		30-1

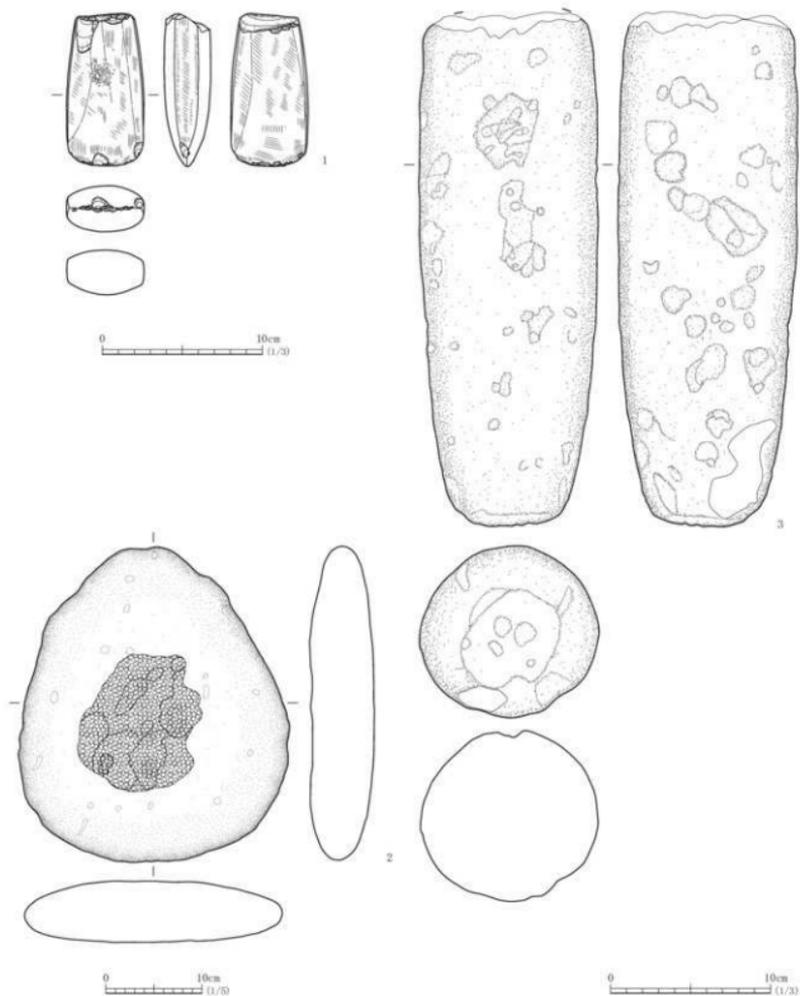
第16図 VII層Ⅱ区 配石(6)・配石出土遺物(1)



No.	発跡番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版				
1	A-816	207配石	縄文土器	深鉢	縄文1様・斜位施文。		30-2				
2	A-776	214配石	縄文土器	鉢	沈線文。	沈線網代柄。	30-3				
3	A-782	214配石	縄文土器	浅鉢	外面 凸唇部・部み目、内面 沈線文、凸形刺突文。	唇部口縁、横唇部1ヶ所残存。	-				
No.	発跡番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
4	Ke-037	207配石	圓石	安山岩	Ke-h	21.9	18.2	11.2	4,900.0		30-4

第17図 V層Ⅱ区 配石出土遺物 (2)

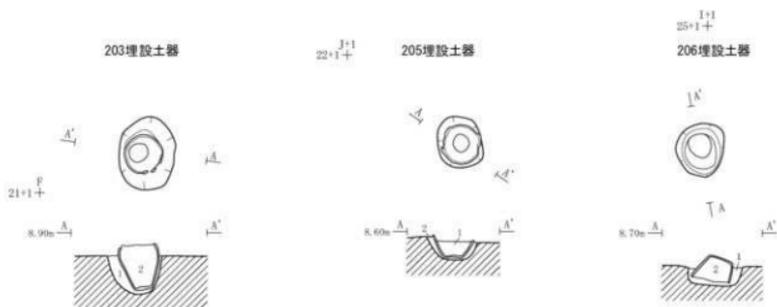
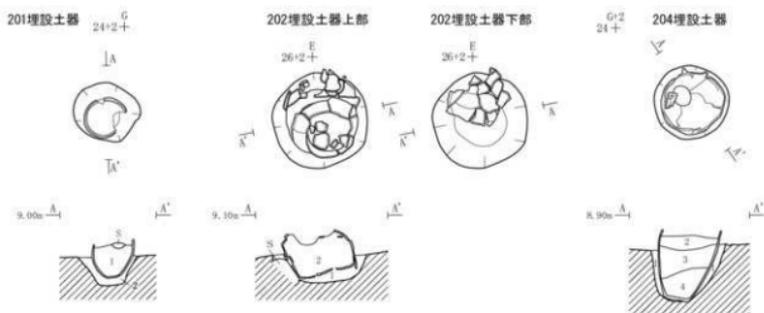
1. VII 层



序号	器物编号	出土层位	器 名	石 材	分 类	长 (cm)	宽 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	备 考	写真张数
1	Ks-081	211 灰石	磨制石斧	燧石	Ks-a	9.7	4.8	2.9	221.2		30-5
2	Ks-132	205 灰石	石斧	燧石	Ks-g	32.3	28.2	6.5	7,905.0		30-6
3	Kd-001	211 灰石	石棒	燧石	Kd-b	32.3	11.2	10.8	5,000.0		30-7

第 18 图 VII 层 II 区 灰石出土器物 (3)

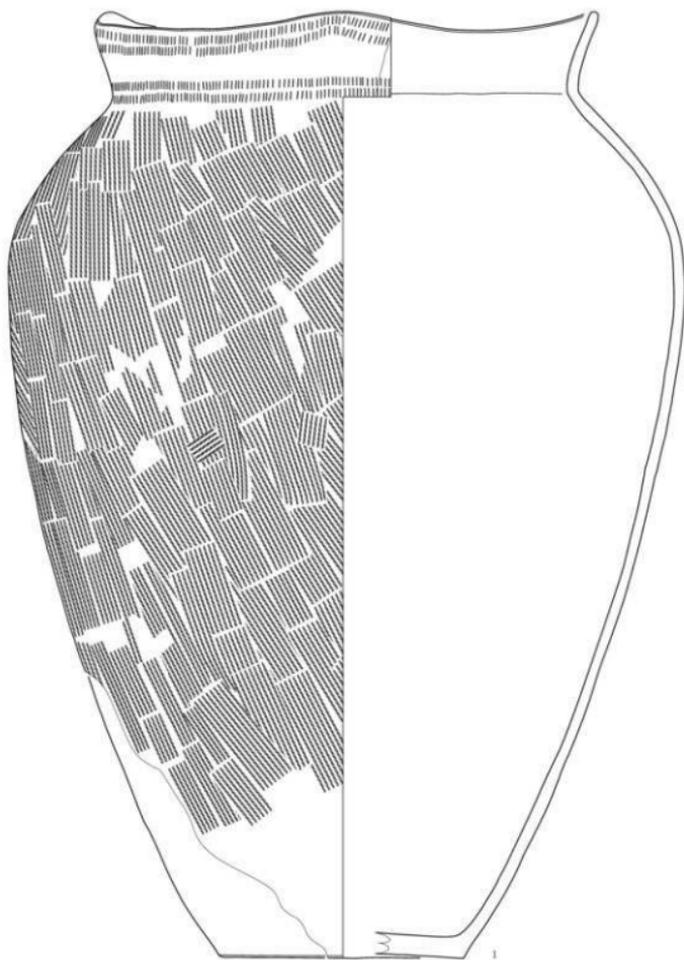
埋設土器



0 1m
1(1/30)

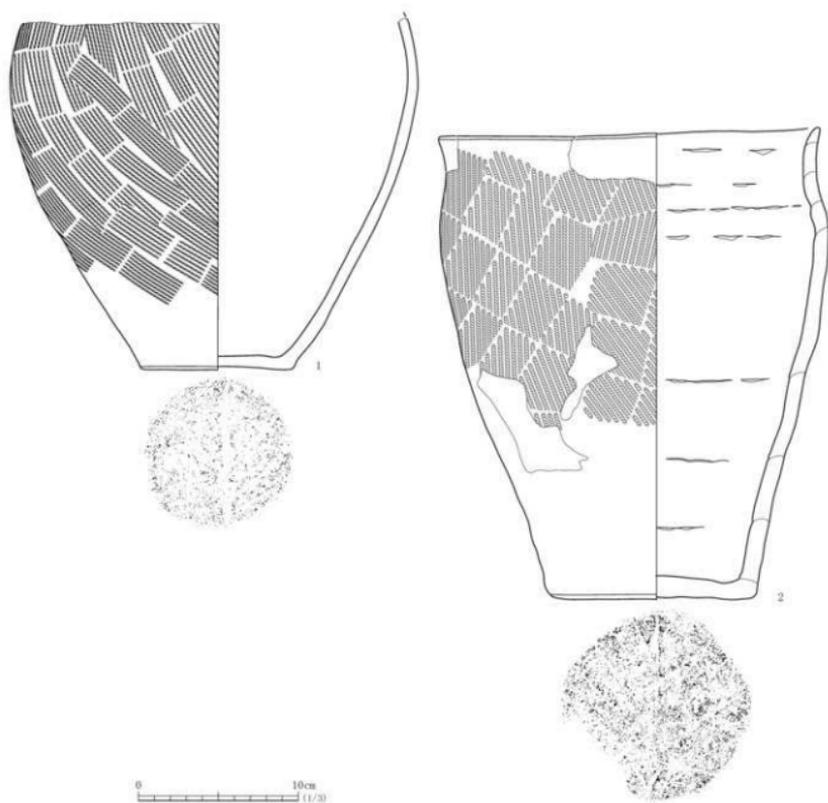
器種	層位	土色	土性	備考	器種	層位	土色	土性	備考
201	1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	継ぎ片を含む。	205	1	10YR5/2 に近い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
	2	2. 5Y2/1 黒	粘土質シルト			2	10YR6/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	炭化物、黒褐色砂質シルトを多量に含む。
202	1	2. 5Y2/1 黒	シルト質粘土	炭化物を含む。	206	1	10YR6/6 明黄褐色	粘土質シルト	黒褐色砂質シルト・褐色シルト・炭化物を含む。
	2	2. 5Y3/1 黒褐色	シルト質粘土	包含物同様な薄片を含む。		2	10YR7/4 に近い黄褐色	粘土質シルト	黒褐色砂質シルト・褐色シルト・炭化物を含む。
203	1	7. 5YR2/1 黒	粘土	炭化物・小礫を含む。					
	2	2. 5Y5/3 黄褐色	粘土質シルト						
204	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト						
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。					
	3	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	に近い黄褐色粘土質シルト、小礫、炭化物を多量に含む。					
	4	10YR2/1 黒	粘土質シルト	炭化物を含む。					

第19図 V層II区 埋設土器



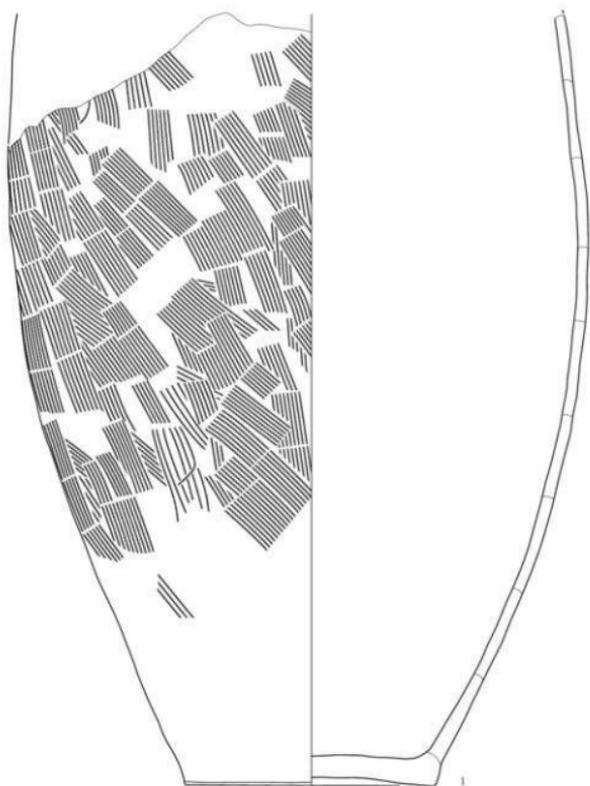
No.	登録番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-001	202 埋設土器	縄文土器	深鉢	口縁部・胴部：斜交平行線文、胴部：横交文1段・斜交線文。	深鉢口縁、4単位。	31-1

第20図 VII層Ⅱ区 埋設土器出土遺物(1)



No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-016	201 埋設土器	縄文土器	深鉢	網点文・斜位編文。	底部本葉痕。	-
2	A-002	203 埋設土器	縄文土器	深鉢	外面 網点・縄文・斜位編文。	底部本葉痕。内面 輪槽痕。	31-2

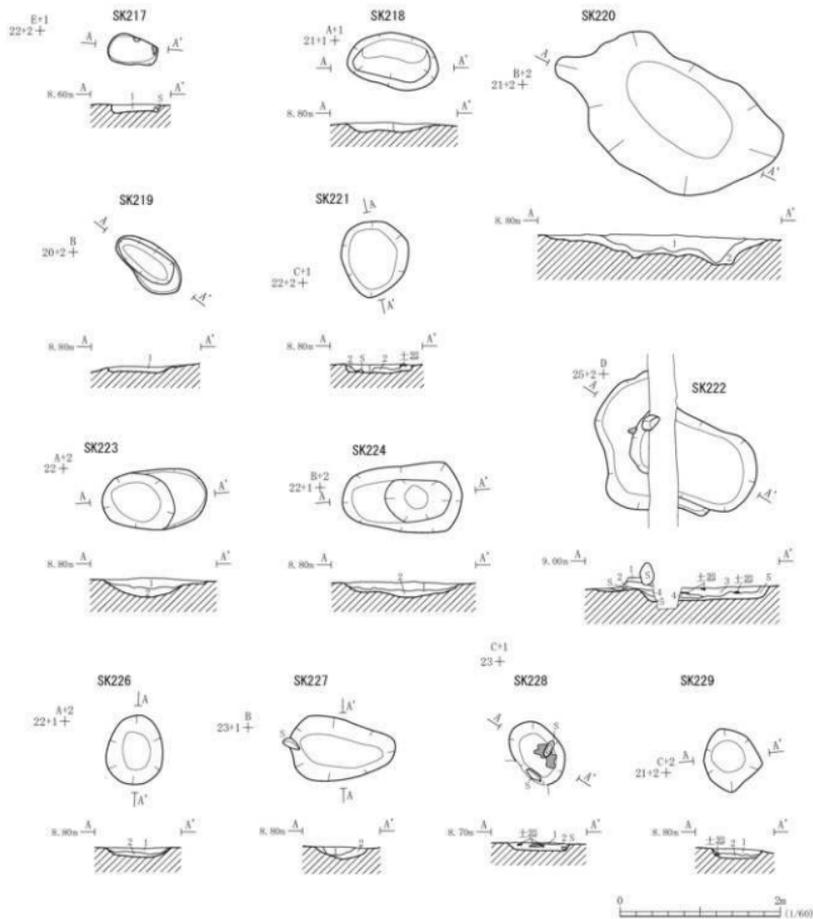
第 21 図 VII 層 II 区 埋設土器出土遺物 (2)



No.	発跡番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-183	204 埋設土器	織文土器	深鉢	横文交差組・斜位施文		31-3

第 22 図 VII 層 II 区 埋設土器出土遺物 (3)

土 坑

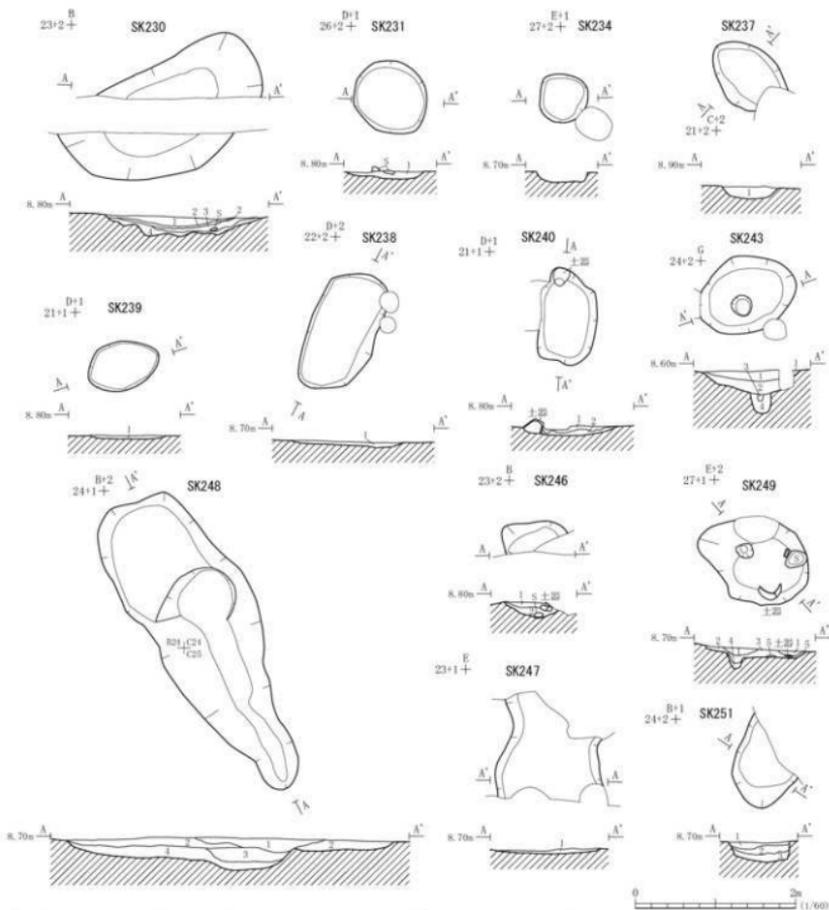


SK	層位	土色	土性	備考
217	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	砂粒少量、炭化物粒を含む。
218	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	黒褐色ブロックを少量含む。
219	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多数を含む。
220	1	7.5YR2/3 暗緑褐色	シルト	炭化物・炭土粒を含む。
	2	10YR1/7.5 黒	シルト	炭化物・炭土粒を含む。
221	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物粒を含む。
	2	10YR1/4 黒	シルト	黒褐色シルト粒を少量含む。
	3	7.5YR2/1 黒	砂質シルト	炭化物、小礫を含む。
222	1	10YR1/7.5 黒	砂質シルト	炭化物少量、小礫(4粒×1粒)を含む。
	2	10YR1/4 黒	粘土質シルト	炭化物、小礫、骨片を含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物、骨片を含む。
	5	10YR1/2 に近い黄褐色	粘土質シルト	炭化物、小礫を含む。

SK	層位	土色	土性	備考
223	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物を少量含む。
	2	10YR1/4 黒	シルト	炭化物を少量含む。
224	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR1/4 黒	シルト	黒褐色シルト粒を少量含む。
226	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
	2	10YR1/4 黒	シルト	炭化物粒を含む。
227	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物粒を多数を含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒褐色シルト粒を少量含む。
228	1	5YR1/4 赤褐色	シルト	層面。
229	2	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	
	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	明黄色粘土ブロックを含む。
2	10YR1/4 黒	シルト	黒褐色シルト粒を含む。	

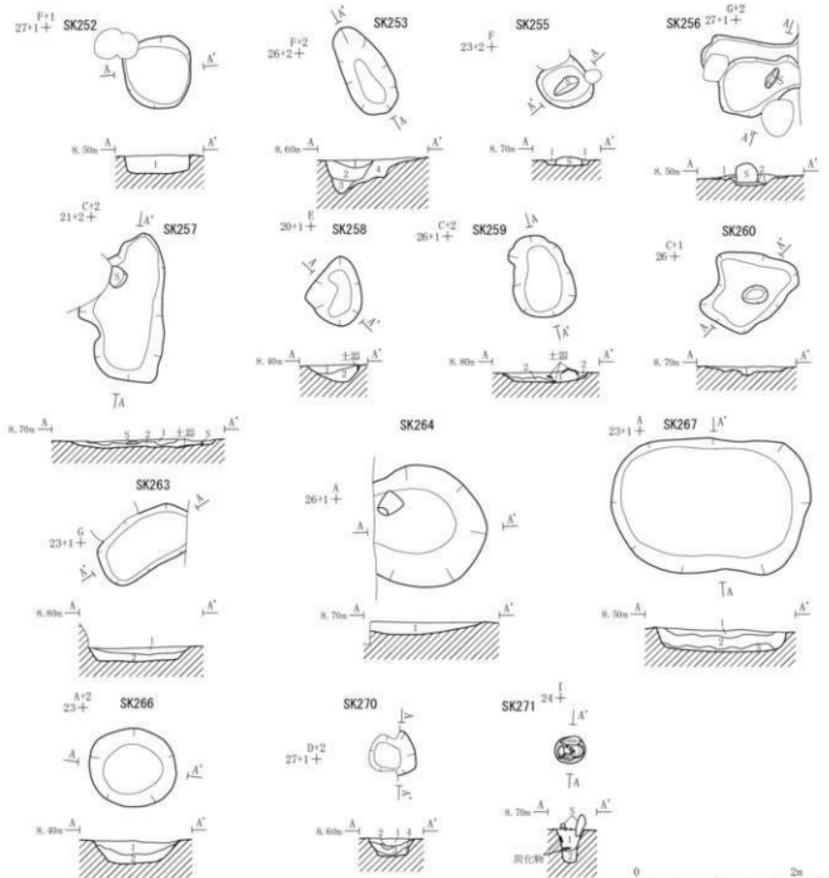
第 23 図 Ⅴ層Ⅱ区土坑(1)

1. VII 層



SK	層位	土色	土性	備考
230	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物多量、骨片多量を含む。
	2	10YR4/6 黄	シルト	炭化物を少量含む。
	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・骨片を多量に含む。
	4	10YR1/4 黒	シルト	炭化物を多量に含む。
231	1	7.5YR2/1 黒褐色	粘土	炭化物を多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	黒褐色シルトブロック、炭化物を含む。
236	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	骨片を多量に含む。
239	1	10YR2/1 黒褐色	シルト	炭化物・骨片を多量に含む。
240	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物・骨片を多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物を少量含む。
241	1	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	炭化物・黄褐色土塊を含む。
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	炭化物・黄褐色土塊を含む。
	3	10YR6/3 に近い黄緑	粘土	
	4	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物を含む。
246	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物多量、骨片を少量含む。
	2	10YR5/8 黄褐色	シルト	炭化物を少量含む。
247	1	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	炭化物・黄褐色土を含む。
	1	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	2	2.5YR/3 に近い黄	シルト	炭化物を含む。
	3	2.5YR/3 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
248	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物を含む。
	2	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR4/7 黄	シルト	炭化物を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を少量含む。
251	1	7.5YR5/4 に近い黄	シルト	炭化物を含む。
	2	7.5YR5/3 に近い黄	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR5/4 に近い黄褐色	シルト	炭化物を含む。

第 24 図 VII 層 II 区 土坑 (2)

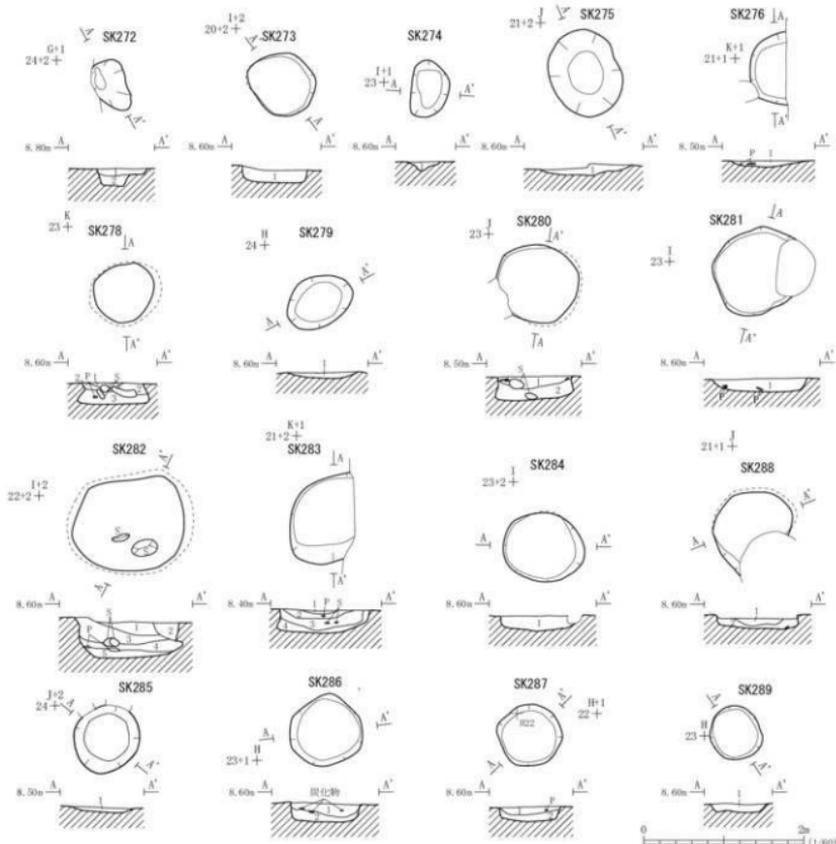


SK	層位	土色	土性	備考
252	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	黄褐色土・灰化物を含む。
	2	2.5Y5/1 に近い黄	粘土質シルト	黄褐色土ブロックを含む。
	3	2.5Y5/3 黄褐色	粘土質シルト	灰化物を含む。
	4	7.5YR4/2 灰褐色	粘土質シルト	灰化物・埴土を含む。
253	1	10YR4/4 褐色	シルト	灰化物・小礫 (φ 0.5mm~1cm) を含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	
256	1	10YR6/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
	2	7.5YR6/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
257	1	2.5Y3/1 黄褐色	砂質シルト	灰化物を含む。
	2	2.5Y3/3 黄褐色	粘土質シルト	
258	1	7.5YR3/4 暗褐色	シルト	灰化物・埴土を微量含む。
	2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	灰化物を多量に含む。
259	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	灰化物・小礫 (φ 1~3cm) を含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	灰化物・小礫 (φ 1~3cm) を微量含む。
260	1	5YR3/2 暗赤褐色	粘土質シルト	灰多量、埴褐色土を含む。

SK	層位	土色	土性	備考
263	1	10YR3/1 黒褐色	粘土	灰化物を含む。
	2	10YR2/2 黒褐色	粘土	暗褐色粘土を含む。
264	1	7.5YR3/2 暗褐色	粘土質シルト	灰化物を含む。
266	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	灰化物を微量含む。
267	1	10YR4/4 に近い黄褐色	粘土質シルト	
	2	10YR3/3 に近い黄褐色	粘土	黄褐色土ブロック・灰化物を含む。
	3	10YR6/4 に近い黄褐色	粘土	
270	1	10YR6/4 に近い黄褐色	粘土質シルト	灰化物を含む。
	2	10YR6/3 に近い黄褐色	砂質シルト	
	3	10YR6/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	灰化物を含む。
271	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	灰化物を含む。
	2	7.5YR5/4 に近い暗褐色	シルト質粘土	灰化物を多量に含む。

第 25 図 Ⅷ層Ⅱ区土坑 (3)

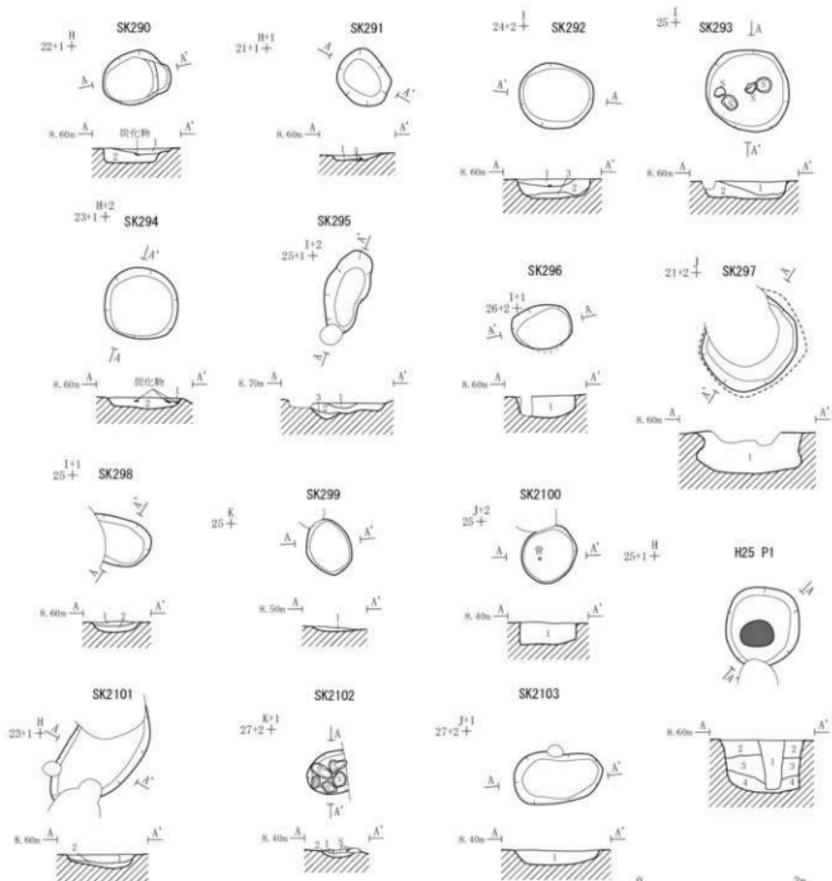
1. VII 層



SK	単位	土色	土性	備考
272	1	10R8/2 灰黄緑	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	2	10R8/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
273	1	10R8/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・磁石を含む。
274	1	10R8/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
275	1	10R8/2 灰黄緑	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
276	1	10R8/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・細砂を含む。
278	2	10R8/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10R8/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトを多量に含む。
279	1	10R8/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・磁石を含む。
280	1	7.5R8/3 に近い黄緑	砂質シルト	大きめの炭化物を含む。
	2	7.5R8/4 黒	粘土質シルト	炭化物・粘土ブロックを多量に含む。
281	1	10R8/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・褐色粘土を含む。
282	1	7.5R8/4 に近い黄緑	砂質シルト	炭化物・磁石を含む。
	2	7.5R8/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・磁石を含む。
	3	7.5R8/3 黒	粘土質シルト	炭化物・粘土・黒褐色砂質シルトを多量に含む。
	4	7.5R8/3 黒	粘土質シルト	炭化物・粘土・黒褐色砂質シルトブロックを多量に含む。
	5	7.5R8/4 黒	粘土質シルト	炭化物・粘土・黒褐色砂質シルトブロックを多量に含む。

SK	単位	土色	土性	備考
283	1	10R7/4 に近い黄緑	粘土質シルト	黒褐色砂質シルトを含む。
	2	10R8/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10R8/2 灰黄緑	粘土質シルト	炭化物・粘土・黄褐色シルト質砂を含む。
284	4	10R8/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
285	1	10R8/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
286	1	10R8/3 黒褐色	砂質シルト	炭化物・細砂を含む。
	2	10R8/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物を含む。
287	1	10R8/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10R8/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物を含む。
288	1	10R7/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトを含む。
	2	10R8/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトを含む。
289	1	10R8/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物・黄褐色シルト質砂を含む。

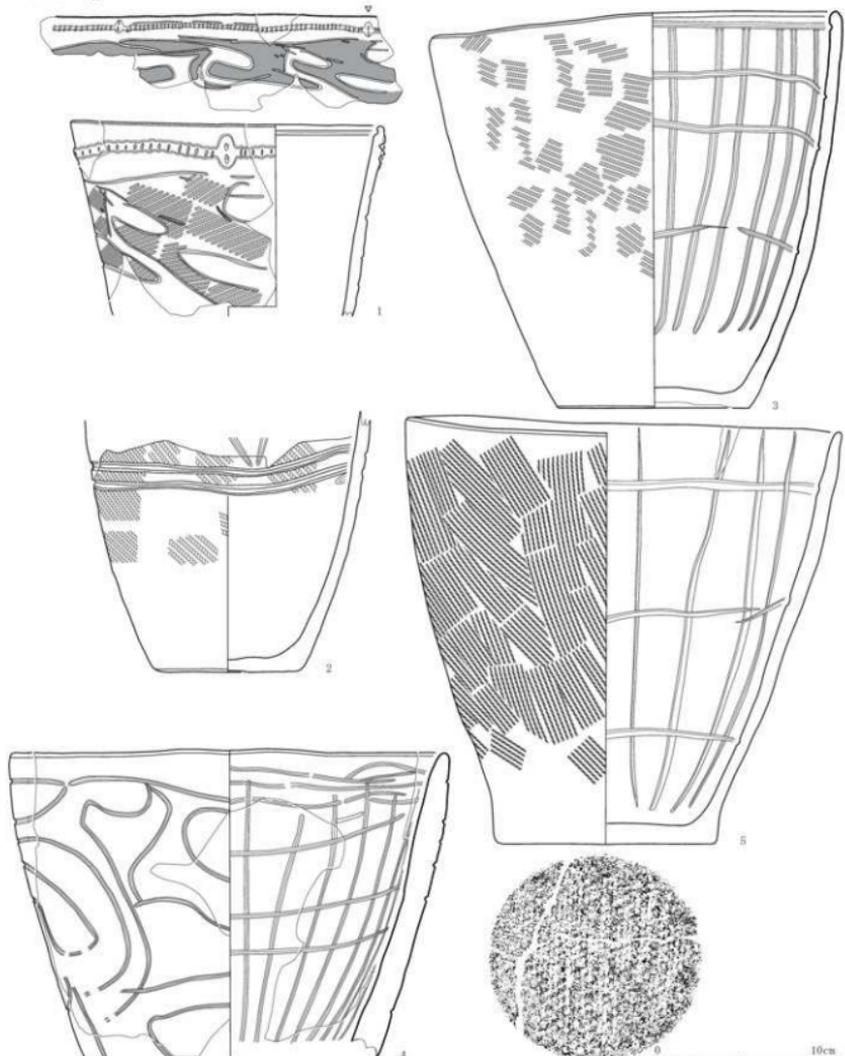
第 26 図 VII 層 II 区 土坑 (4)



SK	層位	土色	土性	備考	SK	層位	土色	土性	備考
290	1	10B5/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黒褐色シルト質砂を含む。	298	1	10B4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10B6/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。		2	10B6/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	黒褐色砂質シルトを多量に含む。
291	1	10B3/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・粘土を含む。	299	1	10B5/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・繊維を含む。比較的大きめの骨片が出土。
	2	10B7/3に赤い黄褐色	砂質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを多量に含む。		2100	1	10B4/3に赤い黄褐色	粘土質シルト
292	1	10B4/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。	2101		1	10B3/1 褐色	粘土質シルト
	2	10B3/3 暗褐色	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。		2	10B4/3に赤い黄褐色	シルト質粘土	炭化物を含む。
293	1	10B6/6 明黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。	2102	1	10B3/1 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10B4/4 黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。		2	10B4/3に赤い黄褐色	砂質シルト	炭化物を含む。
294	1	10B7/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを多量に含む。	2103	1	10B4/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。直線跡。
	2	10B4/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。		2	10B6/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	暗褐色土と互層。
295	1	10B6/6 明黄褐色	粘土質シルト	炭化物・粘土を少量含む。	0201	1	10B3/2 暗褐色	シルト質砂	黒褐色シルトと暗褐色土互層。
	2	10B5/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・粘土を少量含む。		4	10B7/3に赤い黄褐色	粘土質シルト	暗褐色土と互層。
296	1	10B5/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	炭化物・繊維を含む。					
	2	10B5/4に赤い黄褐色	粘土質シルト	暗褐色土ブロック・黒褐色土ブロック・粘土ブロックを含む。壁面に傾いた土あり。					

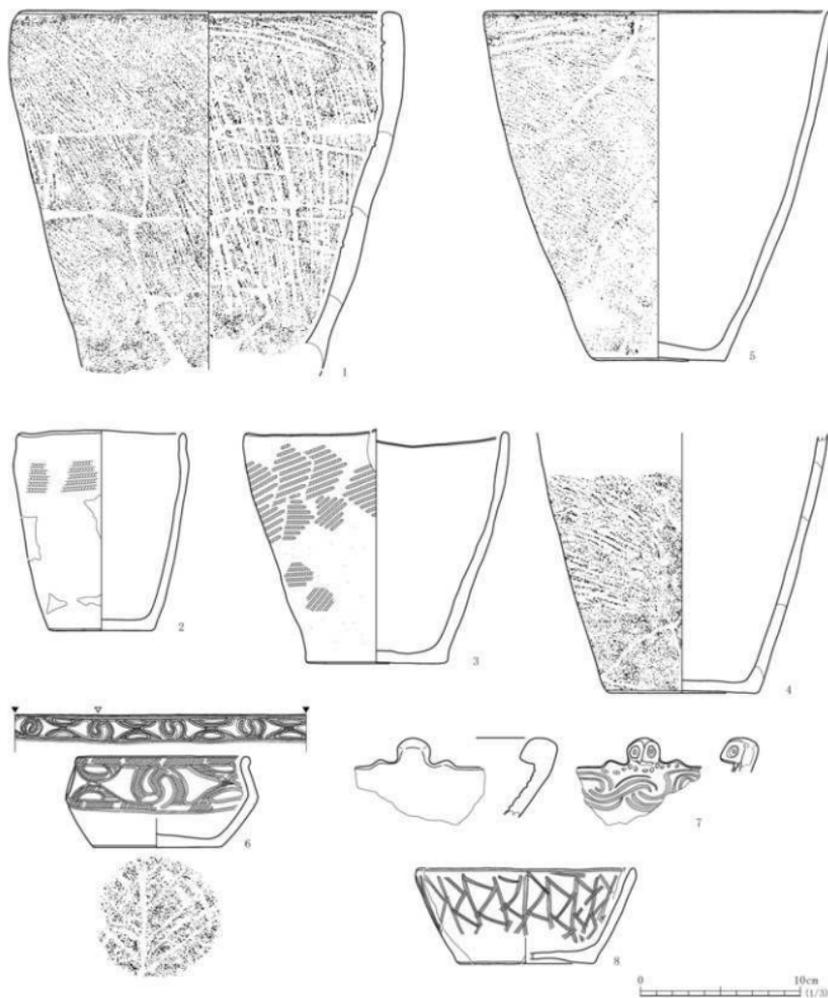
第 27 図 Ⅵ層Ⅱ区 土坑 (5)

1. VII 層



No.	登録番号	出土遺物	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	1-717	SK239	銅文土器	深鉢	外面 口縁部・縁部上に刻み目・線部・沈線文・繩文1線・横位筋文、内面 口縁部・沈線文、	—	—
2	A-014	SK261	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文並・横位筋文、	底部板状印痕。	31-4
3	A-003	SK260	銅文土器	深鉢	外面 縄文1線・横位筋文、内面 格子目状沈線文、	—	32-1
4	A-270	SK257	銅文土器	深鉢	外面 沈線文、内面 格子目状沈線文、	—	—
5	A-001	SK262	銅文土器	深鉢	外面 縄文1線・斜位筋文、内面 格子目状沈線文、	底部網代痕。	33-1

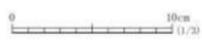
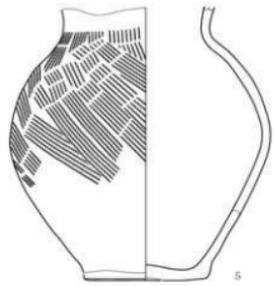
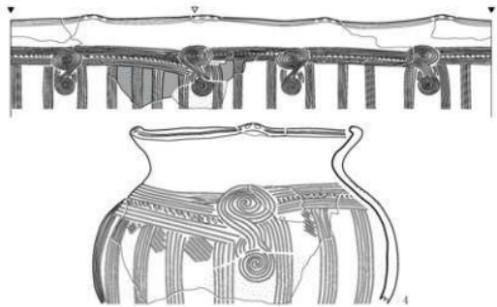
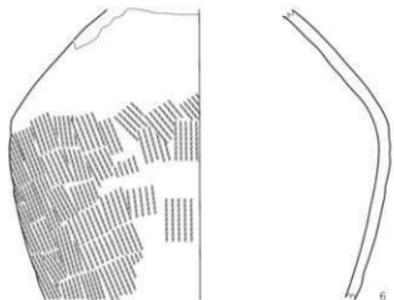
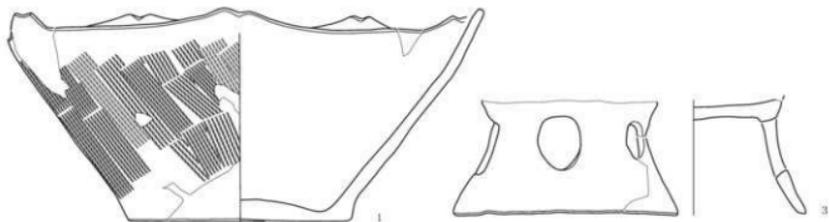
第28図 VII層Ⅱ区 土坑出土遺物(1)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-223	SK217	縄文土器	深鉢	外面 格子文・L字斜位筋文、内面 格子目状沈線文。(縦位沈線は横線状)		図-2
2	A-006	SK264	縄文土器	深鉢	縄文L字斜位筋文。		-
3	A-012	SK260	縄文土器	深鉢	縄文L字横・斜位筋文。	底欠口縁、2単位。	図-3
4	A-018	SK260	縄文土器	深鉢	格子文L字斜位筋文。		図-4
5	A-152	SK264	縄文土器	深鉢	格子文L字斜位筋文。		図-2
6	A-519	SK294	縄文土器	鉢	沈線文、縄文L字筋・縦位筋文、摺り筋し。	底面木象眼。	図-3
7	A-926	SK297	縄文土器	浅鉢	内面 沈線文、刺突文。	鳥居形突起。A-927 (第36 図3) と同一個体也。	図-4
8	A-924	SK221	縄文土器	浅鉢	沈線文。		図-5

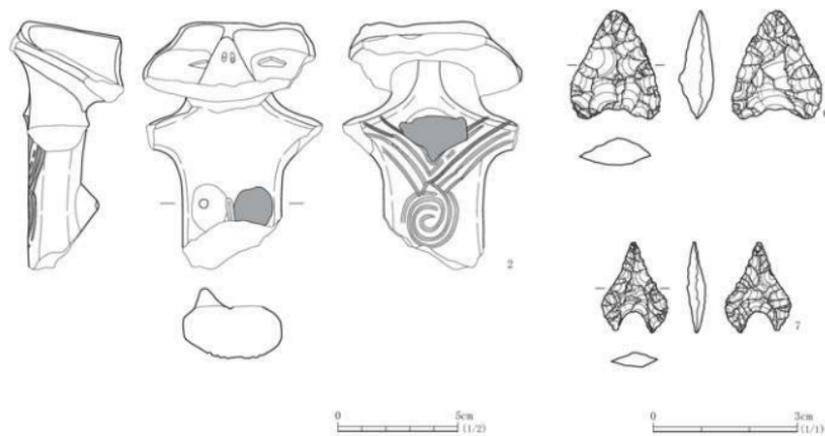
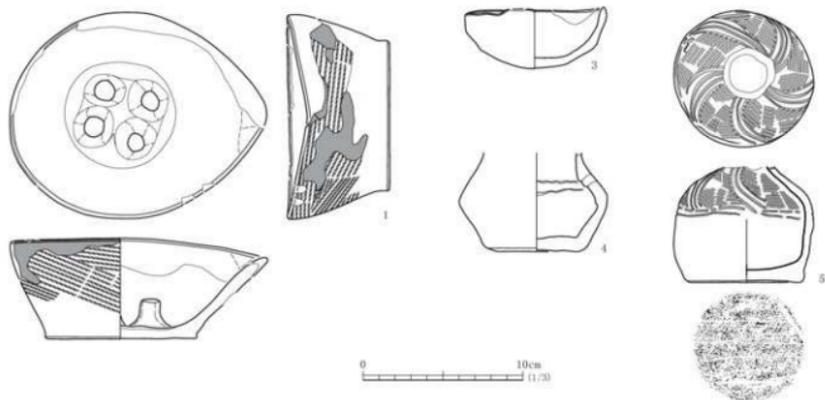
第29図 VII層Ⅱ区 土坑出土遺物(2)

1. VII 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-756	SK200	縄文土器	浅鉢	斜向文字斜位施文。	磨光口縁。5単位。底面割代取。	23-6
2	A-513	SK203	縄文土器	有付鉢	縄文18段・斜位施文。	磨光口縁。3×5所。受器内面縦線磨付痕。	54-1
3	A-519	SK259	縄文土器	有付鉢	—	磨光口縁。5×5所。	54-2
4	A-756	SK220	縄文土器	盆	垂条状織文。斜向文。縄文18段位施文。	磨光口縁。4単位。	54-3
5	A-563	SK200	縄文土器	盆	斜向文字縦・斜位施文。	—	—
6	A-669	SK282	縄文土器	盆	斜向文字縦・斜位施文。	—	54-4

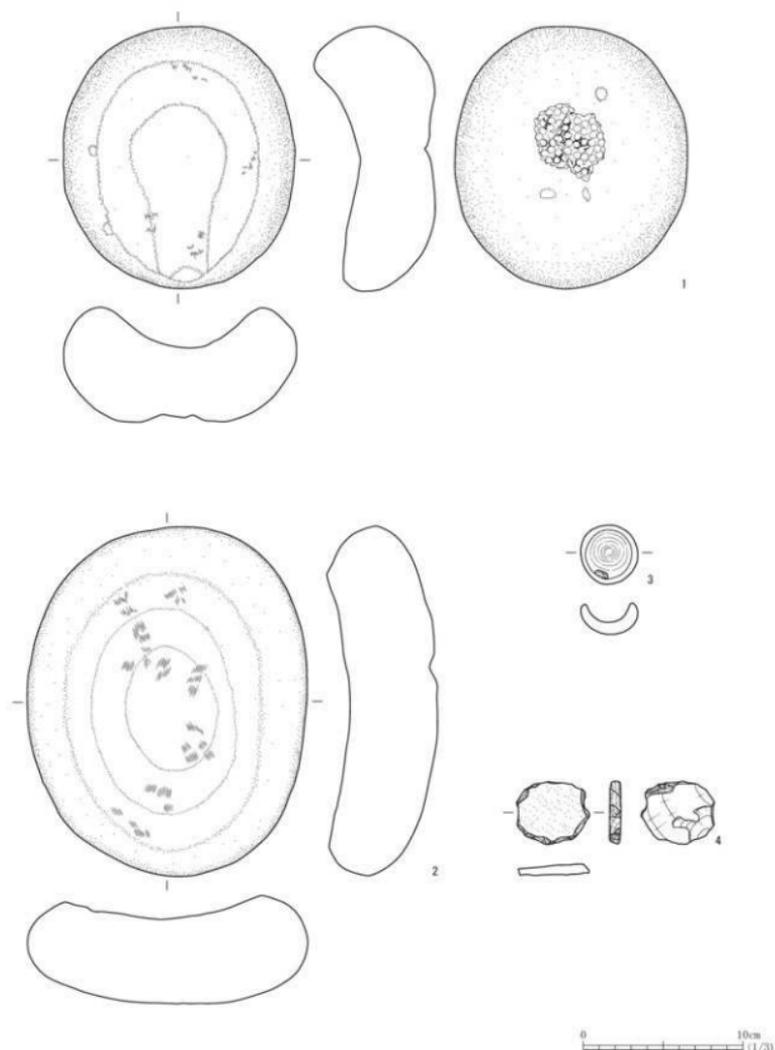
第30図 VII層Ⅱ区 土坑出土遺物 (3)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版				
1	A-955	SK280	縄文土器	特殊土器	熊倉文王科位施文。	片口状。外面斜縁状。器底刻線。内面底辺突起4×所。	54-5				
No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等		備考	写真図版				
2	Fe-407	SK280	土器	沈線文。		柄・胸・胴部片。綜合状。	54-6				
3	Fe-366	SK282	ニニチュウア			沈線。	-				
4	Fe-362	SK279	ニニチュウア			鉢。内面輪縁状。	-				
5	Fe-364	SK280	ニニチュウア	沈線文。縄文球紋位施文。		底。底辺不明位置（二重木葉柄小）。	-				
No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
6	K-1261	SK272	石鏃	鈍状石	Ka-a3-1	2.3	1.9	0.7	2.1		54-8
7	K-1411	SK248	石鏃	鈍状石	Ka-a3-2-1	1.9	1.1	0.4	0.6		54-7

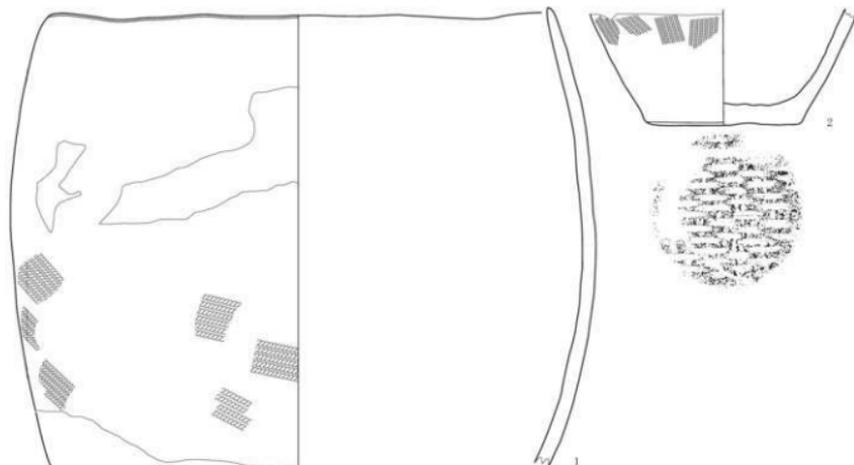
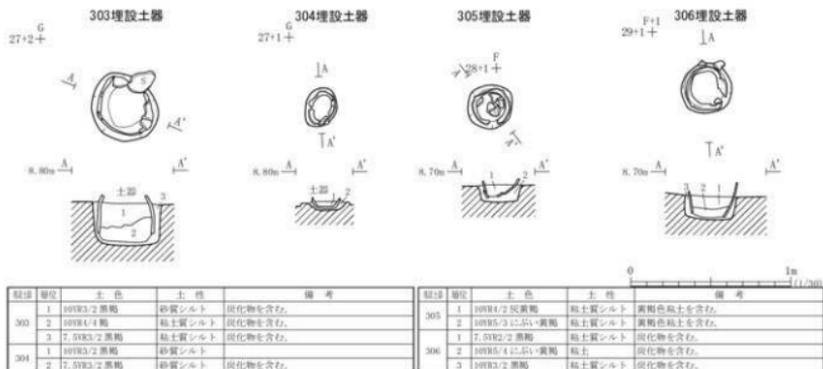
第31図 Ⅷ層Ⅱ区 土坑出土遺物 (4)

1. VII 層



No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Kc-122	SK203	石器	安山岩	Ke-r	16.7	14.5	7.5	1,922.0		図-1
2	Kc-110	SK280	石器	安山岩	Ke-r	22.2	17.5	6.7	3,240.0		図-9
3	Kc-046	SK224	石器	凝灰岩	Kc-h	3.8	3.6	2.0	25.1		図-2
4	Kc-019	SK253	石製刀鏃	流紋岩	Kc-h	4.0	4.5	0.6	16.9		-

第32図 VII層Ⅱ区 土坑出土遺物 (5)

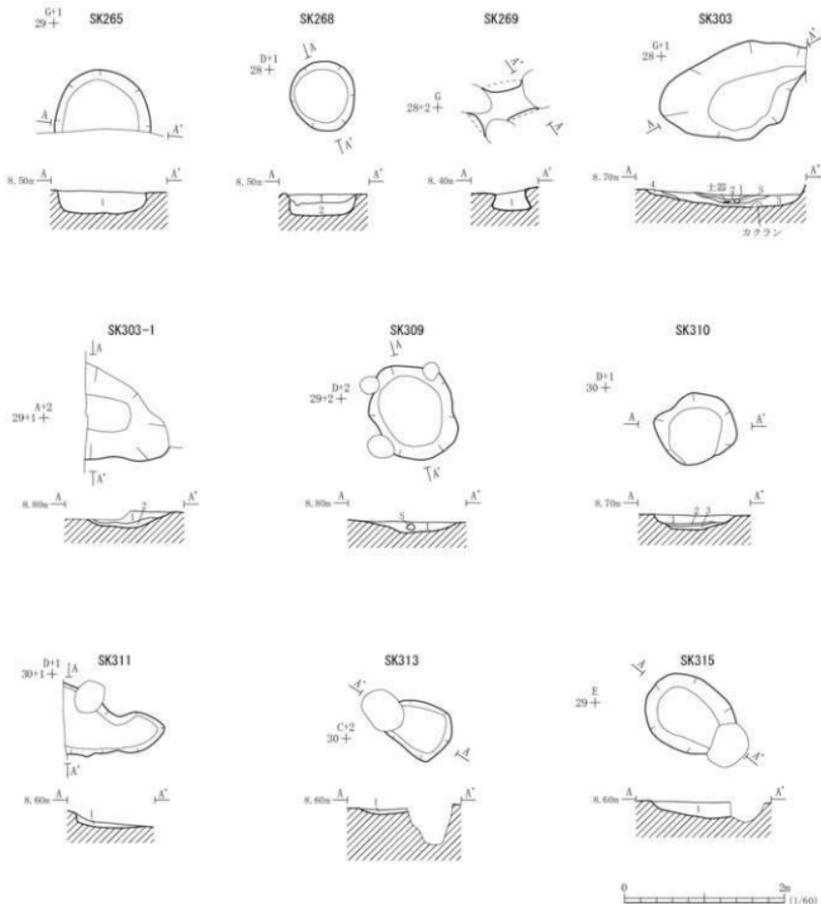
2) III 区
埋設土器

No.	発掘番号	出土遺構	種別	部類	文様等	備考	写真図版
1	A-366	303 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文1群・斜位黒文。		図-3
2	A-368	304 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文1群・斜位黒文。	底面網気。	-

第33図 VII第III区 埋設土器・埋設土器出土遺物

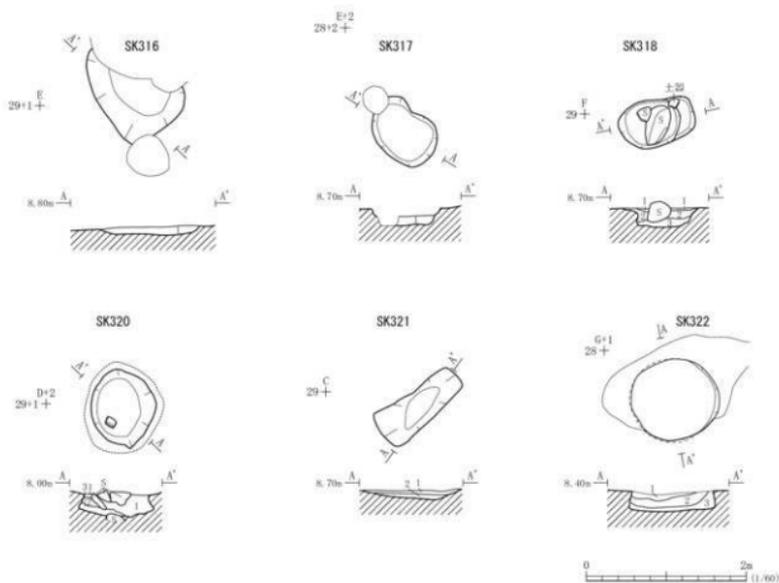
1. VII 層

土坑



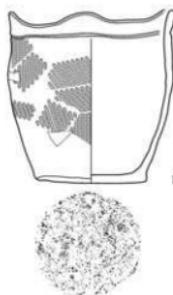
SK	層位	土色	土性	備考	SK	層位	土色	土性	備考
265	1	10YR5/4 に近い・黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。黄褐色土ブロックを多量に含む。	303	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物を含む。
	2	10YR5/3 に近い・黄褐色	粘土質シルト			2	2.5YR/4 に近い・黄褐色	粘土	炭化物を含む。
268	1	10YR5/3 に近い・黄褐色	粘土質シルト		309	1	10YR4/3 に近い・黄褐色	砂質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR5/3 に近い・黄褐色	粘土質シルト	黄褐色土ブロック多量。炭化物を含む。	310	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物・煤土粒・骨片を含む。
1	10YR5/1 に近い・黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。	1		10YR3/3 に近い・黄褐色	シルト	炭化物を多量に含む。	
1	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物を含む。	2		10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物・煤土・骨片を含む。	
2	10YR6/3 に近い・黄褐色	粘土	炭化物・煤土を含む。	3		2.5YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・煤土・骨片を含む。	
300	3	10YR4/3 に近い・黄褐色	粘土質シルト	炭化物・煤土を含む。	311	1	2.5YR4/2 暗褐色	砂質シルト	炭化物を含む。
	4	10YR5/3 に近い・黄褐色	粘土質シルト	炭化物・煤土を含む。	312	3	2.5YR4/2 暗褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。
					313	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黄褐色土ブロックを含む。
					315	1	10YR4/2 灰黄褐色	粘土質シルト	炭化物・黄褐色土ブロックを含む。

第 34 図 VII 層 III 区 土坑 (1)



SK	層位	土色	土質	備考
246	1	50R3/1黒褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。
317	1	10YR4/3にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
318	1	10YR3/3暗褐色	シルト	炭化物粒、骨片を含む。
	2	10YR4/4暗	シルト	炭化物多量、酸化鐵(φ1cm程度)を含む。
	3	10YR3/4暗褐色	粘土質シルト	燐土粒、炭化物、骨片を含む。
320	1	10YR3/3暗褐色	シルト	炭化物・燐土粒・骨片・磁を含む。
	2	10YR3/3暗褐色	粘土質シルト	炭化物・紅色シルト・ブロンズを含む。
	3	7.5YR3/4暗褐色	シルト	炭化物・燐土を含む。

SK	層位	土色	土質	備考
321	1	10YR2/1黒	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	2.5YR/3にぶい黄褐色	シルト	
322	1	10YR6/4にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	2	10YR5/4にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	3	10YR5/3にぶい黄褐色	粘土	炭化物を含む。



No.	発跡番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-367	SK310	縄文土器	深鉢	浅線文、縄文1.8回・斜位施文。	胴取口縁、4単位、底部木鼻痕。	35-4

第35図 VII層Ⅲ区 土坑(2)・土坑出土遺物

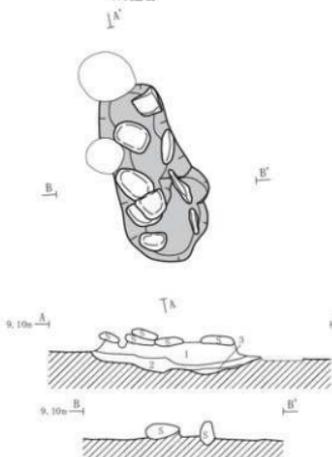
1. VII 層

3) IV 区 配石

B
37+

1:1
41+

413配石

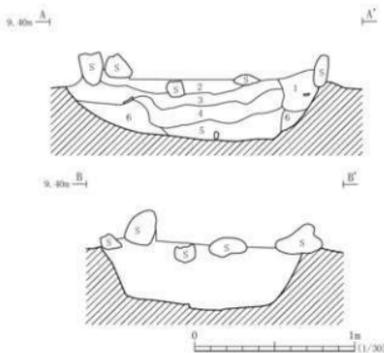
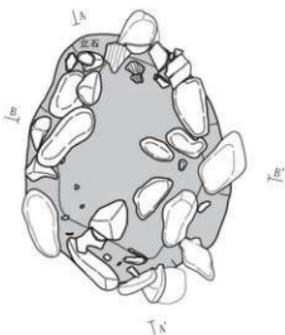


411配石



F=2
38+2+

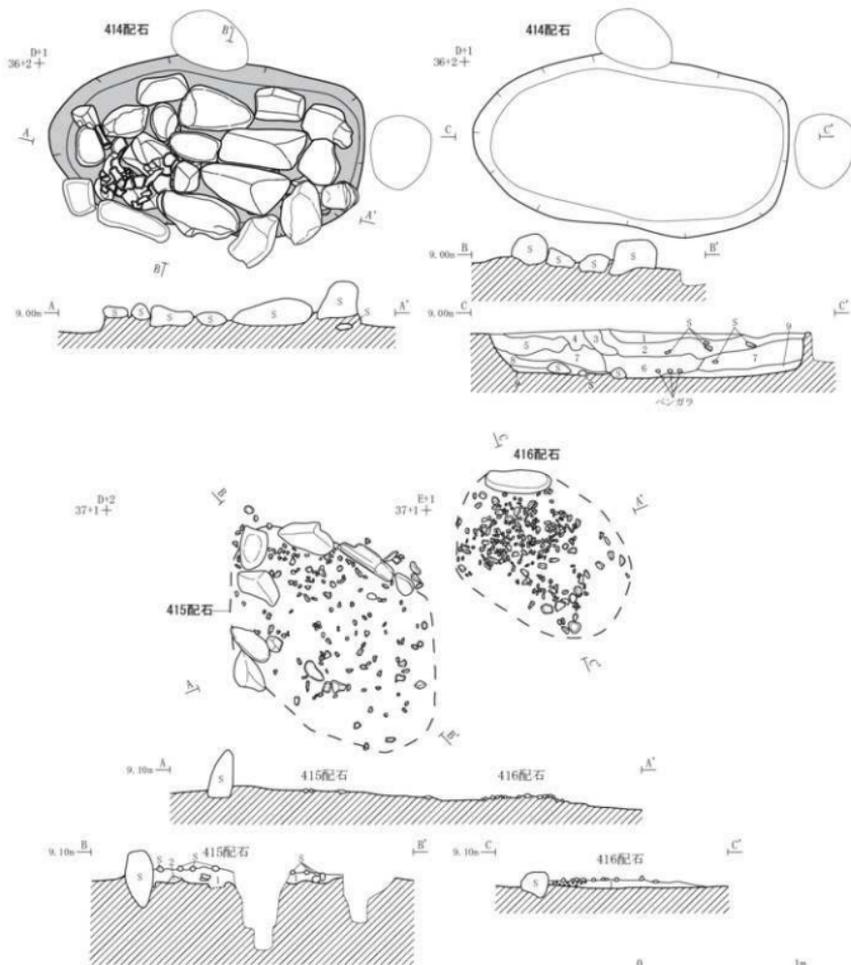
412配石



配石	層位	土色	土性	備考
412	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。線状の抜け殻跡。
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	3	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	4	10YR4/4 褐色	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	5	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	底面直上に骨粉を多量に含む。
	6	10YR4/4 褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色砂質シルトブロック。

配石	層位	土色	土性	備考
413	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・粘土粒・骨粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 褐色	シルト質砂	混在。
	3	10YR2/4 暗褐色	シルト	

第 36 図 VII層IV区 配石 (1)

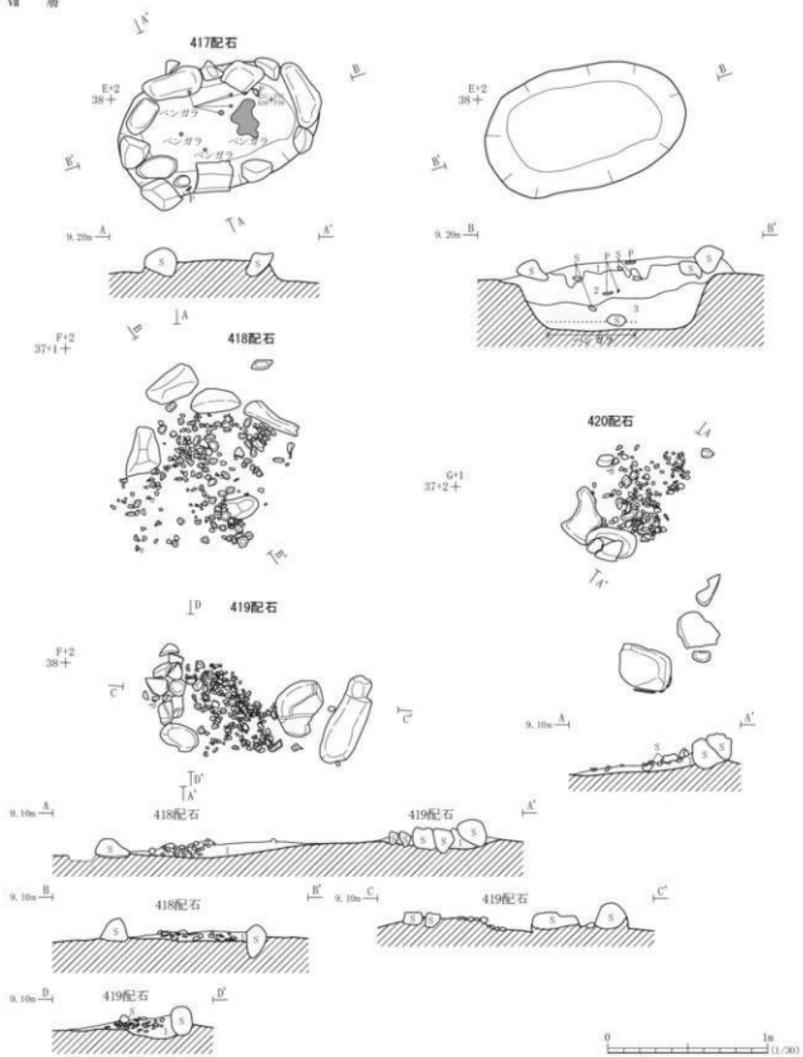


配石	層位	土色	土性	備考
414	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	土器片多い。燻土粒・炭化物粒・骨片を含む。
	3	10YR2/4 暗褐色	シルト	
	4	10YR2/3 暗褐色	シルト	土器片多い。燻土粒・炭化物粒・骨片を含む。
	5	2.5YR4/4 暗赤	シルト質砂	炭化物粒多量を含む。
	6	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒・燻土粒・骨片・ベンガラを含む。
	7	2.5YR4/4 暗赤	シルト質砂	土器片・炭化物粒・燻土粒を微量含む。
	8	2.5YR4/4 暗赤	シルト質砂	
	9	10YR3/4 暗褐色	シルト	中央部を縦まわすく平直に分布。

配石	層位	土色	土性	備考
415	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・燻 (φ 3mm~50mm) を多量に含む。
	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	暗褐色シルト粒・燻 (φ 3mm~5cm) を多量に含む。

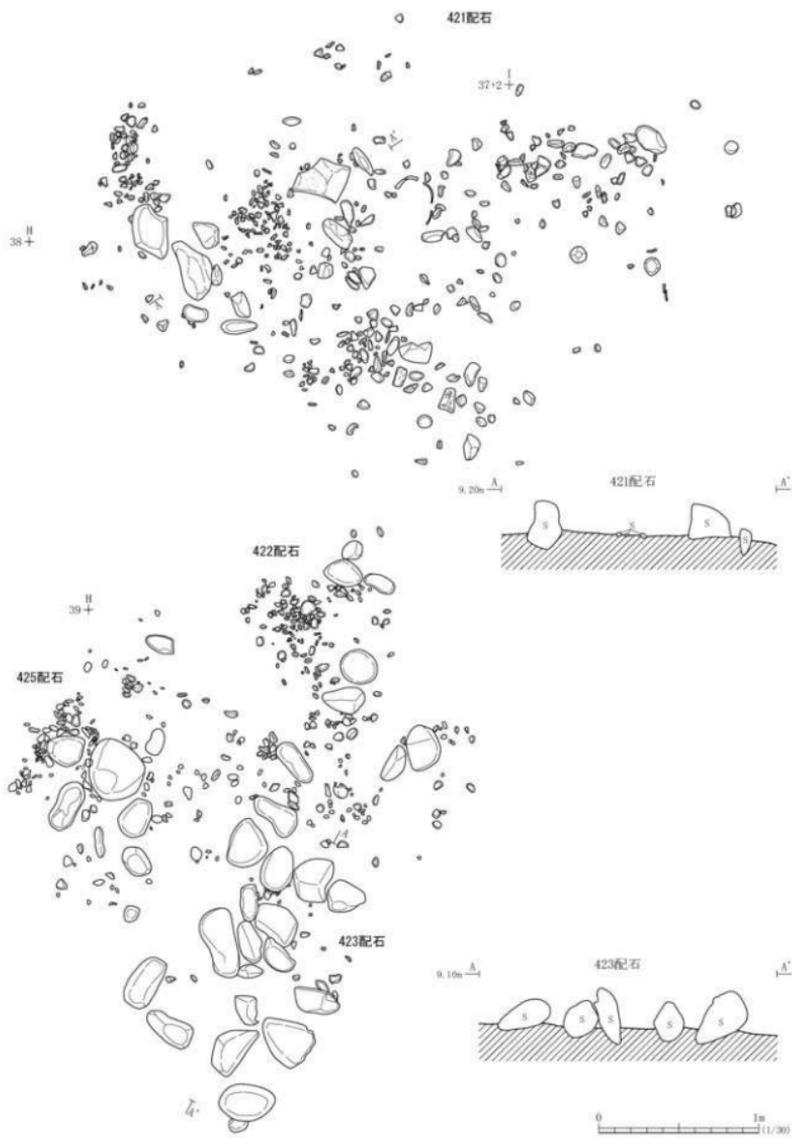
第 37 図 Ⅷ層Ⅳ区 配石 (2)

1. VII 層

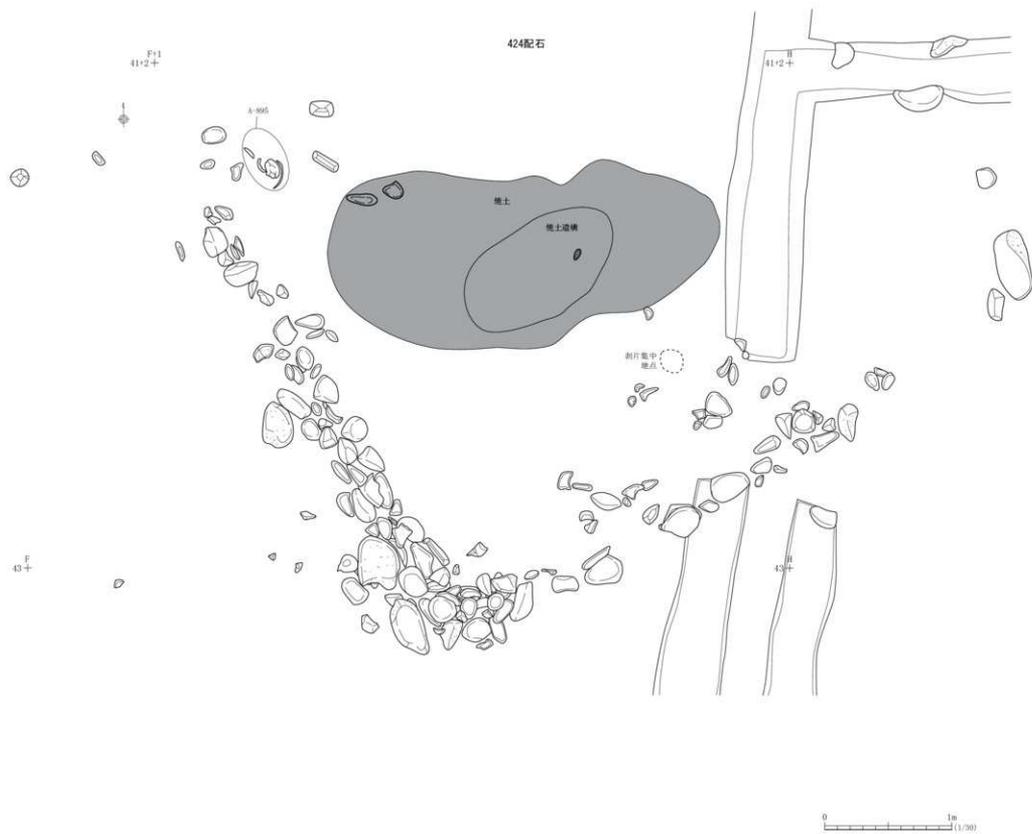


配石	層位	土色		土性	備考	配石	層位	土色		土性	備考
		1	2					1	2		
417	1	10YR6/1	にぶい黄砂	シルト	黒褐色シルトを含む。	418	1	10YR4/4 暗	10YR2/2 黒粘	シルト	黒色、炭化物少量、増粘色・褐色土小粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗粘		シルト	にぶい黄砂系シルト小ブロック、炭化物を多量に含む。(人為堆土)	419	1	10YR4/4 暗		シルト	
	3	10YR4/4 暗		シルト	増粘色シルト・褐色シルト質砂・炭化物を多量に含む。表面の直上にベンガラ少量認められる。(人為堆土)	420	1	7.5YR4/4 暗	10YR2/2 黒粘	シルト質砂シルト	黒色、小礫(φ 2mm~10cm)を多量に含む。

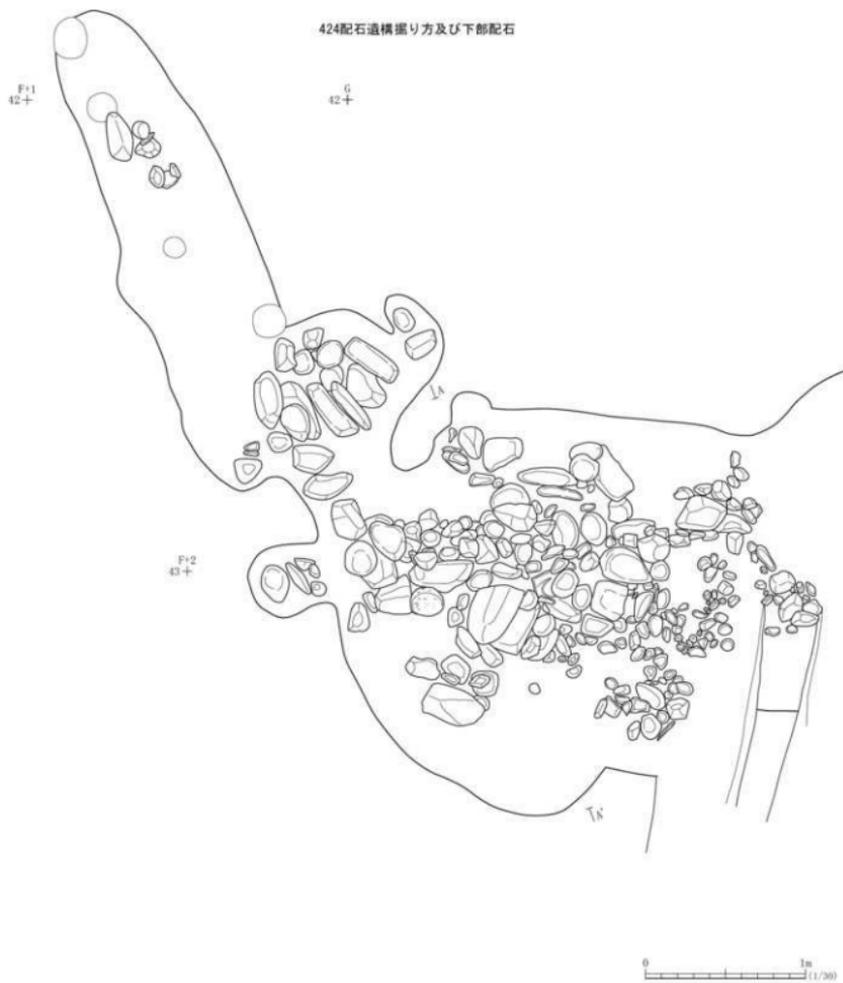
第 38 図 VII層IV区 配石 (3)



第39図 VII層IV区 配石 (4)

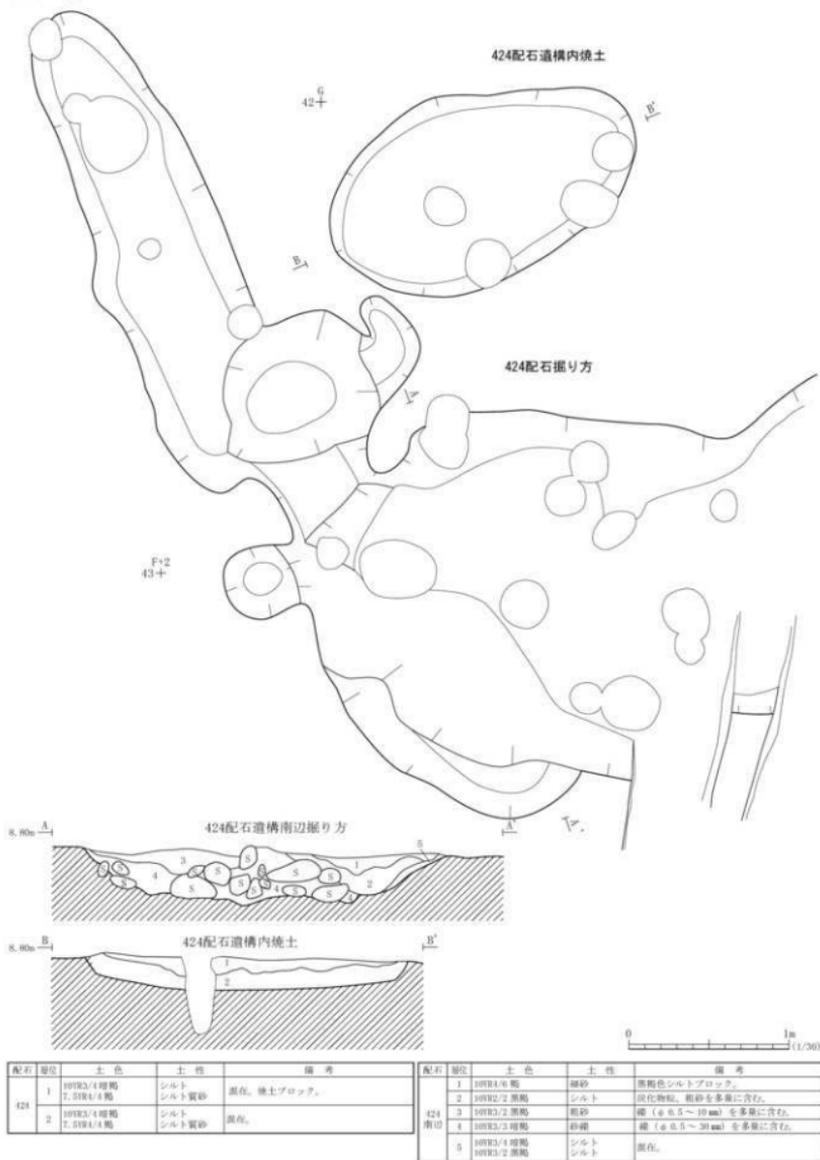


第40図 Ⅴ層Ⅳ区 配石 (5)

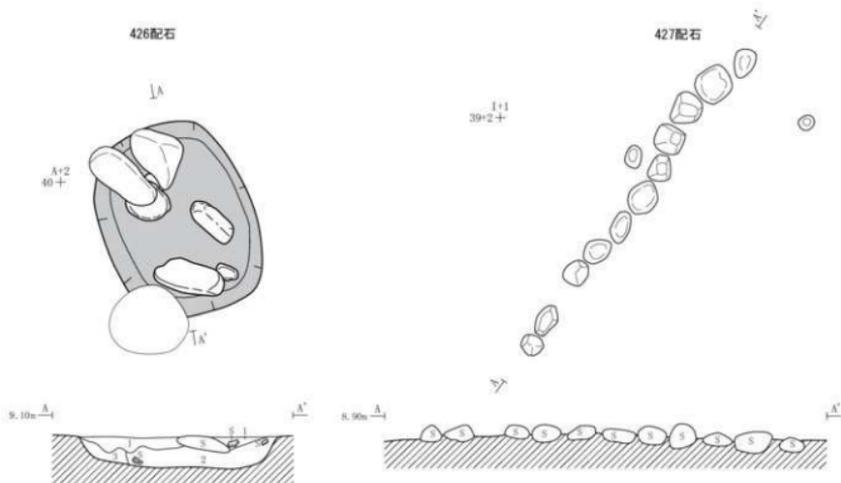


第41図 VI層IV区 配石(6)

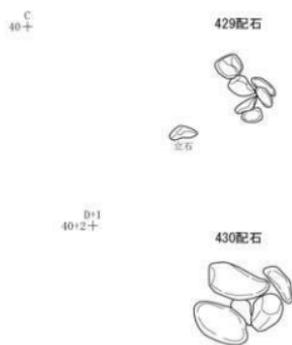
1. VII 層



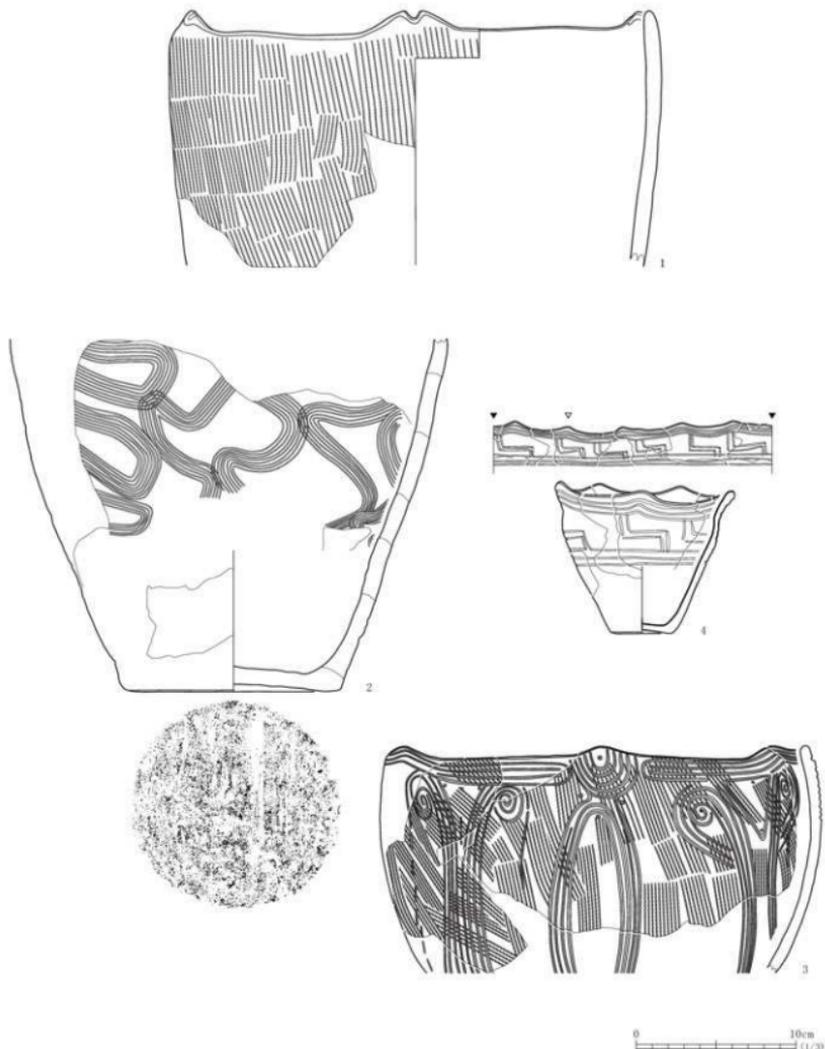
第42図 VII層IV区 配石(7)



配石	層位	土色	土性	備考
426	1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐色 7.5YR4/4 粘	シルト質砂	基岩。

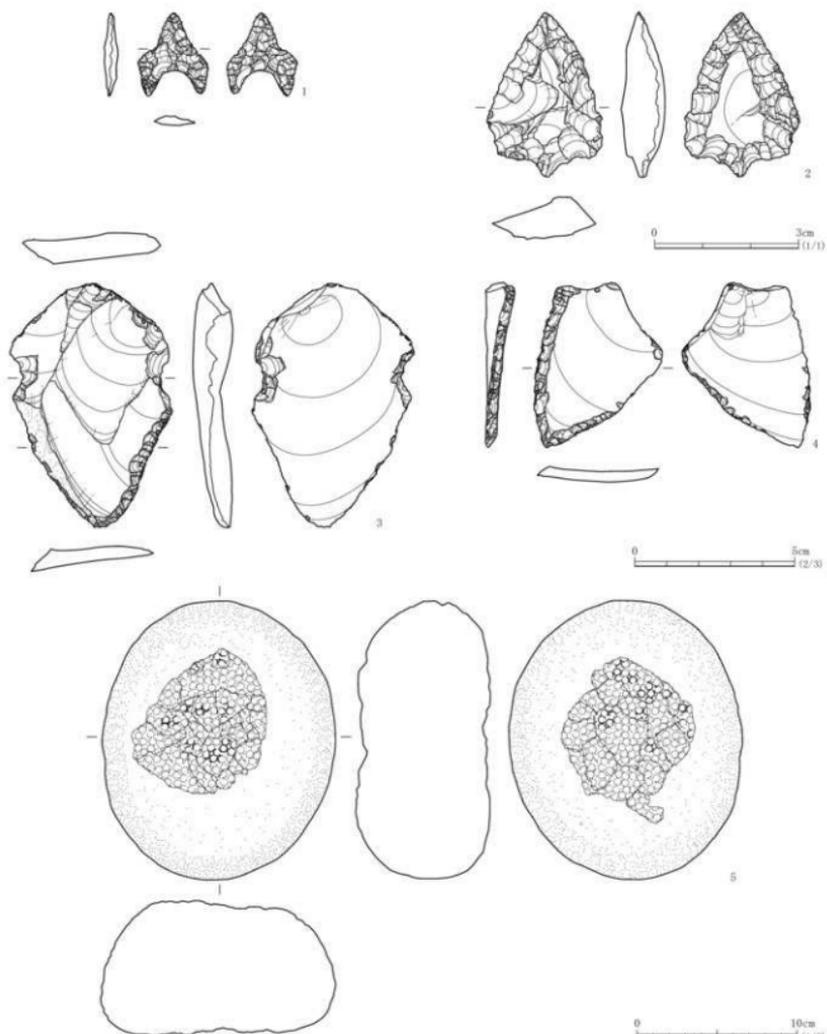


第43図 VII層IV区 配石 (8)



No.	登録番号	出土遺構	種別	図様	文様等	備考	写真図版
1	A-678	414 配石	織文土器	頂鉢	饒南文×縦位施文。	段状口縁。6 単位。	-
2	A-763	416 配石	織文土器	頂鉢	饒南文×沈線文。	直筒木蓋付。	-
3	A-895	424 配石	織文土器	頂鉢	多色沈線文、朝霞文、饒南文×縦・斜位施文。	段状口縁。	図-5
4	A-280	425 配石	織文土器	鉢	沈線文。	段状口縁。5 単位。	図-6

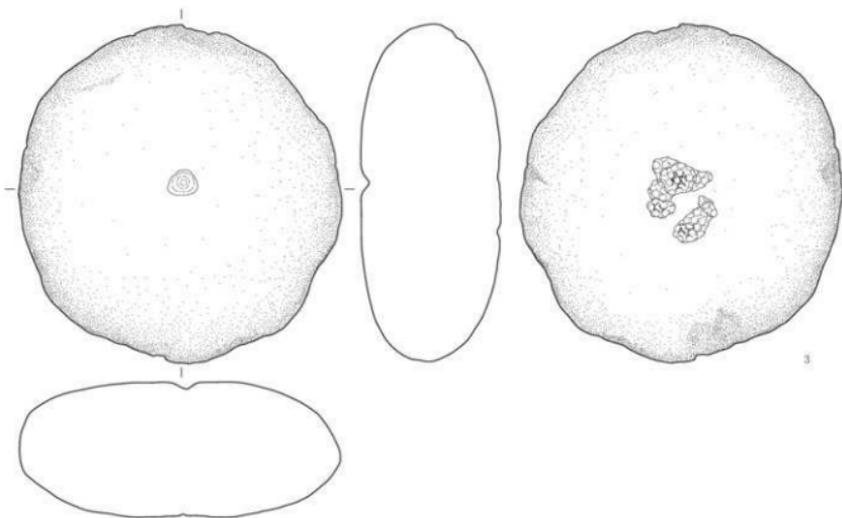
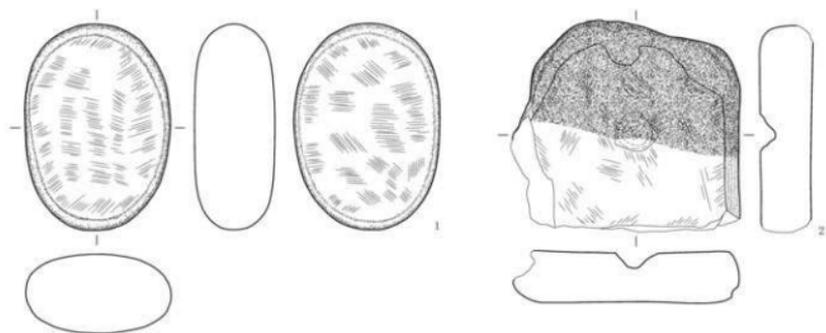
第 44 図 VII 層 IV 区 配石出土遺物 (1)



No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	方位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	K-0332	417配石北端	石鏃	珉質頁岩	Ka-a3-2-1	1.8	1.5	0.3	0.3		図-7
2	K-2805	414配石下	石鏃	珉質頁岩	Ka-a1-5	3.5	2.4	0.9	5.7		図-8
3	K-2896	414配石下	石鏃	珉質頁岩	Ka-a1-5	7.8	5.0	1.2	35.0		図-9
4	K-3226	414配石下	不定形石鏃	珉質頁岩	Ka-a1-8-1	5.3	4.0	0.9	11.4		図-10
5	Kc-048	415配石	圓石	安山岩	Kc-b	17.7	14.5	8.4	2,690.0		-

第45図 VII層IV区 配石出土遺物 (2)

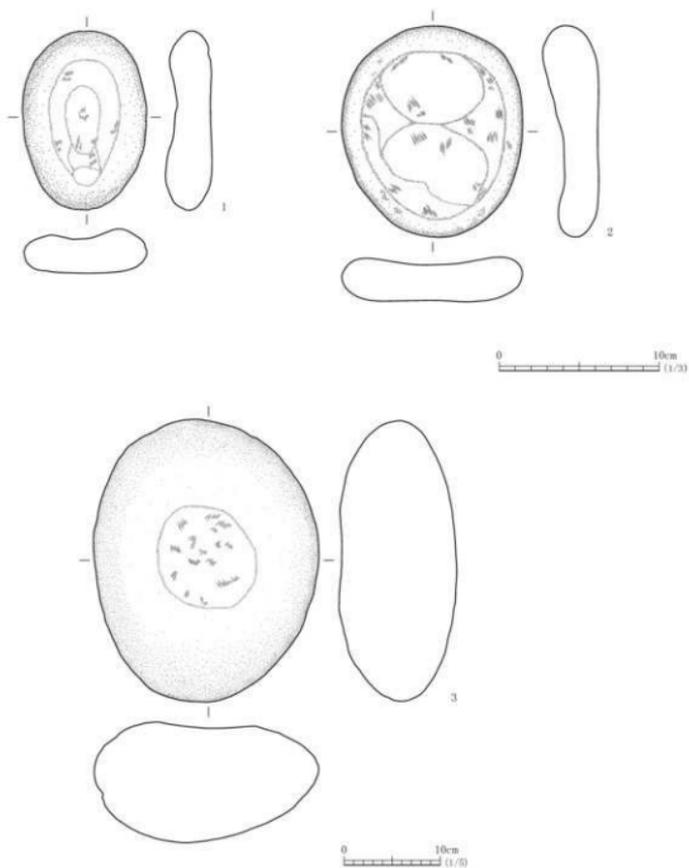
1. VII 層



0 10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	ke-002	柱礎石	磨石	安山岩	Ke-a	13.1	8.1	5.0	860.0		-
2	ke-006	柱礎石	圓石	凝灰岩	Ke-b	(13.5)	(14.3)	3.3	(830.0)	板状の石片。	-
3	ke-038	柱礎石	圓石	安山岩	Ke-b	21.6	20.0	8.7	5,500.0		36-1

第 46 図 VII層IV区 配石出土遺物 (3)

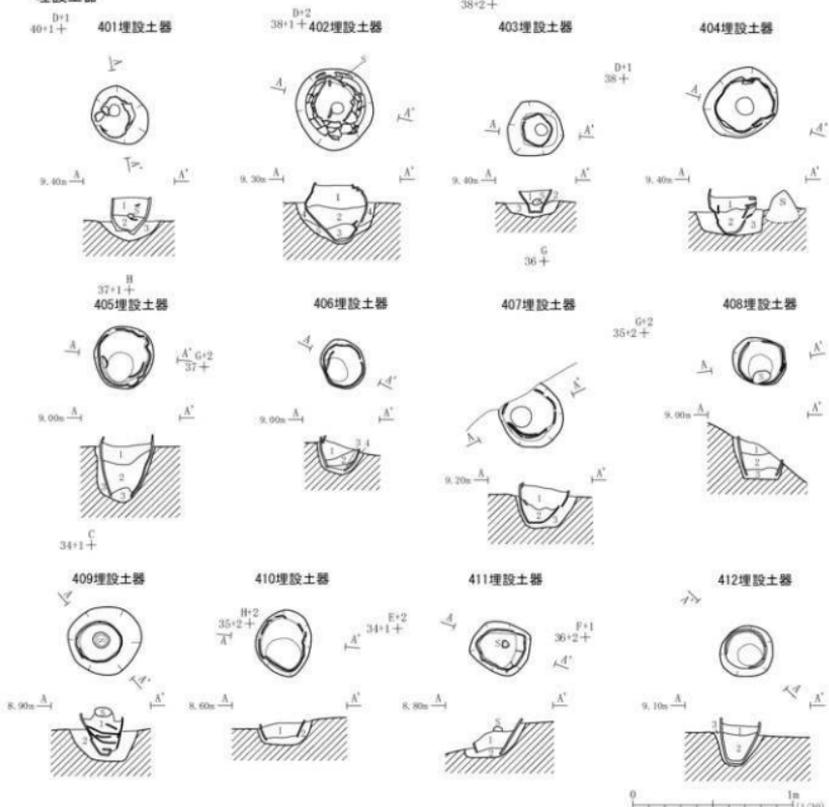


No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Ke-093	柱配石	石皿	安山岩	Ke-f	11.4	7.7	2.9	310.0		36-2
2	Ke-098	柱配石	石皿	安山岩	Ke-f	13.5	11.3	3.3	790.0		36-3
3	Ke-133	柱配石	白石	安山岩	Ke-g	39.8	23.5	12.7	10,000.0		36-4

第47図 VII層IV区 配石出土遺物 (4)

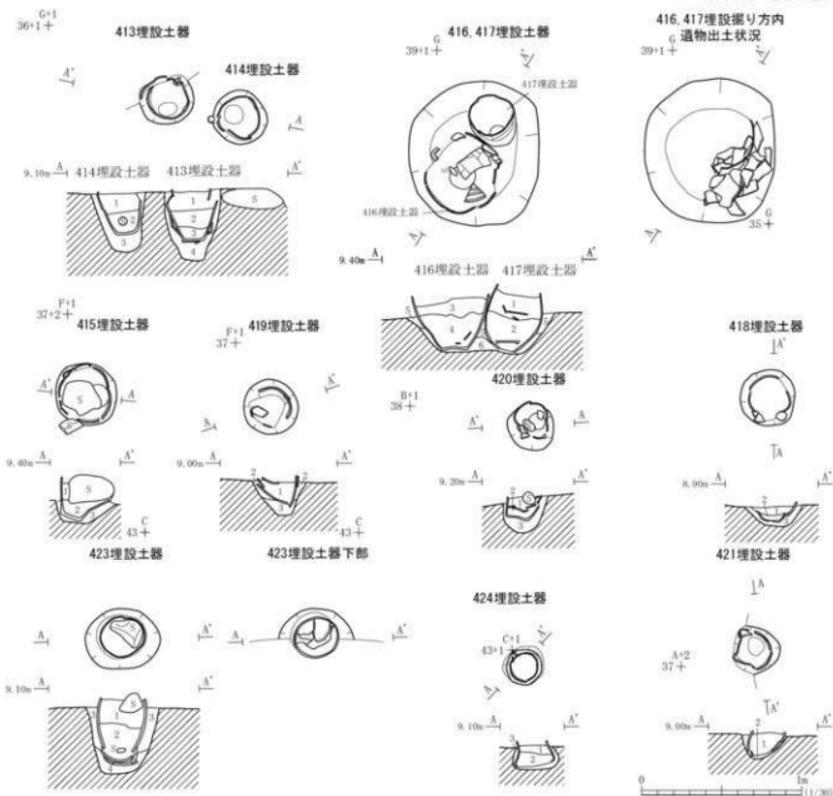
1. VII 層

埋設土器



器種	部位	土色	土性	備考	器種	部位	土色	土性	備考
401	1	10R1/3にぶい・黄褐色	シルト		408	1	10R1/3暗褐色	シルト	炭化物粒、焼土粒を多量に含む。
	2	10R1/3暗褐色	シルト	にぶい・黄褐色シルト多量、骨片を含む。		2	10R1/2暗褐色	シルト	炭化物粒、焼土粒を多量に含む。
	3	10R1/4褐色	シルト	黄褐色シルト小ブロックを多量に含む。		3	10R1/3暗褐色	シルト	炭化物粒、焼土粒を多量に含む。
402	1	10R1/3にぶい・黄褐色	シルト	炭化物・骨粉を少量含む。縦1鉄。	4	10R1/3暗褐色	—	—	褐色小ブロックを多量に含む。
	2	10R1/2黒褐色	シルト	炭化物・骨粉を多量に含む。	1	10R1/3にぶい・黄褐色	シルト	黄褐色シルト小ブロック、焼土粒、炭化物粒、骨粉を含む。	
	3	10R1/2黒褐色	シルト	炭化物・骨粉を少量含む。	2	10R1/2暗褐色	シルト	本底小骨多量、骨粉を多量に含む。	
	4	10R1/2暗褐色	シルト	黄褐色シルト質砂主体、褐色砂質シルトを少量含む。	3	10R1/2暗褐色	シルト	焼土粒、炭化物を含む。	
	5	10R1/4暗褐色	シルト	褐色砂質シルト主体、黄褐色シルト質砂を少量含む。	1	10R1/3暗褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。	
403	1	10R1/2黒褐色	シルト	骨粉を少量含む。	2	10R1/2暗褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。	
	2	10R1/2黒褐色	シルト	骨粉を多量に含む。	3	10R1/3にぶい・黄褐色	シルト	褐色小ブロックを多量に含む。	
	3	10R1/2暗褐色	シルト	—	1	10R1/3暗褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。	
404	1	10R1/3にぶい・黄褐色	シルト	炭化物・骨粉を少量含む。縦2鉄。	2	—	—	—	褐色シルト・褐色砂質シルト小ブロック。
	2	10R1/2黒褐色	シルト	炭化物・骨粉を多量に含む。縦1鉄。	1	10R1/3暗褐色	シルト	褐色小ブロック多量、炭化物粒を少量含む。	
	3	—	—	暗褐色シルト小ブロックを中に褐色シルト小ブロック、焼土粒、炭化物粒を多量に含む。	2	10R1/4褐色	砂質シルト	焼山ブロック（黄褐色・褐色砂質シルト）。	
405	1	10R1/3暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。	1	10R1/3暗褐色	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を多量に含む。	
	2	10R1/2暗褐色	シルト	炭化物粒、焼土粒を少量含む。	2	10R1/2暗褐色	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を少量含む。	
					3	10R1/2暗褐色	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を多量に含む。	

第 48 図 VII層IV区 埋設土器 (1)

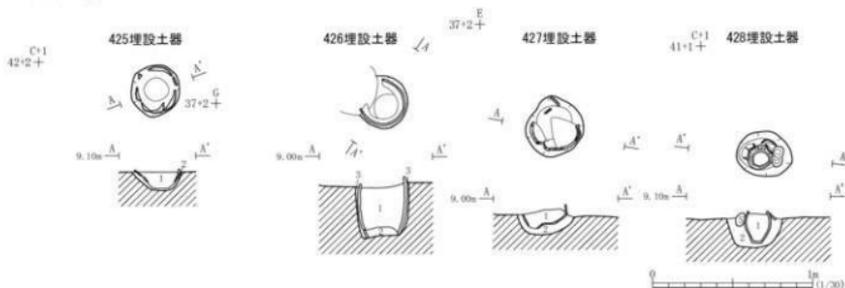


層位	層位	土色	土性	備考
413	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	2	10YR3/2 に近い黄褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量、骨粉を少量含む。
	3	10YR3/1 黄褐色	砂質シルト	炭化物粒を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
414	1	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	3	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
415	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
416	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量、褐色砂質シルト小ブロックを含む。
	2	10YR4/1 暗褐色	砂質シルト	褐色シルトブロック。
	3	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	4	10YR2/3 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量、褐色砂質シルト小ブロックを含む。
417	1	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量、褐色砂質シルト小ブロックを含む。
	2	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒、骨粉を少量、褐色砂質シルト小ブロックを含む。
	3	10YR4/1 暗褐色	砂質シルト	褐色シルトブロック。
418	1	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR4/1 暗褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。

層位	層位	土色	土性	備考
419	1	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、褐色砂質シルト粒を多量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、褐色砂質シルト小ブロックを多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒、褐色砂質シルトブロックを多量に含む。
420	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物粒、粘土粒を含む。
	2	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物粒、粘土粒を含む。
	3	10YR2/3 黒褐色	シルト	炭化物粒、粘土粒を含む。
421	1	—	—	暗褐色・暗褐色シルトブロック、炭化物粒、骨粉を少量含む。
	2	—	—	暗褐色・褐色シルトブロック、黒褐色シルトを含む。
422	1	10YR3/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物粒を少量、暗褐色シルト（炭化物を含む）小ブロックを含む。
	2	10YR4/1 暗褐色	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR4/1 暗褐色	シルト	暗褐色シルト（炭化物を少量含む）小ブロックを含む。
423	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物あり。
	2	10YR4/1 暗褐色	シルト	—
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト質粘土	—
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	—

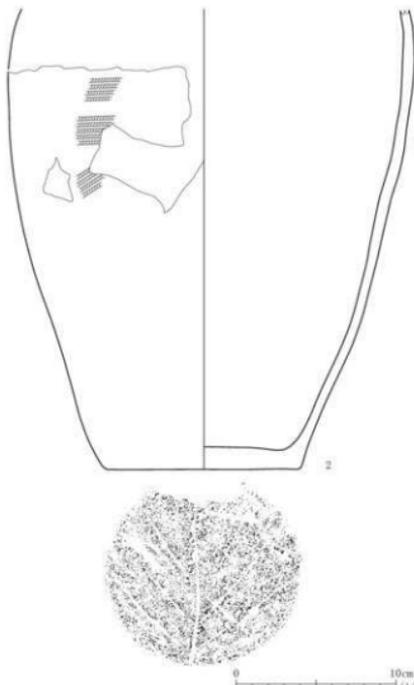
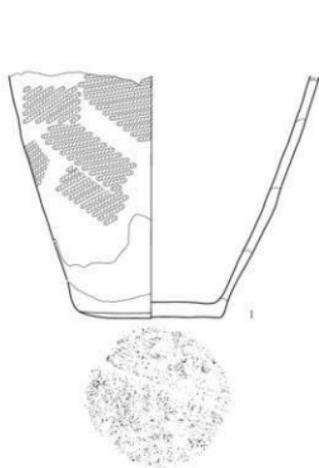
第 49 図 V 層IV区 埋設土器 (2)

1. VII 層



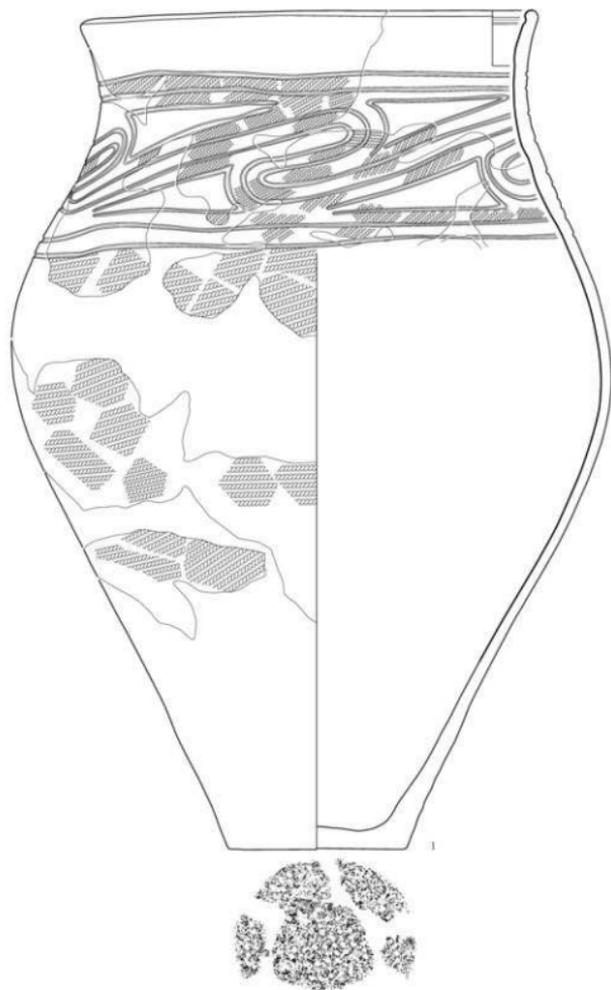
図位	層位	土色	土性	備考
425	1	10R3/2 暗褐色	シルト質粘土	炭化物を少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト質粘土	
426	1	7.5YR/4 暗褐色	シルト質砂	暗褐色シルトを少量含む。
	2	7.5YR/4 暗褐色	シルト質砂	
	3	10R3/4 暗褐色 7.5YR/4 暗褐色	シルト シルト質砂	現在。

図位	層位	土色	土性	備考
427	1	10R3/2 暗褐色 10R3/2 暗褐色	シルト	現在。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。
428	1	10R3/2 暗褐色	シルト	炭化物を少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト質砂ブロックを含む。



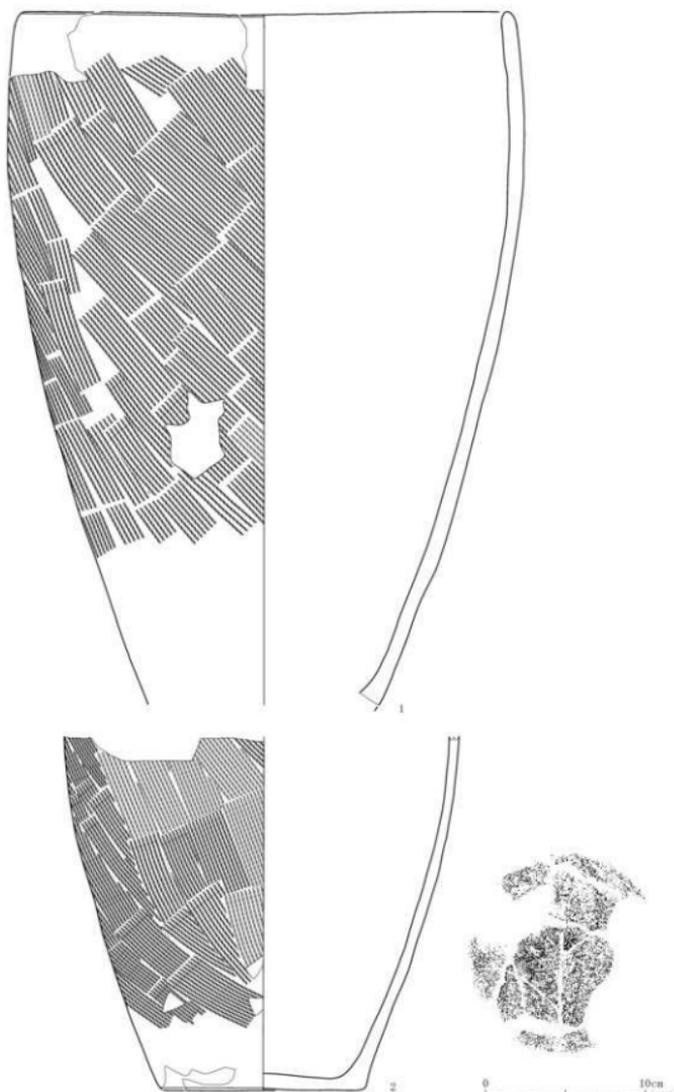
No.	発掘番号	出土遺物	種別	部類	文様等	備考	写真図版
1	A-263	403 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文18横・斜位施文。	底面木炭焼。	-
2	A-890	404 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文18横・斜位施文。	底面木炭焼。	-

第50図 VII層IV区 埋設土器(3)・埋設土器出土遺物(1)



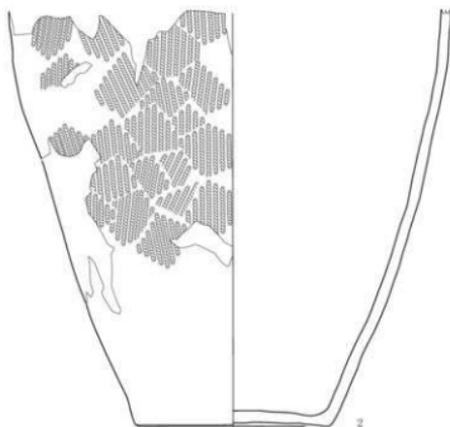
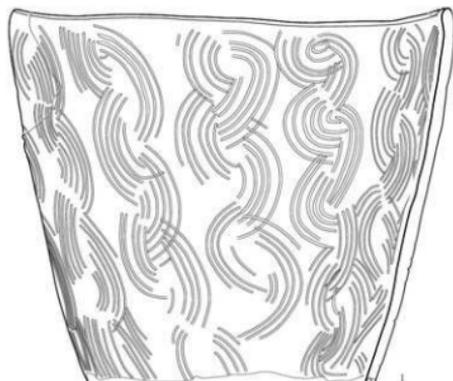
No.	発跡番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-122	埋設土器	縄文土器	壺	外面：沈線文、縄文・斜位屈文。内面：口縁部：沈線文。	縄文時代前期。	36-5

第 51 図 VⅡ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物 (2)



No.	発掘番号	出土遺物	種類	図	文様等	備考	写真図版
1	A-425	015 埋設土器	織文土器	図録	横糸文×縦糸・斜位組文。		56-6
2	A-402	016 埋設土器	織文土器	図録	横糸文×縦糸・斜位組文。	底面木炭痕。	-

第 52 図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (3)

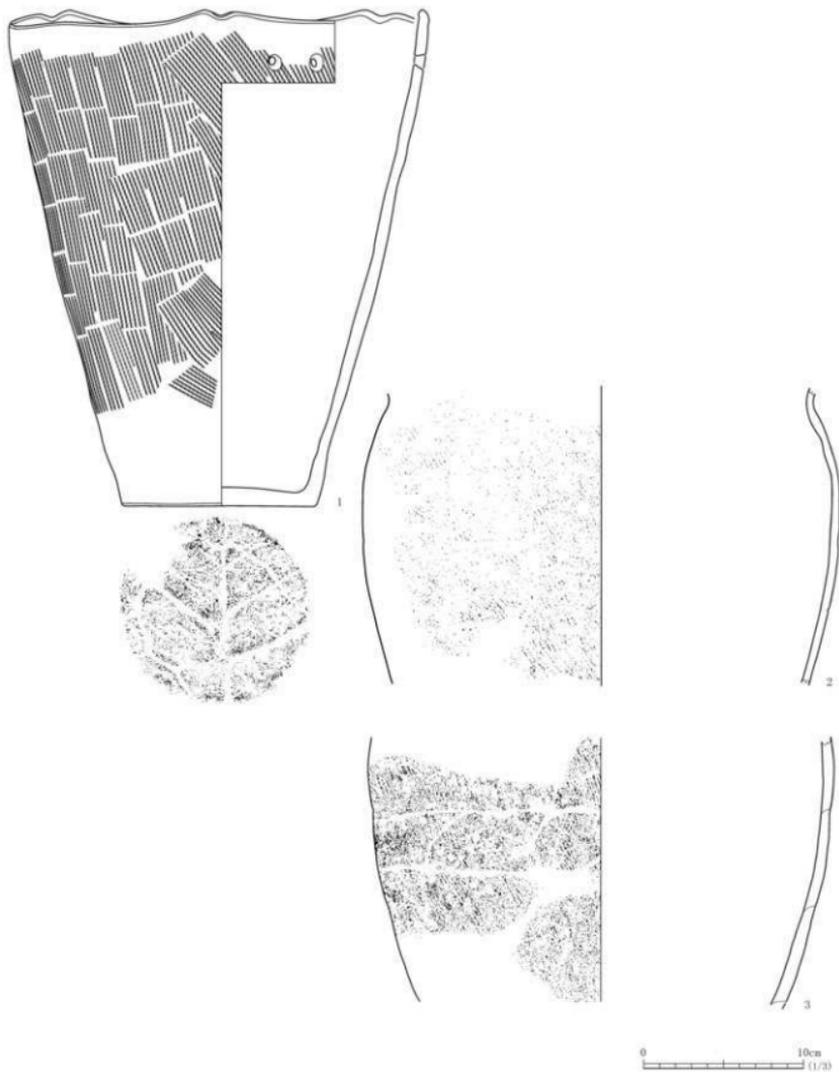


0 10cm
2 (1/3)

No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-420	406 埋設土器	縄文土器	深鉢	幾何学文様。		27-1
2	A-365	407 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文1線・横・斜位幾文。	底面木炭痕。	27-2

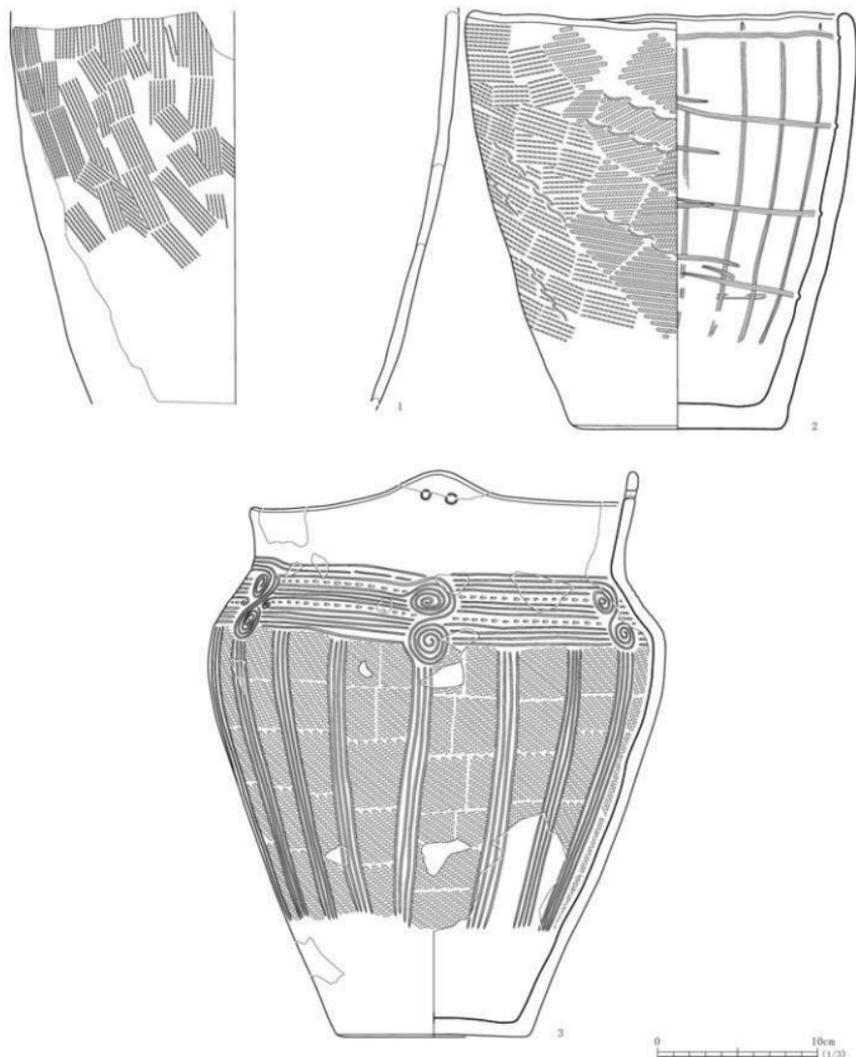
第53図 VII層IV区 埋設土器出土遺物(4)

1. VII 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-295	409 埋設土器	銅文土器	深鉢	饒赤文8線・斜位筋文	底状口縁。3単位。鑄目孔。底面木屐状。	27-3
2	A-294	409 埋設土器	銅文土器	深鉢	饒赤文8線・斜位筋文		-
3	A-379	410 埋設土器	銅文土器	深鉢	饒赤文1.6線位筋文		27-4

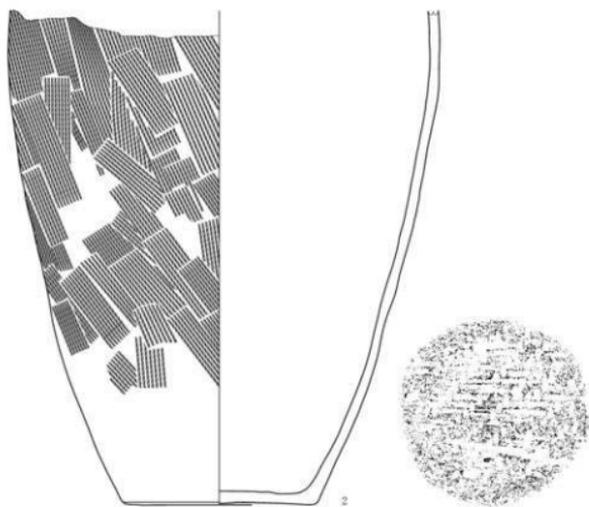
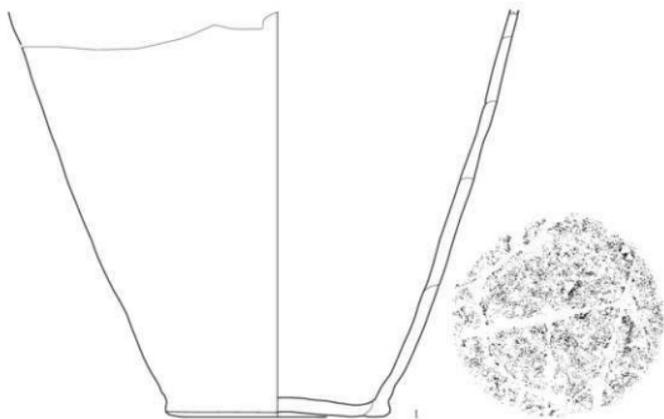
第54図 VII層IV区 埋設土器出土遺物(5)



No.	登録番号	出土遺構	類別	器種	文様等	備考	写真図版
1	B-391	411 埋設土器	縄文土器	深鉢	縹赤文18横・斜位施文。		-
2	A-903	412 埋設土器	縄文土器	深鉢	外面 縹赤文18横・斜位施文。縁部、縹赤文18横・斜位施文。内面 格子目状文施文。		36-1
3	A-794	413 埋設土器	縄文土器	深鉢	多色文施文。初突文。縹赤文18斜位施文。	底状口縁。1単位。普通孔。	37-5

第55図 VⅡ層IV区 埋設土器出土遺物(6)

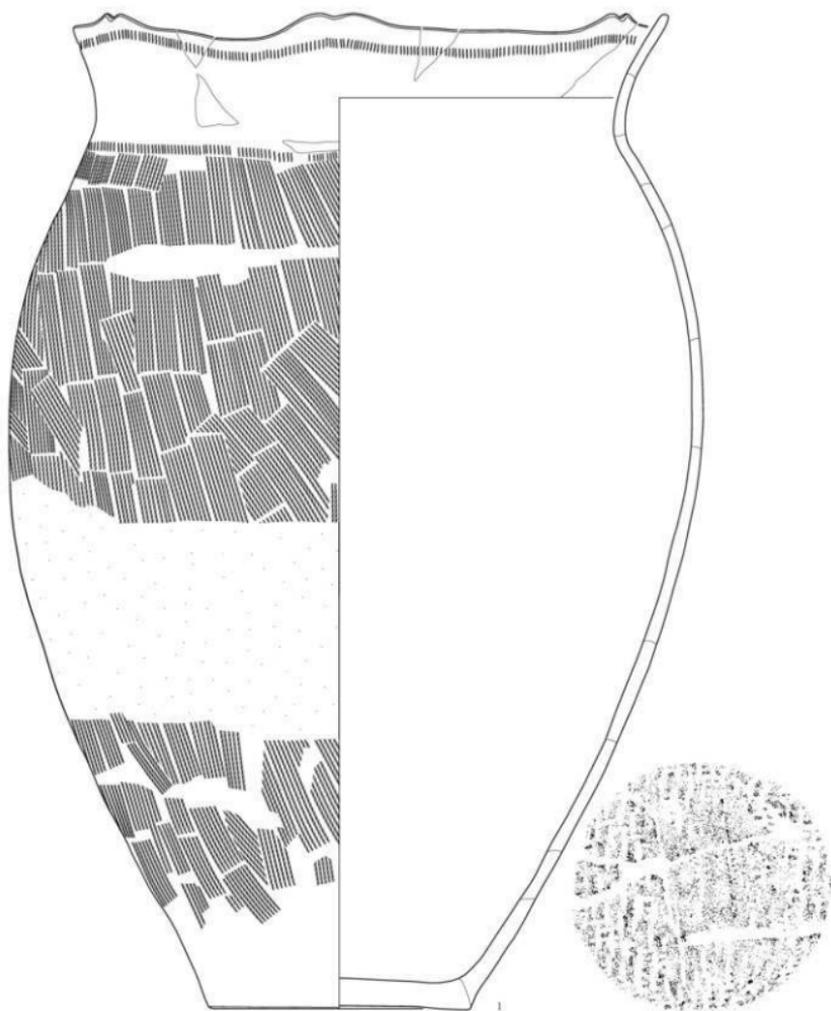
1. VII 層



0 10cm
1/30

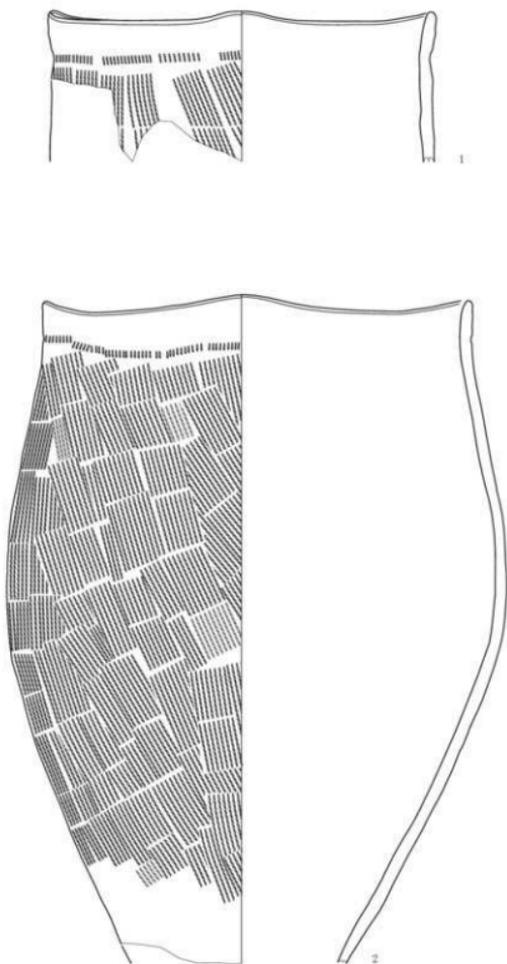
No.	発掘番号	出土遺物	種別	部類	文様等	備考	写真図版
1	A-690	115 埋設土器	織文土器	深鉢		底面木曜文。	-
2	A-498	114 埋設土器	織文土器	深鉢	胴部・唇面文8線・斜位施文。	底面網気文。	37-6

第56図 VII層IV区 埋設土器出土遺物(7)



No.	発跡番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-400	116 埋設土器	縄文土器	深鉢	口縁部・肩部・胴状体に縦文、胴部・柄杓文・縦・斜位縷文。	底状口縁、6 單位、縄文時代後。	39-1

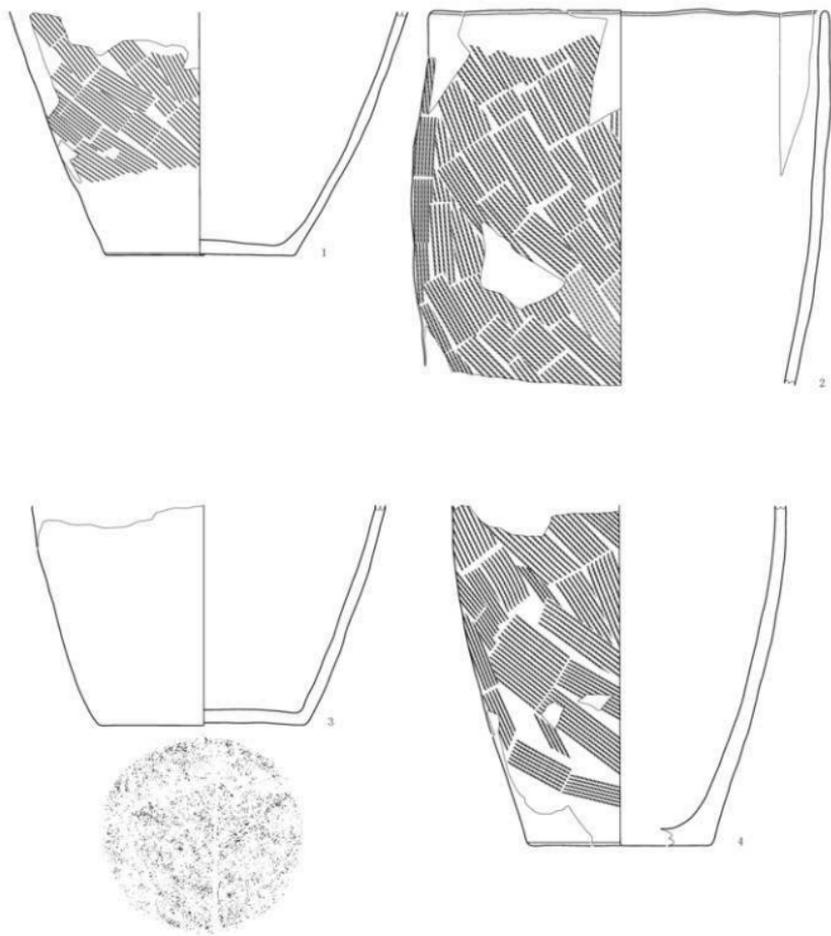
第 57 図 VI 層 IV 区 埋設土器出土遺物 (8)



0 10cm
1/30

No.	登録番号	出土遺物	種別	部類	文様等	備考	写真図版
1	A-401	117 埋設土器	織文土器	深鉢	胴部：縞状体正横文、胴部：縞糸文1.縦位施文。	縞状口縁、4単位。	36-2
2	A-402	117 埋設土器	織文土器	深鉢	胴部：縞状体正横文、胴部：縞糸文1.縦位施文。	縞状口縁、4単位小。	36-3

第58図 VII層IV区 埋設土器出土遺物(9)

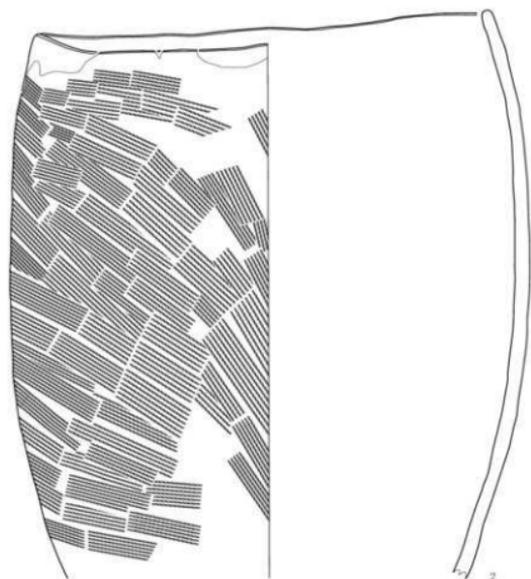
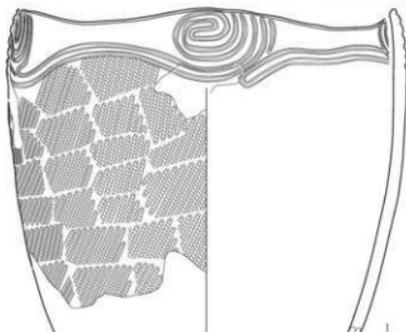


0 10cm
(1/20)

No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-574	418 埋設土器	縄文土器	深鉢	横糸文を斜位施文。		—
2	A-583	419 埋設土器	縄文土器	深鉢	横糸文1層・斜位施文。		39-2
3	A-889	420 埋設土器	縄文土器	深鉢		底面本覆焼。	—
4	A-981	421 埋設土器	縄文土器	深鉢	横糸文を斜位施文。		—

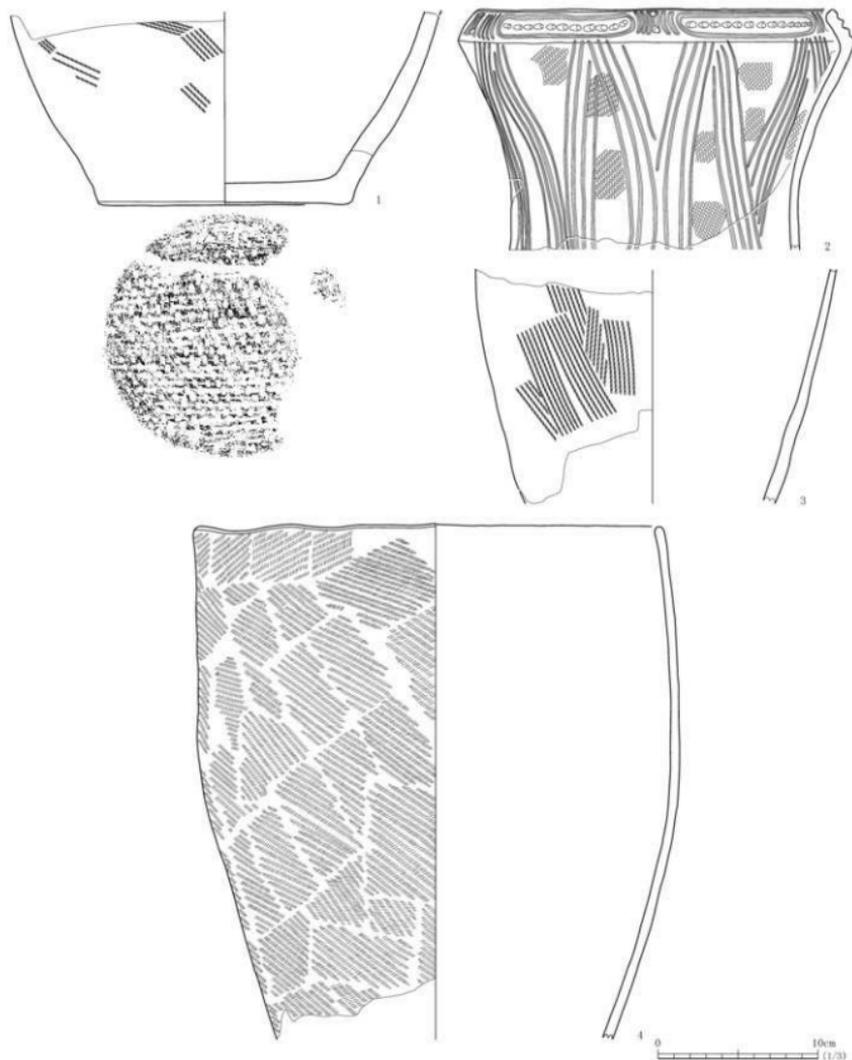
第59図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (10)

1. VII 層



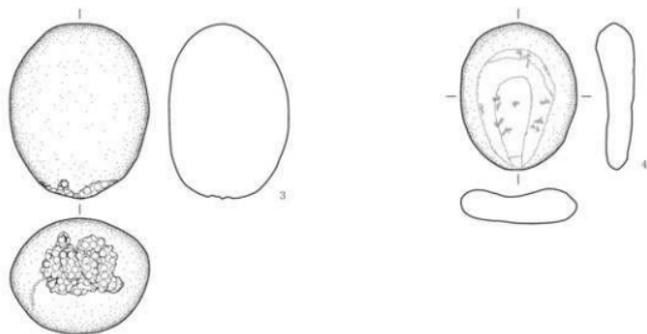
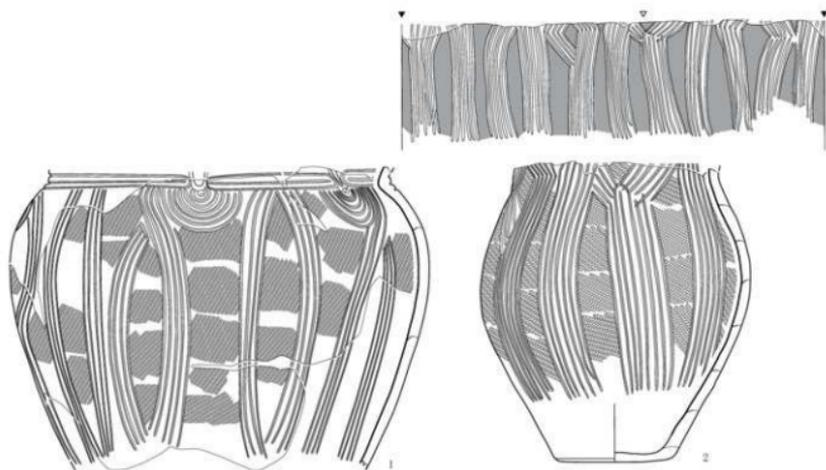
No.	登録番号	出土遺物	種別	部類	文様等	備考	写真図版
1	A-287	323埋設土器	縄文土器	頂鉢	沈線文、縄文1段横位施文。	直径口径、4単位。	98-4
2	A-290	423埋設土器	縄文土器	頂鉢	縄文文8斜位施文。		99-3

第60図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (11)



No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-282	423 埋設土器	縄文土器	深鉢	斜点文・斜位施文。	底面銅片残。	—
2	A-369	424 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条状線文・斜点文。縄文18 横位施文。	—	30-4
3	A-392	425 埋設土器	縄文土器	深鉢	斜点文・斜位施文。	—	—
4	A-280	426 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文1 横・斜位施文。	—	—

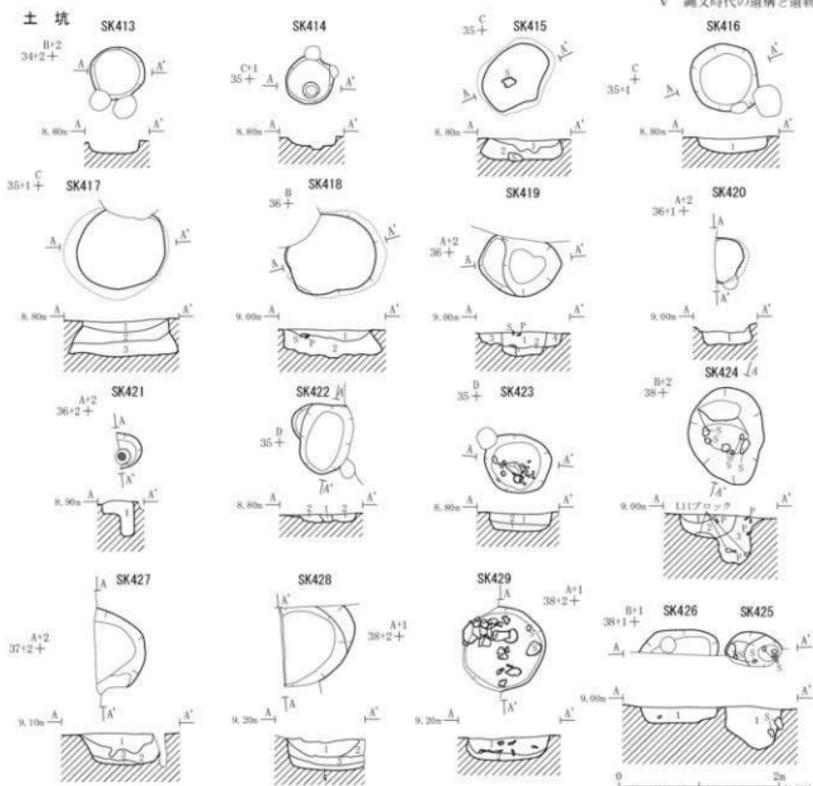
第 61 図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (12)



0 10cm
2 (1/3)

No.	発祥番号	出土遺構	種別	器種	文様等			備考	写真図版		
					文様	位置	形状				
1	A-879	127 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条波線文、円形刺突文、縄文18 横位基文。				00-1		
2	A-547	429 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条波線文、縄文18 横位基文。				00-2		
No.	発祥番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
3	ke-050	402 埋設土器	磁石	ブイサイ	ke-c	11.1	8.7	7.4	953.5		00-3
4	ke-090	404 埋設土器	石造	安山岩	ke-f	9.3	7.3	3.4	191.0		00-4

第 62 図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (13)

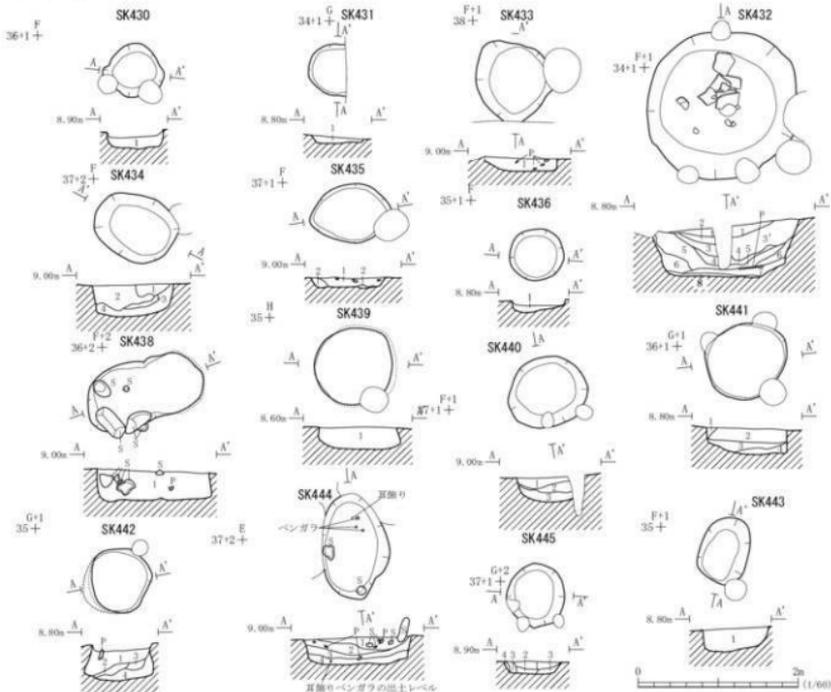


SK	層位	土色	土性	備考
415	1	10R2/2 黒褐色	シルト	黒褐色シルトに暗褐色シルトブロックを含む。
	2	10R3/3 暗褐色	シルト	
416	1	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロックを含む。
	1	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルトブロックを含む。
417	1	10R4/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトブロック主体に黒褐色シルト粒を多量に含む。
	3	10R4/6 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロック主体に黒褐色シルト粒を少量含む。
	1	10R2/3 黒褐色	シルト質粘土	層全体に炭化物・粘土を含み骨粉を帯状に含む所あり、所々に暗褐色粘土をブロック状に含む。(人鳥骨種)
418	1	10R2/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物帯状、所々に骨粉・粘土、土層片を含む。(人鳥骨種)
	2	10R3/3 暗褐色	シルト質粘土	層の所々に炭化物・粘土帯状、層の全体に土層片・骨粉を含む。(人鳥骨種)
419	1	10R3/3 暗褐色	シルト質粘土	炭化物・粘土はみられるが骨粉は微小になる。(人鳥骨種)
	3	10R2/2 黒褐色	シルト質粘土	炭化物を帯状に含む骨粉がまばらになる。(人鳥骨種)
	1	10R4/4 暗褐色	シルト質粘土	骨粉を少量含む。(人鳥骨種)
420	1	10R3/3 暗褐色	シルト	帯状あるいはブロックで炭化物、層全体に骨粉、暗褐色シルトブロックを含む。
421	1	10R3/2 黒褐色	シルト	炭化物ブロックを含む。柱状。

SK	層位	土色	土性	備考
422	1	10R2/1 黒色	シルト	(人鳥骨種)
	2	10R2/3 黒褐色	シルト	炭化物片・骨粉多量、小礫(φ2~3mm)を少量含む。(人鳥骨種)
423	1	10R2/1 黒色	シルト質粘土	下部に炭化物帯状、骨粉・粘土ブロック・炭化物片を帯状に含む。(人鳥骨種)
	2	10R3/4 暗褐色	シルト質粘土	炭化物片を少量含む。(人鳥骨種)
	1	10R3/4 暗褐色	粘土質シルト	炭化物片・骨粉がまばらにみられる。
424	2	10R2/3 黒褐色	シルト	炭化物片の集中する所あり、所々に暗褐色シルトブロックを含む。
	3	10R3/2 黒褐色	粘土質シルト	上部層、暗褐色シルトブロック、炭化物を少量含む。
425	1	7.0R3/2 黒褐色	シルト質粘土	層上部炭化物を含む。
426	1	10R4/3 に灰・黄褐色	シルト	炭化物を含む。
427	1	10R2/2 黒褐色	シルト	土層片・骨粉、暗褐色シルトブロックを含む。(人鳥骨種)
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化物片を少量含む。(人鳥骨種)
	3	10R2/3 黒褐色	シルト	炭化物片を塊状に含む。(人鳥骨種)
428	1	10R2/1 黒色	シルト	炭化物、小礫、骨粉を少量含む。(人鳥骨種)
	2	10R2/2 黒褐色	粘土	炭化物を帯状に含む。(人鳥骨種)
	3	10R2/3 暗褐色	粘土	炭化物帯状、炭化物片を多量に含む。(人鳥骨種)
429	1	10R2/2 黒褐色	シルト	層に粘性が強い。(人鳥骨種)
	2	10R2/2 黒褐色	シルト	土層、炭化物片(φ2mm~1cm)、所々に暗褐色シルトブロックを含む。
430	1	10R2/3 暗褐色	シルト	0.1層よりやや粘土が多い。

第 63 図 Ⅷ層Ⅳ区 土坑 (1)

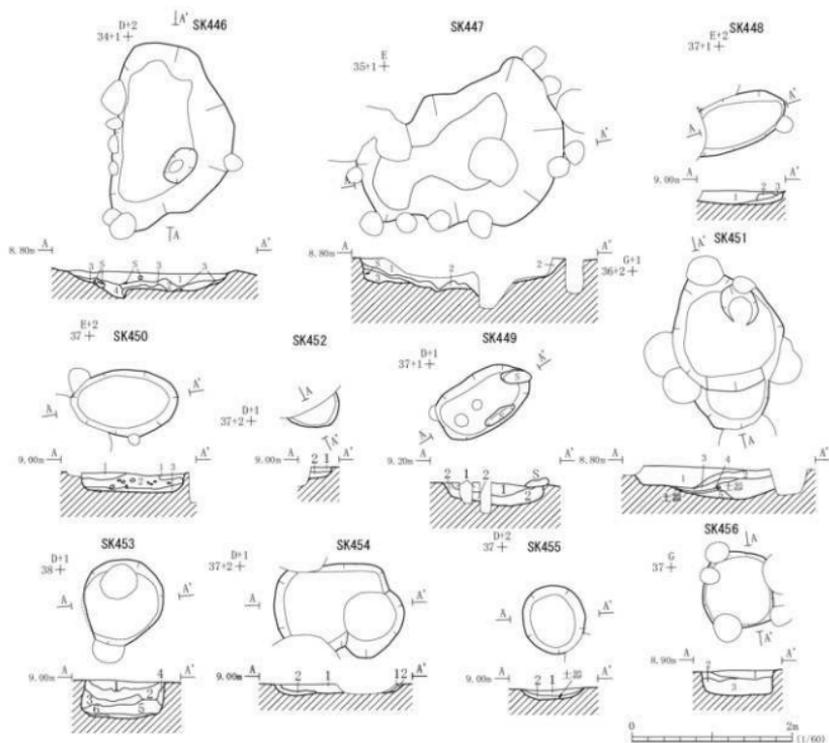
1. VII 層



層位	土色	土性	備考	
430 1	10YR3/2 黒褐色	シルト	焼土塊ブロッコ (φ 8mm~1cm), 炭化物を層全体にまばらに含む。	
431 1	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土ブロッコ, 炭化物を層状に含む。	
432	1	10YR3/3 暗褐色	層中に骨粉塊, 炭化物片多量, 焼土ブロッコを含む。	
	2	10YR4/4 暗褐色	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐色	シルト	焼土・炭化物小ブロッコを多量に含む。
	4	10YR3/3 暗褐色	シルト	φ 3mmより焼土が混入。
	5	10YR3/4 暗褐色	シルト	上部に層状に炭化物がある。
	6	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
	7	10YR3/4 暗褐色	シルト	
8	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物・炭の層・暗褐色シルトを含む。	
433	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	土層, 全体に炭化物片, 暗褐色シルト小ブロッコを含む。
	2	10YR4/4 暗褐色	シルト	(人馬骨層)
434	2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化物片・土層片・骨粉を含む。(人馬骨層)
	3	10YR1/7.5 黒	粘土質シルト	φ 3mm以下の可能性のある炭化物が集中するところを含む。(人馬骨層)
	4	10YR1/4 黒	シルト	(人馬骨層)
	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物片を含む。
435	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	
436	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	土層, 焼土ブロッコを含む。
438	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	暗褐色シルト土ブロッコを多量に含む, 土層で炭化物・焼土の見られるところに骨粉を含む。
439	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化, 焼土粒・炭化物粒を散在含む。(人馬骨層)
	2	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
440	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土を少量含む。
	3	10YR1/4 黒	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
3	10YR2/3 暗褐色	シルト	炭化物・焼土を少量含む。	

層位	土色	土性	備考	
438	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	硬質粘土。
	2	10YR2/3 黒褐色	シルト	暗褐色シルト・暗褐色シルト質砂小ブロッコ・炭化物粒を多量に含む。
441	3	10YR3/3 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・暗褐色シルト質砂小ブロッコ・炭化物粒を多量に含む。
	4	10YR4/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト質土体ブロッコに暗褐色シルト小ブロッコと炭化物粒混入。
442	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物, 焼土小ブロッコ, 土層片・骨片を多量に含む。
	2	10YR4/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色シルト質砂土ブロッコ。
443	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	砂質シルト
	4	10YR3/3 暗褐色	シルト	焼土小ブロッコ・暗褐色シルト質砂小ブロッコ・炭化物粒を多量に含む。
444	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物少量, 焼土粒・暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	10YR2/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトを多量に含む, 混合物#1層より少ない。(人馬骨層)
445	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト土ブロッコを含む, 混合物#1層より少ない。(人馬骨層)
	2	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
445	1	10YR2/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトを多量に含む, 混合物#1層より少ない, 裏面が灰白色に炭化している。(人馬骨層)
	2	10YR4/4 暗褐色	砂質シルト	暗褐色シルト質砂小ブロッコ。
	3	10YR4/2 暗褐色	シルト	焼土粒・炭化物粒少量, 骨片を含む。
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト土ブロッコ。

第 64 図 VII層IV区土坑 (2)

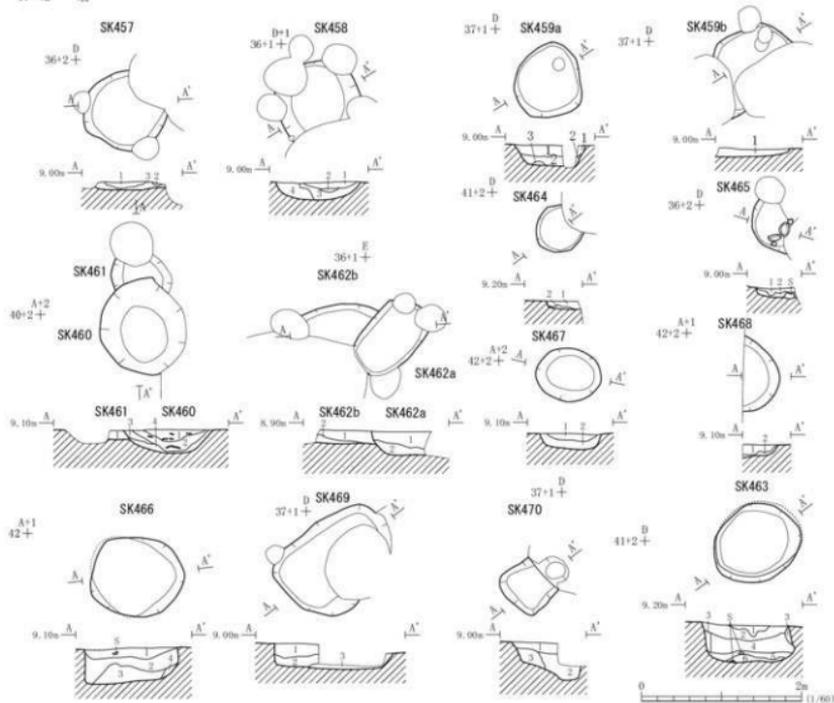


SK	層位	土色	土性	備考
446	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	
	3	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
447	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	
448	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
449	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
450	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
451	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	堆土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を少量、微平坦にベンガラ粒を含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒色。
452	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒色。暗褐色シルトを多量に含む。
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
453	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトを多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト	縦(4.02~5.0cm)を多量に含む。
454	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	61層より、炭化物粒が多い。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
455	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒、堆土粒、骨片、暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
456	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	堆土粒、骨片、骨粉を多量に含む。
457	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒、褐色シルト質砂粒・炭化物粒・堆土粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
458	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	堆土粒を少量含む。
459	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	堆土粒を少量含む。

SK	層位	土色	土性	備考
452	1	10YR2/1 黒	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒色シルト粒を含む。
453	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒、褐色シルト質砂粒・炭化物粒・堆土粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒色。
454	1	10YR2/3 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
455	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
456	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
457	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
458	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	

第 65 図 Ⅴ層IV区 土坑 (3)

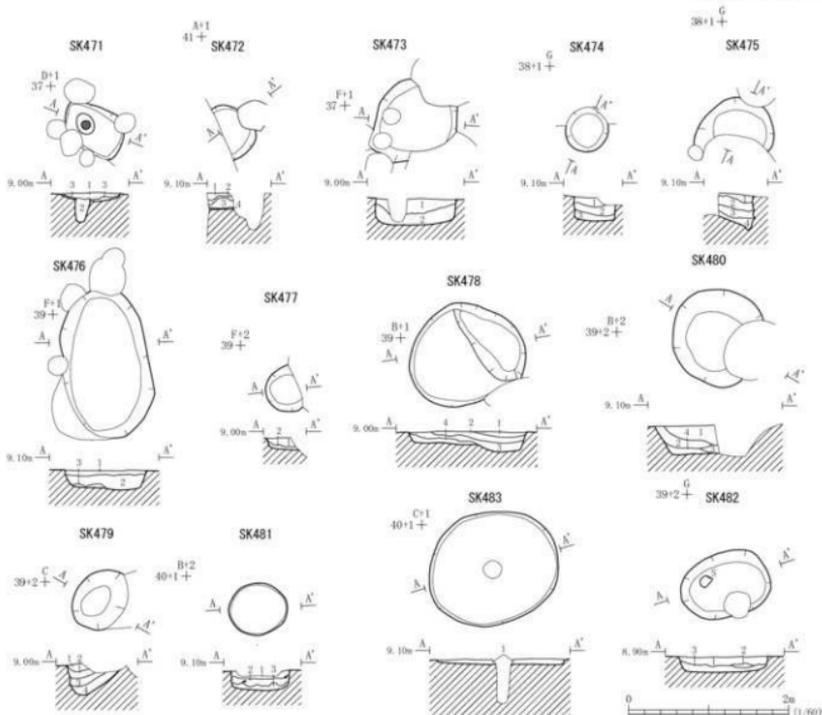
1. VII 層



SK	層位	土色	土性	備考
457	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	—	—	練土ブロック・灰まじり。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
458	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒を含む。
	2	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒・練土粒を含む。
	3	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒を含む。
459a	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒を少量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒を少量含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を少量含む。
459b	1	10R2/3 暗褐色	シルト	練土粒・炭化物粒を少量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒・土跡片・暗褐色シルト小ブロックを含む。
	3	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
460	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
461	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
462a	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
462b	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。(人為埋土)
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を少量含む。
463	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を少量含む。
464	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
465	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を微量含む。
466	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を微量含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を微量含む。
467	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を多量に含む。
468	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を多量に含む。
469	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を多量に含む。
470	1	10R2/3 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。

SK	層位	土色	土性	備考
469	1	10R2/3 暗褐色	シルト	(上部からの落ち込み)
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒・練土粒・暗褐色シルト粒を含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
469a	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	10R2/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
469b	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を多量に含む。
470	1	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10R2/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 暗	シルト質砂	炭化物粒を多量に含む。

第 66 図 VII層IV区 土坑 (4)

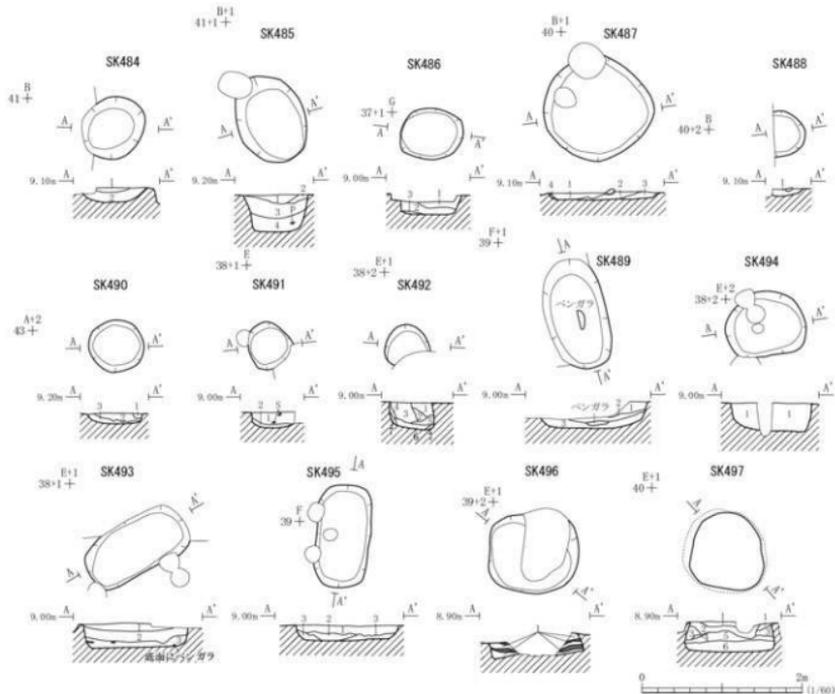


SK	層位	土色	土性	備考
471	1	10YR4/3に近い黄褐色	シルト	
	2	10YR3/2黒褐色	シルト	泥・炭化粒を含む。
	3	10YR3/1暗褐色	シルト	炭化物を少量含む。
472	1	10YR2/2黒褐色	シルト	
	2	10YR3/4暗褐色	シルト	
	3	10YR3/3暗褐色	シルト	炭化物・粘土粒を多量に含む。
473	1	10YR4/3に近い黄褐色	シルト	雑土ブロック・炭化物粒・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4暗褐色	シルト	
	3	7.5YR4/4暗褐色	シルト質砂	混在。炭化物粒を微量含む。
474	1	10YR3/4暗褐色	シルト	
	2	10YR3/4暗褐色	シルト	褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4暗褐色	シルト質砂	炭化物を微量含む。
475	1	10YR3/4暗褐色	シルト	
	2	10YR3/4暗褐色	シルト	混在。
	3	7.5YR4/4暗褐色	シルト質砂	
476	1	10YR3/4暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/3暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	7.5YR4/4暗褐色	シルト質砂	
477	1	10YR3/3暗褐色	シルト	炭化物・粘土粒・骨粉を含む。
	2	10YR3/4暗褐色	シルト	

SK	層位	土色	土性	備考
478	1	10YR2/3黒褐色	シルト	暗褐色シルト小ブロック・炭化物粒を含む。
	2	10YR3/3暗褐色	シルト	暗褐色シルト小ブロック・炭化物粒を含む。
	3	10YR2/3黒褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
479	4	10YR3/4暗褐色	シルト	混在。
	1	10YR2/3暗褐色	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	2	10YR2/3暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
480	3	10YR3/2暗褐色	シルト	炭化物粒少量。暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4暗褐色	シルト	混在。炭化物粒を含む。
	1	10YR2/3暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
481	2	10YR3/4暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	1	10YR2/3暗褐色	シルト	炭化物粒・粘土粒を多量に含む。
	3	10YR2/3暗褐色	シルト	混在。炭化物粒を少量含む。
482	1	10YR2/3暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR2/3暗褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	10YR2/3暗褐色	シルト	混在。炭化物粒を微量含む。
483	1	10YR3/4暗褐色	シルト	混在。暗褐色シルトを少量含む。
	2	7.5YR4/4暗褐色	シルト質砂	

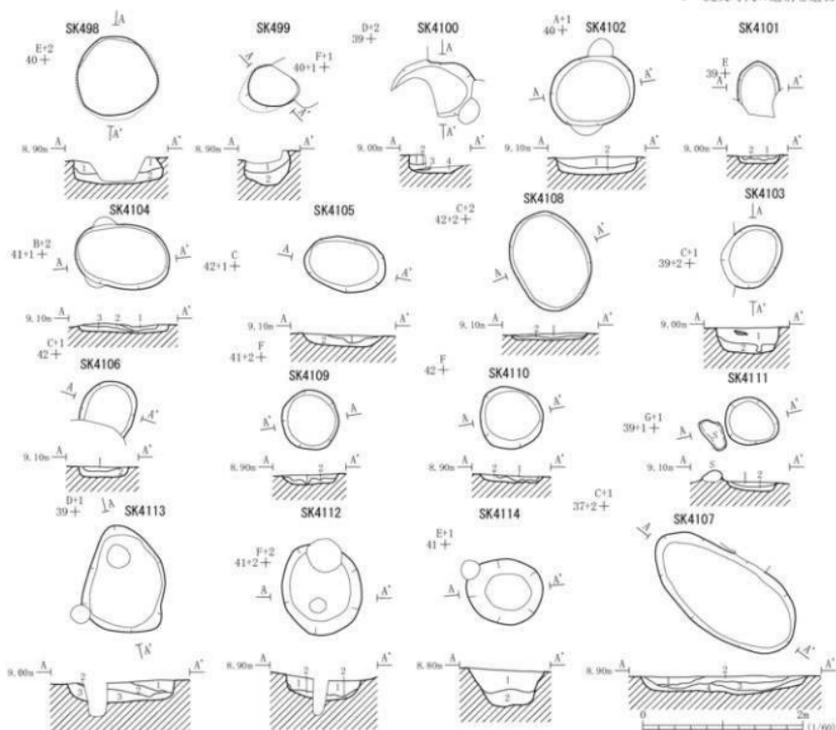
第 67 図 Ⅴ層Ⅳ区 土坑 (5)

1. VII 層



SK	層位	土色	土性	備考	SK	層位	土色	土性	備考
484	1	10R3/2 暗褐色	シルト	練土ブロッサ多量, 炭化物粒を少量含む。	491	1	10R3/2 黒褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	練土ブロッサを少量含む。		2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化物を微量含む。
485	1	10R2/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・練土粒を多量に含む。	492	1	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	炭化。1 層褐色シルトの方が多い。
	2	10R3/2 暗褐色	シルト	暗褐色シルト小ブロッサを多量に含む。		2	10R3/4 暗褐色	シルト	
	3	10R3/4 暗褐色	シルト			3	10R3/2 暗褐色	シルト	
	4	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂			4	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
486	1	10R3/4 暗褐色	シルト		493	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。炭化物を多量に含む。
	2	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロッサを多量に含む。炭化物粒を少量含む。		2	10R3/4 暗褐色	シルト	
	3	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂			3	10R3/4 暗褐色	シルト	
	4	10R3/2 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。		4	10R3/4 暗褐色	シルト	
487	1	10R3/4 暗褐色	シルト		494	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。炭化物・練土粒を少量含む。(人倉層)
	2	10R3/4 暗褐色	シルト			2	10R3/4 暗褐色	シルト	
	3	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂			3	10R3/4 暗褐色	シルト	
	4	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂			4	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
488	1	10R3/4 暗褐色	シルト		495	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。炭化物少量, 骨粒を多量に含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト			2	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	
489	1	10R3/2 暗褐色	シルト		496	1	2.5YR4/4 暗褐色	シルト質砂	炭化。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト			2	10R3/4 暗褐色	シルト	
490	1	10R3/2 暗褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロッサを多量に含む。やや炭化物粒が多い。上面中にベンガラが点在している。	497	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。炭化物を含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト			2	10R2/2 黒褐色	シルト	
	3	10R3/2 暗褐色	シルト			3	10R2/4 暗褐色	シルト	
491	1	10R3/4 暗褐色	シルト		498	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。炭化物を少量含む。
	2	10R3/2 暗褐色	シルト			2	10R3/4 暗褐色	シルト	
492	1	10R3/4 暗褐色	シルト		499	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。炭化物を少量含む。
	2	10R3/2 暗褐色	シルト			2	10R3/4 暗褐色	シルト	

第 68 図 VII 層 IV 区 土坑 (6)

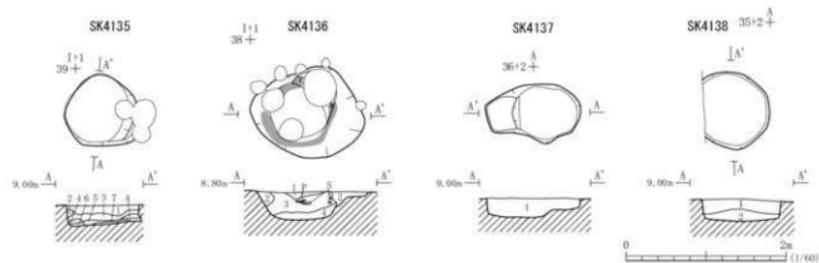


SK	層位	土色	土性	備考
498	1	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト、褐色シルト質砂小ブロック多量。炭化物粒を少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
499	1	10R3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。炭化物粒を少量含む。
1100	1	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	7.5YR4/4 黒	シルト質砂	シルト質砂
	3	10R3/2 黒褐色	シルト	炭化。
1101	1	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
	2	10R3/2 黒褐色	シルト	炭化。
1102	1	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
	2	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
1103	1	10R2/2 黒褐色	シルト	炭化物粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
1104	1	10R3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	暗褐色シルトを少量含む。
	3	10R3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。
1105	1	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。
1106	1	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルトを少量含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。

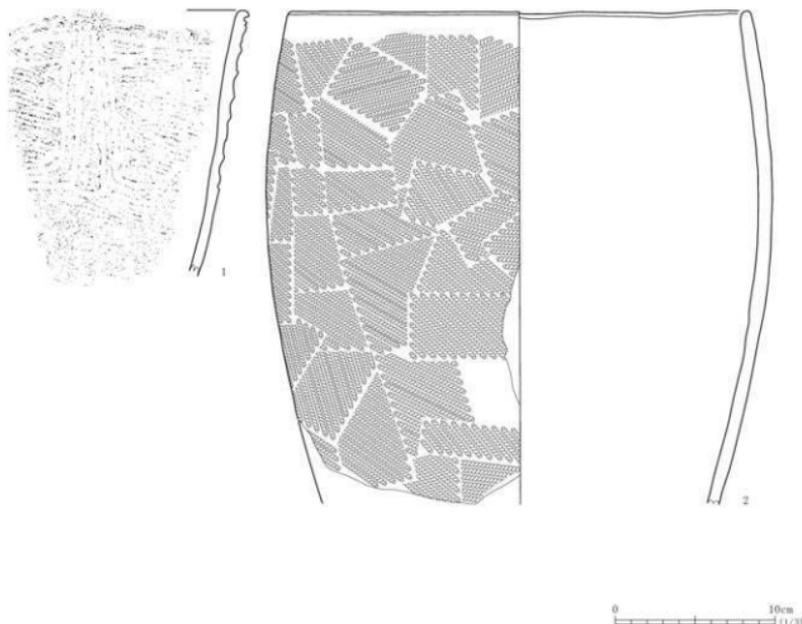
SK	層位	土色	土性	備考
1107	1	10R2/3 黒褐色	シルト	炭化物粒・暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10R3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト質砂ブロックを少量含む。
1108	1	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	粘土ブロックを含む。
1109	1	10R2/2 黒褐色	シルト	炭化。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。
1110	1	10R2/2 黒褐色	シルト	炭化。
	2	10R3/4 暗褐色	シルト	炭化。
1111	1	10R3/2 黒褐色	シルト	炭化。
	2	10R3/2 黒褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
1112	1	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	暗褐色シルトを少量含む。
	2	7.5YR4/4 黒	シルト質砂	暗褐色シルトを少量含む。
1113	1	10R2/2 黒褐色 10R3/4 暗褐色	シルト シルト	炭化。
	2	10R2/2 黒褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂を少量含む。
1114	1	10R3/4 暗褐色 7.5YR4/4 黒	シルト シルト質砂	炭化。
	2	10R3/4 に近い黄褐色 7.5YR4/4 に近い黄褐色	粘土質シルト 粘土質シルト	炭化物を含む。 土層のブロックを含む。

第 69 図 Ⅴ層Ⅳ区 土坑 (7)

1. VII 層

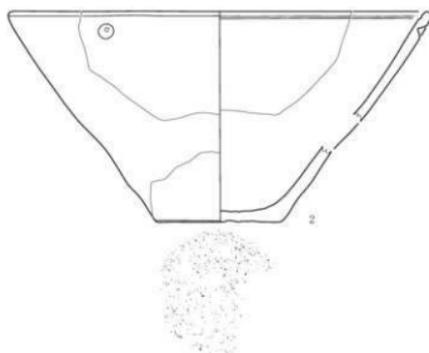
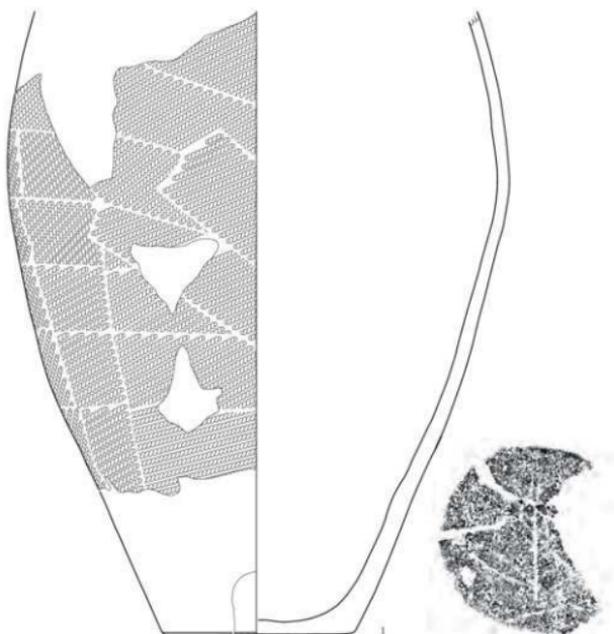


SK	層位	土色	土性	備考	SK	層位	土色	土性	備考
4135	1	10R3/2暗褐	シルト	炭化物粒・粘土粒を多量に含む。	4136	1	10R3/4黄褐	シルト	粘土ブロック・炭化物粒を含む。
	2	10R3/4暗褐	シルト			2	10R3/2暗褐	砂質シルト	礫の粘着土
	3	10R2/1黒	シルト	炭・炭化物を多量に含む。		3	10R4/4暗	シルト	粘土・炭化物ブロックを多量に含む。
	4	10R3/4暗褐	シルト			4	10R3/4暗褐	シルト	粘土粘着土、炭化物ブロックを含む。
	5	10R2/1黒	シルト		4137	1	10R2/2黒褐	砂質シルト	炭化物粒・赤粉・暗褐色シルト小ブロックを含む。
	6	10R3/2暗褐	シルト			4138	1	10R2/2暗褐	砂質シルト
	7	10R3/4暗褐 7.5R4/4暗	シルト質砂	遺灰。	2		10R3/4暗褐	砂質シルト	暗褐色シルトブロック主体。41層土を含む。



No.	発掘番号	出土遺構	種別	図種	文種等	備考	写真図版
1	A-933	SK-02	縄文土器	図録	次線文、刺突文、縄文土器、斜位施文。	遺灰口縁。	00-5
2	A-360	SK-02	縄文土器	図録	縄文1B組・横・斜位施文。		-

第70図 VII層IV区 土坑(8)・土坑出土遺物(1)

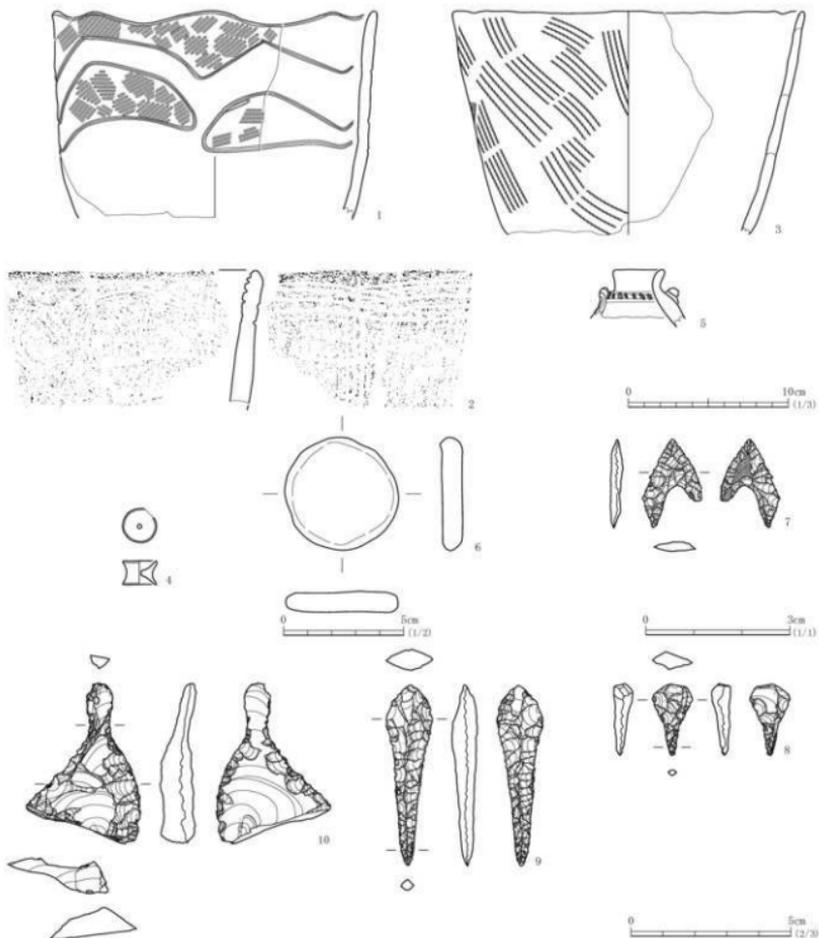


0 10cm
1/30

No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-419	58-G29	縄文土器	深鉢	縄文1区 横位幾文	底面本葉痕。	00-6
2	A-476	58-G29	縄文土器	浅鉢	内面：口縁部・底面文。	外面焼成後の裂孔。底面網代痕。	-

第71図 VII層IV区 土坑出土遺物(2)

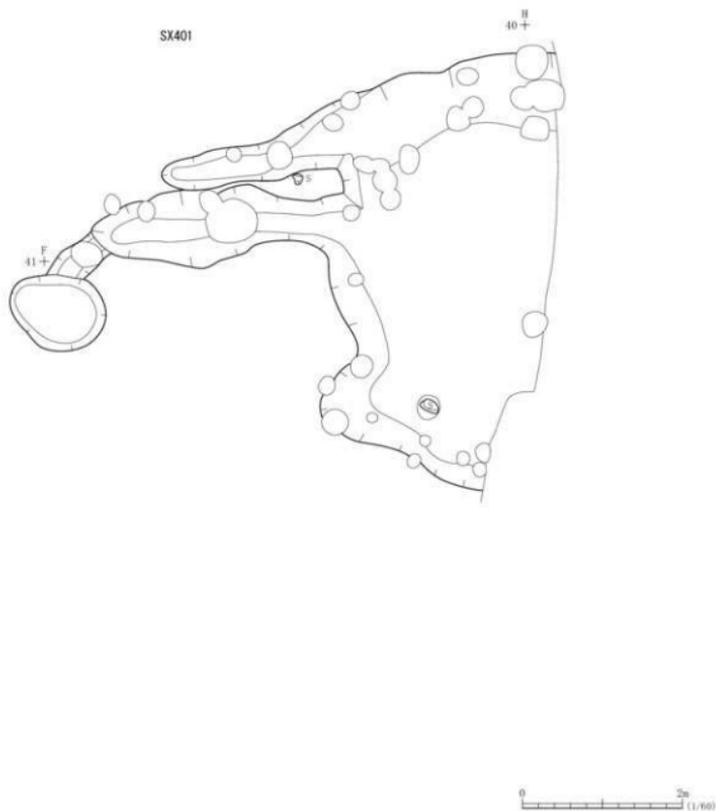
1. VII 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	部種	文様等	備考	写真図版				
1	S-657	S8392	織文土器	円鉢	波瀾文、漢文19字・刺位施文。		-				
2	S-652	S8390	織文土器	円鉢	外面 華雲状波瀾文、内面 柳手目状波瀾文。	底穴口縁、8単位。	60-7				
3	S-292	S8360	織文土器	円鉢	熱帯文9組・刺位施文。		-				
No.	登録番号	出土遺構	部種	文様等	備考	写真図版					
4	Fv-015	S8411	耳輪型	長さ1.4×幅1.4×厚さ1.0cm。	赤銅。	60-8					
5	Fv-335	S8390	シロチャウ	鈴籠上に附存品。	器、銅器に一對の穂状把手。	60-9					
6	Fv-011	S8391	土版	長さ4.8×幅4.8×厚さ0.9cm。		60-10					
No.	登録番号	出土遺構	部種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
7	S-0292	S8319	石鏃	燧石系	ka-a2-2-1	1.9	1.3	0.3	0.2	表面に加熱処理された素材剥離面が残存する。	60-11
8	S-3860	S8307	石鏃	珩質頁岩	ka-a2-3	2.3	1.3	0.6	2.0		60-12
9	S-3861	S8304	石鏃	珩質頁岩	ka-a2-3	5.8	1.5	0.8	4.3		60-13
10	S-3947	S8360	石鏃	珩質頁岩	ka-a1-6	5.1	3.6	1.0	10.0		60-14

第72図 VII層IV区 土坑出土遺物 (3)

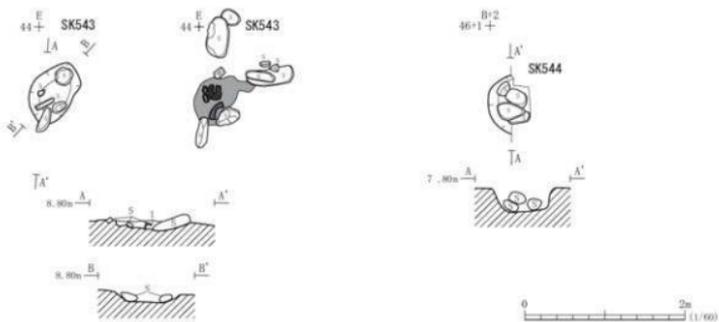
性格不明遺構



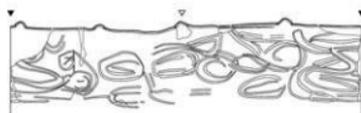
第 73 図 VII層IV区 性格不明遺構

1. VII 層

4) V 区
土坑



SK	層位	土色	土性	備考
543	1	10R4/2 灰黄緑	シルト	中に、黄緑色シルトブロック・粘土・炭・土器・石・骨片も存在。



No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-656	SK543	縄文土器	深鉢	波線文	1単位小部記	60-15

第74図 VII層V区 土坑・土坑出土遺物

1. VII 層

第3表 VII層遺構一覧表(2)

VII層Ⅱ区

土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	埋 藏 (m)			主軸方位	断面形	備 考	坪頂	写真 図取
					長軸	短軸	深さ					
S8272	Ⅱ		624	楕円形	0.68	0.43	0.21	N-29°-E	階段形		26	-
S8273	Ⅱ		120-21	円形	0.87	0.79	0.22	-	階段		26	-
S8274	Ⅱ		122-23	楕円形	0.72	0.45	0.16	S-4°-E	不整形		26	-
S8275	Ⅱ		121-22	楕円形	1.10	0.82	0.15	S-23°-E	階段		26	-
S8276	Ⅱ		821	不明	0.90	0.44	0.07	-	階段		26	-
S8278	Ⅱ		823	円形	0.77	0.74	0.27	-	袋形		26	9
S8279	Ⅱ		821	楕円形	0.87	0.64	0.07	S-61°-E	階段		26	-
S8280	Ⅱ		123	円形	1.04	0.99	0.20	-	袋形		26	9
S8281	Ⅱ		122-23	円形	1.13	1.17	0.16	-	階段形		26	-
S8282	Ⅱ		122, 122	円形	1.42	1.23	0.54	-	階段形		26	9
S8283	Ⅱ		821-22	不明	1.09	0.82	0.29	-	階段形		26	-
S8284	Ⅱ		123-24	円形	1.02	0.89	0.19	-	階段形		26	-
S8285	Ⅱ		124	円形	0.80	0.82	0.06	-	階段形		26	-
S8286	Ⅱ		823	円形	0.92	0.96	0.24	-	階段		26	9
S8287	Ⅱ		621-22, 821-22	円形	0.82	0.78	0.18	-	袋形		26	9
S8288	Ⅱ		121, 121	不明	1.02	1.00	0.20	-	階段形		26	-
S8289	Ⅱ		822-21	円形	0.69	0.64	0.10	-	階段形		26	-
S8290	Ⅱ		822	楕円形	0.96	0.65	0.17	S-74°-E	階段		27	9
S8291	Ⅱ		821	楕円形	0.72	0.58	0.11	S-41°-E	階段		27	-
S8292	Ⅱ		124-25	円形	0.93	0.83	0.25	-	階段形		27	10
S8293	Ⅱ		125	円形	1.11	1.01	0.22	-	階段形		27	10
S8294	Ⅱ		823	円形	0.97	0.90	0.15	-	階段形		27	-
S8295	Ⅱ		125	楕円形	1.03	0.53	0.25	S-20°-E	不整形		27	-
S8296	Ⅱ		126	楕円形	0.76	0.56	0.26	S-78°-E	階段		27	10
S8297	Ⅱ		121-22	不明	1.17	1.14	0.55	-	袋形		27	10
S8298	Ⅱ		125	不明	0.70	0.60	0.12	-	階段形		27	-
S8299	Ⅱ		825	楕円形	0.71	0.56	0.05	S-9°-E	階段		27	-
S8300	Ⅱ		123, 823	円形	0.76	0.66	0.24	-	階段		27	10
S8301	Ⅱ		823	不明	-	0.86	0.17	-	階段形		27	-
S8302	Ⅱ		827	不明	0.94	0.80	0.10	-	円形		27	-
S8303	Ⅱ		127	楕円形	1.12	0.66	0.19	S-81°-E	階段形		27	-
H25-F1	Ⅱ		825	円形	1.02	0.96	0.06	-	階段		27	-
F113	Ⅱ		F27	円形	0.24	0.20	0.32	-	階段形		-	6

VII層Ⅲ区

埋設土器

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	埋 藏 (m)			導管状況	備 考	坪頂	写真 図取
					長軸	短軸	深さ				
303埋設土器	Ⅲ		G27	円形	0.45	0.40	0.27	正位		33	10-11
304埋設土器	Ⅲ		G27	円形	0.26	0.29	0.05	正位		33	10
305埋設土器	Ⅲ		F28, F28	円形	0.30	0.28	0.11	正位		33	-
306埋設土器	Ⅲ		F29	円形	0.23	0.22	0.18	正位		33	11

土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	埋 藏 (m)			主軸方位	断面形	備 考	坪頂	写真 図取
					長軸	短軸	深さ					
S8305	Ⅲ		629	不明	1.20	0.75	0.29	-	階段形		34	-
S8308	Ⅲ		628	円形	0.91	0.81	0.20	-	階段形		34	-
S8309	Ⅲ		628	不明	0.84	-	0.21	-	袋形		34	-
S8303	Ⅲ		G27-28	不整形	1.01	1.17	0.30	S-72°-E	階段		34	-
S8303-1	Ⅲ		A29, B29	不明	1.12	1.02	0.21	-	階段形		34	-
S8309	Ⅲ		629, F29	楕円形	1.29	1.02	0.14	S-37°-E	階段		34	-
S8310	Ⅲ		830	円形	1.05	0.92	0.19	-	階段		34	-
S8311	Ⅲ		830	不明	1.23	0.89	0.22	-	階段形		34	-
S8312	Ⅲ		C29-30, D29-30	不整形	0.70	0.69	0.14	S-50°-E	階段		34	-
S8315	Ⅲ		F28-29	楕円形	1.06	0.93	0.20	S-68°-E	階段		34	-
S8316	Ⅲ		F29	不明	1.35	-	0.11	-	階段形		35	-
S8317	Ⅲ		F29	楕円形	0.89	0.64	0.21	S-55°-E	階段形		35	11
S8318	Ⅲ		F28-29	楕円形	0.94	0.60	0.24	S-77°-E	階段形		35	11
S8320	Ⅲ		629, F29	楕円形	1.01	0.82	0.20	S-10°-E	袋形		35	11
S8321	Ⅲ		C28-29	長方形	1.19	0.52	0.12	S-50°-E	階段形		35	-
S8322	Ⅲ		628	円形	1.01	1.09	0.26	-	袋形		35	11

第4表 Ⅳ層遺構一覧表(3)

Ⅳ層Ⅳ区

配石

遺構番号	層	地区	グリッド	配石 規模 (m)			下部土坑 規模 (m)			備考	坪図	写真 図版		
				長軸	短軸	主軸方位	平面形	長軸	短軸				深さ	
411配石	Ⅳ	Ⅳ	141	2.40	0.34	N-18°-E	-	-	-	列状に石が縦向きに並ぶ。	36	-		
412配石	Ⅳ	Ⅳ	F30-39, G28-39	1.88	1.40	-	楕円形	1.60	1.28	0.42	N-19°-W	36	12	
413配石	Ⅳ	Ⅳ	837	1.00	0.45	-	楕円形	1.20	0.52	0.16	N-19°-W	36	12	
414配石	Ⅳ	Ⅳ	D36-37	1.86	1.25	-	楕円形	1.50	1.15	0.20	N-43°-W	楕円部に石を並べ、内側に大 小の石を充填する。	37	12-13
415配石	Ⅳ	Ⅳ	E37, E37	1.70	1.35	-	楕円形	1.70	1.35	0.12	N-35°-E	楕円部に石を並べ、内側に小 石を敷く。	37	13
416配石	Ⅳ	Ⅳ	E37	1.24	0.90	-	楕円形	1.24	0.90	0.66	N-57°-W	石を並べ、内側に小石を敷く。	37	13
417配石	Ⅳ	Ⅳ	E37-38, F37-38	1.30	0.94	-	楕円形	1.22	0.78	0.38	N-71°-E	楕円部に石が並ぶ、内側にバ ンゴラの敷石あり。	38	13
418配石	Ⅳ	Ⅳ	F37, G37	1.30	1.20	-	-	-	-	-	石を並べ、内側に小石を敷く。 周囲に隣接する419配石と一 連の遺構である可能性あり。	38	13	
419配石	Ⅳ	Ⅳ	F37-38, G36	1.45	0.70	-	-	-	-	-	石を並べ、内側に小石を敷く。	38	13	
420配石	Ⅳ	Ⅳ	G37-38	1.50	1.10	-	-	-	-	-	石を並べ、内側に小石を敷く。	38	-	
421配石	Ⅳ	Ⅳ	H37-38, I37-38	4.10	2.90	-	-	-	-	-	大小の石が縦向きに並ぶ。	39	13	
422配石	Ⅳ	Ⅳ	I38-39	1.90	1.10	-	-	-	-	-	大小の石が縦向きに並ぶ。	39	14	
423配石	Ⅳ	Ⅳ	I39-40	2.30	1.20	-	-	-	-	-	大小の石が縦向きに並ぶ。	39	14	
424配石	Ⅳ	Ⅳ	F11+13, G12+13, H11+12	6.20	4.80	-	-	-	-	-	1) 字状に石が並ぶ。内側の 地面に大きな鉄塊あり(3.14 × 4.50 m)。掘り方不整形。	40~42	14	
425配石	Ⅳ	Ⅳ	G39, H39	1.60	1.25	-	-	-	-	-	大小の石が縦向きに並ぶ。	39	14	
426配石	Ⅳ	Ⅳ	A30-40, B30-40	1.20	0.60	-	楕円形	1.25	0.96	0.20	N-22°-W	大小の石が並ぶ。	43	14
427配石	Ⅳ	Ⅳ	I39-40	2.40	0.32	N-35°-E	-	-	-	-	列状に石が並ぶ。	43	15	
428配石	Ⅳ	Ⅳ	141	0.84	0.32	N-49°-E	-	-	-	-	短く列状に石が並ぶ。	43	-	
429配石	Ⅳ	Ⅳ	C16	0.70	0.30	-	-	-	-	-	石が並ぶ。	43	15	
430配石	Ⅳ	Ⅳ	388	0.64	0.36	-	-	-	-	-	石が並ぶ。	43	-	

埋設土器

遺構番号	層	地区	グリッド	埋設土器 規模 (m)			埋設状況	備考	坪図	写真 図版	
				平面形	長軸	短軸					深さ
401埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	D40	楕円形	0.39	0.21	0.13	正位		48	16
402埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	I38	円形	0.52	0.49	0.27	正位		48	16
403埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F28	円形	0.26	0.24	0.11	正位		48	16
404埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	I37-38	楕円形	0.48	0.40	0.15	正位		48	16
405埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	G37, H37	円形	0.40	0.36	0.36	正位		48	16
406埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	G36-37	楕円形	0.32	0.25	0.20	正位		48	16
407埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F36, G36	不明	0.39	0.243	0.22	正位		48	16
408埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	G35	円形	0.34	0.30	0.28	正位		48	16
409埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	B34, C34	円形	0.45	0.43	0.31	正位		48	17
410埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	H35	楕円形	0.42	0.35	0.17	正位		48	17
411埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F34	円形	0.36	0.32	0.22	正位		48	17
412埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F36	円形	0.25	0.23	0.23	正位		48	17
413埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	G36	不明	0.34	0.303	0.44	正位		49	17
414埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	G36	不明	0.243	0.323	0.37	正位		49	17
415埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F37	円形	0.42	0.38	0.15	正位		49	17
416埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F39, G39	円形	0.91	0.91	0.26	正位	417埋設土器と併設。	49	17
417埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F39, G39	円形	0.91	0.91	0.26	正位		49	17
418埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F35, G35	円形	0.36	0.34	0.14	正位		49	18
419埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	F37	円形	0.35	0.34	0.22	正位		49	-
420埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	H38	円形	0.30	0.29	0.25	正位		49	18
421埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	A30-37	不明	0.21	0.203	0.16	正位		49	18
422埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	B43, C43	楕円形	0.46	0.38	0.42	正位		49	18
424埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	C43	円形	0.23	0.22	0.15	正位		49	18
425埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	C42	円形	0.34	0.30	0.12	正位		50	18
426埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	G37	不明	0.33	0.283	0.36	正位		50	18
427埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	E37	円形	0.36	0.36	0.13	正位		50	-
428埋設土器	Ⅳ	Ⅳ	C41	楕円形	0.35	0.29	0.19	正位		50	18

土 塚

遺構番号	層	地区	グリッド	埋 蔵 (m)			主軸方位	断面形	備考	坪図	写真 図版
				平面形	長軸	短軸					
3813	Ⅳ	Ⅳ	B34, C34	円形	0.69	0.68	0.15	-	墳形	63	19
3814	Ⅳ	Ⅳ	C34-35	円形	0.60	0.59	0.15	-	墳台形	63	-
3815	Ⅳ	Ⅳ	C35	楕円形	0.91	0.71	0.27	N-53°-E	墳形	63	-
3816	Ⅳ	Ⅳ	C35	円形	0.93	0.83	0.20	-	墳台形	63	19
3817	Ⅳ	Ⅳ	C35	円形	1.16	1.04	0.15	-	墳形	63	19
3818	Ⅳ	Ⅳ	B36	不明	1.14	0.79	0.34	-	墳形	63	19
3819	Ⅳ	Ⅳ	A35-36, B35-36	不明	1.02	0.713	0.50	-	墳説形	63	19
3820	Ⅳ	Ⅳ	A36	不明	0.50	0.333	0.26	-	墳形	63	-
3821	Ⅳ	Ⅳ	A36	不明	0.41	0.283	0.44	-	墳説形	63	-
3822	Ⅳ	Ⅳ	B34-35	不整形	0.89	0.763	0.11	N-11°-E	墳台形	63	-
3823	Ⅳ	Ⅳ	B35	円形	0.82	0.74	0.22	-	墳台形	63	19
3824	Ⅳ	Ⅳ	B38, C38	楕円形	1.24	0.94	0.60	N-14°-W	墳説形	63	-
3825	Ⅳ	Ⅳ	B38	楕円形	0.71	0.443	0.56	N-67°-E	不整形	63	-
3826	Ⅳ	Ⅳ	B38	不明	0.96	0.323	0.24	-	墳台形	63	-

1. Ⅷ 層

第5表 Ⅶ層遺構一覧表(4)

土坑Ⅳ区

土坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	埋 蔵 (m)			主軸方位	基底部	備 考	探削	写真位置
					最長	短軸	深さ					
SK27	Ⅶ	Ⅳ	A37, B37	不明	1.10	0.62	0.40	-	逆台形		63	-
SK28	Ⅶ	Ⅳ	A38	不明	1.00	0.92	0.42	-	階段		63	-
SK29	Ⅶ	Ⅳ	A38-29	円形	1.97	1.62	0.32	-	逆台形		63	-
SK30	Ⅶ	Ⅳ	F36	円形	0.74	0.69	0.25	-	逆台形		64	-
SK31	Ⅶ	Ⅳ	F34, G34	不明	0.65	0.40	0.12	-	逆台形		64	-
SK32	Ⅶ	Ⅳ	F34	円形	2.00	1.86	0.75	-	逆台形		64	19
SK33	Ⅶ	Ⅳ	F38	不整形	1.05	0.94	0.16	N-29°-W	階段		64	-
SK34	Ⅶ	Ⅳ	F27	楕円形	1.92	0.84	0.41	N-62°-E	階段		64	19
SK35	Ⅶ	Ⅳ	F27	楕円形	1.02	0.74	0.14	N-60°-E	逆台形		64	-
SK36	Ⅶ	Ⅳ	F35	円形	0.69	0.67	0.15	-	逆台形		64	-
SK38	Ⅶ	Ⅳ	F36	楕円形	1.50	0.79	0.42	N-67°-E	階段		64	20
SK39	Ⅶ	Ⅳ	K35	円形	1.03	0.96	0.48	-	階段		64	-
SK40	Ⅶ	Ⅳ	F27	円形	1.02	0.89	0.35	-	半円形		64	20
SK41	Ⅶ	Ⅳ	G36	円形	1.06	0.91	0.34	-	階段		64	-
SK42	Ⅶ	Ⅳ	G35	円形	0.82	0.75	0.48	-	階段		64	20
SK43	Ⅶ	Ⅳ	F34-35	楕円形	0.84	0.61	0.32	N-23°-E	逆台形		64	-
SK44	Ⅶ	Ⅳ	E27	楕円形	1.34	0.80	0.24	N-9°-W	逆台形		64	20
SK45	Ⅶ	Ⅳ	E27	円形	0.80	0.73	0.15	-	逆台形		64	-
SK46	Ⅶ	Ⅳ	D34-35, E34	不整形	2.41	1.89	0.40	N-9°-E	不整形		65	-
SK47	Ⅶ	Ⅳ	E35	不整形	2.60	1.82	0.45	N-73°-E	不整形		65	-
SK48	Ⅶ	Ⅳ	E37	不明	1.05	0.64	0.17	-	逆台形		65	20
SK49	Ⅶ	Ⅳ	D37	楕円形	1.25	0.72	0.30	N-53°-E	逆台形		65	-
SK50	Ⅶ	Ⅳ	E37	楕円形	1.32	0.85	0.24	N-88°-W	逆台形		65	20
SK51	Ⅶ	Ⅳ	G36-37	不整形	1.93	1.20	0.29	N-12°-W	不整形		65	20
SK52	Ⅶ	Ⅳ	D37	不明	0.64	0.29	0.13	-	逆台形		65	-
SK53	Ⅶ	Ⅳ	D37-38	円形	1.10	1.00	0.37	-	階段		65	21
SK54	Ⅶ	Ⅳ	D37	不整形	1.63	1.20	0.15	N-66°-W	逆台形		65	-
SK55	Ⅶ	Ⅳ	D37	円形	0.87	0.76	0.17	-	階段		65	21
SK56	Ⅶ	Ⅳ	G36-37	円形	0.97	0.87	0.34	-	階段		65	-
SK57	Ⅶ	Ⅳ	D36-37	不明	1.04	1.03	0.05	-	階段		66	-
SK58	Ⅶ	Ⅳ	D36	不明	1.04	0.83	0.32	-	階段		66	-
SK59a	Ⅶ	Ⅳ	D37	円形	0.88	0.86	0.27	-	逆台形		66	21
SK59b	Ⅶ	Ⅳ	D37	不明	1.05	-	0.12	-	階段		66	-
SK60	Ⅶ	Ⅳ	A36, B40	円形	1.22	1.09	0.30	-	逆台形		66	21
SK61	Ⅶ	Ⅳ	A36, B40	不明	0.71	0.54	0.12	-	不明		66	-
SK62a	Ⅶ	Ⅳ	D36, E36	楕円形	1.84	0.66	0.29	N-43°-E	逆台形		66	-
SK62b	Ⅶ	Ⅳ	D36, E36	不明	-	-	-	-	不明		66	-
SK63	Ⅶ	Ⅳ	D41	楕円形	1.12	0.92	0.52	N-53°-E	階段		66	21
SK64	Ⅶ	Ⅳ	D41	円形	0.81	0.90	0.10	-	逆台形		66	-
SK65	Ⅶ	Ⅳ	D36	不明	-	-	-	-	逆台形		66	21
SK66	Ⅶ	Ⅳ	A42	円形	1.16	1.02	0.43	-	階段		66	21
SK67	Ⅶ	Ⅳ	A42, B42	円形	0.69	0.82	0.22	-	逆台形		66	21
SK68	Ⅶ	Ⅳ	A42	不明	0.95	0.43	0.16	-	逆台形		66	-
SK69	Ⅶ	Ⅳ	C37, D37	不明	1.54	1.11	0.32	N-52°-E	階段		66	-
SK70	Ⅶ	Ⅳ	C27	不明	0.37	0.84	0.50	-	不整形		66	-
SK71	Ⅶ	Ⅳ	D37	長方形	0.79	0.36	0.10	N-68°-W	逆台形		67	-
SK72	Ⅶ	Ⅳ	A41	不明	0.71	0.59	0.20	-	不明		67	-
SK73	Ⅶ	Ⅳ	F36-37	不明	0.82	-	0.33	-	階段		67	-
SK74	Ⅶ	Ⅳ	G28	円形	0.50	0.52	0.35	-	不明		67	22
SK75	Ⅶ	Ⅳ	F38, G38	不明	0.90	0.86	0.45	-	階段		67	-
SK76	Ⅶ	Ⅳ	F38-39	楕円形	1.88	1.03	0.24	N-14°-W	逆台形		67	-
SK77	Ⅶ	Ⅳ	F39	不明	0.59	0.41	0.15	-	逆台形		67	-
SK78	Ⅶ	Ⅳ	B38-39	円形	1.36	1.30	0.25	-	逆台形		67	-
SK79	Ⅶ	Ⅳ	C29	楕円形	0.84	0.64	0.29	N-44°-E	不整形		67	22
SK80	Ⅶ	Ⅳ	B38, C39	円形	1.22	1.19	0.36	-	逆台形		67	22
SK81	Ⅶ	Ⅳ	A40, C40	円形	0.74	0.66	0.28	-	不明		67	22
SK82	Ⅶ	Ⅳ	G29, F40, G40	楕円形	1.12	0.89	0.20	-	逆台形		67	22
SK83	Ⅶ	Ⅳ	C40	円形	1.69	1.45	0.06	-	階段		67	-
SK84	Ⅶ	Ⅳ	B41	円形	0.85	0.73	0.19	-	半円形		68	-
SK85	Ⅶ	Ⅳ	B41	楕円形	1.13	0.85	0.48	N-27°-W	階段		68	22
SK86	Ⅶ	Ⅳ	G37	楕円形	0.83	0.67	0.26	-	逆台形		68	-
SK87	Ⅶ	Ⅳ	B40	円形	1.36	1.30	0.09	-	逆台形		68	-
SK88	Ⅶ	Ⅳ	B40	不明	0.63	0.40	0.09	-	逆台形		68	-
SK89	Ⅶ	Ⅳ	F29	楕円形	1.42	0.74	0.35	N-16°-W	逆台形		68	22
SK90	Ⅶ	Ⅳ	A42+E3, B42	円形	0.67	0.66	0.14	-	逆台形		68	22
SK91	Ⅶ	Ⅳ	E38	円形	0.60	0.56	0.20	-	逆台形		68	23
SK92	Ⅶ	Ⅳ	E38, F39	不明	0.94	0.92	0.35	-	階段		68	-
SK93	Ⅶ	Ⅳ	E38	長方形	1.37	0.67	0.30	N-59°-E	階段		68	23
SK94	Ⅶ	Ⅳ	E38	楕円形	1.00	0.82	0.36	N-81°-E	逆台形		68	-
SK95	Ⅶ	Ⅳ	F38-39	長方形	1.22	0.66	0.20	N-10°-E	逆台形		68	23
SK96	Ⅶ	Ⅳ	F39-40	円形	1.12	1.16	0.38	-	階段		68	-
SK97	Ⅶ	Ⅳ	F40	円形	1.04	0.87	0.29	-	階段		68	23
SK98	Ⅶ	Ⅳ	E39+E3, F39-E3	不明	1.01	1.00	0.35	-	階段		69	23
SK99	Ⅶ	Ⅳ	F40	円形	0.59	0.50	0.45	-	階段		69	-
SK100	Ⅶ	Ⅳ	D39, E39	不明	-	-	0.23	-	階段		69	23

第6表 VII層遺構一覧表(5)

VII層IV区

土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	縦 横 (m)			主軸方位	断面形	備 考	坪田	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK1001	Ⅶ	IV	E38-39	不明	0.60	0.53	0.20	-	逆台形		49	-
SK1002	Ⅶ	IV	A40	楕円形	1.09	0.89	0.23	S-60°-E	逆台形		49	23
SK1003	Ⅶ	IV	C30	楕円形	0.85	0.69	0.32	S-60°-E	楕形		49	23
SK1004	Ⅶ	IV	B41,C41	楕円形	1.19	0.83	0.12	S-71°-W	逆台形		49	-
SK1005	Ⅶ	IV	C42	楕円形	1.02	0.69	0.14	S-87°-W	逆台形		49	-
SK1006	Ⅶ	IV	C42	不明	0.66	0.57	0.12	-	逆台形		49	-
SK1007	Ⅶ	IV	C37-38,D37-38	楕円形	2.07	1.84	0.24	S-50°-W	逆台形		49	-
SK1008	Ⅶ	IV	C42-43,D42-43	楕円形	1.23	0.95	0.07	S-27°-W	逆台形		49	-
SK1009	Ⅶ	IV	F41-42	円形	0.76	0.69	0.15	-	逆台形		49	24
SK1010	Ⅶ	IV	F42	円形	0.84	0.80	0.09	-	逆台形		49	24
SK1011	Ⅶ	IV	G39	円形	0.70	0.60	0.11	-	逆台形		49	-
SK1012	Ⅶ	IV	F41,G41	円形	1.16	1.02	0.36	-	逆台形		49	-
SK1013	Ⅶ	IV	039	不整形	1.36	1.06	0.25	S-10°-W	逆台形		49	-
SK1014	Ⅶ	IV	E41	円形	0.95	0.82	0.49	-	逆台形		49	24
SK1015	Ⅶ	IV	I30	円形	0.96	0.91	0.25	-	楕形		70	24
SK1016	Ⅶ	IV	I30	不整形	1.44	1.15	0.35	S-62°-W	階段形		70	24
SK1017	Ⅶ	IV	A30	楕円形	1.19	0.75	0.25	S-90°-E	階段形		70	24
SK1018	Ⅶ	IV	A30-36	不明	0.98	0.79	0.24	-	楕形		70	24

性格不明遺構

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	縦 横 (m)			主軸方位	断面形	備 考	坪田	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK091	Ⅶ	IV	E41,F ~ D40-41	-	0.80	0.52	-	-	-		73	-

VII層V区

土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	縦 横 (m)			主軸方位	断面形	備 考	坪田	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK543	Ⅶ	V	D41,E41	楕円形	0.84	0.53	0.15	S-20°-E	逆台形		74	24
SK544	Ⅶ	V	046	不明	-	-	0.34	-	逆台形		74	24

2. V 層

遺構はIV区を中心に堅穴遺構1基、環状集石1基、配石11基、埋設土器5基、土坑32基、溝跡1条、河川跡3条、性格不明遺構1基を検出した。

他の調査区より若干標高の高いIV区のほぼ中央に、拳大から数10cmの長さの礫を直径およそ12m円形にややまばらに敷き詰めた円形の環状集石1基と、配石11基があり、その周囲に埋設土器や土坑、堅穴遺構が取り囲むように位置している。

Ⅲ区のSI301 堅穴遺構は一辺約5.7mの正方形の堅穴であるが、炉が検出されないことや、周囲に堅穴住居跡が検出されず、祭祀関係の遺構が多いことから一般の堅穴住居跡ではなく、祭祀に関係する堅穴遺構であると考えられる。

IV区検出の配石の中には401集石の範囲内に配置されているものがあり、401配石は立石を伴い、402、403配石は下部に土坑を伴っており、402配石下部の土坑からイノシシ形の土製品や磨製石斧が出土した。その他配石下部に土坑が検出されたものと配石のみのものがある。また、404配石は1辺が3～3.3mの方形に石列が巡るものである。これらのV層検出配石には花崗岩が用いられているものが多く、他の石材は僅かである。

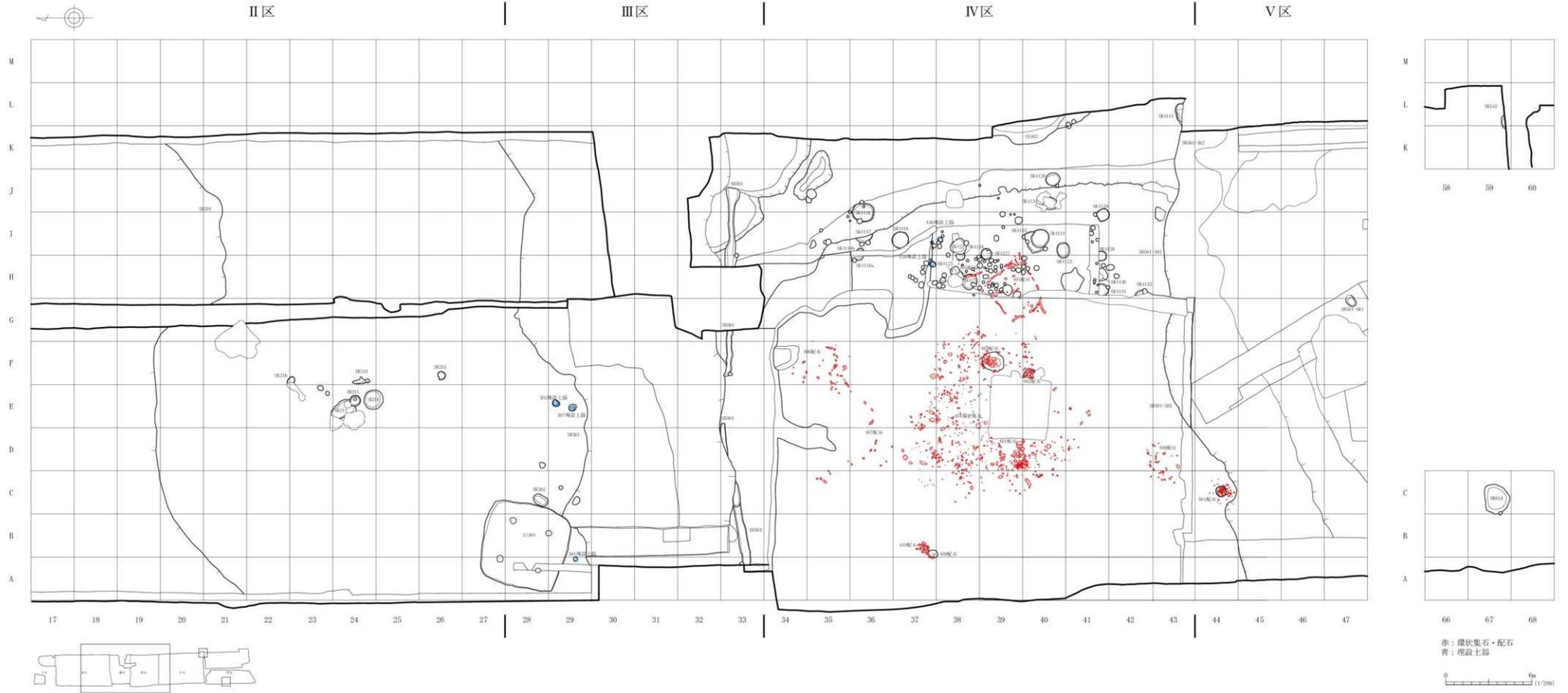
Ⅱ区検出のSK210 土坑から焼土、炭化物と共に焼けた骨片や骨角器が出土した。骨片の中には獣骨、鳥骨、魚骨、貝殻等がある。獣骨にはイノシシ、シカ、ウサギ等があり、イノシシの永久歯が生える前の、幼獣の下顎骨が認められる。鳥類にはガン・カモ類等の骨が認められる。魚骨には海産のタイ、カワハギ、サメ、エイ、スズキ、ボラ、サケ、淡水産のコイ、フナ、アユ、ウナギ、ギバチ等の種類が認められる。骨角器は鹿角製で離頭鋸、鋸、ヤス、釣針等の漁具である。これらはすべて火を受けており、そのために残存していたものと考えられる。その他にも土坑堆積土中や、遺物包含層から骨片や骨角器が出土している。

遺構下層のV層はⅡ区～Ⅳ区にかけて、遺物包含層となっており、後期前葉を中心とした時期の土器、土製品、石器、石製品、骨片等が多量に出土している。特にⅡ区では厚さ30cm以上の部分があり、多量の土器、石器のほか、土偶、特殊な土器、土製品等祭祀にかかわる遺物が多くみられる。また、Ⅳ区のV層は多くの層に細分される部分があり、焼土、炭化物、砂礫が部分的に含まれ、出土する遺物に磨滅した細片が多いことから、人為的な盛土を施し、整地していたものと考えられる。Ⅳ区のV層包含層は南側のSR501・502 河川跡によって削平され、河川の壁際に多量の遺物と共に堆積していた。河川に流れ込んでいた遺物はⅣ区出土の遺物に比して残存状況が良好なものが多い。この河川は砂礫層と植物遺体が残存する土層が確認されることから、水流が強い時期と極めて弱いほとんど流れがない状態の時期があったものと思われる。また、この中には漆製品の櫛の痕跡も認められた。SR502の植物遺体を含む層で検出されたものには、トチ、クルミ、ドングリのほか、ウリ科やバラ科などの種子が確認されたが、栽培種と考えられるものは見られなかった。そのほかに広葉樹の葉が多量見られた。

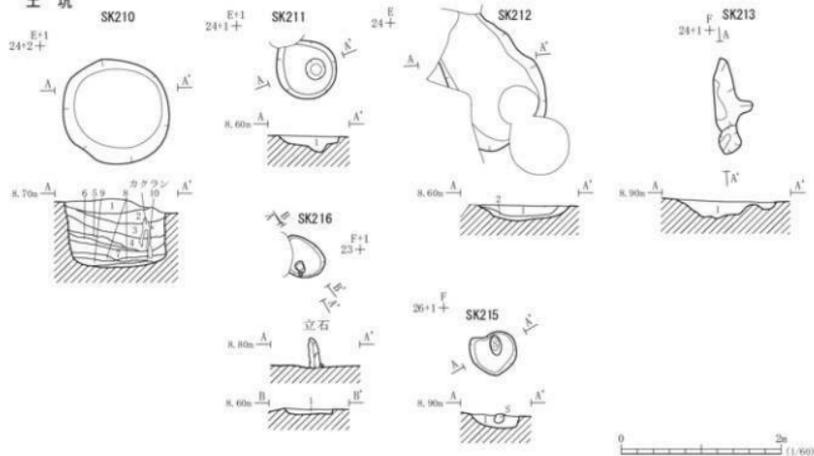
Ⅲ区検出の溝跡は上層から掘り込まれた遺構の残存であると考えられる。東西の調査区外に延び、やや湾曲しているがほぼ東西方向の溝である。

河川跡は、調査区を東西に横断するかたちで、西から東へ向かって流れていたものと考えられる。いずれも重複する後期前葉の遺構より新しく、当該期より新しい時期のものであると考えられる。調査区北側(Ⅰ区～Ⅱ区中央)と中央の一部(Ⅲ区南側～Ⅳ区北側)、南側(V区～Ⅵ区)は、これらの河川によって大きく抉り取られており、遺構配置の全容は不明である。

後期前葉の遺構群から離れた調査区南端Ⅵ区検出のSK614 土坑はSR501 河川跡の上面で検出された土坑である。底面に晩期中葉大洞C₂式の浅鉢が1個体つづれた状態で出土した。当該期の遺構は1基のみで他には検出されていない。このことから調査区南側のSR501 河川跡は晩期中葉の時期には埋没していたものと考えられる。

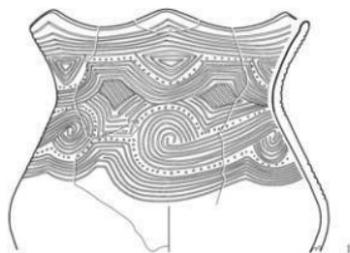


第75図 V層遺構配置図

1) II 区
土坑

SK	層位	土色	土性	備考
210	1	5YR1, 7/1 黒	シルト	褐色シルトブロック、炭化物、粗砂、骨片を含む。
	2	7.5YR2/2 黒褐	シルト	炭化物、粗砂、骨片を含む。
	3	10YR1, 7/1 黒	粘土質シルト	炭化物、粗砂、小礫 (φ 1~2 cm)、骨片を含む。
	4	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	褐色シルトブロック、炭化物、粗砂、小礫 (φ 1~2 cm)、骨片を含む。
	5	10YR2/1 黒褐	砂質シルト	炭化物、粗砂、小礫 (φ 1~2 cm)、骨片を含む。
	6	10YR3/1 黒褐	シルト質砂	小礫 (φ 2~3 cm) を含む。
	7	10YR1, 7/1 黒	シルト質砂	粘土粒、炭化物、粗砂、小礫 (φ 1~2 cm)、骨片を含む。
	8	5YR3/2 暗赤褐	砂質シルト	粘土粒、炭化物、骨片を含む。
	9	7.5YR4/2 黒	細砂	粘土粒、炭化物、骨片を含む。
	10	7.5YR4/3 暗褐	シルト質砂	粘土粒、炭化物 (0.9層より多量)、骨片を含む。

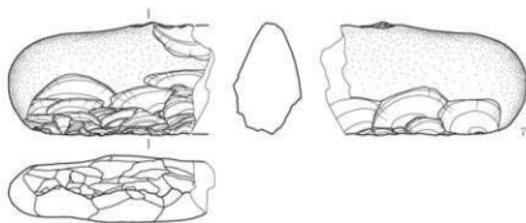
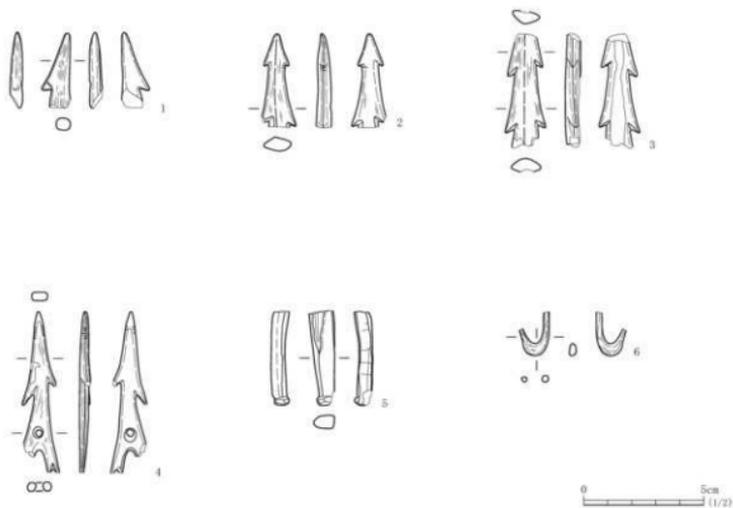
SK	層位	土色	土性	備考
211	1	10YR2/2 黒褐	粘土質シルト	炭、煤土、炭化物、有機物を含む。
	2	10YR3/6 黒	シルト質粘土	
212	1	10YR2/2 黒褐	シルト	褐色粘土質シルト、煤土粒、炭化物を含む。
	2	10YR4/4 暗	粘土質シルト	炭化物を含む。
213	1	2.5YR4/4 に近い黄	砂質シルト	炭化物を微量含む。
215	1	10YR3/1 黒褐	粘土	黄褐色粘土ブロックを多量に含む。
216	1	10YR2/1 黒	粘土	に深い黄褐色粘土ブロック、炭化物を含む。



0 10cm
1/30

No.	発見番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-837	5B, 215	縄文土器	図録	多色洗刷文、斜交文、縄文瓦、横穴施文。	涙状口縁。	61-1

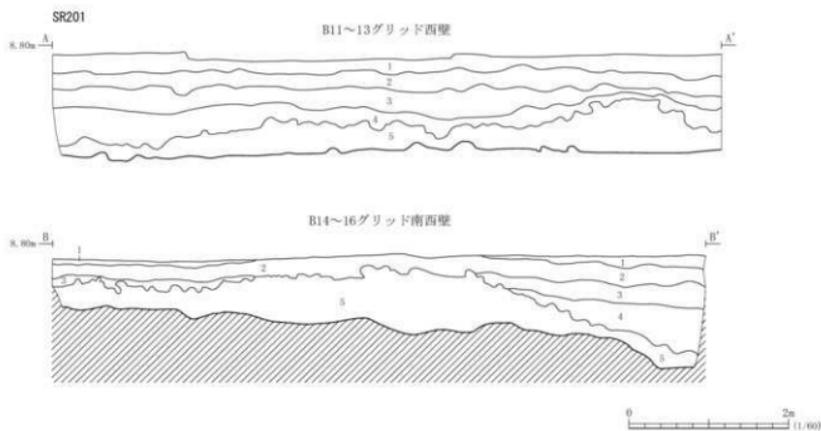
第 76 図 V 層 II 区 土坑・土坑出土遺物 (1)



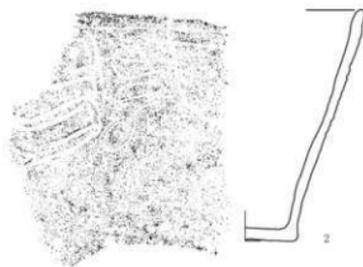
No.	発跡番号	出土遺構	種別	部種	分型	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Q-002	SK210	骨角器	針		長さ (2.2) × 幅 (1.2) × 厚さ (0.5) cm					61-2
2	Q-005	SK210	骨角器	針		長さ (4.0) × 幅 (1.4) × 厚さ (0.4) cm					61-3
3	Q-001	SK210	骨角器	針		長さ (4.9) × 幅 (1.7) × 厚さ (0.8) cm					61-4
4	Q-004	SK210	骨角器	鏃頭部		長さ (6.8) × 幅 (1.5) × 厚さ (0.5) cm					61-5
5	Q-003	SK210	骨角器	ヤス		長さ (4.0) × 幅 (1.0) × 厚さ (0.7) cm					61-6
6	Q-006	SK210	骨角器	鏃頭部		長さ (1.9) × 幅 (1.2) × 厚さ (0.3) cm					61-7
No.	発跡番号	出土遺構	部種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
7	ka-036	SK210	打製石斧	流紋岩	ka-g	(7.2)	(12.8)	(4.1)	(466.4)		61-8

第77図 V層Ⅱ区 土坑出土遺物(2)

河川跡



SR	層位	土色	土性	備考	SR	層位	土色	土性	備考
201	1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	包含物の混れこみ。	201	4	10YR5/4 じぶい・黄褐色	粘土	
	2	10YR8/4 浅黄褐色	粘土	炭化物を少量含む。		5	10YR6/6 明黄褐色	細砂	
	3	7.5YR6/4 じぶい・暗	粘土						

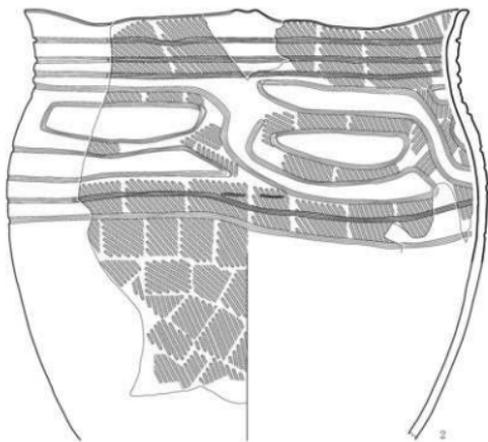
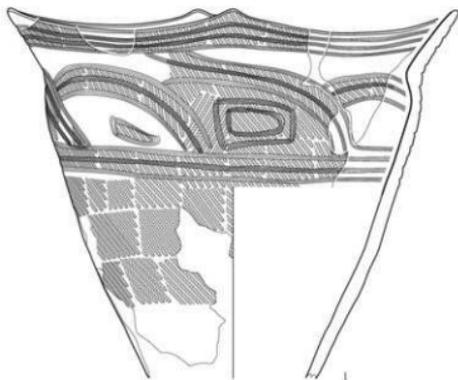
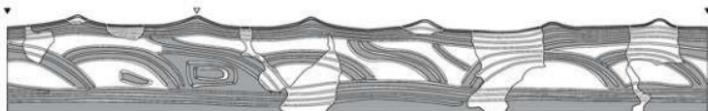


0 10cm (1/3)

No.	発掘番号	出土遺構	種別	図録	文書等	備考	写真図録
1	A-936	SR201	縄文土器	図録	縄縄文、浅緑文。		-
2	A-937	SR201	縄文土器	図録	浅緑文。	泥状口縁。	61-9

第78図 V層Ⅱ区 SR201河川跡・SR201河川跡出土遺物(1)

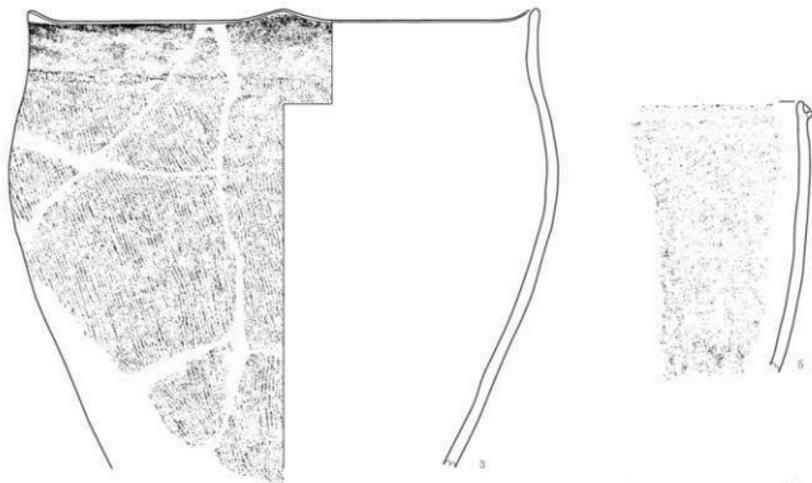
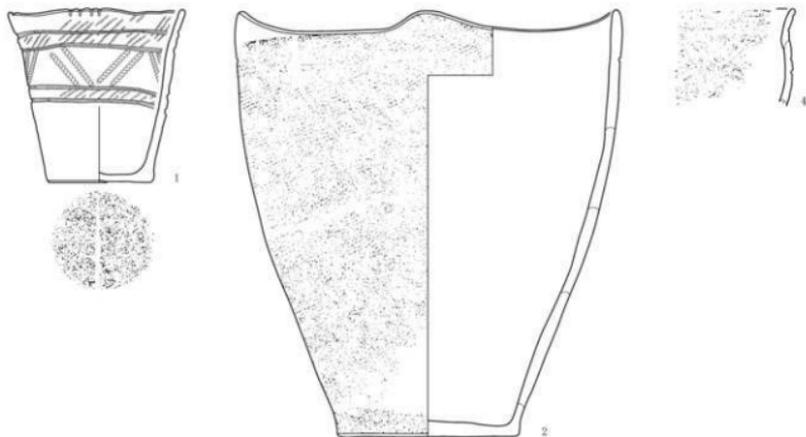
2. V 層



0 10cm
1 (1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-071	SR201	織文土器	図録	沈線文、織文地、模印施文、磨り消し。	底紋口縁、6単位。	61-10
2	A-815	SR201	織文土器	図録	沈線文、織文地、縦・横・斜位施文、磨り消し。	底紋口縁、4単位。	-

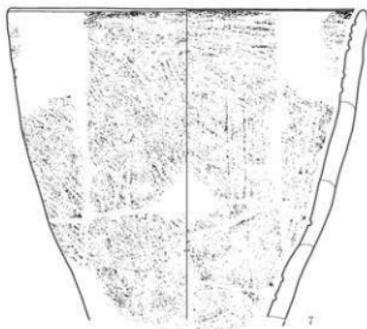
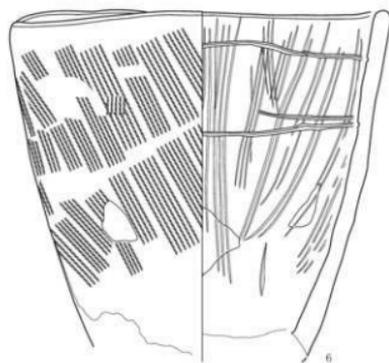
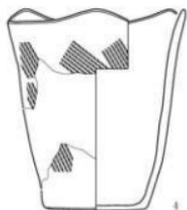
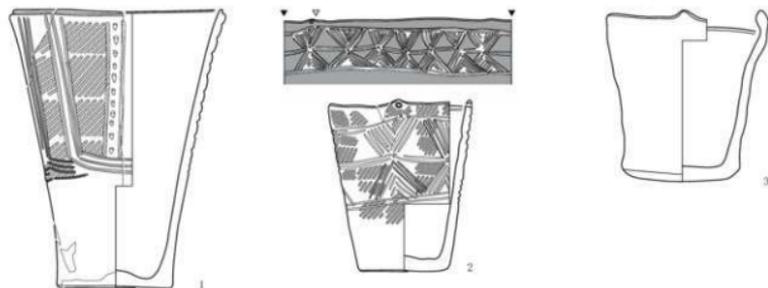
第79図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(2)

0 10cm
(1/20)

no.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真記号
1	A-572	SR201	縄文土器	深鉢	口唇部：縄文1層体側面圧痕。胴部：沈線文、矢羽状の縄文1層体側面圧痕。縄文1層位施文。	唇状口縁、4単位。底部本線痕。	61-13
2	A-091	SR201	縄文土器	深鉢	口縁部以下に縄文1層体側面圧痕。胴部：縄文1層・斜位施文。	唇状口縁、4単位。底唇縦状圧痕。	-
3	A-257	SR201	縄文土器	深鉢	胴部：斜位体圧痕文。胴部：縄文1層位施文。	唇状口縁、4単位。	61-11
4	A-941	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文。		61-12
5	A-940	SR201	縄文土器	深鉢	縄線文、沈線文、肩孔、縄文1層位施文。		-

第80図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(3)

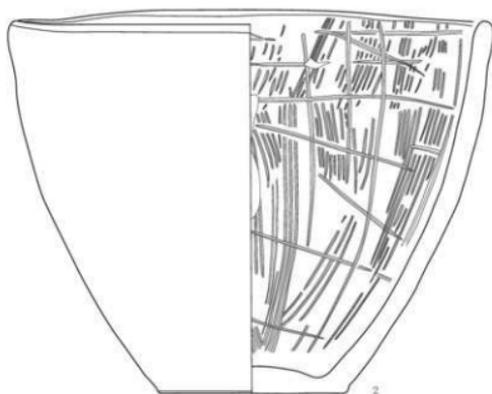
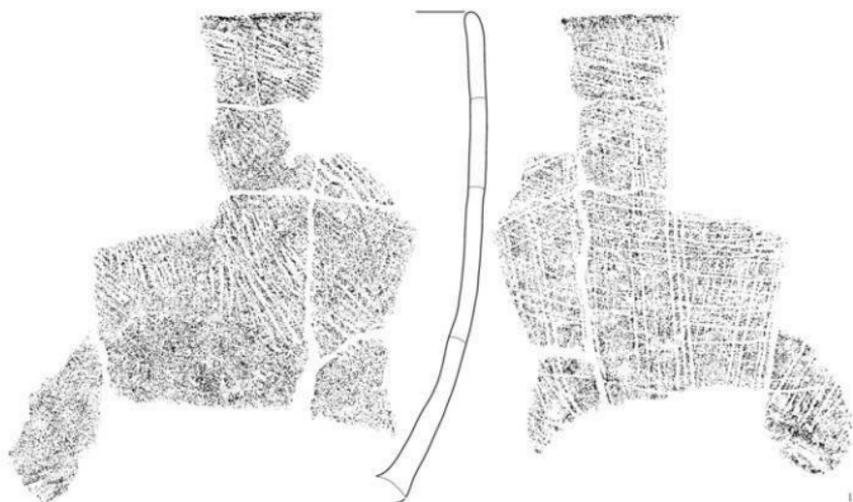
2. V 層



0 10cm
1/1.50

No.	登録番号	出土遺構	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-226	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文、斜交文、縄文1区横位施文。		61-14
2	A-050	SR201	縄文土器	深鉢	外面 沈線文、丹野斜交文、縄文1区横位施文、内面 口縁部 沈線文。	小穴尻、貫通孔。	61-15
3	A-555	SR201	縄文土器	深鉢	内面 口縁部 沈線文。	小穴尻。	61-16
4	A-941	SR201	縄文土器	深鉢	縄文文3区・斜位施文。	露沢口縁、3単位。	-
5	A-060	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文1区・横位施文、磨り面L。		62-1
6	A-097	SR201	縄文土器	深鉢	外面 縄文文1区・斜位施文、内面 磨り目状沈線文。(磨り目状横条状)		-
7	A-265	SR201	縄文土器	深鉢	外面 縄文文3区・斜位施文、内面 磨り目状沈線文。(横条状)		62-2

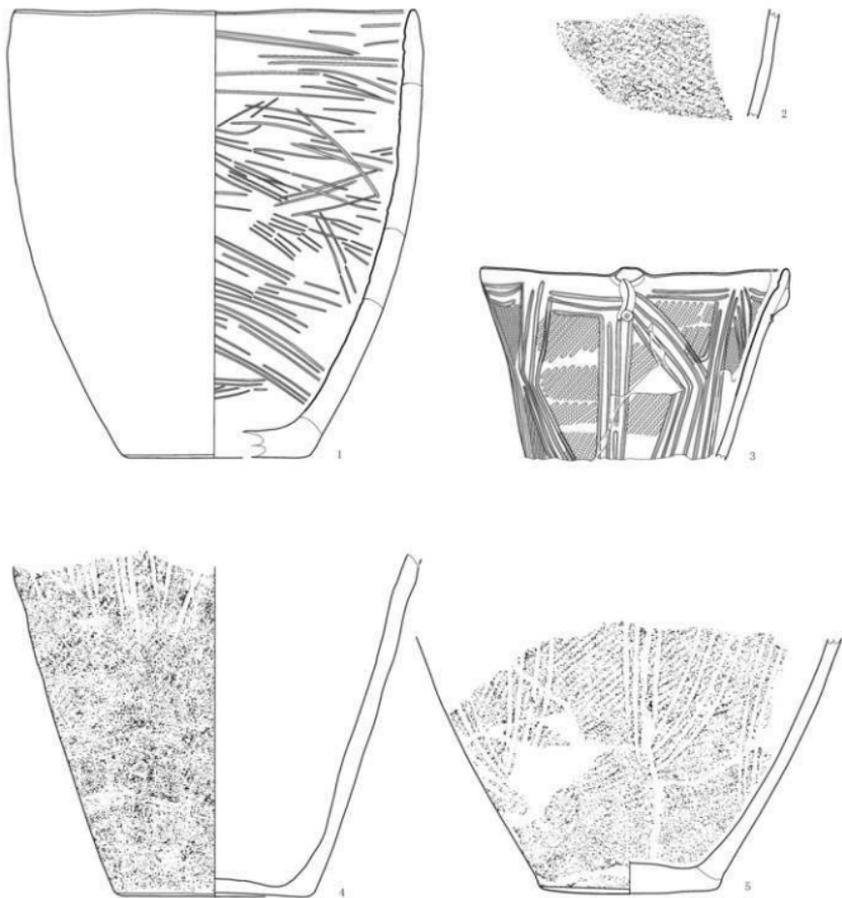
第81図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(4)



0 10cm
1/3

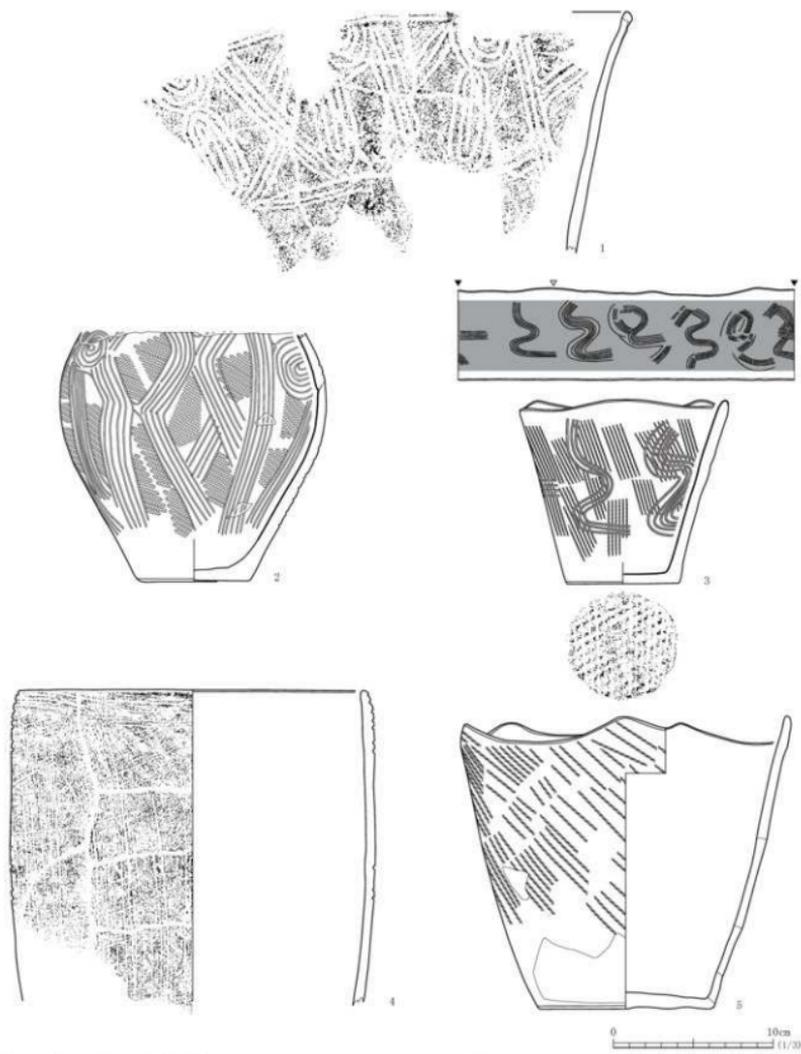
No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-277	SR201	縄文土器	深鉢	外面 斜交文・縦・斜交縦文、内面 格子目状沈堀文。(磨崖状)		-
2	A-266	SR201	縄文土器	深鉢	内面 格子目状沈堀文、磨崖状沈堀文。		-

第82図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(5)



No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-929	SR201	縄文土器	深鉢	内面：縞並状波線文。		—
2	A-929	SR201	縄文土器	深鉢	腹目文（網代付常文）。		62-3
3	A-626	SR201	縄文土器	深鉢	多条波線文、透線立、内面斜交文、縄文L形横位輪文。	小突起。	62-4
4	A-259	SR201	縄文土器	深鉢	多条波線文、縄文L形横位輪文。		62-5
5	A-622	SR201	縄文土器	深鉢	多条波線文、縄文H形位輪文。		62-6

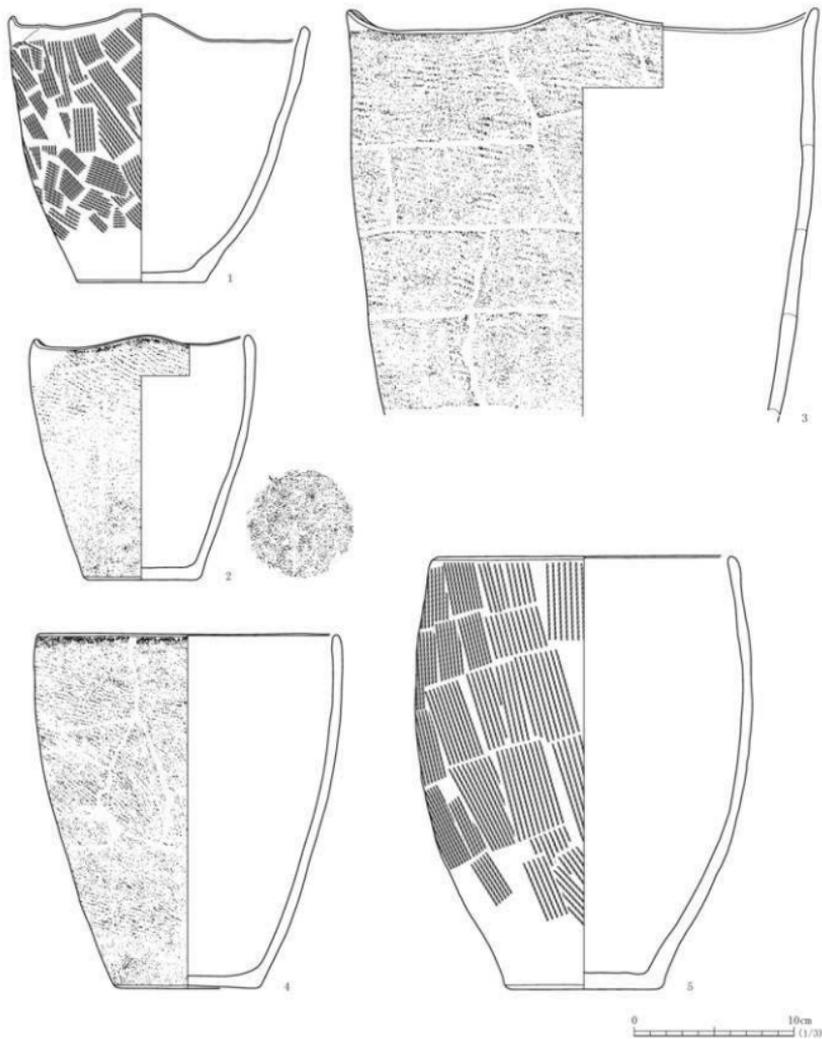
第83図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(6)



No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-117	SR201	縄文土器	深鉢	多色注線文、縄文1区縦位筋文。	小破片。	42-7
2	A-772	SR201	縄文土器	深鉢	多色注線文、縄文1区縦位筋文。		42-8
3	A-522	SR201	縄文土器	深鉢	縞帯状注線文、縄文5区縦位筋文。	破片口縁、3単位、底面剥離片。	42-9
4	A-751	SR201	縄文土器	深鉢	格子目状注線文。		43-1
5	A-198	SR201	縄文土器	深鉢	縞帯文1区位筋文。	破片口縁、5単位、破片により一部器面剥離、底面本葉形。	43-2

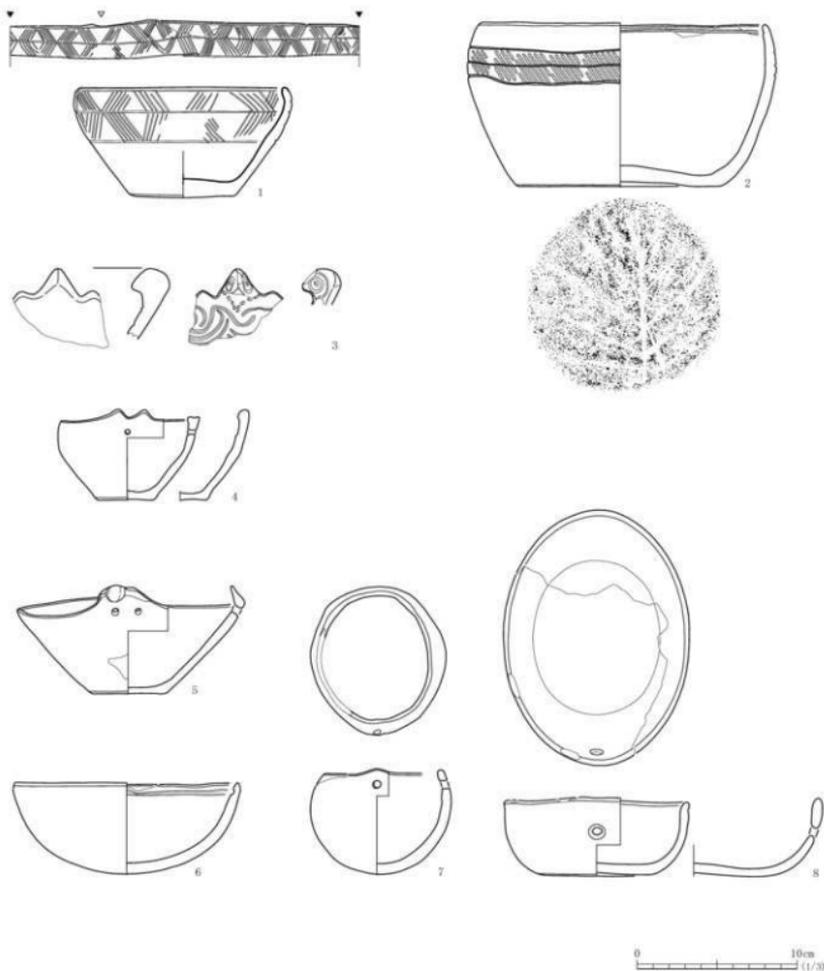
第84図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(7)

2. V 層



No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-516	SR201	縄文土器	深鉢	横糸文半罫・斜位編文。	底径口縁、4単位。	43-3
2	A-974	SR201	縄文土器	深鉢	縄文1区罫・斜位編文。	底径口縁、4単位。底面本覆輪。	43-4
3	A-769	SR201	縄文土器	深鉢	縄文1区罫・横・斜位編文。	底径口縁、4単位。	43-5
4	A-661	SR201	縄文土器	深鉢	横糸文半罫・斜位編文。		43-6
5	A-154	SR201	縄文土器	深鉢	横糸文3区位編文。		43-7

第85図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(8)

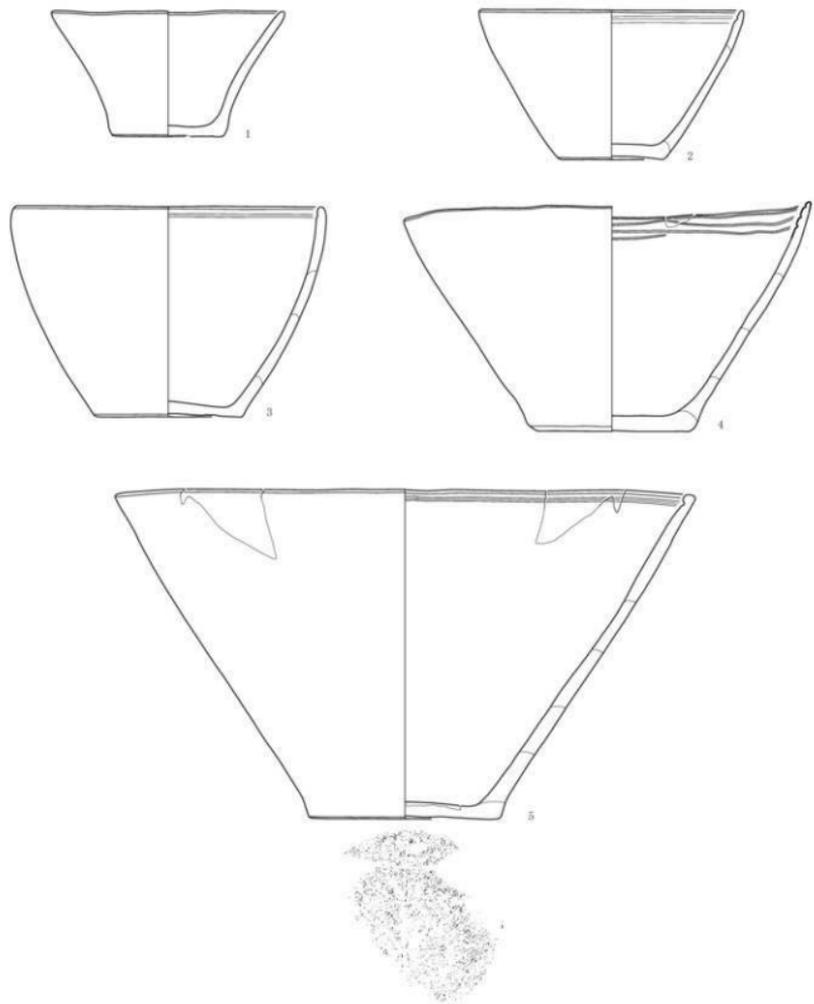


0 10cm (1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-510	SR201	縄文土器	鉢	沈線文。	内・外面黒色付着物。	04-1
2	A-506	SR201	縄文土器	鉢	外面 沈線文、縄文1本縦位半周施文。内面 口縁部：沈線文。	底部木葉痕。	04-2
3	A-927	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 沈線文、刷突文。	鳥居野史記、A-926(第29図)と同じ個体小。	04-3
4	A-811	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 沈線文、刷突文。	底孔1個。貫通孔。	04-4
5	A-178	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文。	底孔。貫通孔2ヶ所。	04-5
6	A-633	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文。	貫通孔。	04-6
7	A-509	SR201	縄文土器	浅鉢		貫通孔。	04-7
8	A-110	SR201	縄文土器	浅鉢		焼成後の穿孔。	04-8

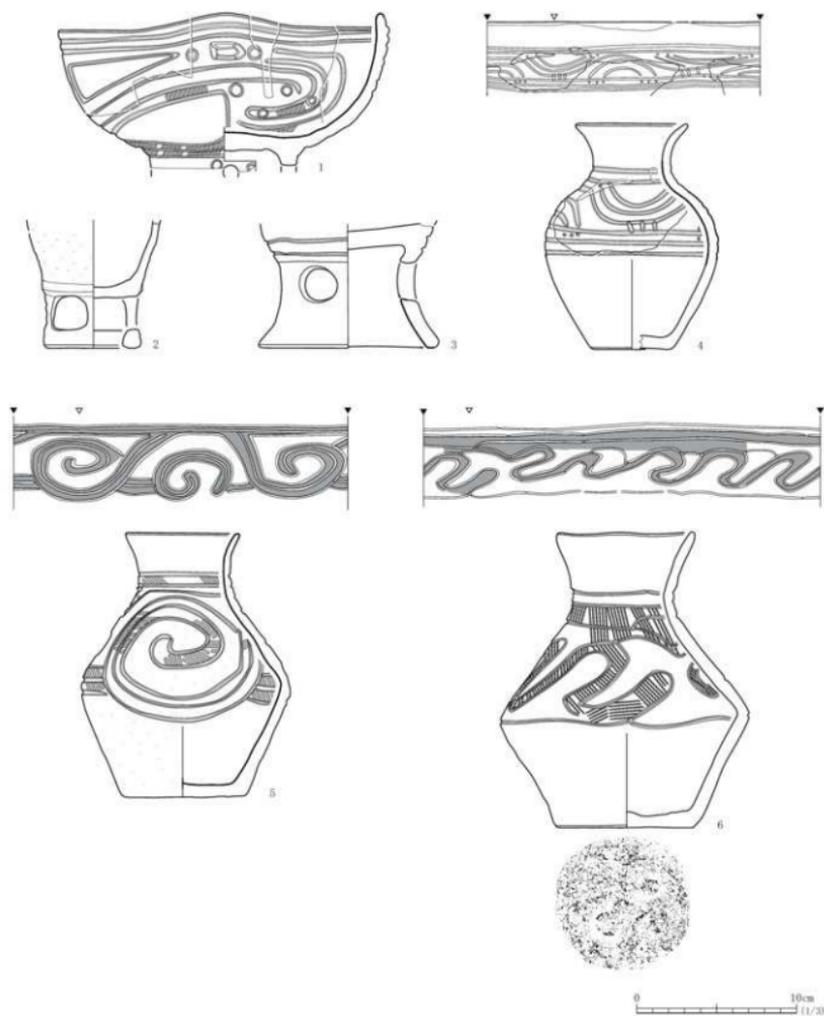
第86図 V層II区 SR201 河川跡出土遺物(9)

2. V 層



No.	発掘番号	出土遺物	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-839	SR201	縄文土器	浅鉢		底面木炭痕。	-
2	A-560	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈線文。		64-9
3	A-449	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈線文。		-
4	A-350	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈線文。		64-10
5	A-258	SR201	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈線文。	底面木炭痕。	-

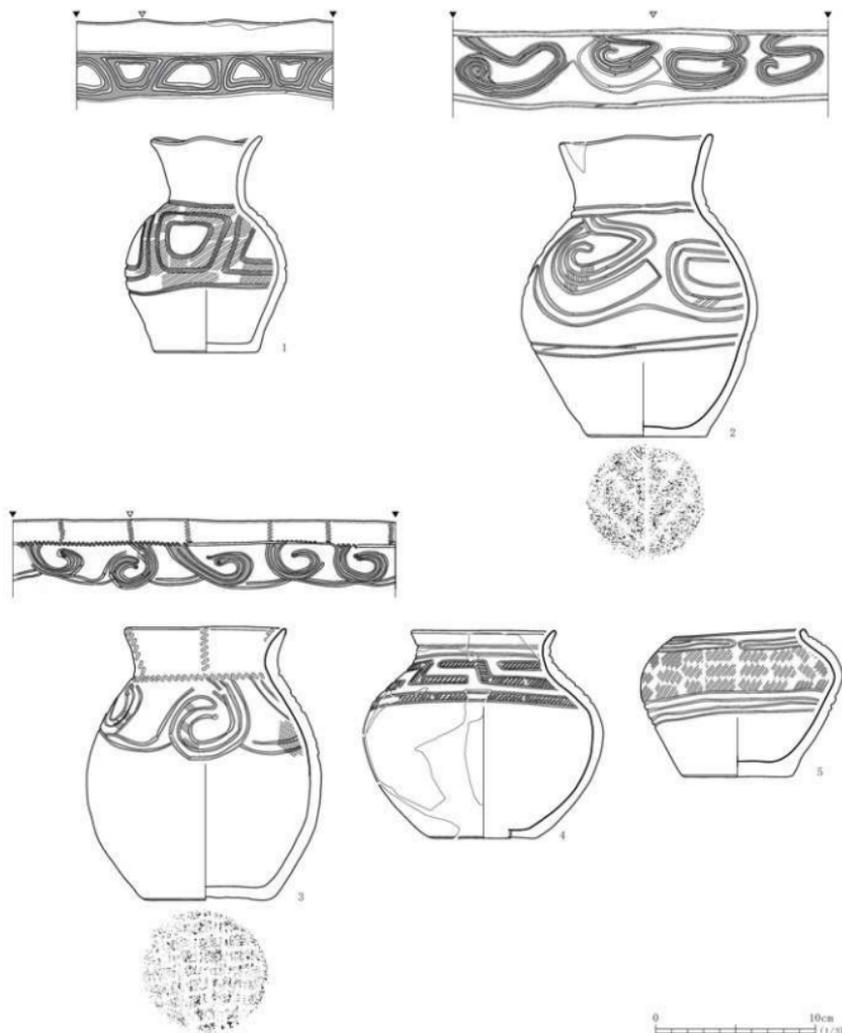
第 87 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (10)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-832	SR201	縄文土器	平付鉢	波線文、円形刺突文、縄文1.8横位施文。	底辺口縁、脚部透穴3×9cm、受皿内面底面削付存。	64-11
2	A-274	SR201	縄文土器	平付鉢	波線文。	脚部透穴3×9cm。	64-12
3	A-524	SR201	縄文土器	平付鉢	脚部：波線文。	脚部透穴3×9cm。	-
4	A-174	SR201	縄文土器	盆	波線文、円形刺突文。		64-13
5	A-561	SR201	縄文土器	盆	波線文、縄文1.8縦・横・斜位施文、磨り消し。		64-14
6	A-521	SR201	縄文土器	盆	波線文、円形刺突文、縄文1.8縦・横・斜位施文、磨り消し。	底面網代施。	65-1

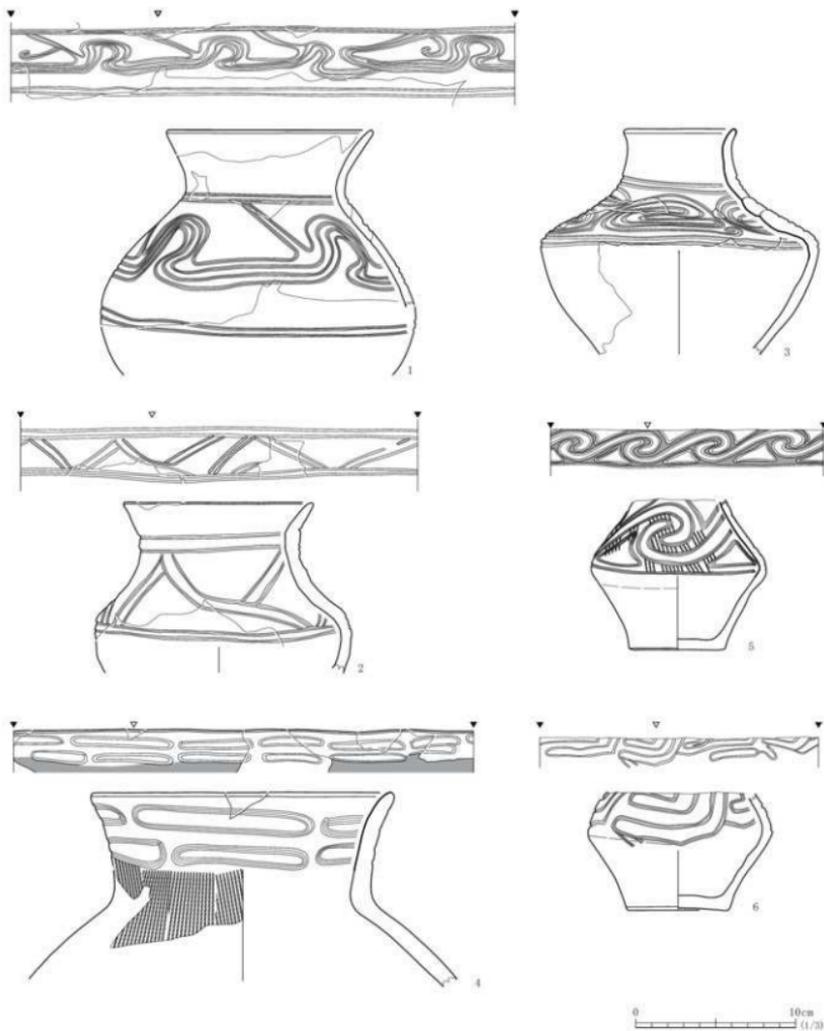
第88図 V層Ⅱ区 SR201河川跡出土遺物(11)

2. V 層



no.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真記録
1	A-950	SR201	縄文土器	壺	波線文、縄文1段・縦・横・斜位加文、磨り消し。	磨り消し跡。3単位。縄器時代後。	65-2
2	A-562	SR201	縄文土器	壺	波線文、縄文1段・横・斜位加文、磨り消し。	磨り消し跡。縄器時代後。	65-3
3	A-516	SR201	縄文土器	壺	白線部・横波；縄文1段全体横面江流。横波；波線文、斜位斜交文、縄文1段縦位加文。横波の横波は横波1段横位波線文で消される。	縄器時代後。	65-4
4	A-850	SR201	縄文土器	壺	波線文、縄文1段・横・斜位加文。		-
5	A-571	SR201	縄文土器	壺	波線文、縄文1段・横位加文、磨り消し。		65-5

第 89 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (12)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-070	SR201	縄文土器	壺	沈線文。		65-6
2	A-777	SR201	縄文土器	壺	沈線文。		65-7
3	A-845	SR201	縄文土器	壺	沈線文。	内面 輪襷状。	65-8
4	A-742	SR201	縄文土器	壺	沈線文、燃糸文&縦位筋文。		65-9
5	A-558	SR201	縄文土器	壺	沈線文、燃糸文&縦位筋文、磨り跡L。		65-10
6	A-541	SR201	縄文土器	壺	沈線文。		65-11

第90図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (13)

2. V 層



no.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図取
1	A-520	SR201	縄文土器	器	沈線文・鵜形文・斜位編文。		65-12
2	A-129	SR201	縄文土器	器	沈線文。	表面板状圧痕。	-
3	A-112	SR201	縄文土器	器	横帯状沈線文。		-
4	A-853	SR201	縄文土器	器	側位；縄文1.8 斜位横面圧痕。体部；縄文1.8 横・斜位編文。		66-1
5	A-280	SR201	縄文土器	器	側位；鵜形体圧痕文。体部；鵜形文・斜位編文。		66-2
6	A-187	SR201	縄文土器	器	外面；多象沈線文。管孔。内面；口縁部；沈線文。		66-3
7	A-917	SR201	縄文土器	器	沈線文。	4 單位の塊状把手。	-
8	A-544	SR201	縄文土器	器	縄文1.8 網・横位編文。	底面木炭痕。	66-4

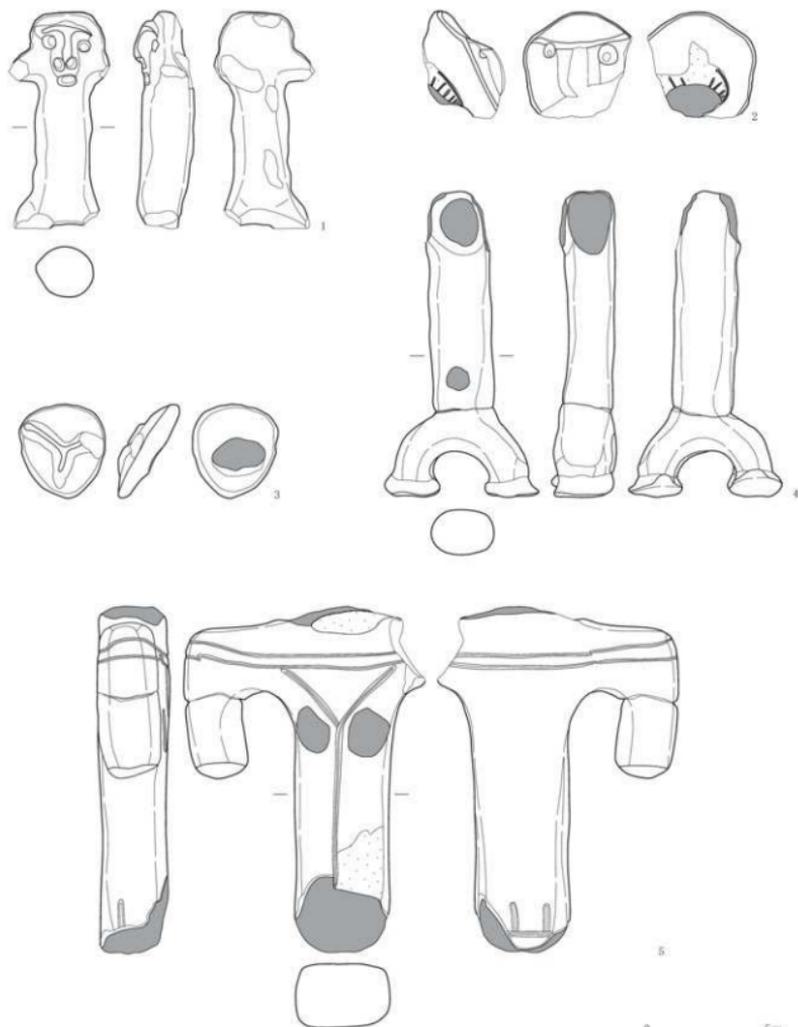
第 91 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (14)



No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-831	SR201	縄文土器	壺	縄文1片襖・斜位編文。		06-5
2	A-958	SR201	縄文土器	壺	縄文乱線・襖・斜位編文。		—
3	A-552	SR201	縄文土器	壺	縄文1片襖・斜位編文。	底面本葉版。	06-6
4	A-735	SR201	縄文土器	壺			06-7
5	A-953	SR201	縄文土器	注口土器	縄文上二片み目、片形斜位文、縄文乱線・斜位編文。	把手2単位。	06-9
6	A-134	SR201	縄文土器	特殊土器	縄文文9斜位編文。	内面底部に突起。底面網代版。	06-8

第92図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (15)

2. V 層



№	登録番号	出土層	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-404	SR201	土鏡		銅・銅貼片。	67-1
2	Pa-262	SR201	土鏡	沈線文。	銅貼片。接合痕。	67-2
3	Pa-286	SR201	土鏡		銅貼片。接合痕。	67-3
4	Pa-474	SR201	土鏡		銅・銅貼片。接合痕。	67-4
5	Pa-166	SR201	土鏡	沈線文。	銅・銅貼片。接合痕。	67-5

第 93 図 V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (16)



No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-206	SR201	土偶	北條文	胴・胴底片、接合部。	-
2	Pa-209	SR201	土偶	北條文	胴・胴底片、接合部。	-
3	Pa-167	SR201	土偶	北條文	胴底片、接合部。	67-6
4	Pa-189	SR201	土偶	北條文	胴底片、接合部。	67-7
5	Pa-208	SR201	土偶	多色北條文	胴底片。	67-8

第94図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (17)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-168	SR201	土器	横波状沈線文、正中線。	胴部片、接合部。	47-9
2	Pa-207	SR201	土器	正中線。	胴部片。	-
3	Pa-172	SR201	土器	横波状沈線文、正中線。	胴部片、接合部。	47-10
4	Pa-186	SR201	土器	沈線文。	胴・胴底片、接合部。	-
5	Pa-630	SR201	土器	多条沈線文。	胴部片。	-
6	Pa-625	SR201	土器	沈線文、刻凸目。長さ4.0>幅2.9×厚さ1.1cm。	左右に貫通孔。	48-1
7	Pa-633	SR201	陶輪形土製品	沈線文9条。円形刻印文。幅7.1cm。		48-2

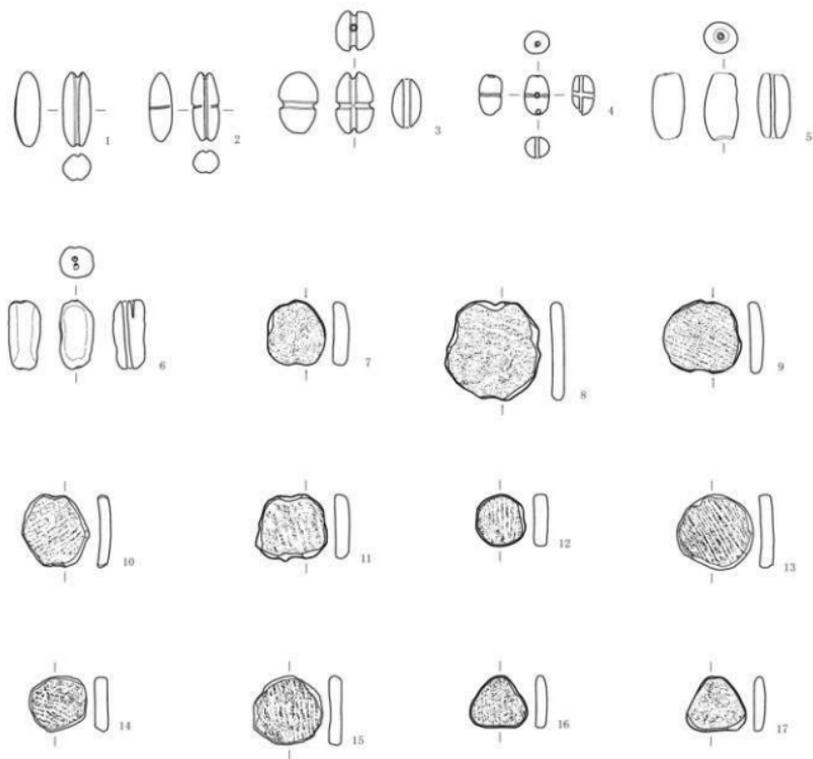
第95図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(18)



No.	発掘番号	出土遺構	器 種	文様等	備 考	写真図版
1	Pe-356	SR201	ニオチュア	沈線文。	厚鉢。	08-3
2	Pe-324	SR201	ニオチュア	外面 隆縁土に粘み目、沈線文、刺突文、内面 口縁部・沈線文。	厚鉢。波状口縁。3単位突起。	08-4
3	Pe-171	SR204	ニオチュア	多象沈線文。	厚鉢。	-
4	Pe-296	SR201	ニオチュア	沈線文。	厚鉢。底部一部残存。台付の可能性有り。	-
5	Pe-155	SR201	ニオチュア	指環凹線。	厚鉢。	08-5
6	Pe-347	SR201	ニオチュア	横溝状沈線文。	厚鉢。	08-6
7	Pe-361	SR201	ニオチュア	指環凹線。	厚鉢。波状口縁。3単位。底部本葉状。	-
8	Pe-068	SR201	ニオチュア	沈線文。	鉢。口縁部 突起状につまみ出す。	08-7
9	Pe-072	SR201	ニオチュア		鉢。内面黒色付着物。	08-8
10	Pe-312	SR201	ニオチュア		厚鉢。	08-9
11	Pe-355	SR201	ニオチュア	内外面 指環凹線。	厚鉢。	08-9
12	Pe-337	SR201	ニオチュア	口縁部・縄文1段 厚体側面凹線。	厚鉢。	08-10
13	Pe-256	SR201	ニオチュア		台付厚鉢。底部刺突状。	-
14	Pe-367	SR201	ニオチュア	沈線文。	台付鉢。	-

第 96 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (19)

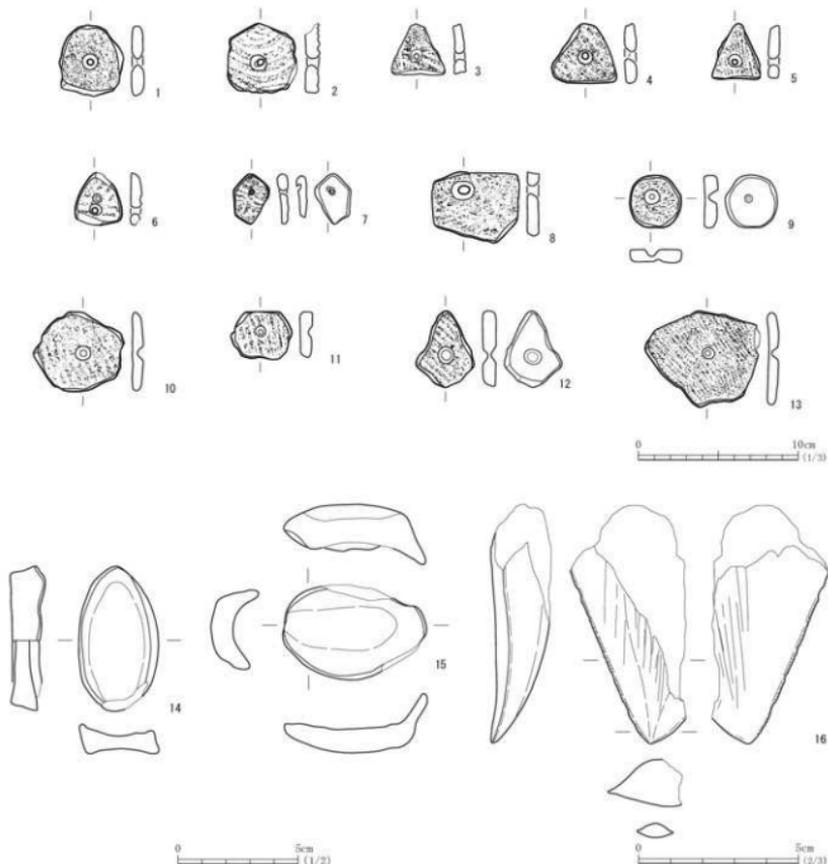
2. V 層



0 10cm
1/3

No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	分類	備考	写真記録
1	Fa-014	SR201	有線土埴	長さ4.7×幅1.7×厚さ1.6cm, 重さ14.7g.	A類	-	-
2	Fa-009	SR201	有線土埴	長さ4.4×幅1.7×厚さ1.6cm, 重さ9.4g.	D類	-	08-11
3	Fa-005	SR201	有線土埴	長さ3.9×幅2.3×厚さ2.4cm, 重さ20.9g.	B類	-	08-12
4	Fa-013	SR201	有線土埴	長さ2.9×幅1.6×厚さ1.6cm, 重さ5.5g.	D類	-	-
5	Fa-016	SR201	管状土埴	長さ4.2×幅2.1×厚さ2.6cm, 重さ17.6g.	F類	-	08-13
6	Fa-010	SR201	管状土埴	長さ4.4×幅2.1×厚さ2.6cm, 重さ19.6g.	F類	-	08-14
7	Fa-094	SR201	土器片埴	化粧文, 長さ4.1×幅3.7×厚さ0.9cm, 重さ18.2g.	A1a類	-	-
8	Fa-095	SR201	土器片埴	横糸L, 長さ6.3×幅3.9×厚さ0.8cm, 重さ26.9g.	A1a類	-	-
9	Fa-092	SR201	土器片埴	横文肌, 長さ4.7×幅4.9×厚さ0.9cm, 重さ22.4g.	A2a類	-	-
10	Fa-105	SR201	土器片埴	横文肌, 長さ4.2×幅4.6×厚さ0.8cm, 重さ17.4g.	B1a類	-	-
11	Fa-099	SR201	土器片埴	横糸L, 長さ4.3×幅4.4×厚さ0.9cm, 重さ20.7g.	C2b類	-	-
12	Fa-a002	SR201	土製内蓋	横糸L, 長径3.3×短径3.1cm.	a-F類	-	08-15
13	Fa-a003	SR201	土製内蓋	横糸L, 長径4.8×短径4.6cm.	a-F類	-	08-16
14	Fa-a023	SR201	土製内蓋	横糸L, 長径3.6×短径3.3cm.	a-F類	-	-
15	Fa-a026	SR201	土製内蓋	横糸L, 長径4.4×短径4.3cm.	a-F類	-	-
16	Fa-a000	SR201	土製内蓋	横糸L, 長径3.6×短径3.3cm.	a-F類	-	08-17
17	Fa-a062	SR201	土製内蓋	長径3.7×短径3.5cm.	a-F類	-	08-18

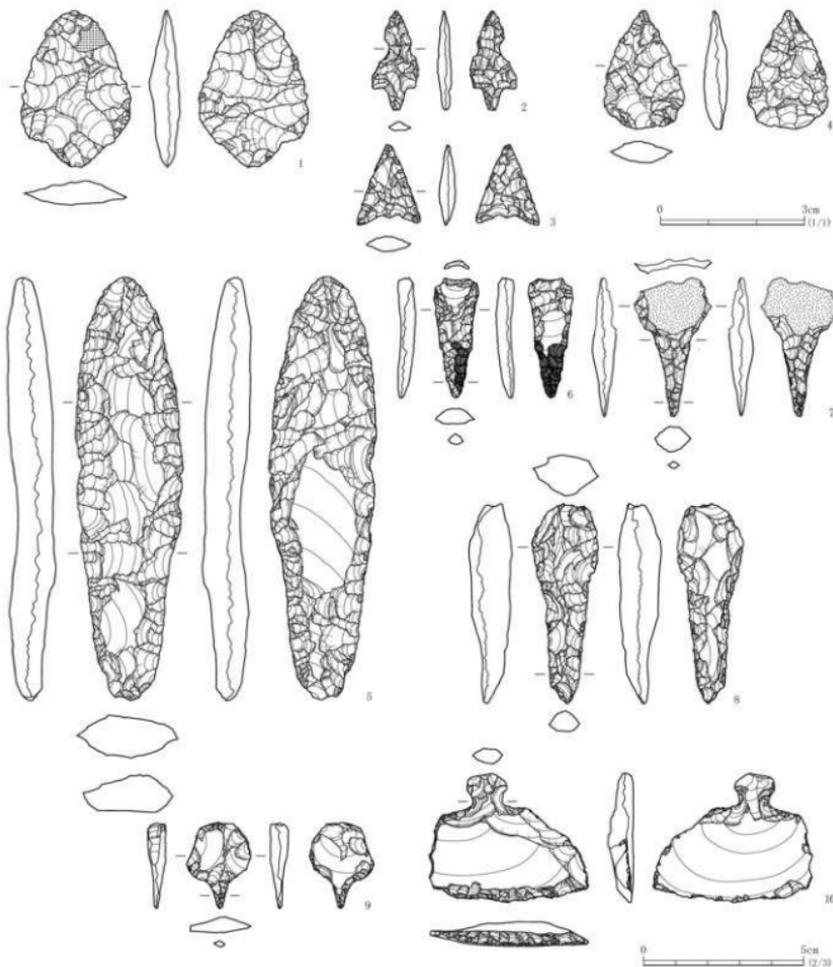
第97図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(20)



No.	発跡番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pe-0073	SR201	土製内器	模赤丸、長径4.5×短径4.6cm。	貫通孔、b-01 瓶。	60-19
2	Pe-0082	SR201	土製内器	沈線文、模赤丸、長径4.3×短径4.4cm。	貫通孔、b-01 瓶。	60-20
3	Pe-0044	SR201	土製内器	沈線文、長径3.4×短径3.3cm。	貫通孔、b-01 瓶。	60-21
4	Pe-0047	SR201	土製内器	模赤丸、長径4.0×短径3.6cm。	貫通孔、b-02 瓶。	60-22
5	Pe-0101	SR201	土製内器	模赤丸、長径3.5×短径3.6cm。	貫通孔、b-02 瓶。	60-23
6	Pe-0103	SR201	土製内器	沈線文、長径3.4×短径2.9cm。	貫通孔、b-F2・F1F 瓶。	60-24
7	Pe-0127	SR201	土製内器	沈線文、長径3.2×短径2.2cm。	貫通孔、b-02・G2b 瓶。	60-25
8	Pe-0126	SR201	土製内器	模赤丸、長径3.5×短径4.6cm。	貫通孔、b-G3 瓶。	60-26
9	Pe-c030	SR201	土製内器	模赤丸、長径3.1×短径3.2cm。	非貫通孔、e-G3F 瓶。	60-27
10	Pe-c022	SR201	土製内器	模赤丸、長径3.6×短径3.1cm。	非貫通孔、e-F1F 瓶。	60-28
11	Pe-c025	SR201	土製内器	模赤丸、長径3.8×短径3.6cm。	非貫通孔、e-F2F 瓶。	60-29
12	Pe-c030	SR201	土製内器	模赤丸、長径4.9×短径3.6cm。	非貫通孔、e-G1F 瓶。	60-30
13	Pe-c034	SR201	土製内器	模赤丸、長径7.2×短径6.1cm。	非貫通孔、e-G1F 瓶。	60-31
14	Pe-004	SR201	不明土製品	長さ(6.1)×幅(2.3)×厚さ(1.4)cm。	形状小。	60-32
15	Pe-015	SR201	??-形土製品	長さ6.0×幅(4.0)×厚さ2.5cm。		60-33
No.	発跡番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
16	0-001	SR201	サメの歯	化石(カルシウム・マグネシウム)、長さ(10.1)×幅(4.8)×厚さ(2.5)cm。		60-34

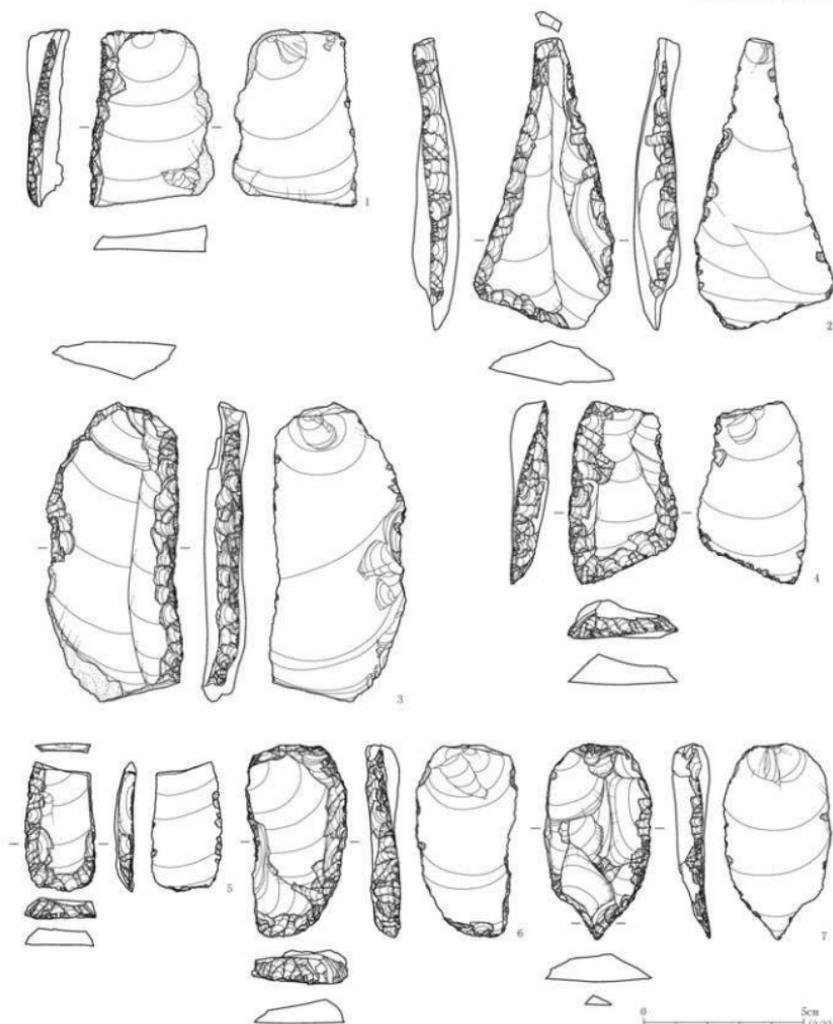
第98図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物(21)

2. V 層



No.	発掘番号	出土遺跡	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	K-2218	SR201	石鏃	鉄石片	Ka-a1-5	3.3	2.3	0.7	3.4	加熱処理された割片を素材とする。	09-1
2	K-0014	SR201	石鏃	玉髓	Ka-a1-8	2.0	0.8	0.3	0.3	両側縁の缺りが著しく石鏃製品の可能性あり。	09-2
3	K-1437	SR201	石鏃	珉質灰岩	Ka-a3-1	1.7	1.3	0.4	0.5		09-3
4	K-2490	SR201	石鏃	玉髓	Ka-a6	2.5	1.7	0.5	2.2	微研法。	09-4
5	Ka-028	SR201	矢鏃跡	珉質灰岩	Ka-b2	13.3	3.4	1.5	69.9		09-5
6	K-3022	SR201	石鏃	珉質灰岩	Ka-c1	2.8	1.4	0.6	2.4	二重バネイデ。	09-6
7	Ka-030	SR201	石鏃	珉質灰岩	Ka-c2-3	4.4	2.4	0.8	3.5		09-7
8	Ka-032	SR201	石鏃	珉質灰岩	Ka-c2-5	6.4	2.1	1.4	13.9		09-8
9	K-3882	SR201	石鏃	珉質灰岩	Ka-c2-4	2.7	2.0	0.6	2.4		09-9
10	K-0323	SR201	石鏃	珉質灰岩	Ka-c2-1	4.1	5.0	0.8	12.6		09-10

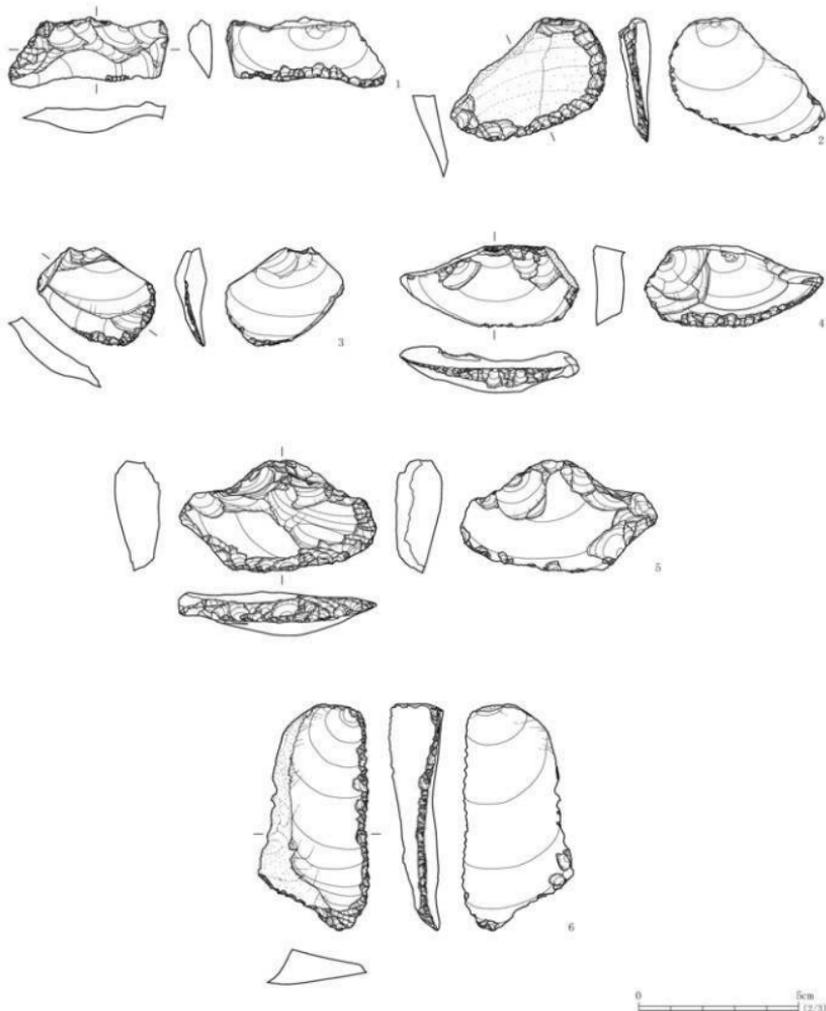
第 99 図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (22)



No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	K-2305	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-1	5.7	3.9	1.3	25.7		09-11
2	K-0547	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-2	6.3	4.4	1.4	42.1		09-12
3	K-2350	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-2	9.6	4.3	1.5	39.2		09-13
4	K-1617	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-3	5.9	3.4	1.2	22.2		09-14
5	K-1244	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-4 (A.2)	4.2	3.2	0.7	18.0		09-15
6	K-4410	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-7	6.1	3.1	1.1	21.2		09-16
7	K-1335	SR201	不定形石器	珩質頁岩	Ka-w1-8-2	6.3	3.4	1.2	20		09-17

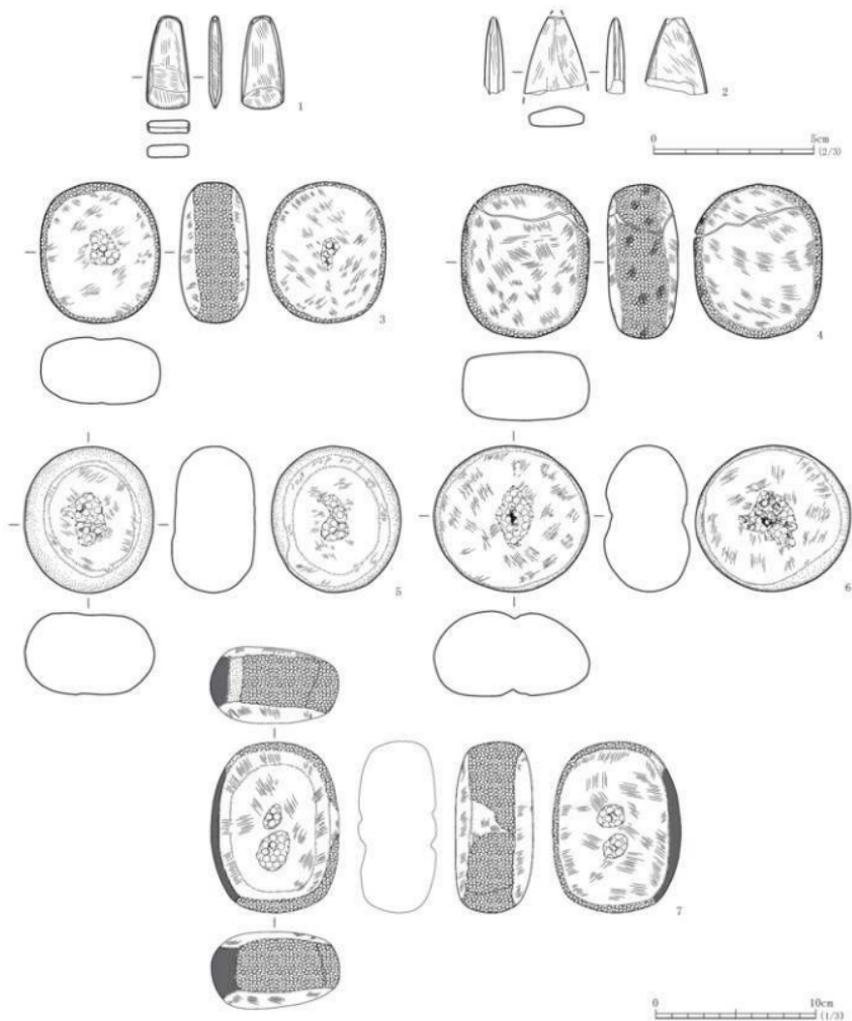
第100図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (23)

2. V 層



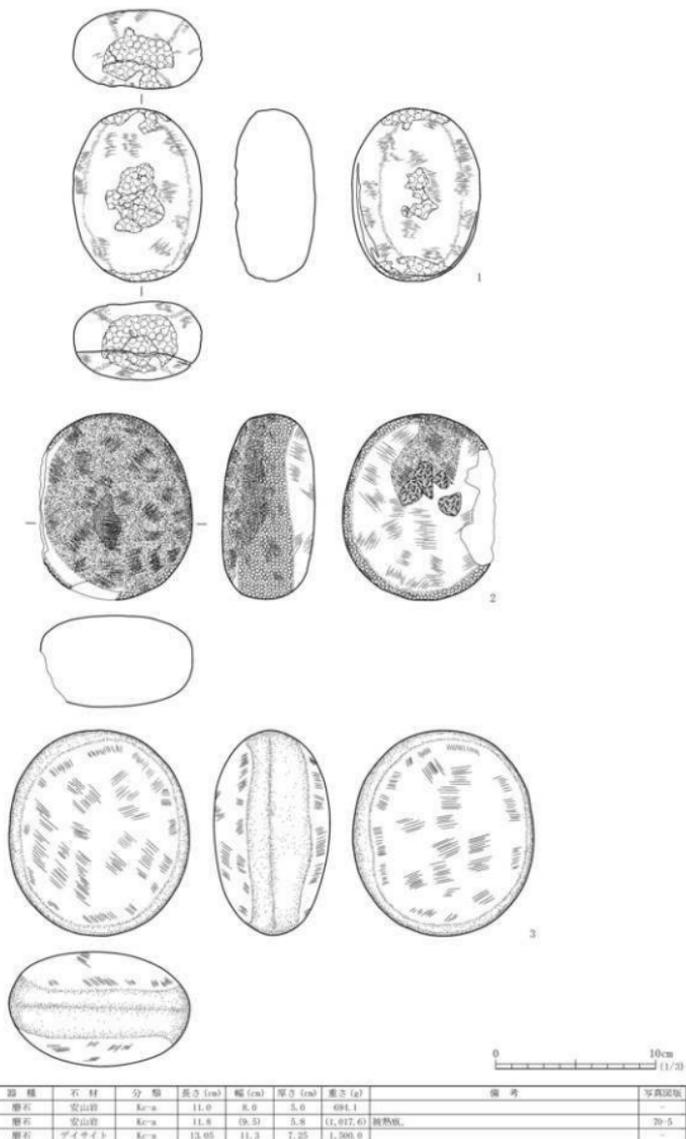
No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	K-0815	SR201	不定形石器	珉質頁岩	Ka-w-2	2.3	3.0	1.0	8.1		69-18
2	K-2590	SR201	不定形石器	珉質頁岩	Ka-w-2	3.9	4.8	1.0	12.7		69-19
3	K-2142	SR201	不定形石器	珉質頁岩	Ka-w-3	3.1	3.7	1.0	8.4		69-20
4	K-2468	SR201	不定形石器	珉質頁岩	Ka-w-3	3.6	3.6	1.5	10.8		69-21
5	K-1554	SR201	不定形石器	珉質頁岩	Ka-w-3	3.6	4.2	1.5	22.7		69-22
6	K-1866	SR201	不定形石器	珉質頁岩	Ka-w-1	7.2	3.5	1.7	31.4		69-23

第101図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (24)

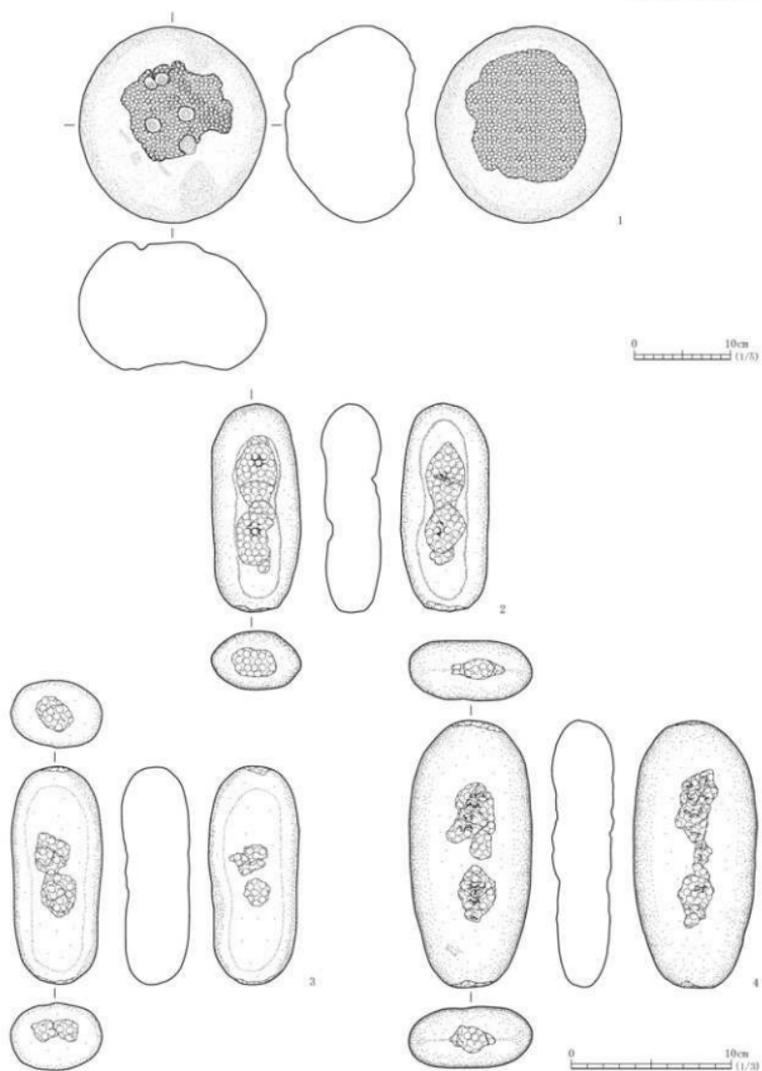


No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Kh-118	SR201	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kh-a	3.0	1.3	4.0	3.2		70-1
2	Kh-005	SR201	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kh-a	12.0	11.9	0.43	13.9		70-2
3	Ke-029	SR201	磨石	安山岩	Ke-a	9.0	7.3	4.2	468.5		-
4	Ke-014	SR201	磨石	安山岩	Ke-a	9.8	7.95	4.4	371.0		70-3
5	Ke-027	SR201	磨石	安山岩	Ke-a	9.3	8.1	5.2	587.0		-
6	Ke-024	SR201	磨石	安山岩	Ke-a	9.3	9.7	5.4	602.0		-
7	Ke-025	SR201	磨石	安山岩	Ke-a	10.8	8.0	4.8	580.0		70-4

第 102 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (25)

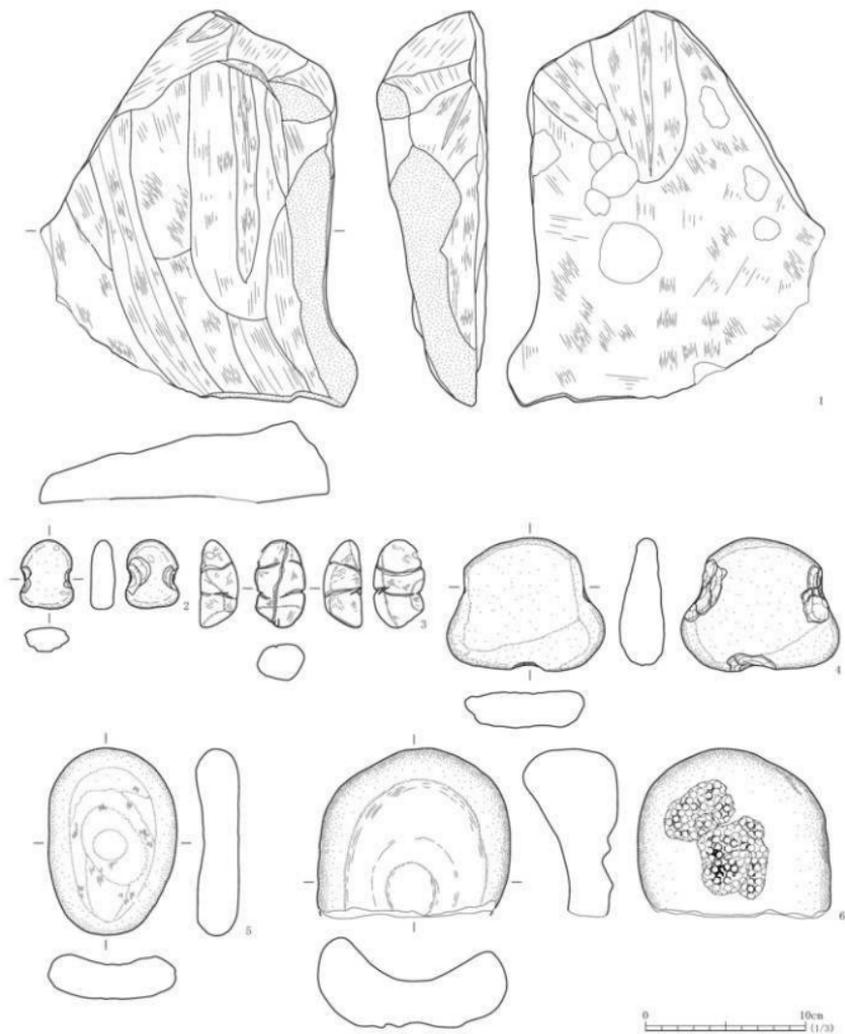


第 103 図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (26)



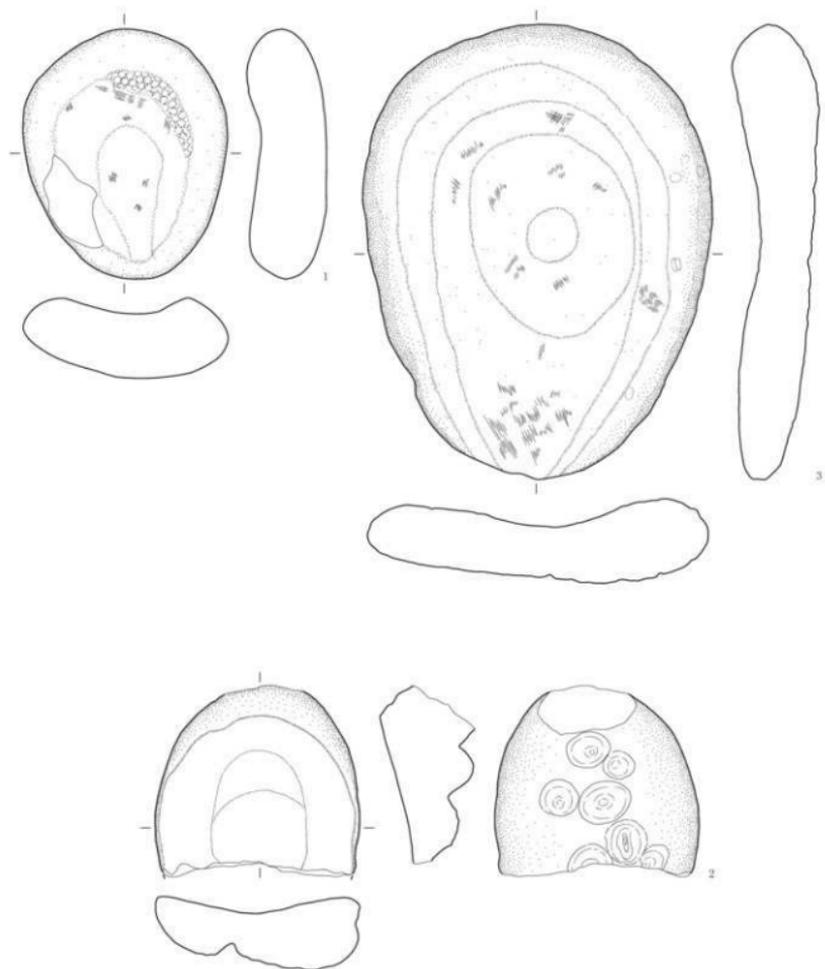
No.	登録番号	出土遺構	遺物	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真図版
1	Ke-019	SR201	圓石	安山岩	Ke-5	20.8	19.4	13.5	4,400.0		-
2	Ke-056	SR201	扁石	扁尾岩	Ke-6	13.3	5.6	3.7	304.0		20-6
3	Ke-058	SR201	扁石	純紋岩	Ke-6	13.85	5.7	4.25	324.0		20-7
4	Ke-060	SR201	扁石	安山岩	Ke-6	16.9	7.7	3.85	687.8		20-8

第 104 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (27)



No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Kc-156	SR201	砥石	安山岩	Ke-d	25.2	19.7	6.6	3,190.0		70-9
2	Kc-062	SR201	石鏃	安山岩	Ke-e	3.3	4.4	1.5	31.7	節目付鏃。	70-10
3	Kc-168	SR201	石鏃	凝灰岩	Ke-e	5.5	3.1	2.3	19.6	有溝石鏃。	70-11
4	Kc-167	SR201	石鏃	火山岩	Ke-e	8.5	8.8	2.9	337.2		70-12
5	Kc-091	SR201	石鏃	安山岩	Ke-f	11.9	8.0	2.8	360.0		70-13
6	Kc-117	SR201	石鏃	安山岩	Ke-f	(10.7)	(12.0)	(6.6)	(666.0)	横断面図。	70-14

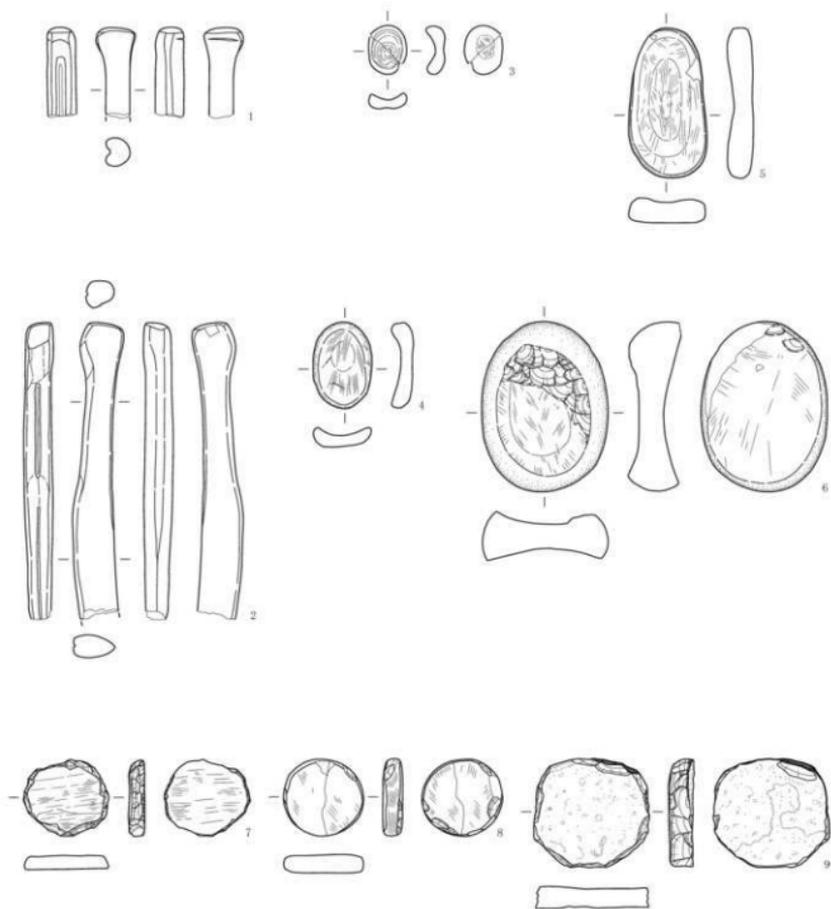
第 105 図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (28)



No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	ke-121	SR201	石皿	安山岩	ke-f	13.9	12.8	5.0	11,300.0		20-15
2	ke-152	SR201	石皿	安山岩	ke-f	(12.1)	12.7	5.9	668.5		20-16
3	ke-085	SR201	石皿	安山岩	ke-f	28.9	21.8	5.4	4,100.0		20-17

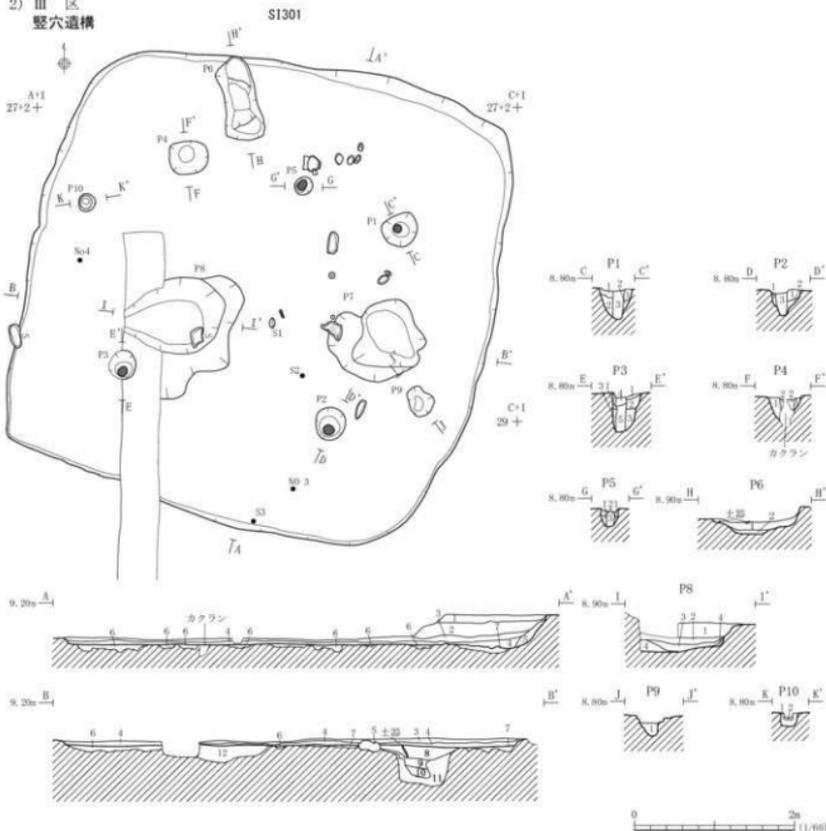
第 106 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (29)

2. V 層

0 10cm
1/3

No.	発見番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Kd-006	SR201	石刀	凝灰岩	Kd-h	15.81	12.41	11.81	28.2	刃部背側に欠。	70-18
2	Kd-025	SR201	石刀	珉化木	Kd-h	18.81	2.7	1.7	181.23		70-19
3	Kd-047	SR201	石鏃	凝灰岩	Kd-h	3.1	2.4	1.2	3.8		-
4	Kd-035	SR201	石鏃	凝灰岩	Kd-h	3.5	3.7	1.4	17.5		70-20
5	Kd-082	SR201	石鏃	凝灰岩	Kd-h	9.5	4.9	1.6	62.4		70-21
6	Kd-082	SR201	石鏃	凝灰岩	Kd-h	10.8	7.9	2.4	228.5		70-22
7	Kd-021	SR201	石製円鏃	凝灰岩	Kd-h	4.8	5.3	0.9	31.3		70-23
8	Kd-012	SR201	石製円鏃	凝灰岩	Kd-h	4.9	5.0	1.2	18.1		70-24
9	Kd-020	SR201	石製円鏃	凝灰岩	Kd-h	6.9	7.2	1.4	89.9		-

第107図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (30)

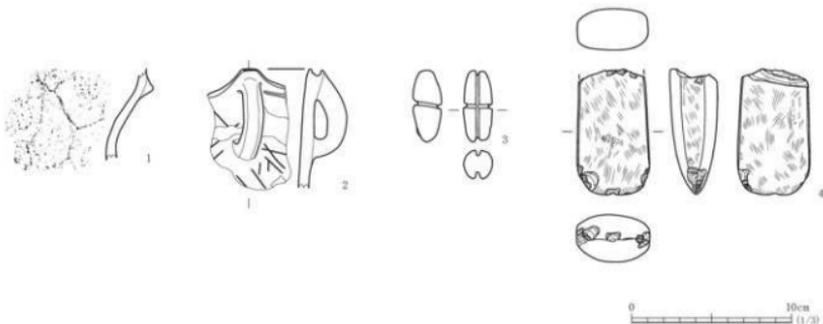
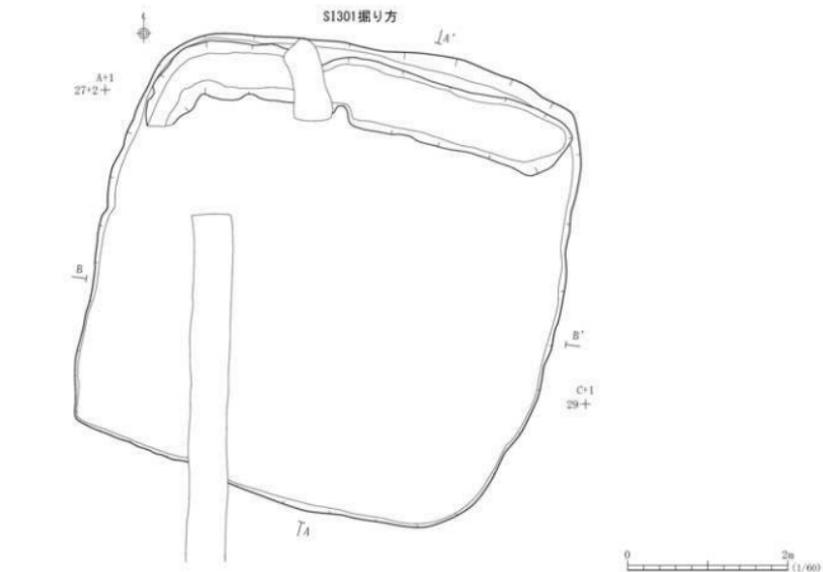
2) III区
竪穴遺構

遺構	部位	土色	土性	備考
目録 棟柱	1	10R4/2 灰黄褐色	シルト質粘土	小礫・炭化物を含む。
	2	10R3/2 黒褐色	シルト質粘土	小礫・炭化物を含む。
	3	10R2/2 黒褐色	シルト質粘土	小礫・炭化物を含む。
	4	10R3/1 黒褐色	シルト質粘土	小礫・炭化物、黄褐色粘土ブロックを含む。
	5	10R3/2 黒褐色	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。(掘り方遺構)
	6	10R3/2 黒褐色	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。(掘り方遺構)
	7	7.31R4/2 灰褐色	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。(掘り方遺構)
	8	7.31R4/2 灰褐色	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。DP7-1)
	9	10R4/2 灰黄褐色	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。DP7-2)
	10	10R3/2 黒褐色	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。DP7-3)
	11	7.31R7/4 に近い層	シルト	黒色土がカタラン状に入る。DP7-4)
P1	1	2.31R/6 明黄褐色	シルト	黒褐色ブロックを多量に含む。(掘り方)
	2	2.31R/6 明黄褐色	シルト	(掘り方)
	3	2.31R/3 黄褐色	粘土	炭化物を微量含む。(柱版)
P2	1	10R4/3 に近い層	砂質シルト	(掘り方)
	2	2.31R/6 明黄褐色	シルト	黒褐色ブロックを含む。(掘り方)
	3	10R5/2 灰黄褐色	粘土	炭化物を微量含む。(柱版)

遺構	部位	土色	土性	備考
P3	1	10R4/3 に近い層	砂質シルト	(掘り方)
	2	2.31R/6 明黄褐色	シルト	黒褐色ブロックを多量に含む。(掘り方)
	3	2.31R/6 明黄褐色	シルト	(掘り方)
P4	4	7.31R4/2 灰褐色	砂質シルト	炭化物・埴土塊を含む。(柱版)
	5	10R3/2 灰黄褐色	粘土	炭化物・埴土塊を含む。(柱版)
P5	1	10R2/1 黒褐色	シルト質粘土	炭化物・炭化物を含む。(掘り方)
	2	10R2/2 黒褐色	シルト質粘土	小礫を含む。(柱版)
P6	1	2.31R/1 黄褐色	粘土質シルト	(掘り方)
	2	2.31R/2 暗灰褐色	粘土質シルト	(柱版)
P8	1	10R2/1 黒褐色	粘土	炭化物を多量に含む。
	2	2.31R/4 に近い層	シルト質粘土	炭化物を含む。
P9	1	2.31R/3 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	2	10R3/4 に近い層	シルト	炭化物を微量含む。
	3	10R3/2 灰黄褐色	シルト	炭化物を微量含む。
P10	1	2.31R/1 黄褐色	粘土質シルト	(掘り方)
	2	2.31R/1 灰褐色	粘土	(柱版)

第 108 図 V 層 III 区 S1301 竪穴遺構 (1)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版				
1	A-927	S1301	縄文土器	深鉢	幾何文、縄文肌、横・斜位筋文。		71-1				
2	A-366	S1301	縄文土器	深鉢	幾何文・横・斜位筋文。	器口縁、楕状把手。	-				
No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版					
3	Fd-072	S1301	有蓋土器	長さ4.6×幅1.9×厚さ1.8cm、重さ14.6g。	C 瓶	71-2					
No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備考	写真図版
4	Kh-094	S1301	磨製石斧	緑色頁(燧石)	Kh-a	08.01	8.5	3.9	(162.2)		71-3

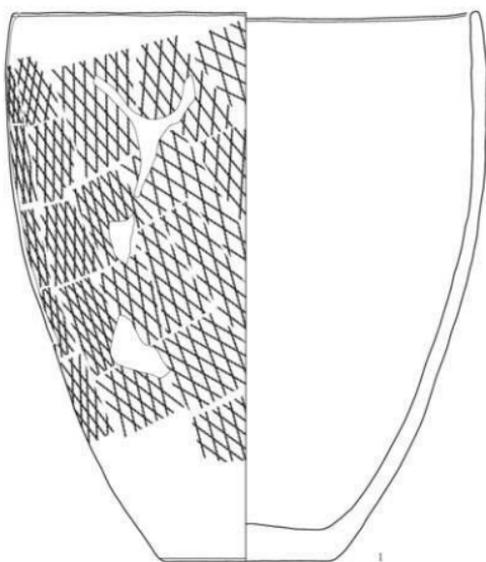
第109図 V層Ⅲ区 S1301 竪穴遺構(2)・S1301 竪穴遺構出土遺物

埋設土器



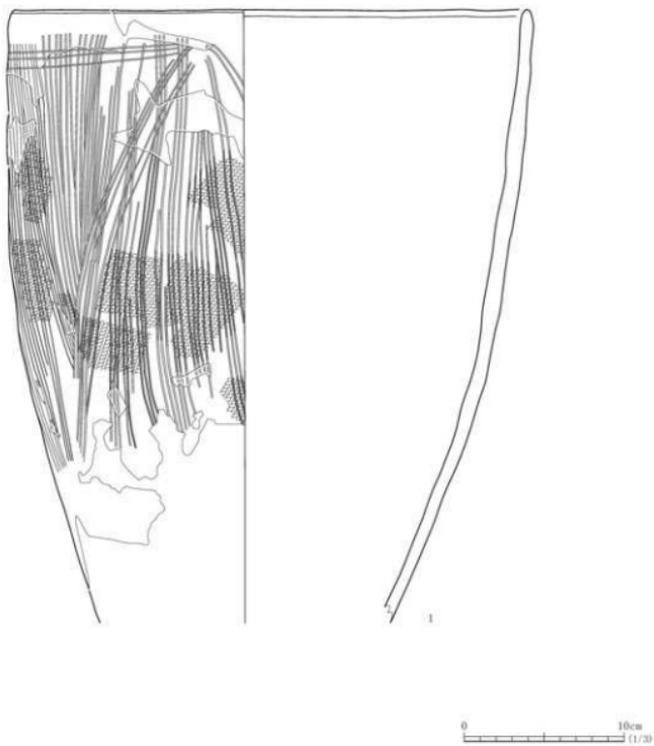
層位	層位	土色	土性	備考
301	1	10R2/2 黄緑	粘土	炭化物を含む。
	2	10R0/4 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物・粘土を含む。
302	1	10Y/2 灰白	シルト	
	2	10R4/2 灰黄緑	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10R5/3 に近い黄緑	粘土質シルト	炭化物を含む。

層位	層位	土色	土性	備考
307	1	10R2/2 黄緑	砂質シルト	砂粒・炭化物などを多量に含む。
	2	10R4/2 黄	シルト	炭化物・粘土を含む。
	3	10R4/4 黄	シルト	炭化物を微量含む。
	4	10R3/4 暗黄	シルト	炭化物を微量含む。



No.	発跡番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-760	307埋設土器	縄文土器	深鉢	網目状飾糸文。		71-4

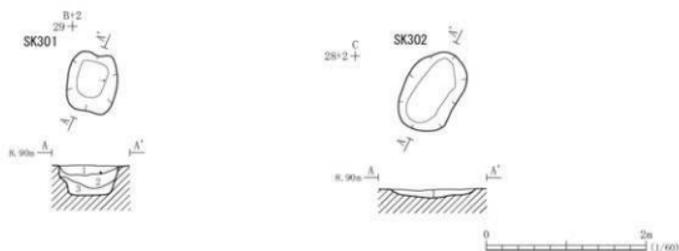
第110図 V層Ⅲ区 埋設土器・埋設土器出土遺物(1)



No.	発跡番号	出土遺物	種別	数量	文様等	備考	写真記録
1	A-372	埋設土器	縄文土器	深鉢	横溝状浅鉢文、縄文状縦位筋文。		71-5

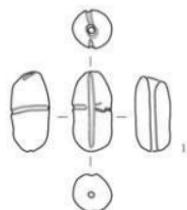
第111図 V層Ⅲ区 埋設土器出土遺物(2)

土 坑



SK	層位	土色	土性	備考
301	1	2.0/5/3 黄褐色	粘土	埴土・炭化物・小礫を含む。
	2	10/9/3/2 灰黄褐色	粘土	灰色粘土ブロック、小礫を含む。
	3	10/9/4/2 灰黄褐色	粘土	

SK	層位	土色	土性	備考
302	1	2.0/5/3 黄褐色	粘土	埴土・炭化物・小礫を含む。



No.	発見番号	出土遺構	器 種	文様等	備 考	写真図版
1	F3-052	SK301	有蓋土埴	長さ5.1×幅2.4×厚さ2.3cm、重さ31.8g。	込肌	71-6

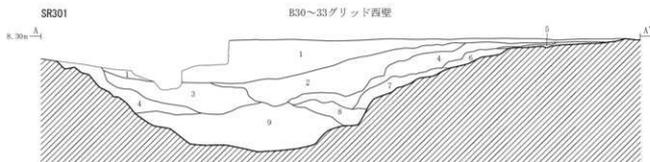
溝 跡



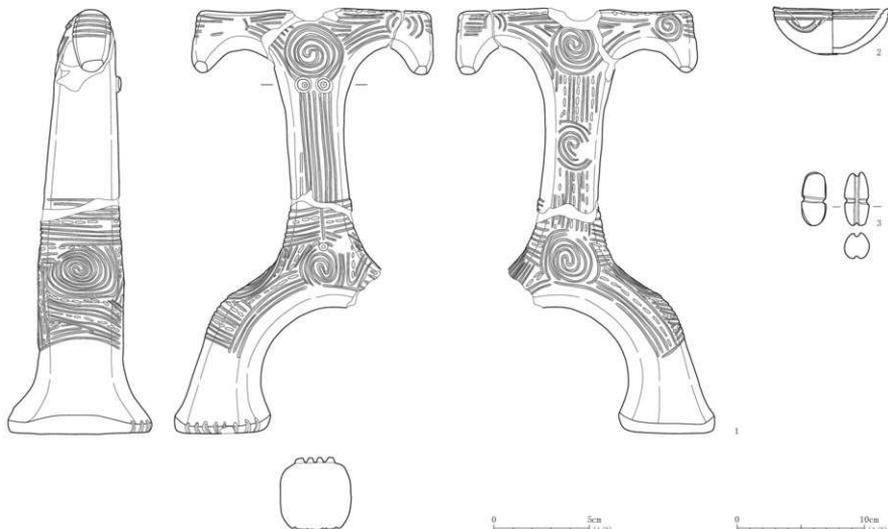
SD	層位	土色	土性	備考
301	1	10/9/2/3 黄褐色	シルト	黄褐色シルト・黄褐色シルト質砂・増粘性シルト・褐色シルト質粘土ブロックを含む。

第 112 図 V 層Ⅲ区 土坑・土坑出土遺物・溝跡

河川跡

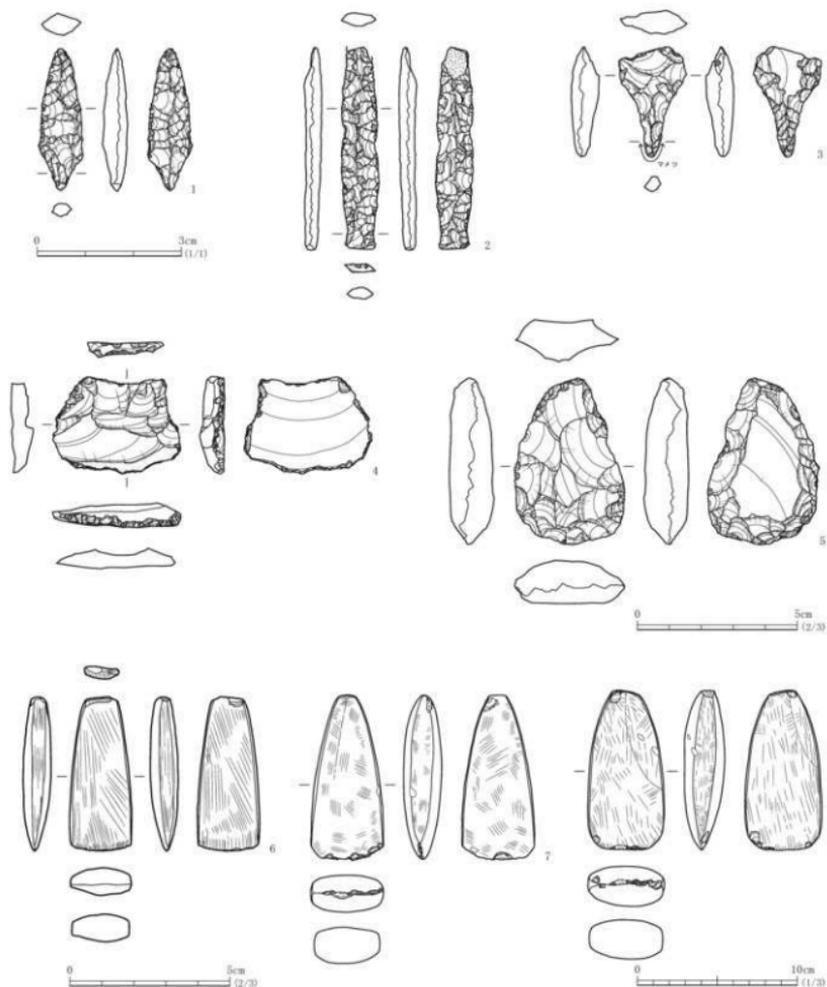


層	層位	土色	土性	備考	層	層位	土色	土性	備考
301	1	土灰1.4オリーブ層	粘土質シルト	酸化鉄を微量に多量に含む。	301	5	10YR2.2黒層	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR5.3暗層	シルト	酸化鉄を微量・マンガン鉄を全体的に多量に含む。		6	10YR4.2灰黄層	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR4.4層	シルト	砂粒を微量に多量に含む。		7	10YR6.5層	砂質シルト	全体的に砂粒を多量に含む。
	4	10YR4.2灰黄層	粘土質シルト	酸化鉄を微量に多量に含む。		8	10YR5.2灰黄層	シルト	---
---	---	---	---	9		---	---	---	---



No.	登録番号	出土遺構	品 種	文様等	備 考	写真図版
1	Pa-203	SR301・SR301	土瓶	多量に線文、網文。	胴・胴口縁。	71-7
2	Pa-208	SR301	シロフツア	円・半楕 穴縁文。	底縁。	---
3	Pa-049	SR301	右腰土鏝	長さ4.2cm幅1.9cm厚さ1.6cm、重さ17.6g。	底縁。	71-8

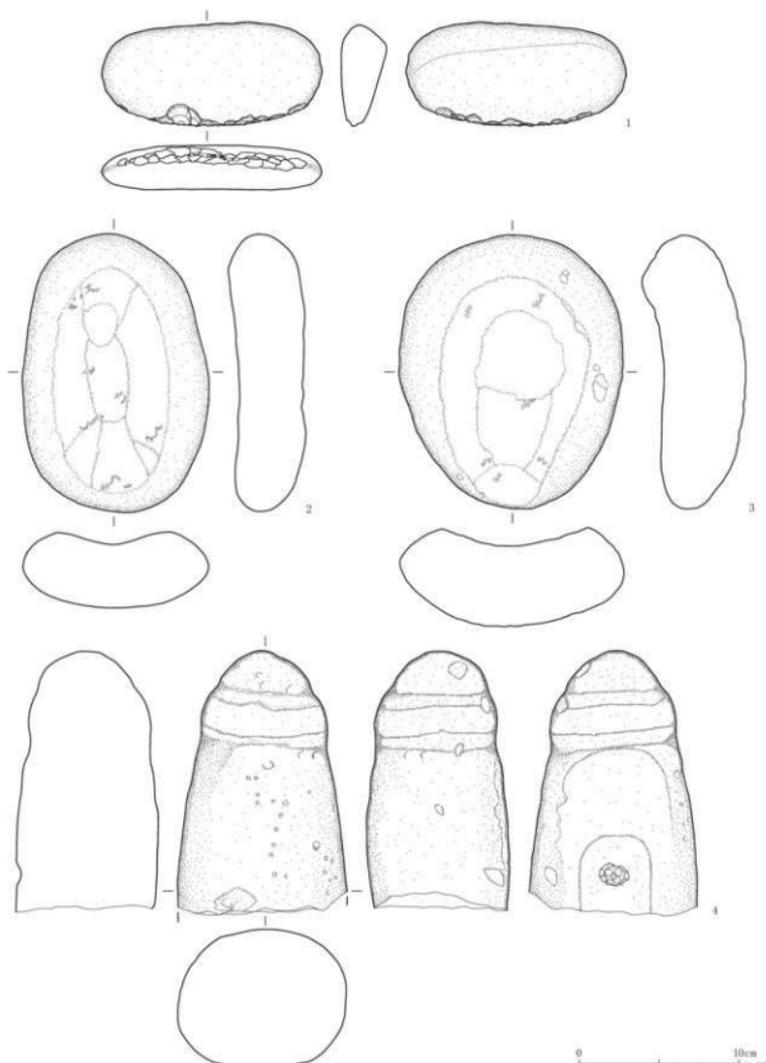
第113図 V層Ⅲ区 SR301河川跡・SR301河川跡出土遺物(1)



no.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	K-0373	SR301	石鏃	珉質頁岩	Ka-a1-6	3.0	0.9	0.5	1.2		72-1
2	K-0391	SR301	尖頭鏃	珉質頁岩	Ka-b2	16.53	1.2	0.6	14.63	尖+平	72-2
3	K-3967	SR301	石鏃	珉質頁岩	Ka-e2-3	3.5	2.1	0.9	4.7		72-3
4	K-3394	SR301	不定形石鏃	珉質頁岩	Ka-e2-4	3.1	4.0	0.8	16.5		72-4
5	Ka-035	SR301	石鏃	珉質頁岩	Ka-f	5.3	3.4	1.3	27.1		72-5
6	Kb-112	SR301	小型磨製石斧	純紅岩	Kb-a	4.9	3.0	0.9	14.1		72-6
7	Kb-039	SR301	磨製石斧	砂岩	Kb-a	10.4	4.5	2.4	162.6		72-7
8	Kb-036	SR301	磨製石斧	凝灰岩	Kb-a	10.2	4.8	2.5	184.5		72-8

第 114 図 V 層Ⅲ区 SR301 河川跡出土遺物 (2)

2. V 層



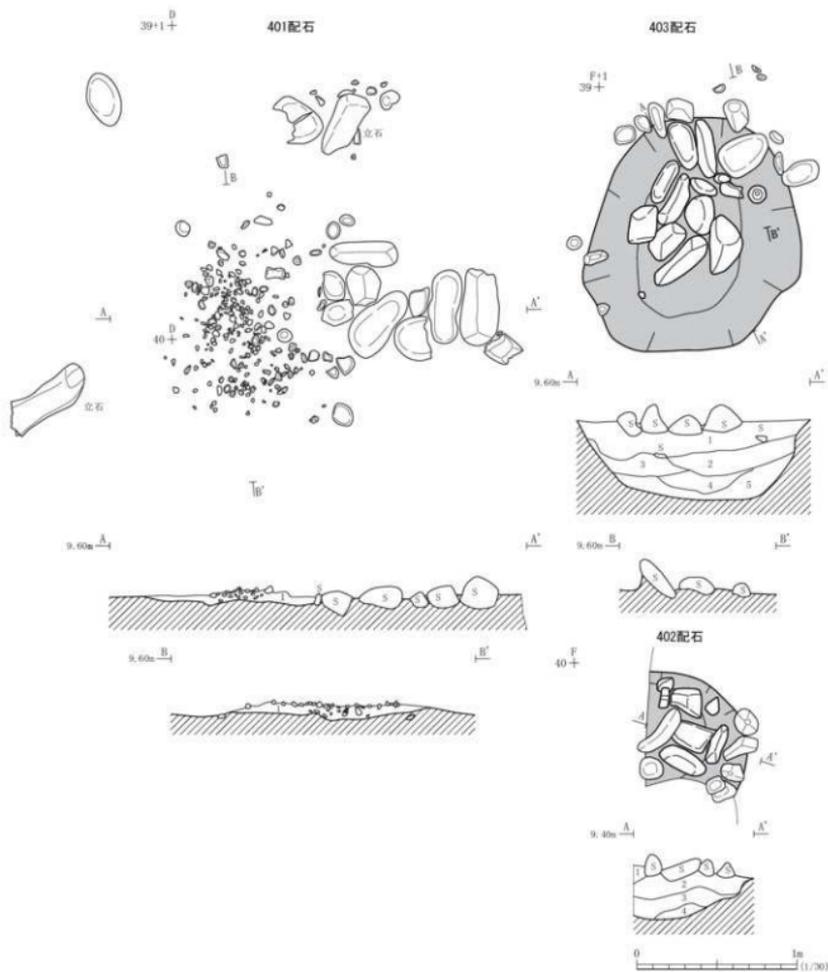
No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Ke-113	SR301	礫石	河原石	Ke-r	6.6	23.7	2.8	297.6		72-9
2	Ke-124	SR301	石炭	安山岩	Ke-r	17.6	31.6	4.7	1,400.0		72-10
3	Ke-113	SR301	石炭	安山岩	Ke-r	17.4	34.2	6.4	1,800.0		72-11
4	Kd-005	SR301	石炭	砂岩	Kd-b	16.53	18.6	8.7	1,718.03		72-12

第 115 図 V 層Ⅲ区 SR301 河川跡出土遺物 (3)

3) IV 区
環状集石

第 116 図 V 層IV区 401 環状集石

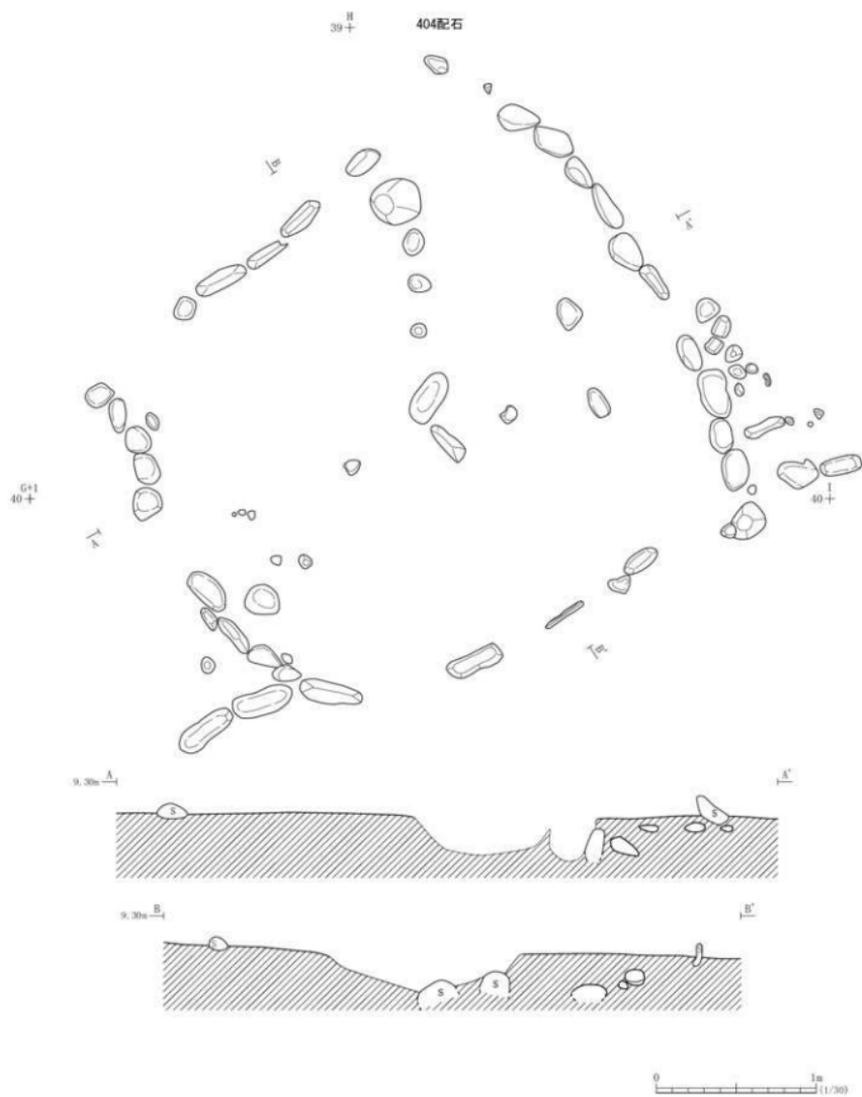
配石



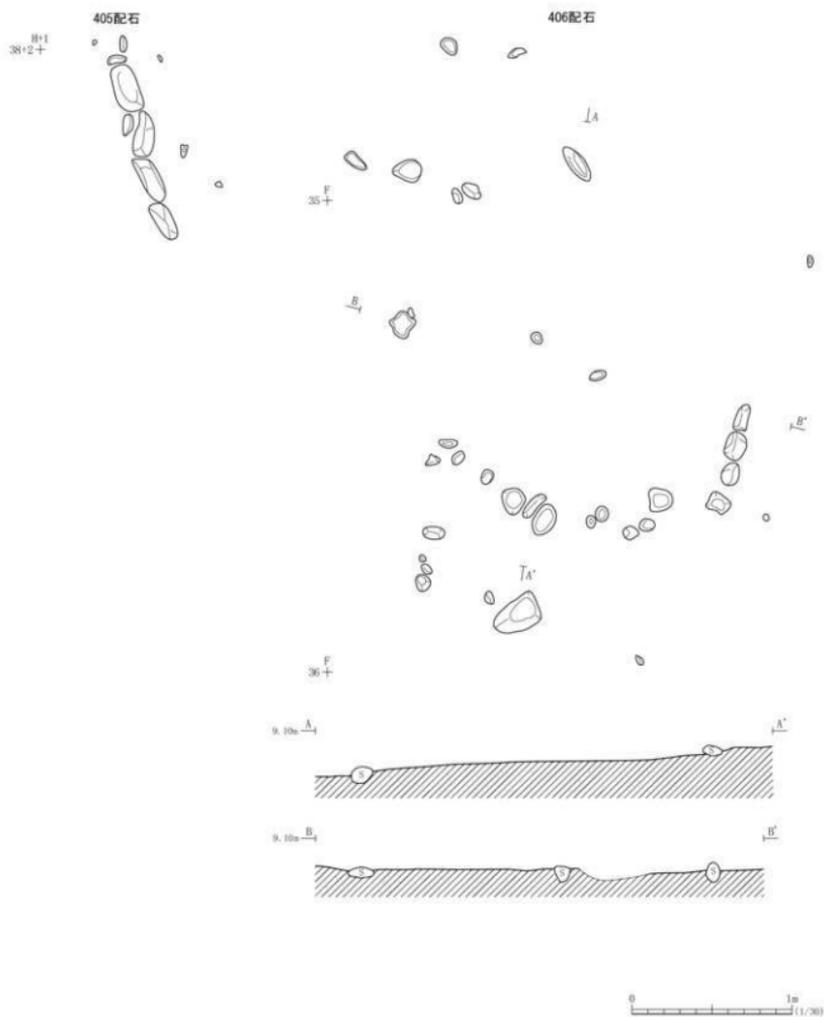
配石 層位	土色	土性	備考
401	1 10B4/4 層	シルト	炭化物粒を含む。
	2 2.014/6 オリーブ層	シルト	
402	1 2.013/1 黒層	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。
	2 2.014/2 緑灰質	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。
	3 2.014/1 オリーブ層	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。
	4 2.014/6 オリーブ層	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。

配石 層位	土色	土性	備考
403	1 2.013/1 黒層	シルト	砂粒・炭化物粒多量、骨粉微量、褐色シルト小コアロップを含む。
	2 2.014/2 埋戻土	シルト	砂粒・炭化物粒を多量に含む。
	3 2.014/6 オリーブ層	粘土質シルト	褐色顔色シルトコアロップを含む。
	4 2.013/2 黒層	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	5 10B4/3 にじみ・黄層	粘土質シルト	黒褐色シルトコアロップ・炭化物粒を含む。

第 117 図 V層IV区 配石 (1)



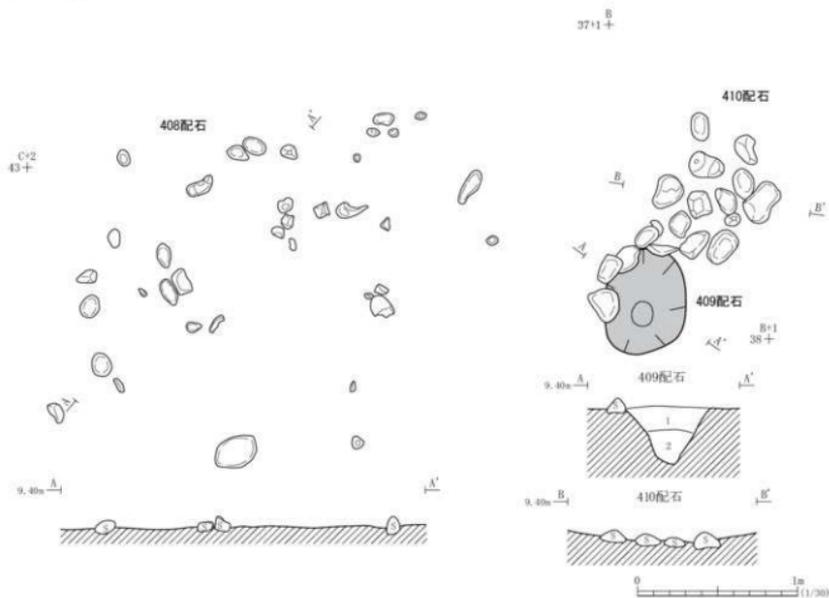
第118図 V層IV区 配石(2)



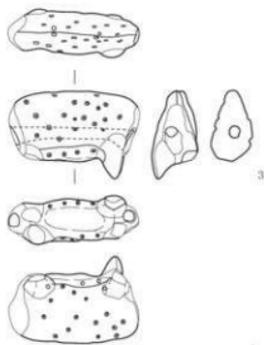
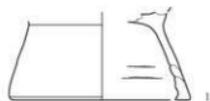
第119图 V层IV区配石(3)



第120図 V層IV区 配石(4)



配石	形状	土色	土性	備考
1	10段3/4埋割	シルト	細化礫粒・粘土層を貫行。	
2	10段4/4埋割	シルト	帯状全層埋割石。	

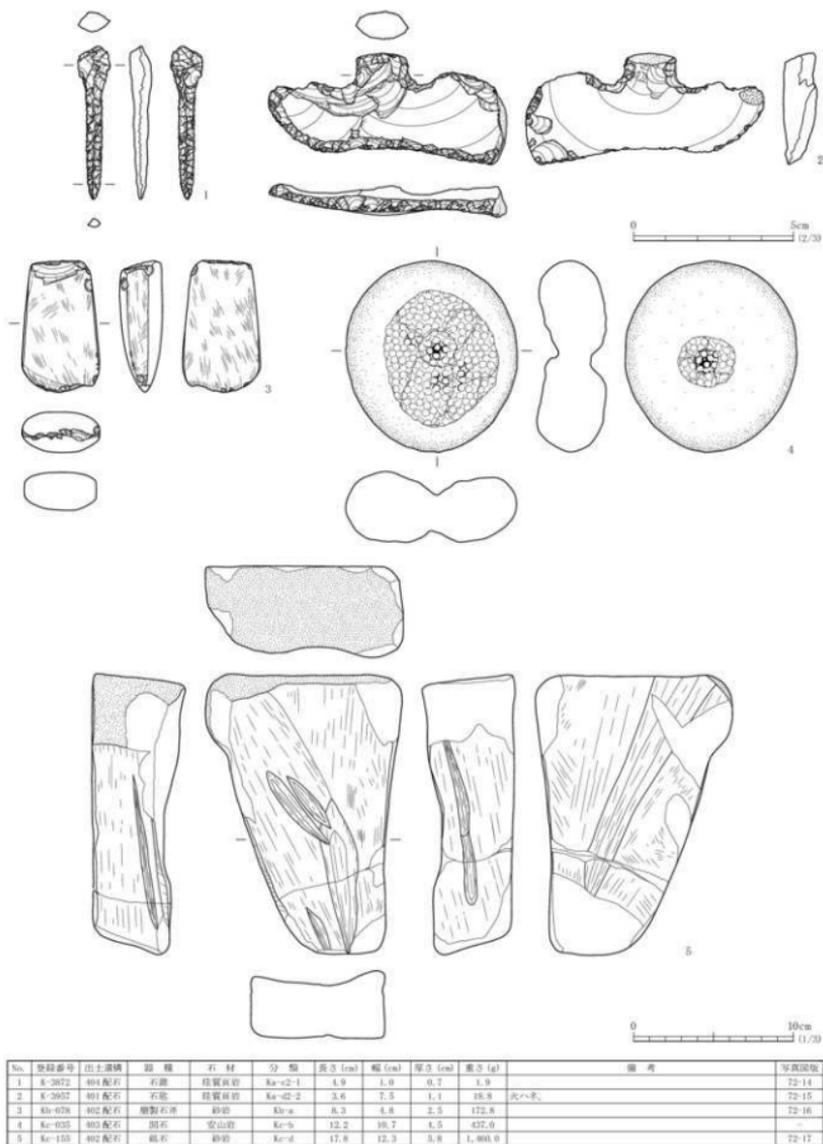


0 10cm (1/3)

0 5cm (1/2)

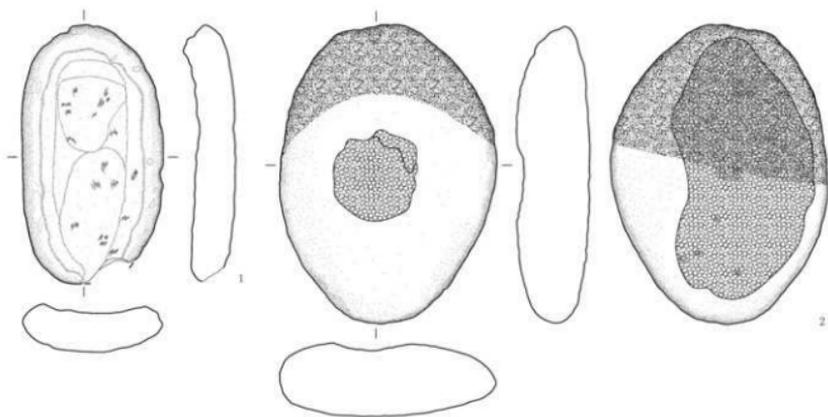
No.	登録番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-282	408配石	縄文土器	台付鉢		器底内面輪溝状。	-
No.	登録番号	出土遺構	図種	文様等		備考	写真図版
2	Ft-1655	409配石	土製円盤	楕円形、長径3.1×短径3.0cm。		貫通孔、b-Gt型。	-
3	Ft-200	402配石	動物形土製品	駒型文、長さ13.53×幅12.11×厚さ3.71cm。		イノシシ型。	T2-13

第121図 V層IV区 配石(5)・配石出土遺物(1)



第 122 図 V 層 IV 区 配石出土遺物 (2)

2. V 層



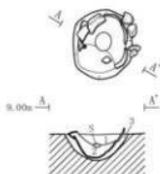
0 10cm (1/5)

No.	登録番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考	写真図版
1	Kc-115	404配石	石皿	安山岩	Ke-f	22.43	11.7	5.5	12,425.0		72-18
2	Kc-124	404配石	石舟	安山岩	Ke-g	31.6	22.4	7.6	6,600.0	破損物	72-19

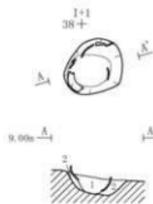
埋設土器

H=2
37×2+

429埋設土器



430埋設土器

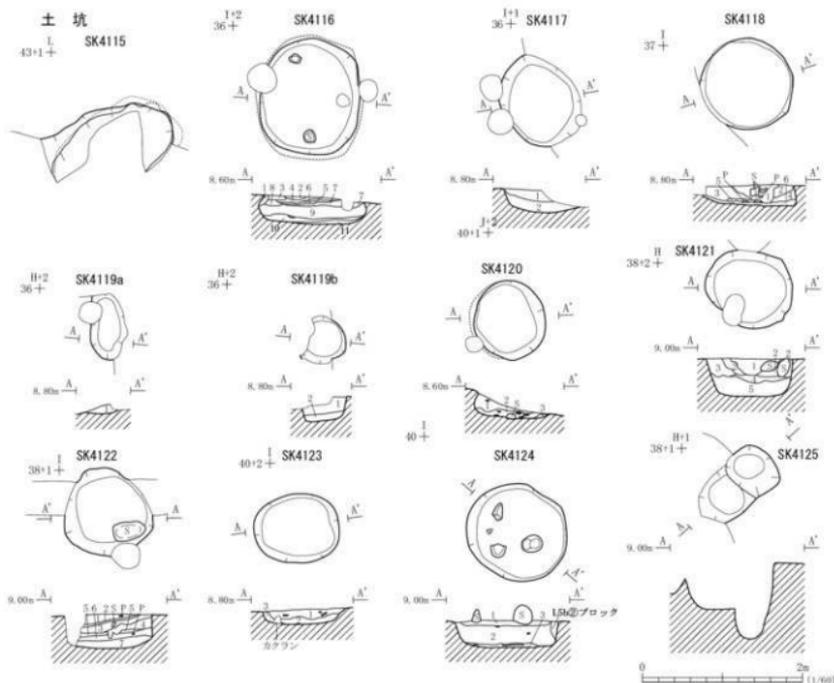


0 1m (1/30)

図13	層位	土色	土性	備考
429	1	10YR4/4 褐	砂質シルト	
	2	10YR2/4 暗褐 7.5YR4/4 黄	シルト シルト質砂	4層との層間にうすい灰化物質
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂小ブロックを含む。

図13	層位	土色	土性	備考
430	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂小ブロックを含む。

第123図 V層IV区 配石出土遺物(3)・埋設土器

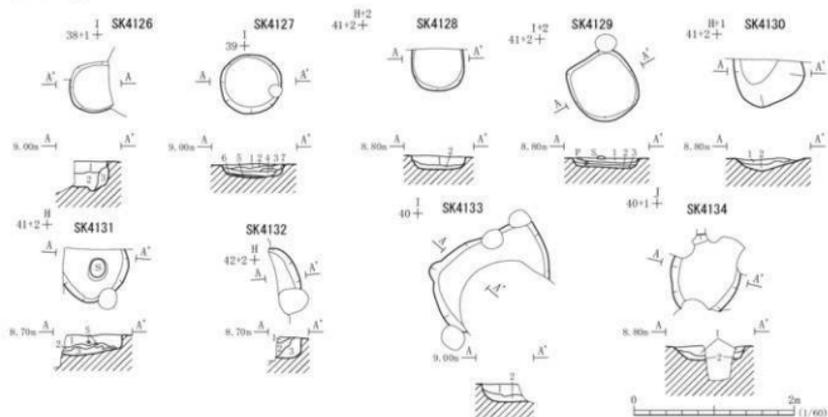


SK	層位	土色	土性	備考
4116	1	10YR3/6 黄褐色	シルト	マンガン錠を含む。礫の混入土。
	2	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物多量。丸い小礫(φ3cm程度)を含む。
	3	10YR4/1 靑	砂質シルト	炭化物・マンガン錠を含む。
	4	10YR4/1 靑	シルト	
	5	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物を散状に含む。
	6	10YR2/2 黒	シルト	炭化物。
4117	7	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	炭化物・マンガン錠を含む。
	8	10YR4/3 靑	シルト	炭化物・マンガン錠を含む。
	9	10YR4/1 靑	シルト	マンガン錠。炭化物も少量を含む。暗褐色シルトと褐色シルトの混雑層。
	10	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	マンガン錠を含む。裏側で炭化物を帯状に含む。
4118	11	10YR4/6 靑	シルト	マンガン錠。炭化物を含む。
	12	10YR4/4 靑	シルト	暗褐色シルトブロックを多量に含む。マンガン錠。炭化物を含む。
4119	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物ブロック多量。表面にマンガン錠を含む。
	2	10YR4/1 靑	シルト	炭化物ブロック多量。表面にマンガン錠を含む。
	3	10YR4/1 靑	シルト	10YR3/6 黄褐色シルト小ブロック。前面にマンガン錠・炭化物。骨片を含む。
	4	10YR4/6 靑	シルト	全面にマンガン錠。炭化物ブロックを含む。
	5	10YR2/3 黒褐色	シルト	炭化物多量。黄褐色シルト小ブロックを含む。
	6	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	炭化物を層状に含む。褐色シルト質砂小ブロックを含む。
4119a	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物多量。マンガン錠を含む。

SK	層位	土色	土性	備考
4119b	1	10YR4/4 靑	シルト	炭化物・マンガン錠を含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物を塊状に含む。
4120	1	7.5YR5/4 に近い靑	シルト	炭化物・炭・粘土多量。骨片・土跡片からなる。(粘土層より多い)
	2	7.5YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物・炭・粘土多量。骨片・土跡片からなる。(1層より炭化物が多い)
	3	7.5YR5/4 に近い靑	シルト	
4121	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	炭化物・炭・粘土多量。骨片を含む。
	2	10YR3/6 黄褐色	シルト	炭化物・炭・粘土多量。骨片を含む。
	3	10YR3/6 明黄褐色	シルト	炭化物を塊状に含む。
	4	10YR2/2 暗褐色	シルト	炭化物・炭・粘土・骨片を含む。
	5	10YR3/6 明黄褐色	シルト	暗褐色シルト小ブロックを含む。
4122	1	10YR2/3 暗褐色	シルト	炭化物・土跡片・骨片を多量に含む。
	2	5YR5/8 明赤褐色	シルト	粘土。
	3	10YR5/6 黄褐色	シルト	暗褐色シルトブロック。炭化物・マンガン錠を含む。
	4	10YR2/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を塊状に含む。
4123	1	10YR5/8 黄褐色	シルト	褐色シルトブロック。炭化物・骨片・土跡片を含む。(暗褐色シルトと褐色シルト小ブロックを含む)
	2	10YR3/2 暗褐色	シルト	褐色シルトブロック多量。炭化物を塊状に含む。
	3	10YR5/8 黄褐色	シルト	
	4	10YR3/4 暗褐色	シルト	炭化物・マンガン錠・土跡片を含む。
4124	1	10YR3/2 暗褐色	シルト	暗褐色シルトブロック。炭化物・土跡片・骨片を含む。(暗褐色シルトと褐色シルト小ブロックを含む)
	2	10YR2/2 暗褐色	シルト	炭化物を多量に含む。
	3	10YR2/2 暗褐色	シルト	

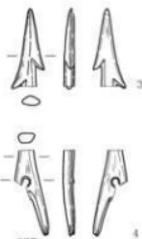
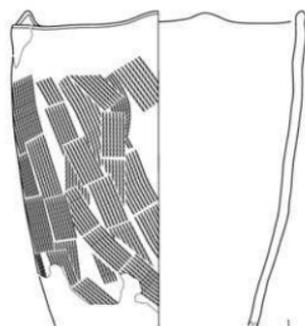
第124図 V層IV区 土坑(1)

2. V 層



SK	部位	土色	土性	備考
4126	1	10R3/4 黄	シルト	黄褐色砂質シルトブロック・炭化物・骨片・土踏片・焼土粒を含む。
	2	10R2/2 黄褐	シルト	炭化物を多量に含む。
	3	10R3/6 黄褐	シルト	黄褐色シルトブロックを含む。壁の脱落土。
4127	1	10R3/3 黄褐	シルト	炭化物・骨片を含む。
	2	10R2/2 黄褐	シルト	炭化物多量、骨片・焼土粒を含む。
	3	10R4/4 黄	シルト	炭化物を微量含む。
4128	1	10R3/4 黄褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物を含む。
	5	10R2/1 黄	シルト	炭化物を微量含む。
	6	10R3/6 黄褐	シルト	シルト
	7	10R4/6 黄	シルト	壁の脱落土。
4129	1	10R3/4 黄褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物・骨片・土踏片・焼褐色シルトを含む。
	2	10R3/3 黄褐	シルト	炭化物多量、骨片を微量含む。
4129	1	10R3/3 黄褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物多量、骨片・焼土を微量含む。
	2	10R4/3 に近い黄褐	粗砂	土踏片を含む。
	3	10R4/4 黄	シルト	

SK	部位	土色	土性	備考
4130	1	10R3/3 黄褐	砂質シルト	炭化物・土踏片を含む。
	2	10R4/4 黄	シルト	
4131	1	10R3/3 黄褐	シルト	黄褐色シルトブロック、炭化物を多量に含む。
	2	10R2/2 黄褐	シルト	炭化物多量、土踏片を含む。
	3	10R4/6 黄	シルト	炭化物・土踏片を含む。
	4	10R4/4 黄	シルト	炭化物を微量含む。
4132	1	10R3/4 黄褐	シルト	褐色シルトブロック、炭化物を微量含む。
	3	10R3/8 黄褐	シルト	
4133	1	10R3/2 黄褐	シルト	暗褐色砂質シルトブロック、暗褐色シルト、褐色シルト質砂粒を多量に含む。
4134	1	7.20R1/3 黄	シルト質砂	暗褐色シルト多量を含む。
	2	10R3/4 黄褐	シルト	褐色シルト質砂ブロックを含む。



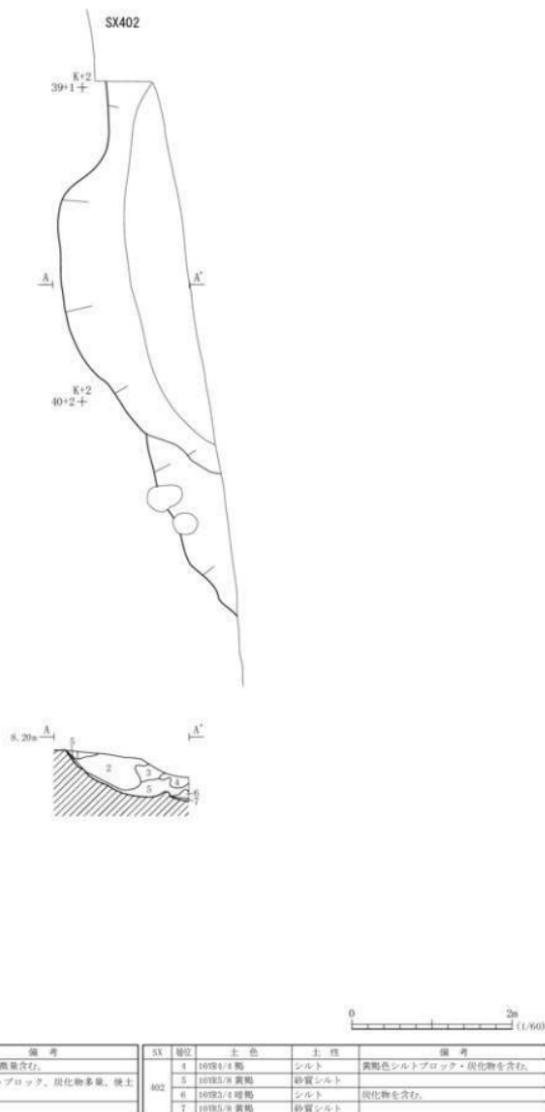
0 10cm (1/20)

0 5cm (1/20)

No.	登録番号	出土層積	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-256	5B4126	織文土器	図紙	標本文王冠・刺文施文。	波状口縁、4単位。	73-1
2	Fe-336	5B4120	種別	図種	文様等	底。	-
3	Q-007	5B4120	骨角器	図種	長さ (3.4) × 幅 (1.2) × 厚さ (0.5) cm。	底内側。	73-2
4	Q-008	5B4120	骨角器	図種	長さ (3.7) × 幅 (1.4) × 厚さ (0.5) cm。	底内側。	73-3

第 125 図 V 層 IV 区 土坑 (2)・土坑出土遺物

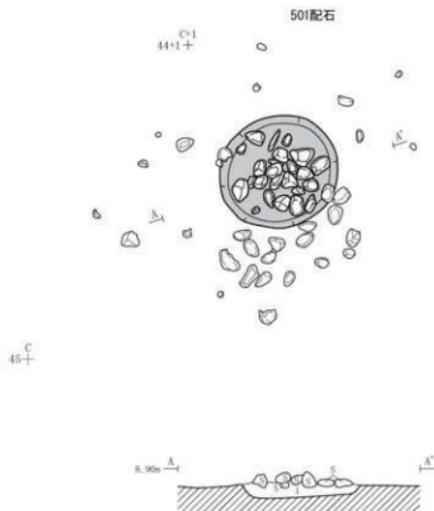
性格不明遺構



第 126 図 V 層IV区 性格不明遺構

2. V 層

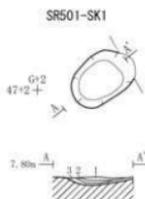
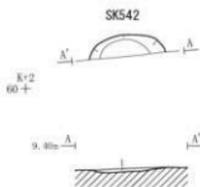
4) V 区
配石



配石 番号	土色	土性	備考
501	10R2/1 黒	シルト	炭化物粒・暗褐色シルトを粒状に多量に含む。



土坑

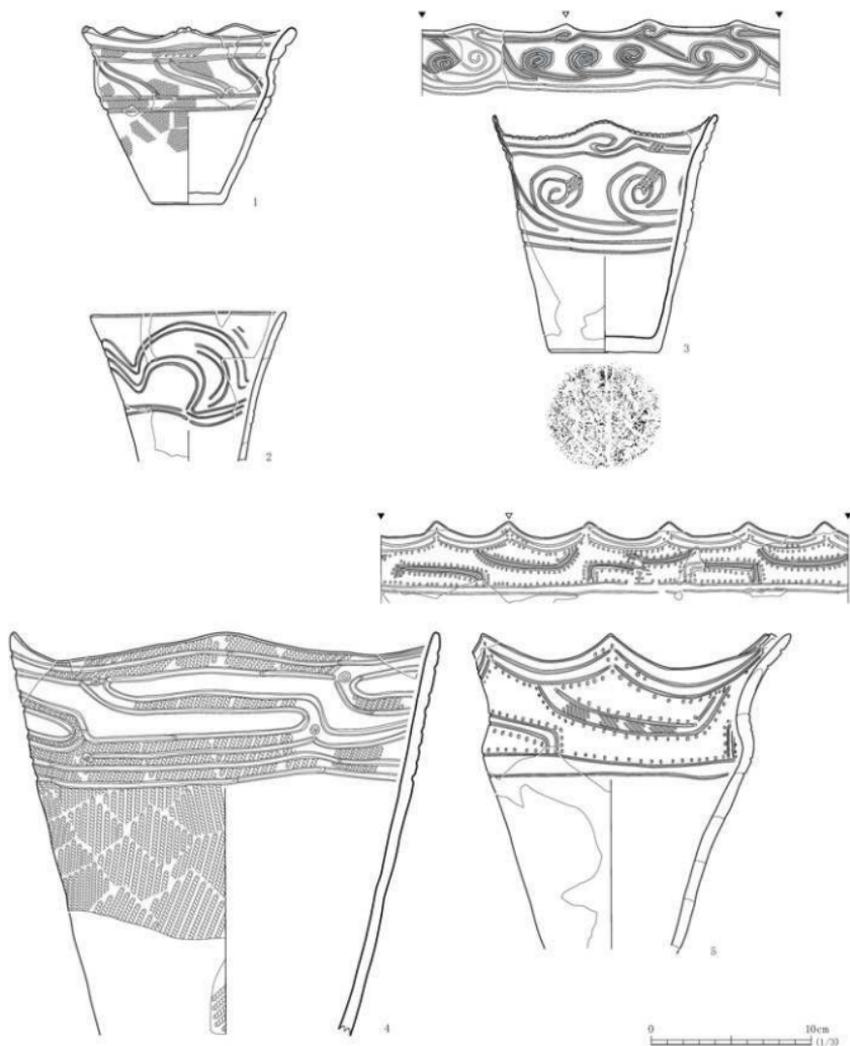


SK 番号	土色	土性	備考
542	10R3/1 黄褐色	シルト	

SK 番号	土色	土性	備考	
SR501-SK1	1	10R5/4 に5%黄褐色	シルト	平面に厚さ1mm程度の炭化物を含む。
	2	10R5/4 に5%黄褐色	シルト	
	3	10R5/4 に5%黄褐色	砂質シルト	

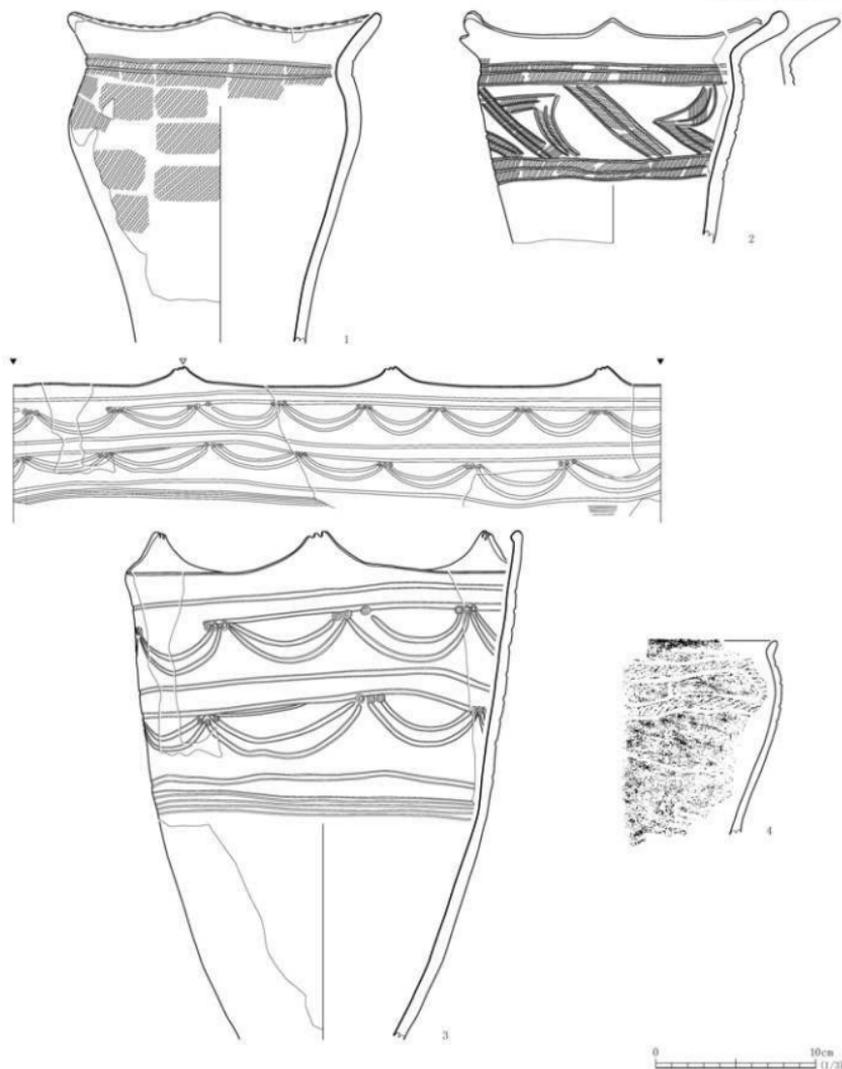


第 127 図 V層V区 配石・土坑



No.	発見番号	出土層	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-302	SR501	縄文土器	深鉢	口縁突起部：短小目。胴部：沈線文。縄文1区横・斜位輪文。	底径口縁、3単位。	73-4
2	A-755	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。	-	-
3	A-485	SR501	縄文土器	深鉢	口唇部：縄文1区胴体縁面江底。胴部：沈線文。縄文1区横位輪文。唇り溝L。	底径口縁、4単位。底部6層板。	73-5
4	A-737	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。円形刺突文。縄文1区横位輪文。唇り溝L。	底径口縁、4単位。	73-6
5	A-418	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。円形刺突文。縄文1区横・斜位輪文。	底径口縁、6単位。	73-7

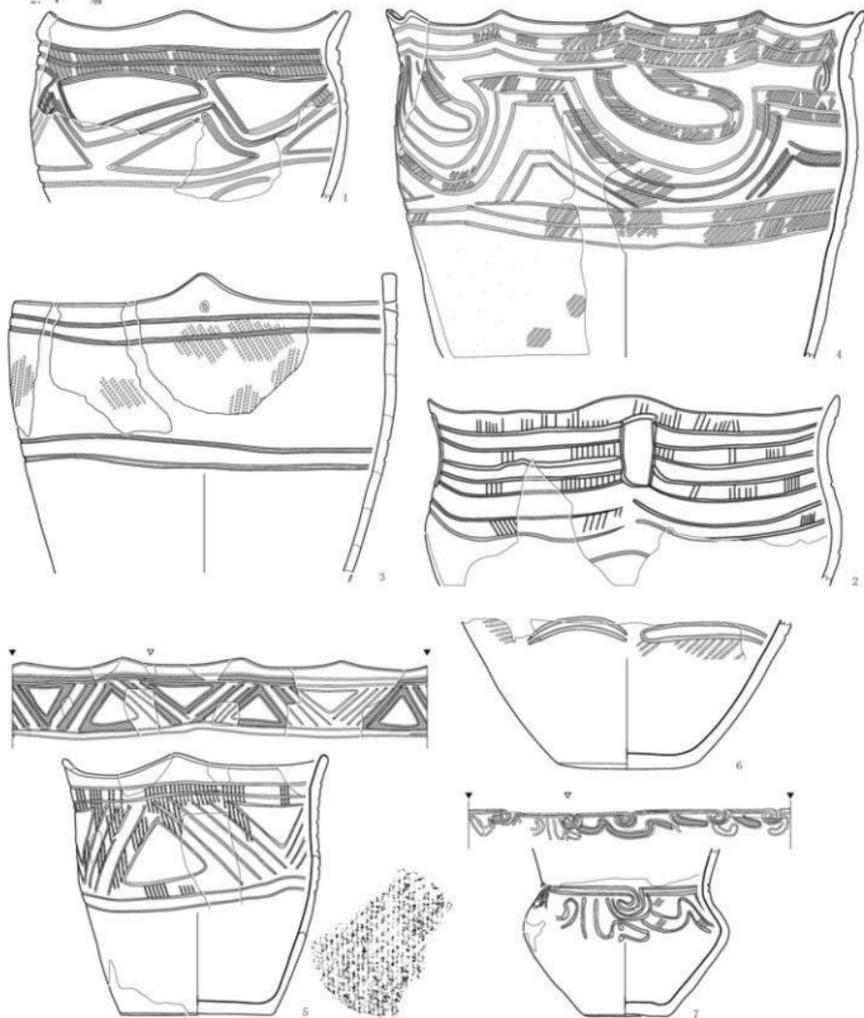
第129図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(1)



No.	発見番号	出土遺構	種別	図様	文様帯	備考	写真図版
1	A-560	SR501	縄文土器	図様	口部部：斜み目、胴部：沈殿文、縄文1段横位施文。	腰状口縁、6単位。	73-8
2	A-689	SR501	縄文土器	図様	沈殿文、縄文1段横・斜位水底施文。	腰状口縁、6単位。	73-9
3	A-497	SR501	縄文土器	図様	腰周部：斜み目、沈殿文、円形刺突文。	腰状口縁、3単位。	74-1
4	A-967	SR501	縄文土器	図様	沈殿文、縄文1段横位施文、磨り消し。		74-2

第130図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(2)

2. V 層



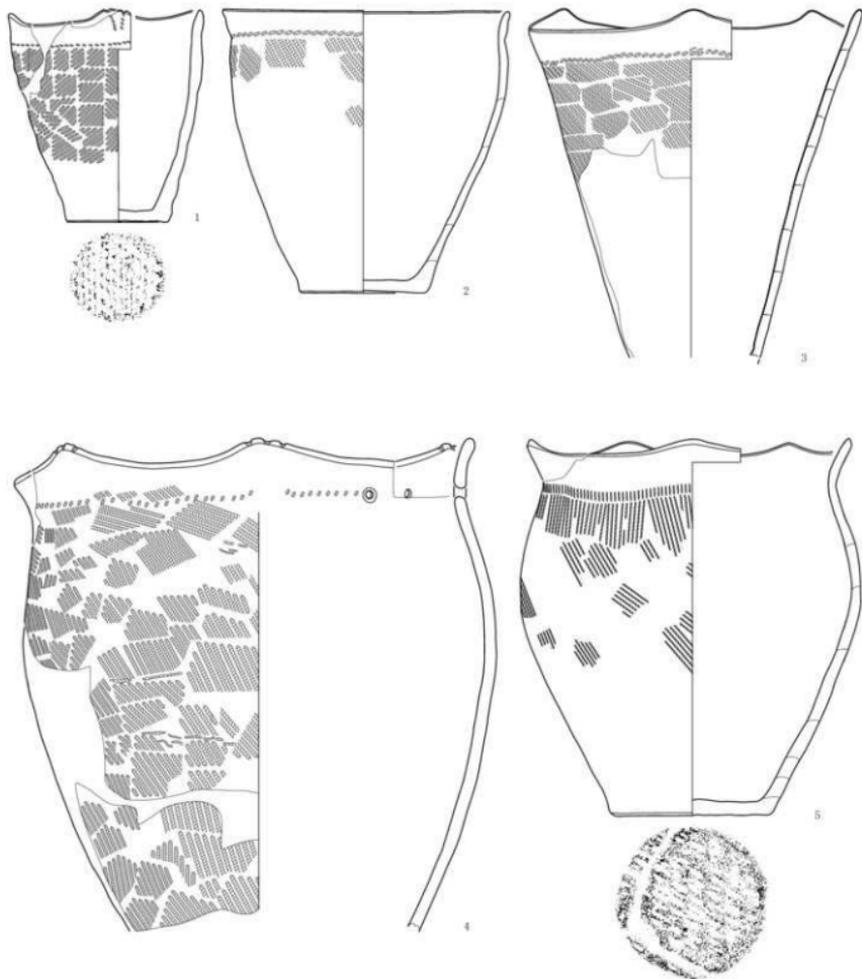
No.	登録番号	出土遺構	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-714	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文肌、横位点線施文。	腹径口縁、6単位。	78-3
2	A-757	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文文を縦位施文、腹9溝入。	腹径口縁、4単位。	-
3	A-471	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文文を横・斜位施文。	1単位、突起部に貫通孔、腹縁魚鱗文。	78-4
4	A-962	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文18横・斜・縦位点線施文。	腹径口縁、12単位。	78-5
5	A-377	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、円形刺突文、縄文文を縦位施文。	腹径口縁、4単位、突起部施文。	78-6
6	A-475	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文1横位施文。	-	-
7	A-510	SR501	銅文土器	深鉢	沈線文、縄文肌、縦位施文。	-	78-7

第131図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (3)



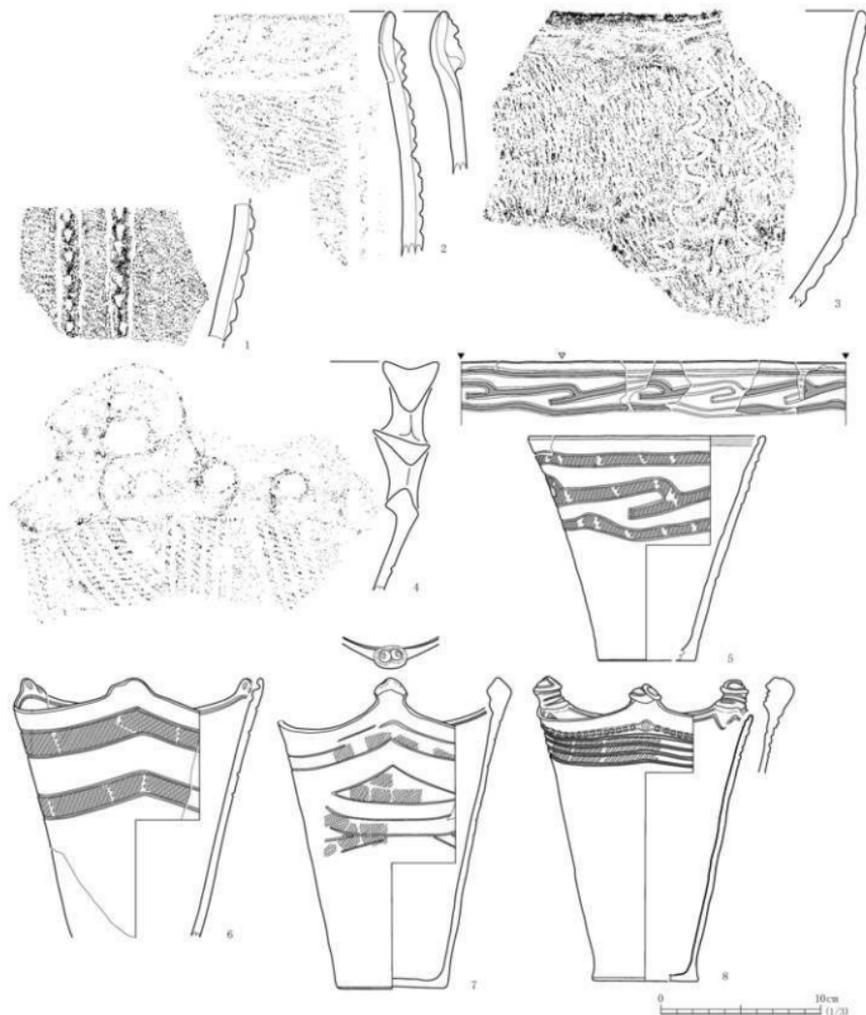
第132図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(4)

2. V 層



No.	発掘番号	出土遺物	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-312	SR501	織文土器	深鉢	口縁部・胎部、織文1段(身体側面)江柄、胴部、織文1段(縦・横位)編文。	底径口縁、4單位、底面網代柄。	75-4
2	A-358	SR501	織文土器	深鉢	胎部；織文1段(身体側面)江柄、胴部；織文1段(横位)編文。	外面被熱風割重。	75-5
3	A-472	SR501	織文土器	深鉢	口縁部以下；織文1段(身体側面)江柄、胴部；織文1段(縦位)編文。	底径口縁、3單位。	75-6
4	A-416	SR501	織文土器	深鉢	胎部部；斜ノ目、胎部；織文1段(身体側面)江柄、胴部；織文1段(横位)編文。	底径口縁、6單位、縁部点。	75-7
5	A-354	SR501	織文土器	深鉢	胎部；網状体江柄文、胴部；網文8段・斜位編文。	底径口縁、5單位、底面網代柄。	76-1

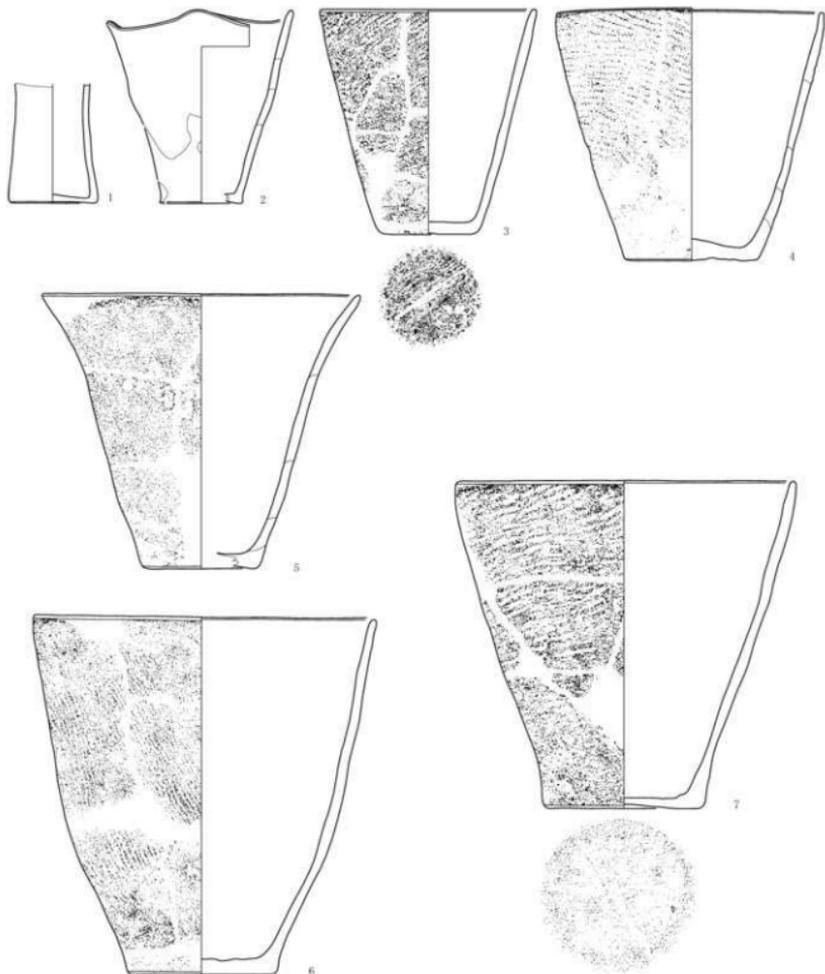
第133圖 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(5)



no.	登録番号	出土遺構	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-697	SR501	縄文土器	深鉢	縁縁上・刺突文、縄文肌、横位施文。		26-2
2	A-696	SR501	縄文土器	深鉢	横位縁施文、縄文肌、横位施文。		26-3
3	A-672	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、刺突文、断革文3部位施文。	横位口縁。	26-4
4	A-931	SR501	縄文土器	深鉢	多帯瓦線文、縄文肌、横・斜位施文。	突起部貫通孔。	26-5
5	A-657	SR501	縄文土器	深鉢	外面：沈線文、縄文1区横位施文、磨平消し。内面：口縁部：沈線文。	横位口縁。3単位突起。	26-6
6	A-720	SR501	縄文土器	深鉢	外面：沈線文、縄文1区横位施文、磨平消し。内面：口縁部：沈線文、管孔。	横位口縁。3単位突起。	26-7
7	A-905	SR501	縄文土器	深鉢	外面：沈線文、縄文1区横位施文。内面：口縁部：沈線文。	横位口縁。3単位突起。	26-8
8	A-189	SR501	縄文土器	深鉢	外面：沈線文、連続状縁施文、縄文1区横位施文。内面：口縁部：沈線文。	横位口縁。3単位突起。	26-9

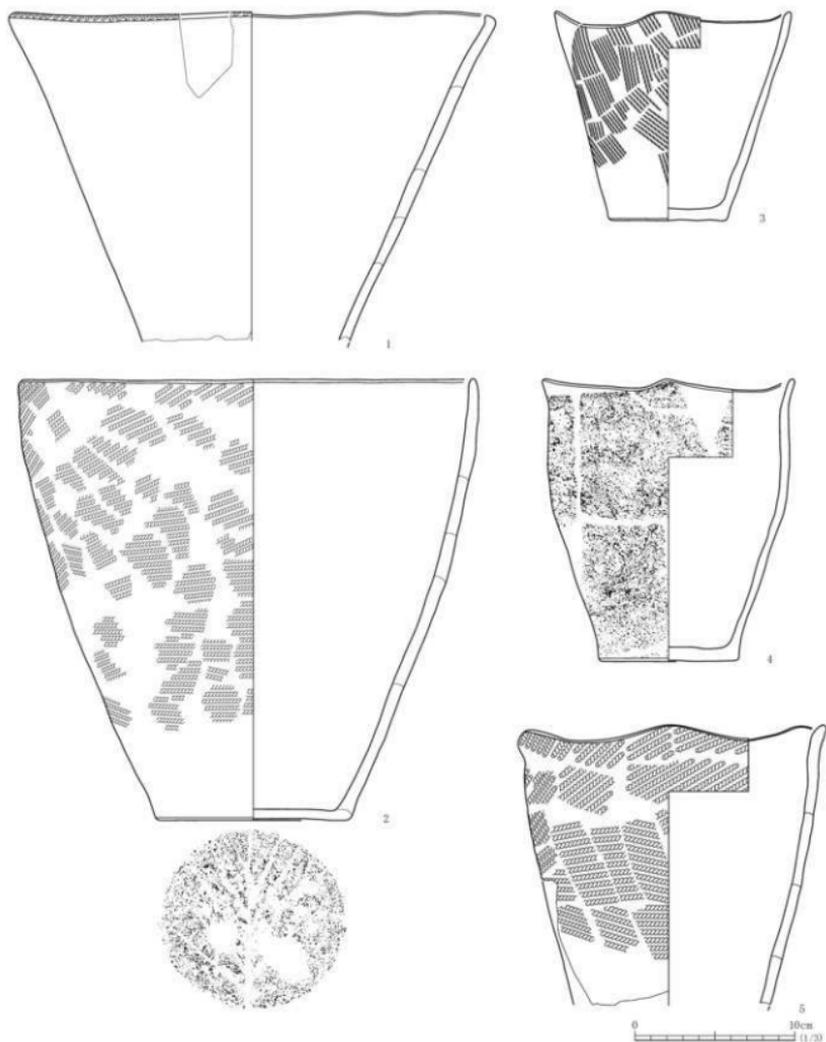
第134図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(6)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	部種	文様等	備考	写真図版
1	A-525	SR501	縄文土器	深鉢			70-10
2	A-736	SR501	縄文土器	深鉢		底辺口縁、4単位。	70-11
3	A-673	SR501	縄文土器	深鉢	縄文1段縦位施文。	底辺縦位正横。	77-1
4	A-539	SR501	縄文土器	深鉢	縄文H・横・斜位施文。胴部下縁、唇中消し。	底辺縦位正横。	77-2
5	A-520	SR501	縄文土器	深鉢	縄文H・縦位施文。		77-3
6	A-517	SR501	縄文土器	深鉢	縄文H・縦位施文。		77-4
7	A-519	SR501	縄文土器	深鉢	縄文1横・斜位施文。	底辺縦位正横。	77-5

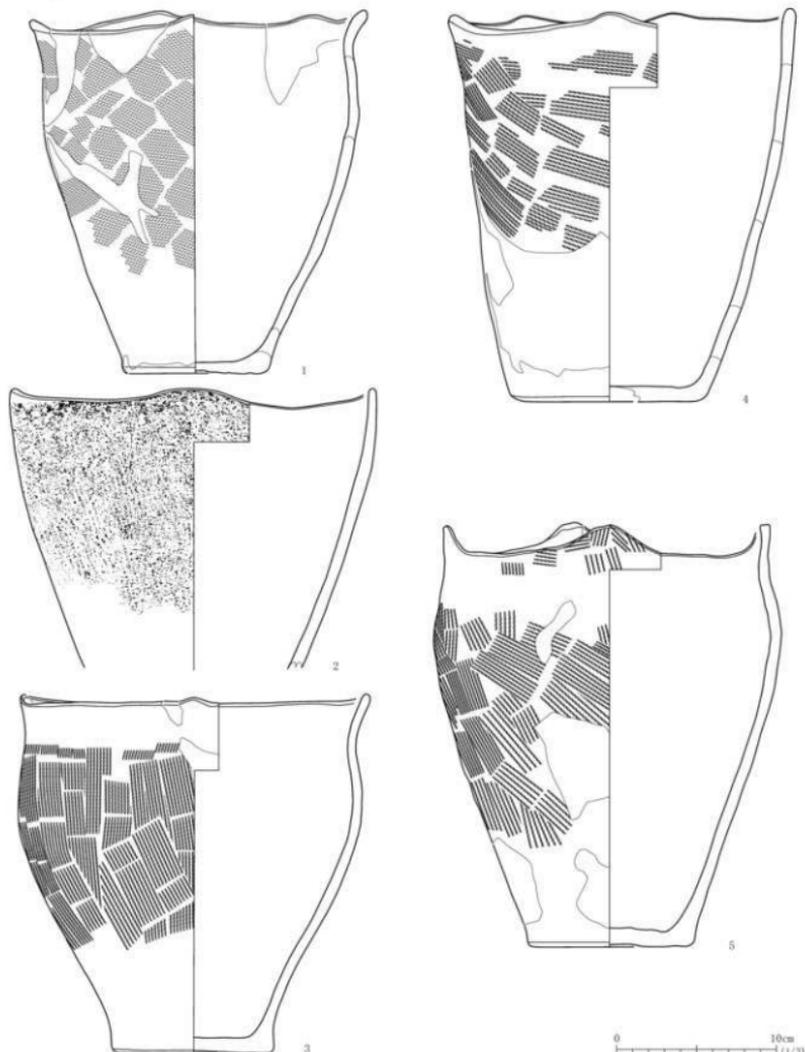
第135図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(7)



No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-750	SR501	縄文土器	深鉢	白帯跡・縄文1B 斜位編文。		—
2	A-262	SR501	縄文土器	深鉢	縄文1B 横・斜位編文。	底面本層板。	77-6
3	A-351	SR501	縄文土器	深鉢	縄文1B 縦・斜位編文。	底辺口縁。4単位。底面本層板。	77-7
4	A-756	SR501	縄文土器	深鉢	縄文1B 縦・斜位編文。	底辺口縁。4単位。	77-8
5	A-752	SR501	縄文土器	深鉢	縄文1B 横・斜位編文。	底辺口縁。6単位。	78-1

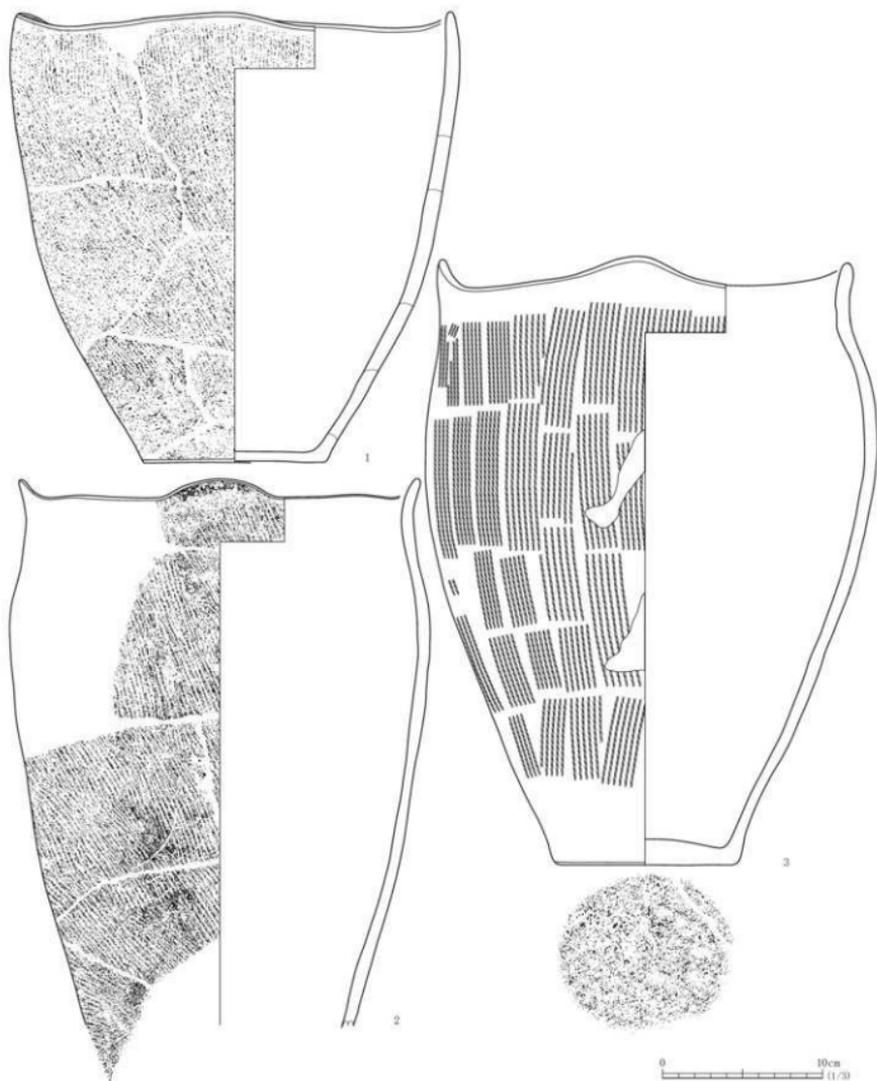
第136図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(8)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-306	SR501	縄文土器	深鉢	縄文18単位縷文。	底径口縁、3単位。	78-2
2	A-315	SR501	縄文土器	深鉢	縄文文9単位縷文。	底径口縁、4単位。	-
3	A-312	SR501	縄文土器	深鉢	縦罫・斜状体江縷文。横罫・縄文文8縦・斜位縷文。	底径口縁、4単位。	78-3
4	A-417	SR501	縄文土器	深鉢	縄文文9縦・斜位縷文。	底径口縁、5単位。	78-4
5	A-403	SR501	縄文土器	深鉢	縄文文9縦・横・斜位縷文。	底径口縁、4単位。	78-5

第137図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(9)



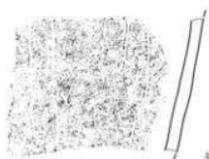
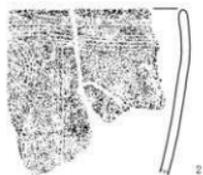
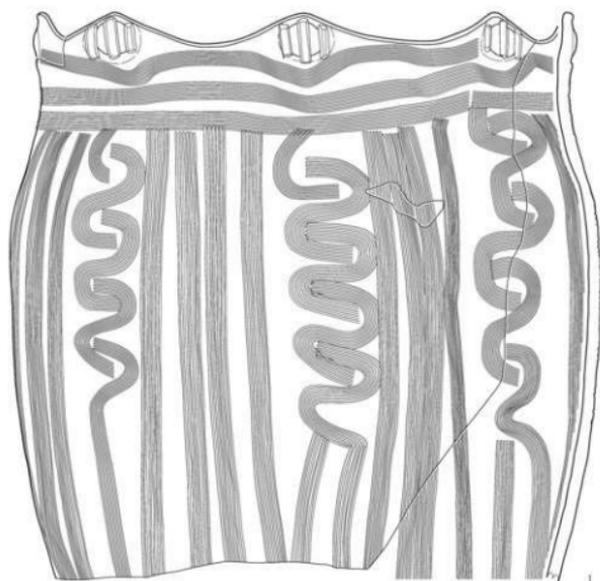
No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-361	SR501	縄文土器	深鉢	横糸文・縦位施文	底状口縁、4単位、透部半環状。	26-4
2	A-415	SR501	縄文土器	深鉢	横糸文・縦位施文	底状口縁、4単位。	-
3	A-371	SR501	縄文土器	深鉢	横糸文・縦位施文	底状口縁、4単位、透部網代肌。	29-1

第138図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(10)



no.	登録番号	出土遺物	種別	図種	文様等	備考	写真図版
1	A-912	SR501	織文土器	図鉢	縹赤状沈殿文。	底面本葉柄。	79-2
2	A-735	SR501	織文土器	図鉢	縹赤状沈殿文。	底面本葉柄。	79-3
3	A-901	SR501	織文土器	図鉢	外面 縹赤状沈殿文。内面 白緑苔・沈殿文。		-
4	A-684	SR501	織文土器	図鉢	縹赤状沈殿文。		79-4

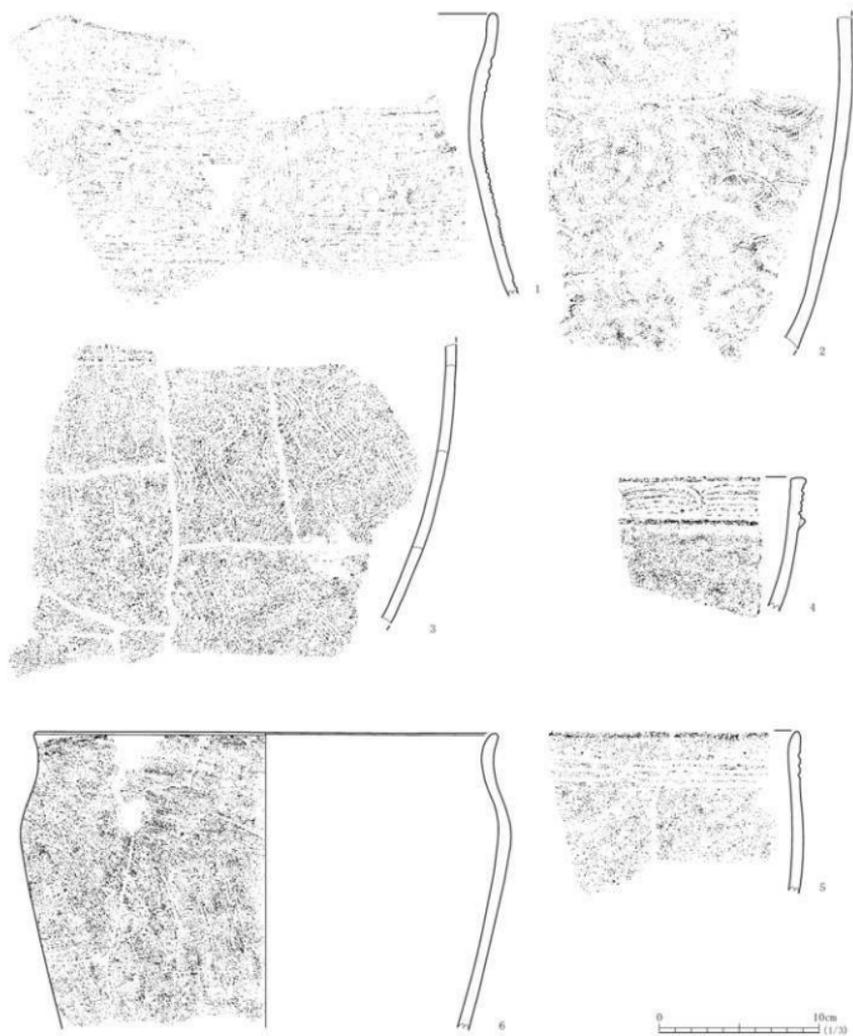
第 139 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (11)



No.	発見番号	出土遺構	種別	図様	文様等	備考	写真図版
1	A-599	SR501	縄文土器	図様	口縁突起部：降魔文、胴部・縷垂状沈線文。	縷状口縁。	—
2	A-734	SR501	縄文土器	図様	縷垂状沈線文。		79-5
3	A-913	SR501	縄文土器	図様	縷垂状沈線文。		79-6
4	A-733	SR501	縄文土器	図様	沈線文、縷垂状沈線文。		79-7

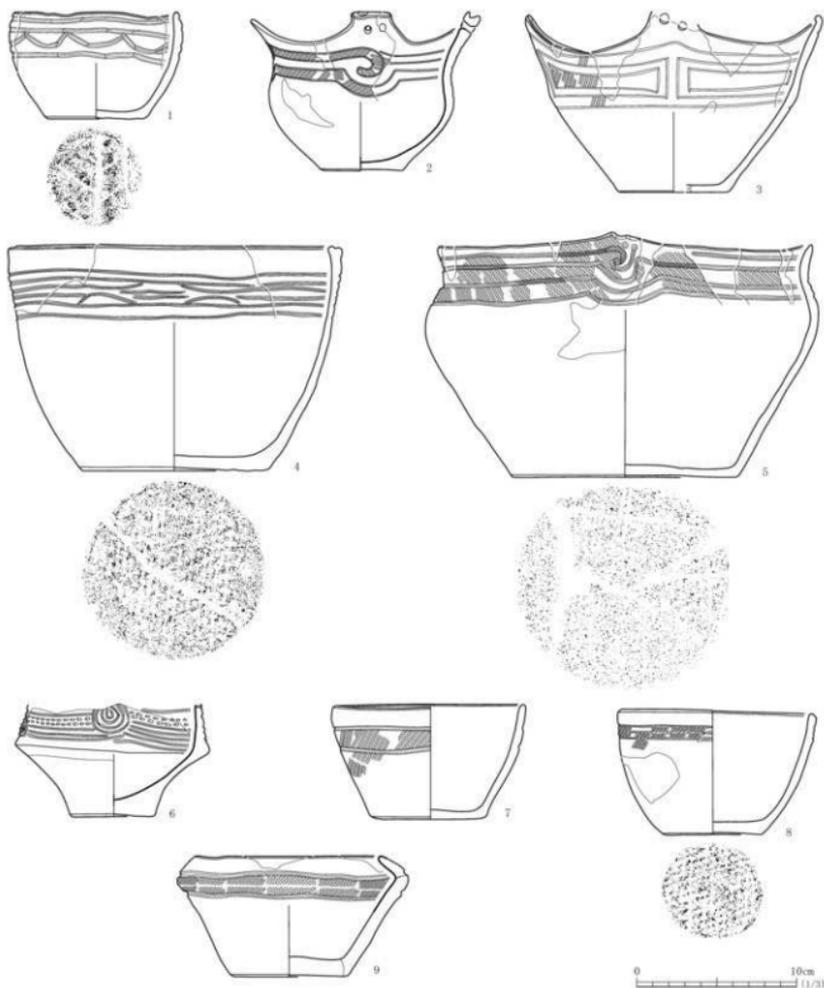
第140図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(12)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-716	SR501	縄文土器	深鉢	横帯状瓦線文、刺突文。	底次口縁。	79-8
2	A-727	SR501	縄文土器	深鉢	横帯状瓦線文。		80-1
3	A-744	SR501	縄文土器	深鉢	横帯状瓦線文、縄文1.8釐位編文。		-
4	A-732	SR501	縄文土器	深鉢	波瀾文、陰線文。		80-2
5	A-725	SR501	縄文土器	深鉢	波瀾文。		80-3
6	A-723	SR501	縄文土器	深鉢	串線文。	文様を認識したヘラ状工具による所。	80-4

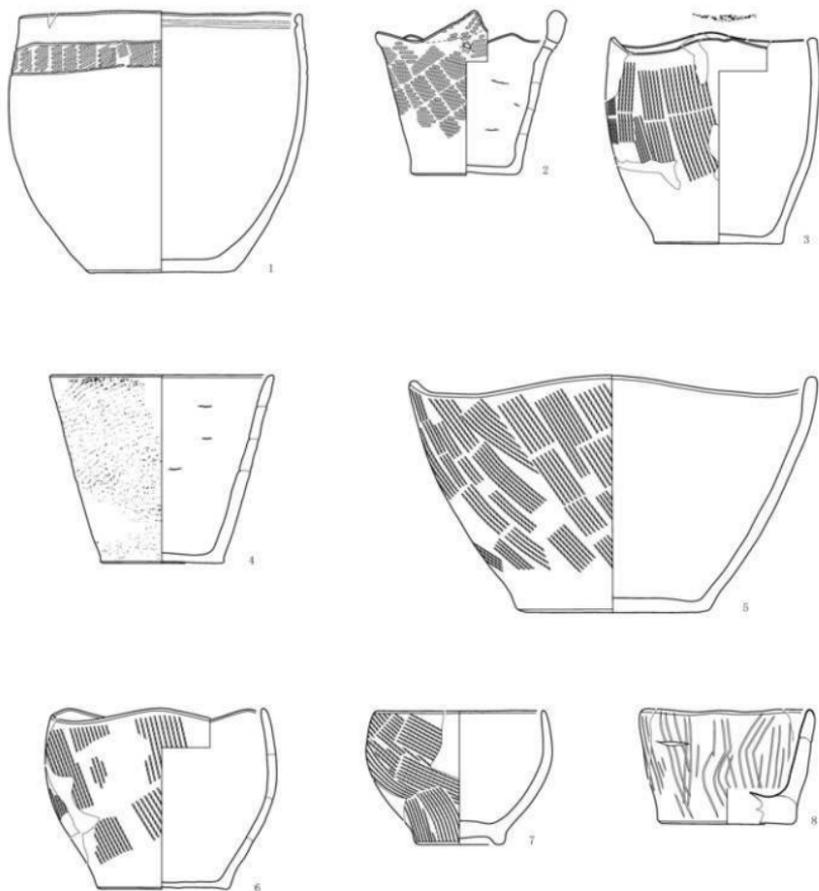
第 141 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (13)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-347	SR501	縄文土器	鉢	沈線文。	近部本壺残。	90-5
2	A-428	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文1.8横・斜位施文、磨り消し。	器状口縁、4単位。貫通孔2ヶ所。	90-6
3	A-643	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文1.8横位施文、磨り消し。	器状口縁、4単位。貫通孔2ヶ所。	90-7
4	A-433	SR501	縄文土器	鉢	沈線文。	近部胴代残。	90-8
5	A-373	SR501	縄文土器	鉢	口縁部・横位沈線文、円形斜位文、縄文粗・横位施文。一部口唇部にも縄文粗・施文。	口縁部小突起。近部胴代残。	90-9
6	A-529	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、斜位文。	近部本壺残。	90-10
7	A-459	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文1.8横位施文。	近部本壺残。	90-11
8	A-310	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文1.8横位施文。	近部胴代残。	-
9	A-506	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文1.8横位施文。	近部胴代残。	90-12

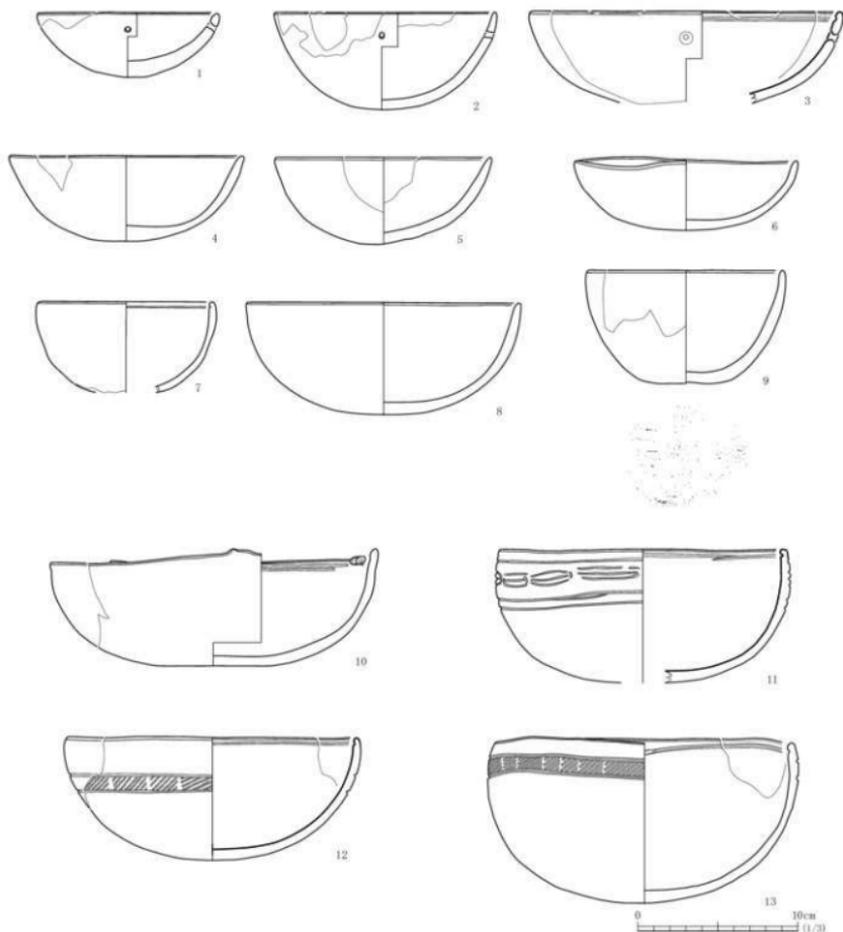
第142図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(14)

2. V 層



no.	器物番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-307	SR501	縄文土器	鉢	外面：沈線文，縄文1.8単位水波加文，内面：口縁部：沈線文。		01-1
2	A-505	SR501	縄文土器	鉢	突起部：縄文1.8単位側面江無横・斜位加文，唇部：縄文1.8斜位加文。	底状口縁，5単位，貫通孔，内面輪槽状。	01-2
3	A-352	SR501	縄文土器	鉢	側面文：8単位加文，底状部：斜位体江加文。	底状口縁，4単位，底面木曜肌。	-
4	A-313	SR501	縄文土器	鉢	縄文1.8・斜位加文。	輪槽状。	01-3
5	A-310	SR501	縄文土器	鉢	側面文：8単位加文。	底状口縁，4単位。	01-4
6	A-408	SR501	縄文土器	鉢	側面文：8単位加文。	底状口縁，4単位，唇部以上口縁部斜位加文，底面木曜肌。	-
7	A-619	SR501	縄文土器	鉢	側面文：8単位・斜位加文。	底面有付状。	01-5
8	A-605	SR501	縄文土器	鉢	唇部状沈線文。		01-6

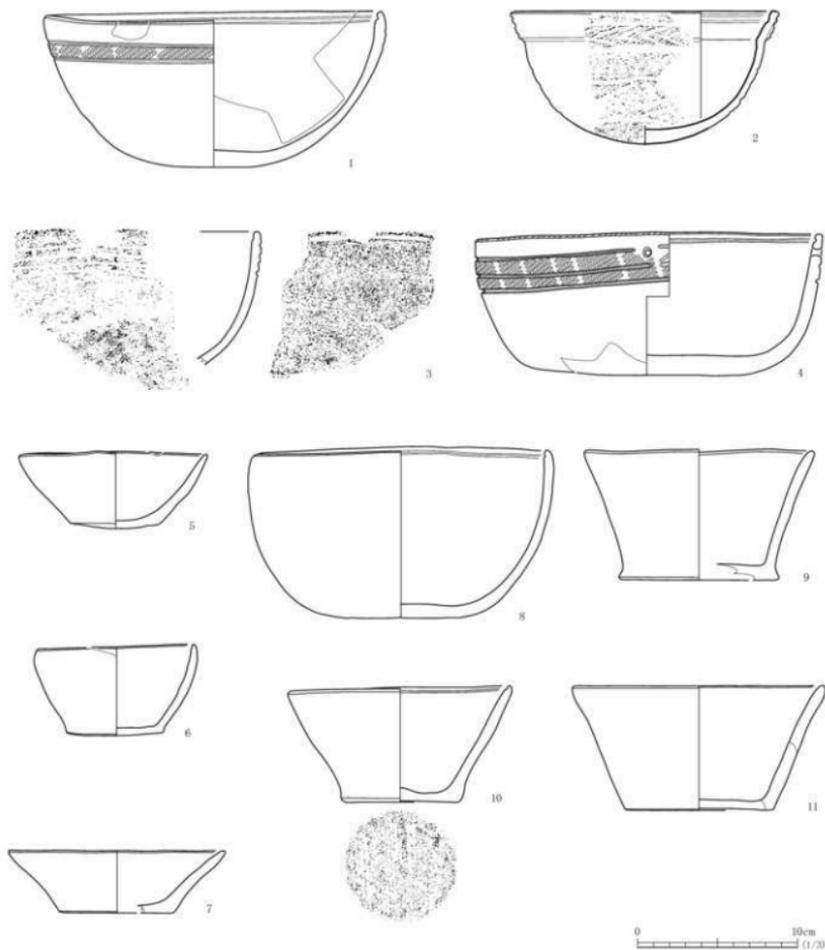
第143図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (15)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様帯	備考	写真図版
1	A-581	SR501	縄文土器	浅鉢		貫通孔。	-
2	A-514	SR501	縄文土器	浅鉢		貫通孔。	81-7
3	A-481	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文。	構成後の穿孔。	81-8
4	A-449	SR501	縄文土器	浅鉢			81-9
5	A-482	SR501	縄文土器	浅鉢			81-10
6	A-457	SR501	縄文土器	浅鉢			-
7	A-478	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文。		81-11
8	A-696	SR501	縄文土器	浅鉢			-
9	A-399	SR501	縄文土器	浅鉢		底部不明な点。	81-12
10	A-467	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文、刺突文。	2単位小突起。	81-13
11	A-413	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 沈線文、内面 口縁部：沈線文。		81-14
12	A-447	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 沈線文、縄文1単位小突起文、内面 口縁部：沈線文。		82-1
13	A-435	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 沈線文、縄文1.5単位小突起文、内面 口縁部：沈線文。		82-2

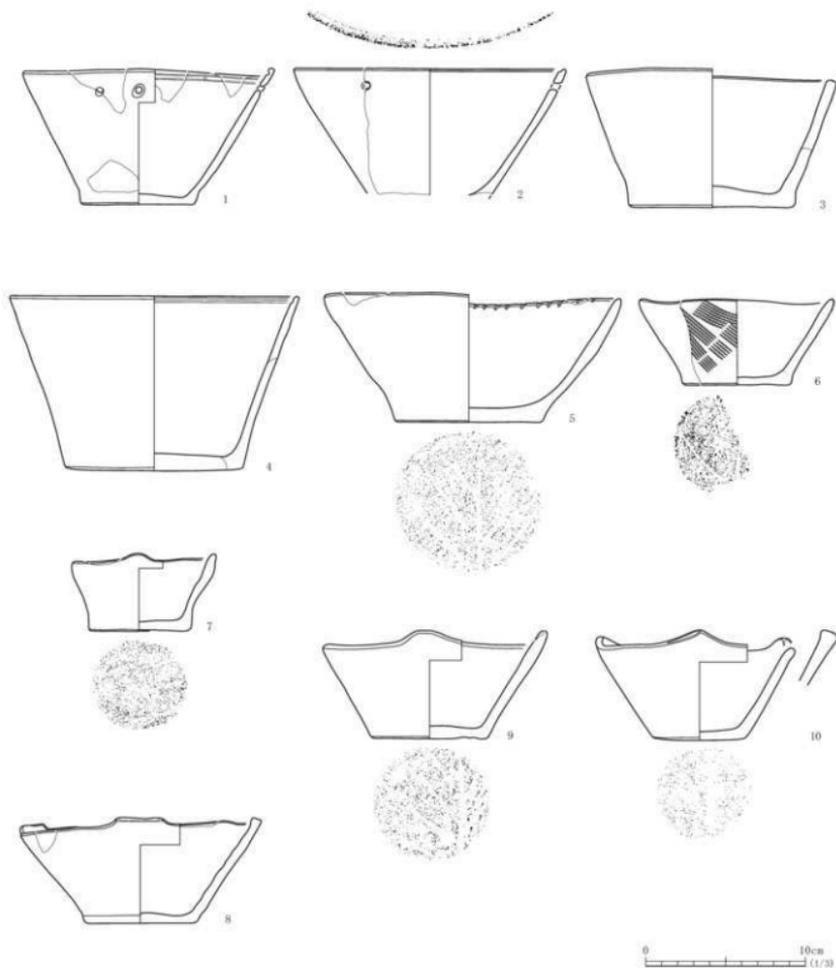
第 144 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (16)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-455	SR501	縄文土器	浅鉢	外面：沈線文、縄文1段横位充填施文、内面：口縁部：沈線文。		82-3
2	A-914	SR501	縄文土器	浅鉢	陸線文、沈線文、縄文1段横位施文、内面：口縁部：沈線文。		-
3	A-666	SR501	縄文土器	浅鉢	外面：沈線文、縄文1段横位施文、内面：沈線文。		82-4
4	A-328	SR501	縄文土器	浅鉢	外面：口唇部：縄文1段全体陸面圧痕、体部：沈線文、縄文1段横位充填施文、内面：口縁部：沈線文。	貫通孔。	82-5
5	A-536	SR501	縄文土器	浅鉢			82-6
6	A-529	SR501	縄文土器	浅鉢			82-7
7	A-283	SR501	縄文土器	浅鉢			82-8
8	A-569	SR501	縄文土器	浅鉢	内面：口縁部：沈線文。		82-9
9	A-523	SR501	縄文土器	浅鉢			82-10
10	A-307	SR501	縄文土器	浅鉢	内面：口縁部：沈線文。	底面銅代版。	82-11
11	A-324	SR501	縄文土器	浅鉢		底面銅代版。	82-12

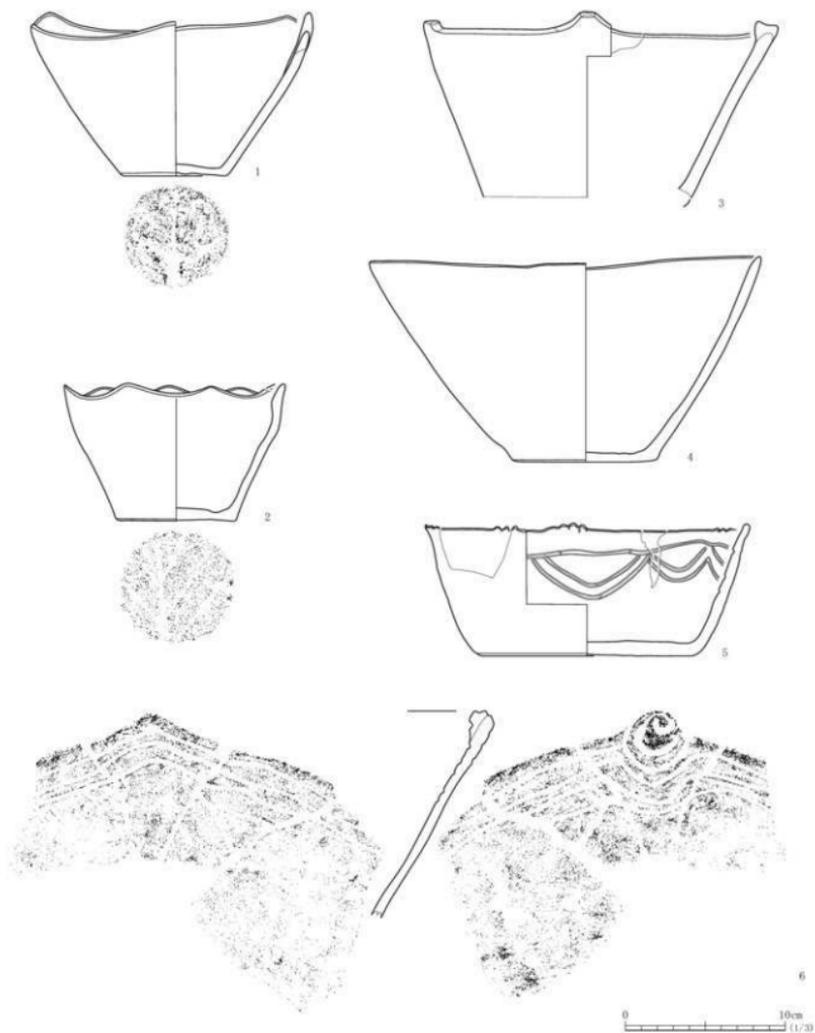
第 145 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (17)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-306	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈澱文。	焼付孔。	82-13
2	A-646	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 口唇部：湖縄文・L形横位施文。内面 沈澱文。	焼付孔。	-
3	A-429	SR501	縄文土器	浅鉢		底辺網状文。縁部口縁。編織板を利用して水平口縁部を作出。	-
4	A-695	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 沈澱文。		82-14
5	A-573	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口唇部直下に斜小目。部分的に施文。	底辺本葉形。	82-15
6	A-602	SR501	縄文土器	浅鉢	内外面 湖縄文。	底辺口縁。底辺本葉形。	-
7	A-304	SR501	縄文土器	浅鉢		小字板。底辺本葉形。	82-16
8	A-521	SR501	縄文土器	浅鉢		3単位変形。	82-17
9	A-520	SR501	縄文土器	浅鉢		底辺口縁。底辺本葉形。	82-18
10	A-599	SR501	縄文土器	浅鉢		底辺口縁。3単位。底辺本葉形。	82-1

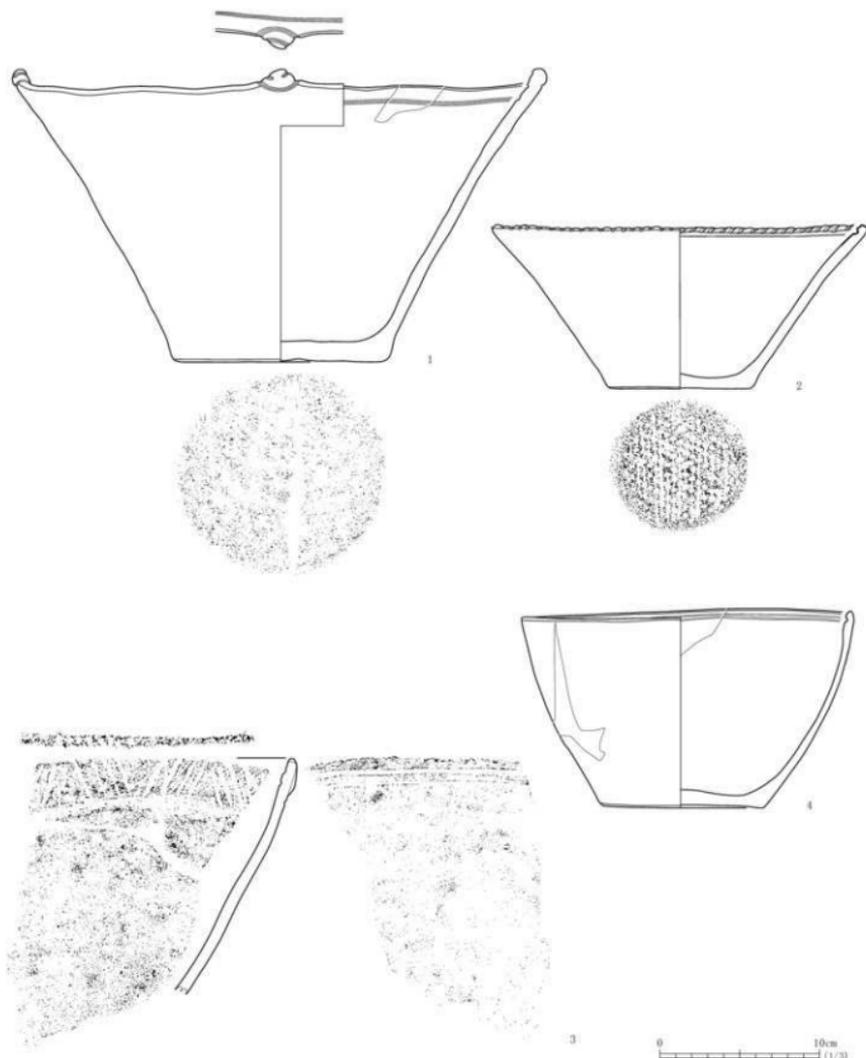
第146図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(18)

2. V 層



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-554	SR501	銅文土器	浅鉢		底径口縁、3単位、底面本葉柄。	80-2
2	A-556	SR501	銅文土器	浅鉢		底径口縁、2単位、底面本葉柄。	80-3
3	A-493	SR501	銅文土器	浅鉢		4単位小突起。	-
4	A-522	SR501	銅文土器	浅鉢			80-4
5	A-499	SR501	銅文土器	浅鉢	内面 沈澱文。	5単位小突起。	-
6	A-722	SR501	銅文土器	浅鉢	外面 沈澱文、内面 沈澱文。	底径口縁、突起。	80-5

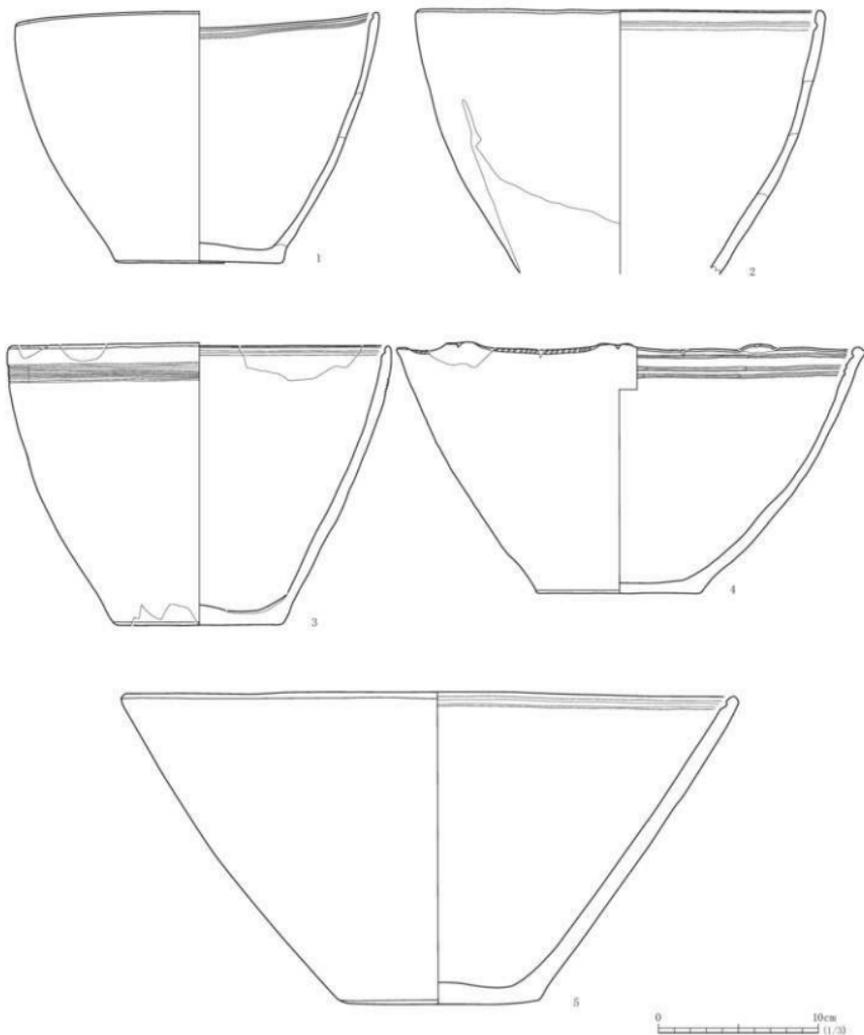
第 147 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (19)



No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-443	SR501	縄文土器	浅鉢	内面：沈澱文。	4単位小笠原。	83-6
2	A-609	SR501	縄文土器	浅鉢	口唇部：斜み目、内面：口縁部：沈澱文。	能登銅代塚。	-
3	A-706	SR501	縄文土器	浅鉢	外面：口唇部：斜み目、唇部：沈澱文、縄文様模-斜位集文、内面：沈澱文。		83-7
4	A-642	SR501	縄文土器	浅鉢	内面：口縁部：沈澱文。		83-8

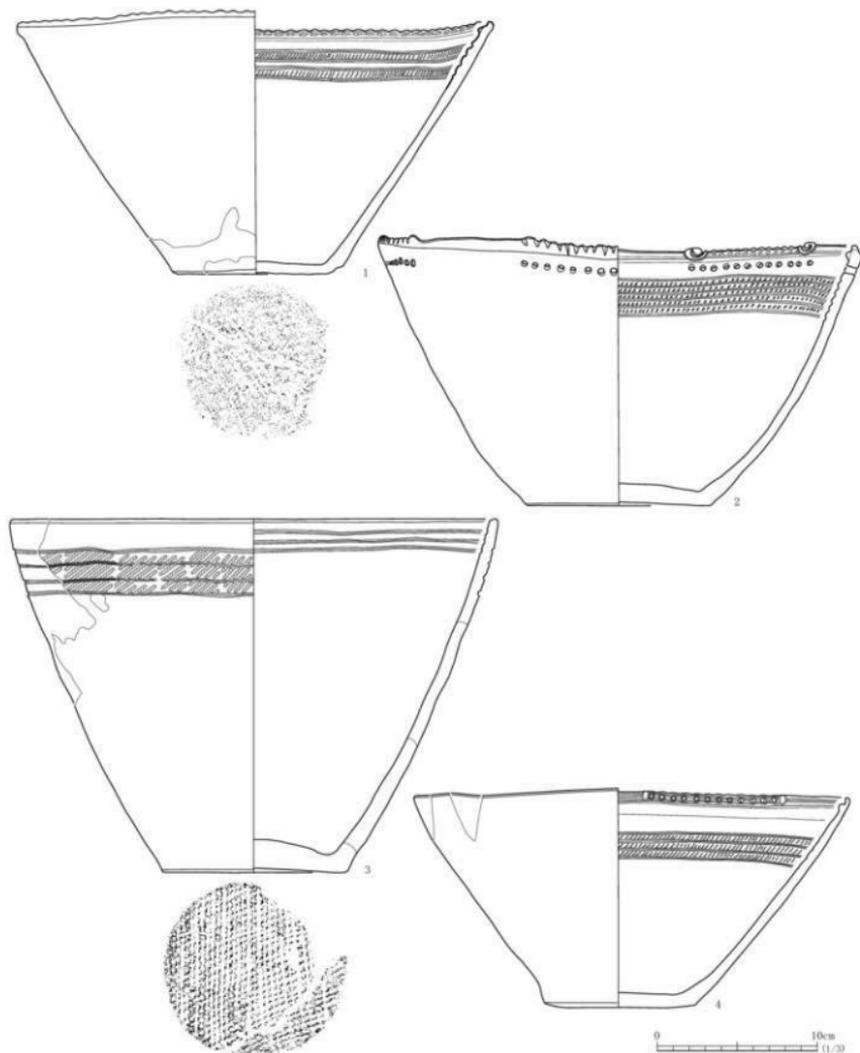
第148図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (20)

2. V 層



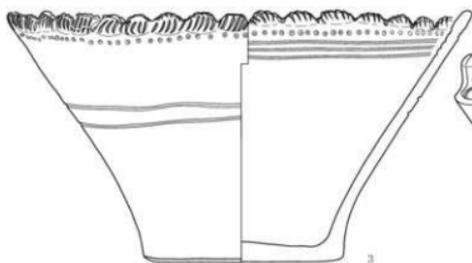
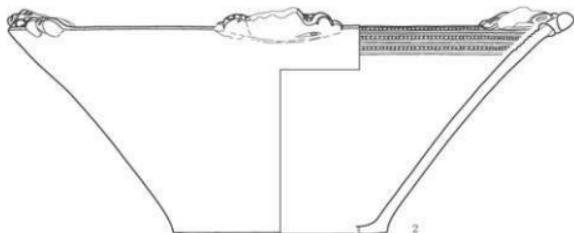
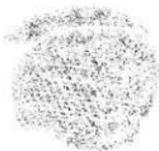
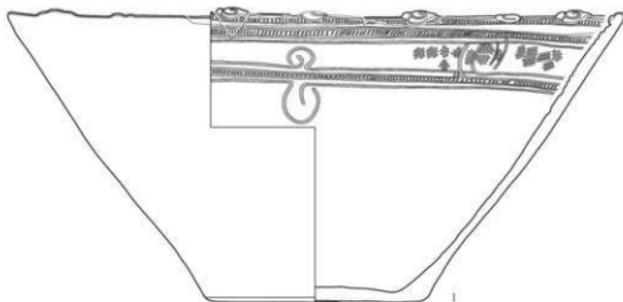
No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-211	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈澱文。		82-9
2	A-484	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈澱文。		82-10
3	A-511	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 多条沈澱文、内面 ㊦線部；沈澱文。		84-1
4	A-670	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 ㊦線部；縄文1段横位筋文、内面 沈澱文。	※単位小突起。	-
5	A-483	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 ㊦線部；沈澱文。		84-2

第 149 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (21)



No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	3種器	備考	写真図版
1	A-298	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 口唇部：刻み目、内面 縄織文、沈線文、刺突文、刻み目。	底部銅代板。	84-3
2	A-896	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 口唇部：刻み目、内面 沈線文、刻み目。	小突起、貫通孔。内面刺突文5単位。	84-4
3	A-719	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 口唇部：沈線文、縄文1段横位北端始文、内面 口唇部：沈線文、底部銅代板。		-
4	A-620	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口唇部：縄織文、円形刺突文、体部上半：沈線文、刻み目。		84-5

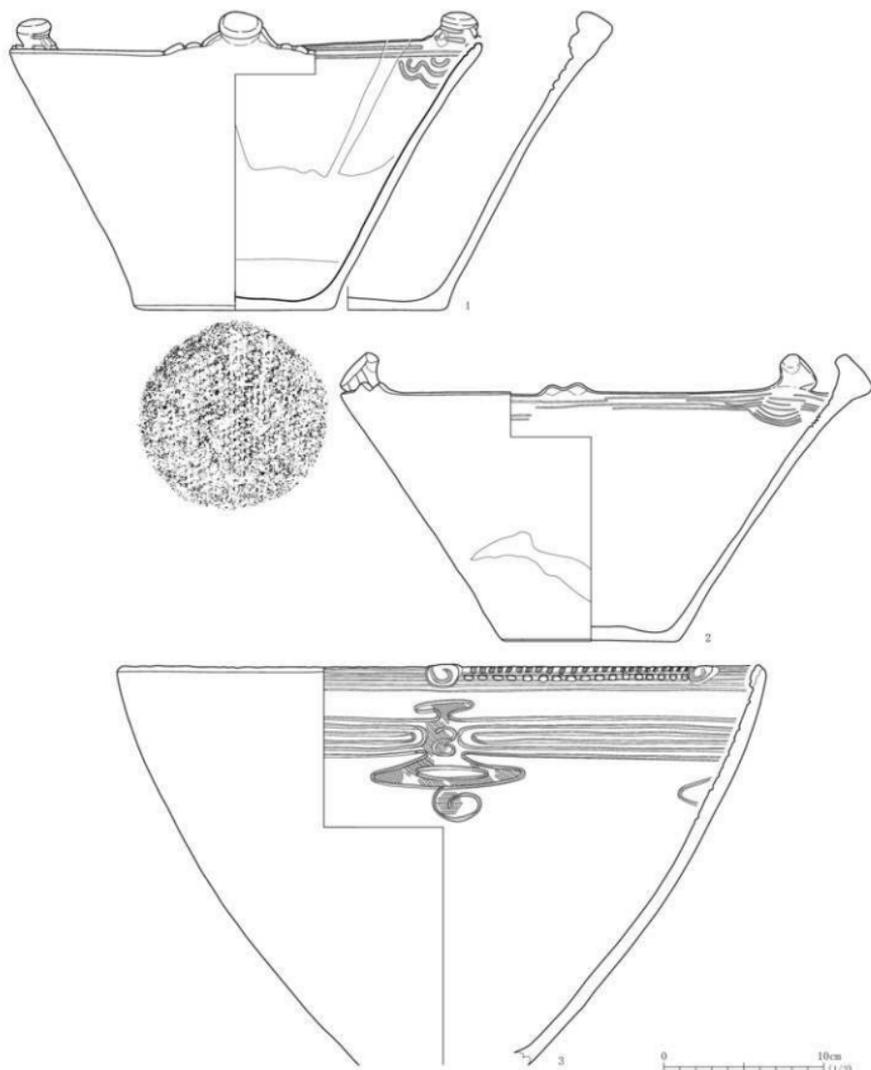
第150図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (22)



0 10cm
(1/3)

no.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-677	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 沈降文、部小目、縄文1.8組・横位施文。	小突起、底部網代焼。	85-1
2	A-718	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 沈降文、部小目。	大・小3単位突起、輪彫孔。	85-2
3	A-375	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 口縁部・部小目、円形刺突文、体面 沈降文、内面 口縁部；部小目、円形刺突文、沈降文。	波状口縁。	85-3
4	A-610	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 沈降文。	波状口縁、3単位突起、貫通孔。外面黒色付着物。	85-4

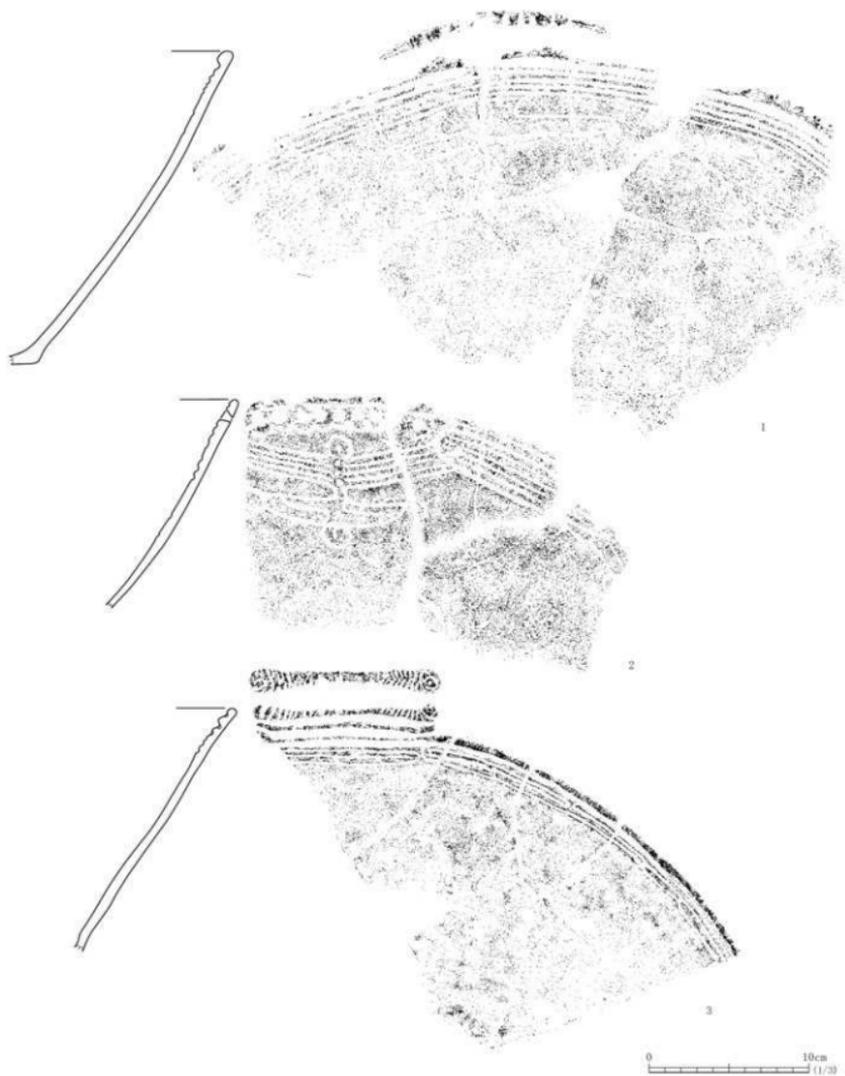
第151図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (23)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-650	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文。	3単位交配。底部網代織。	85-5
2	A-488	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈線文。	大・小2単位交配。	-
3	A-747	SR301	縄文土器	浅鉢	内面 沈線文、筋小目、円形刺突文、縄文草・模・斜位編文、磨り跡。	円形刺突文4単位小。	85-6

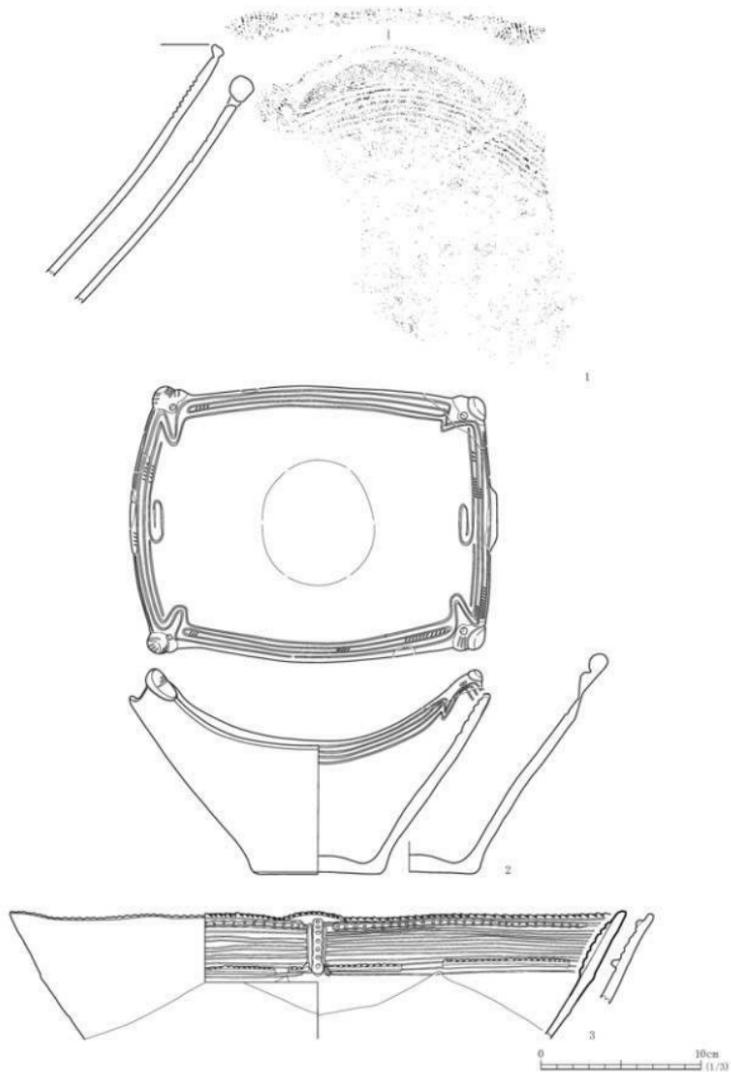
第152図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (24)

2. V 層



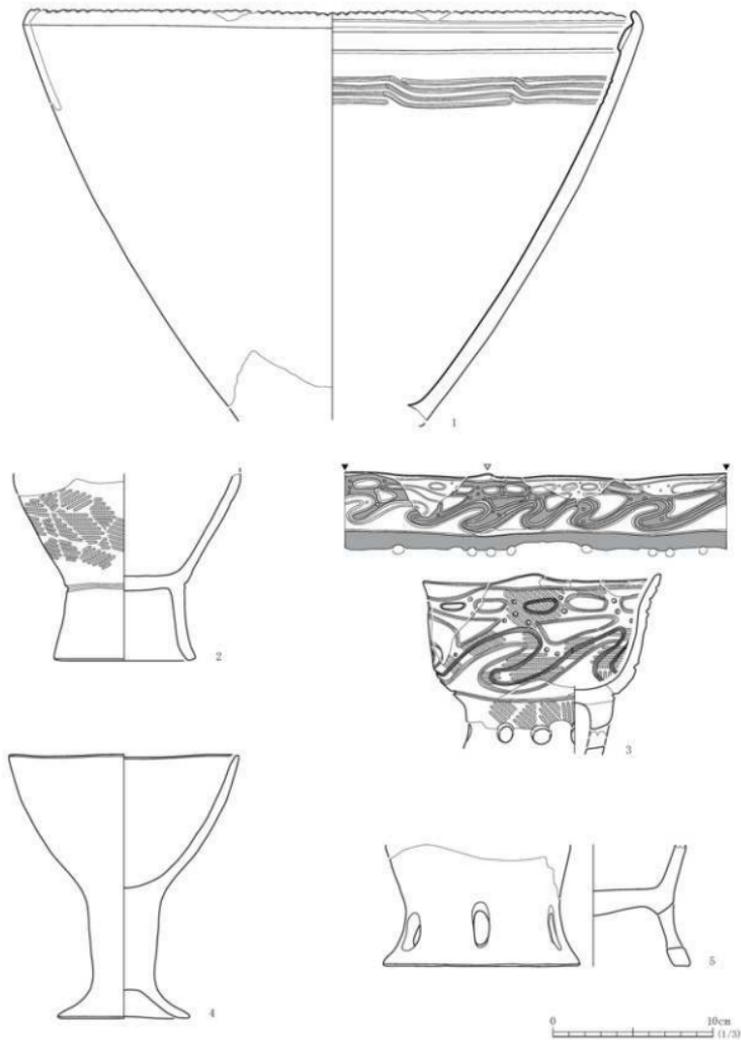
No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等		備考	写真図版
					表	裏		
1	A-614	SR501	織文土器	洗鉢	外面	白野苧・胡乃目、内面 沈線文、織文(球線位布織施文)		-
2	A-713	SR501	織文土器	洗鉢	外面	白野苧・胡乃目、内面 沈線文、斜交文		貫通孔
3	A-741	SR501	織文土器	洗鉢	内面	突起部に押入引き文、沈線文、胡乃目		突起

第 153 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (25)



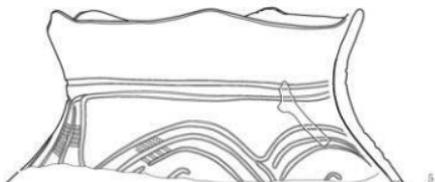
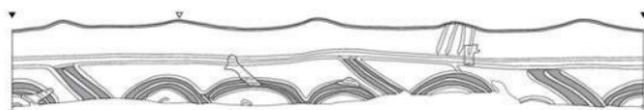
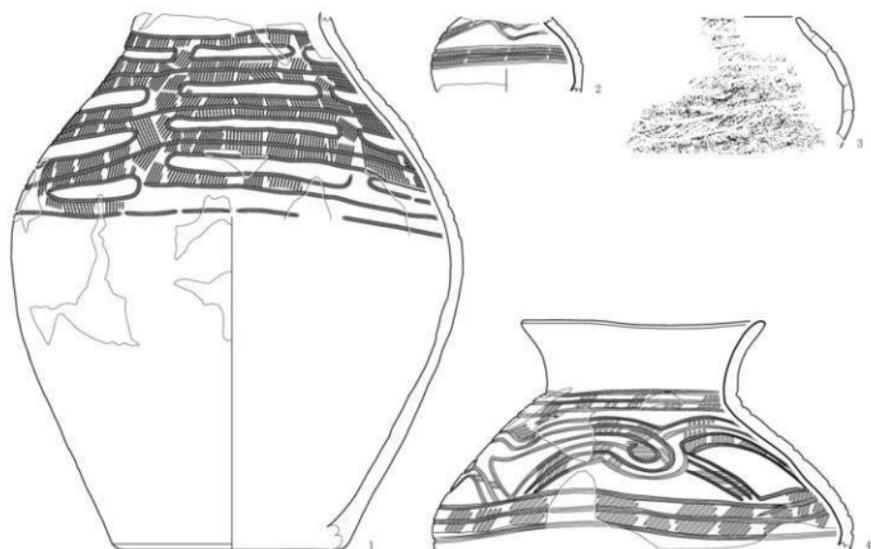
No.	発掘番号	出土遺構	種別	部類	文様等	備考	写真図版
1	A-712	SR501	縄文土器	洗鉢	内面：沈線文、縄文柄、横位本線輪文。	磨収口縁、突起、貫通孔。	06-3
2	A-648	SR501	縄文土器	洗鉢	内面：唇孔、沈線文、筋7目。	磨収口縁、4単位。	06-4
3	A-730	SR501	縄文土器	洗鉢	内面：縁縁上に刺突文、沈線文。	小突起。	-

第154図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (26)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	I-462	SR501	銅文土器	浅鉢	外面 口唇部・器身目・内面 幾種文、波線文。		—
2	A-427	SR501	銅文土器	台付鉢	波線文、渦文18種・斜位旋文。		96-5
3	A-524	SR501	銅文土器	台付鉢	波線文、斜位旋文、渦文18種・斜位旋文。	唇部透穴4×9孔。	96-6
4	A-472	SR501	銅文土器	台付鉢			96-7
5	A-548	SR501	銅文土器	台付鉢		唇部透穴5×9孔。	96-8

第 155 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (27)

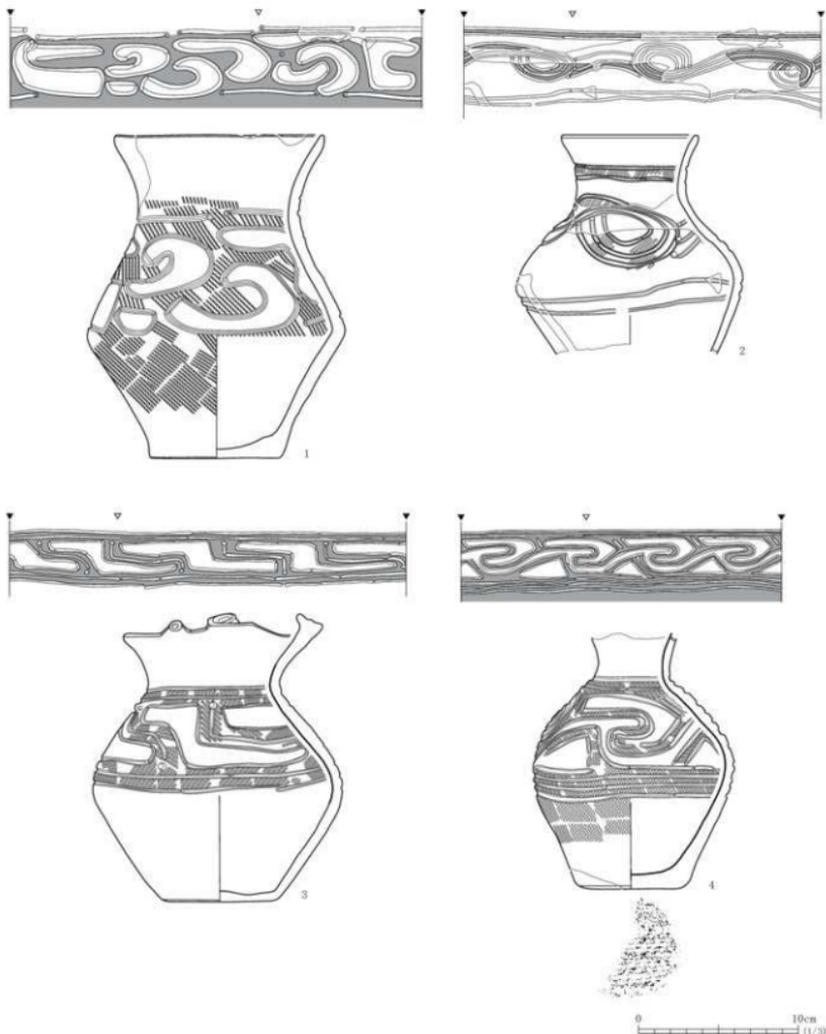


0 10cm
(1/3)

No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-424	SR501	縄文土器	壺	波線文、横糸文1組位施文、磨り消し。		図-1
2	A-536	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文1区横位施文、磨り消し。		—
3	A-612	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文1区横位施文。	内面輪襷のみ。	図-2
4	A-413	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文1区横・斜位施文、磨り消し。		—
5	A-497	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文1区横・斜位施文。	頸口縁、5単位。	図-3

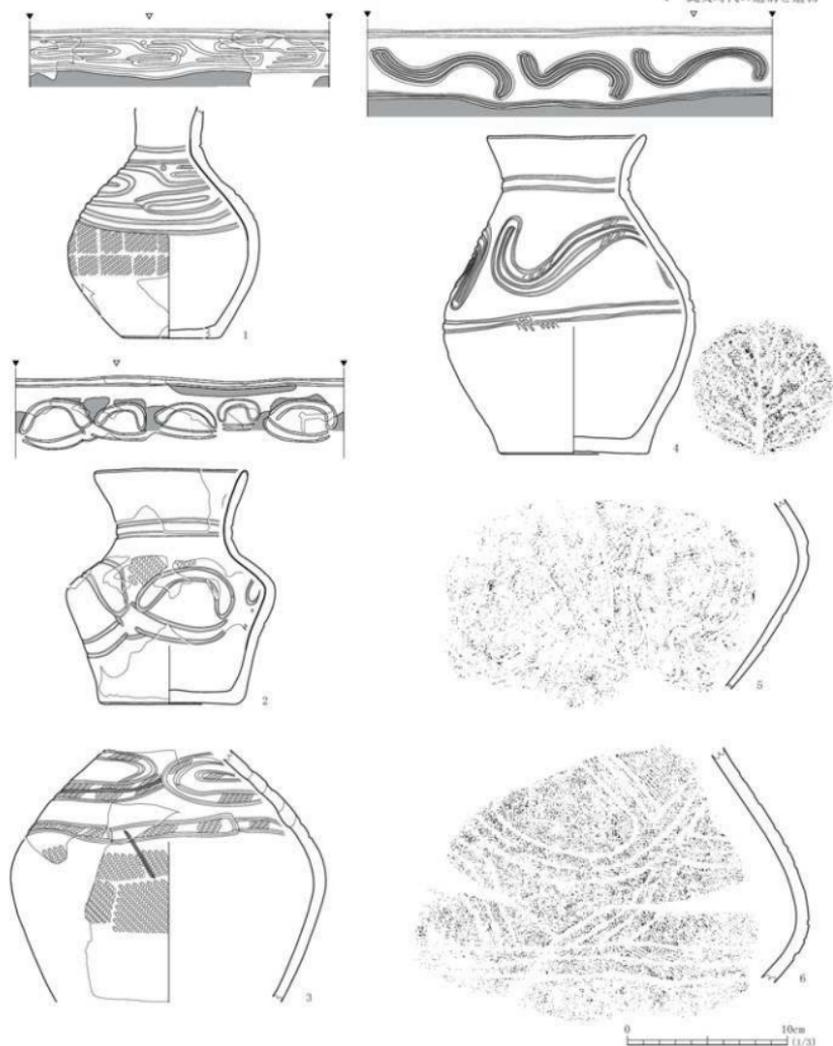
第156図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (28)

2. V 層



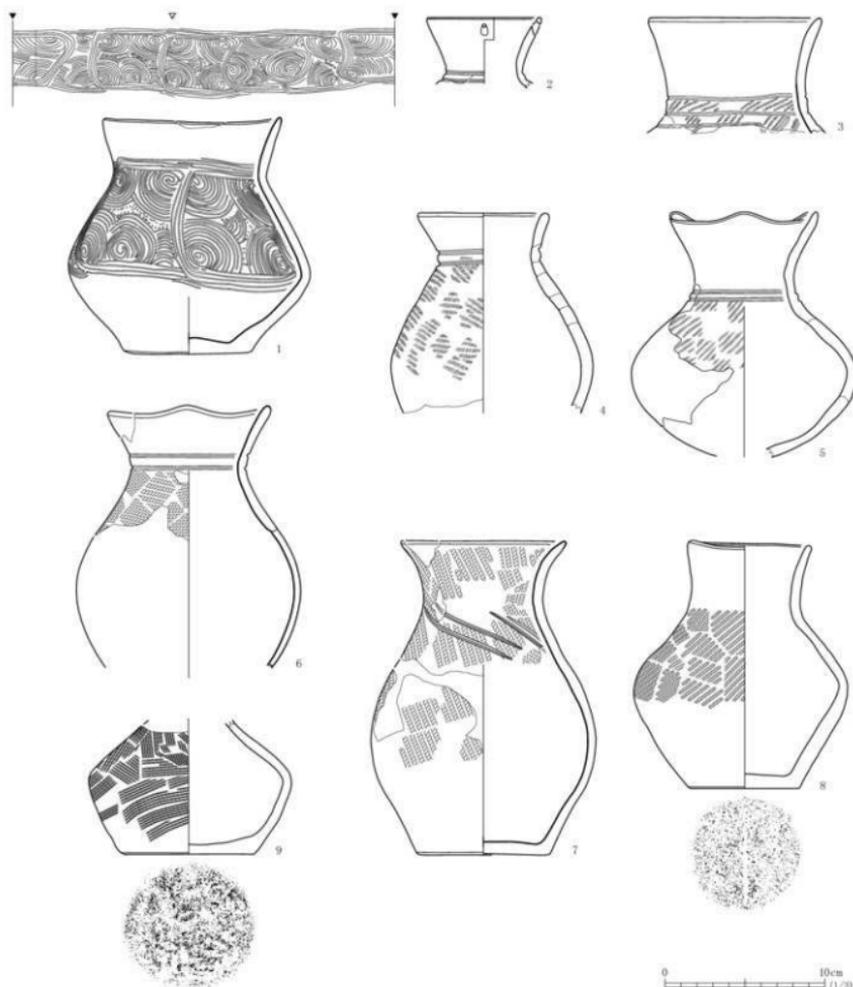
No.	発見番号	出土遺物	種別	図種	説明等	備考	写真図版
1	A-518	SR501	縄文土器	器	波線文、円形刺突文、熱帯文半部・斜位施文、磨り跡L。		87-4
2	A-875	SR501	縄文土器	器	波線文、円形刺突文、縄文18 横位施文、磨り跡L。		-
3	A-517	SR501	縄文土器	器	波線文、円形刺突文、縄文18 縦・横・斜位施文、磨り跡L。	宗記	87-5
4	A-887	SR501	縄文土器	器	波線文、縄文18 横位施文、磨り跡L。	宗記時代説。	87-6

第 157 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (29)



No.	発見番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-496	SR501	縄文土器	壺	胴部～体部上半部：波線文、片形刺形文、下半部：縄文18横位施文。	—	—
2	A-578	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文18横位施文。	底面木炭痕。	—
3	A-682	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文18横・縦位施文、磨り消し。	—	87-7
4	A-660	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文18横・縦位施文、磨り消し。	底面木炭痕。	87-8
5	A-611	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文18横位施文、磨り消し。	—	87-9
6	A-625	SR501	縄文土器	壺	波線文、縄文18横・斜位施文。	—	88-1

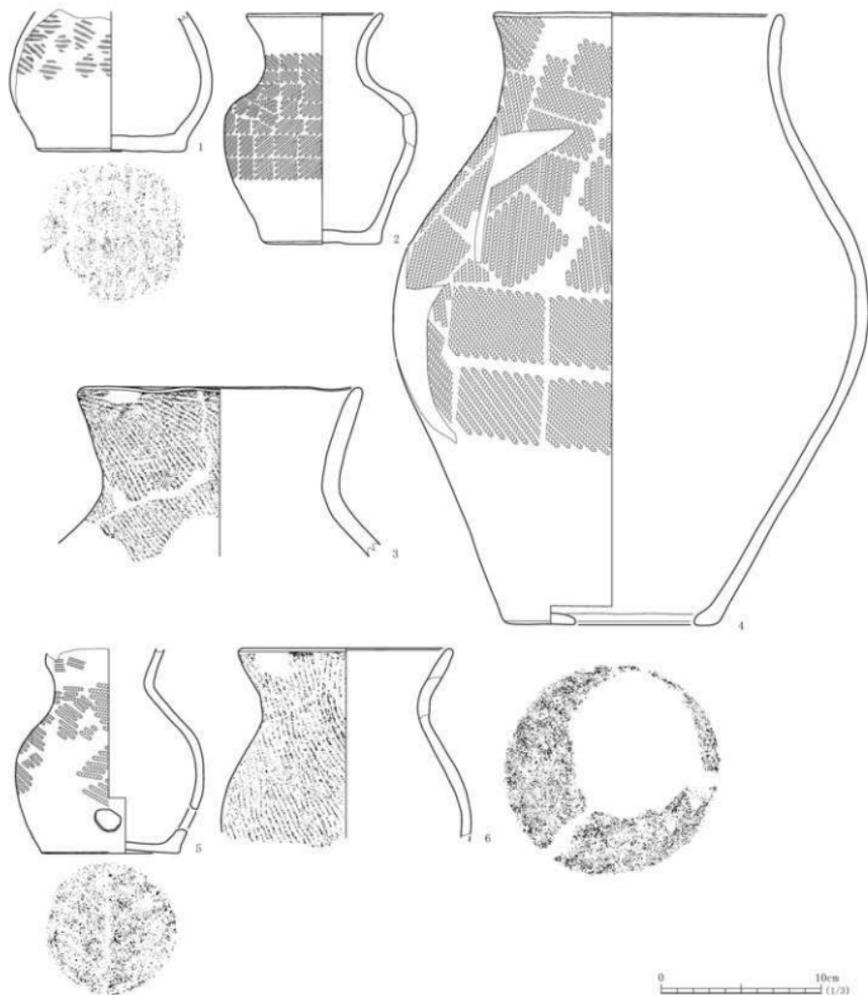
第158図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物(30)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-520	SR501	縄文土器	壺	多条状縄文、円形刺突文。		98-6
2	A-461	SR501	縄文土器	壺	沈線文。	口縁部貫通孔 2ヶ所。	-
3	A-638	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文1横位施文。		98-7
4	A-464	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文1横位施文。		98-8
5	A-659	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文1横位施文。	腹径口縁、3単位。	98-9
6	A-412	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文18部・横・斜位施文。	小突起 1ヶ所。	98-10
7	A-538	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文18横位施文。		98-11
8	A-565	SR501	縄文土器	壺	縄文18横位施文。	底部本葉痕。	99-1
9	A-502	SR501	縄文土器	壺	押し文有紐・横・斜位施文。	底底跡代痕。	-

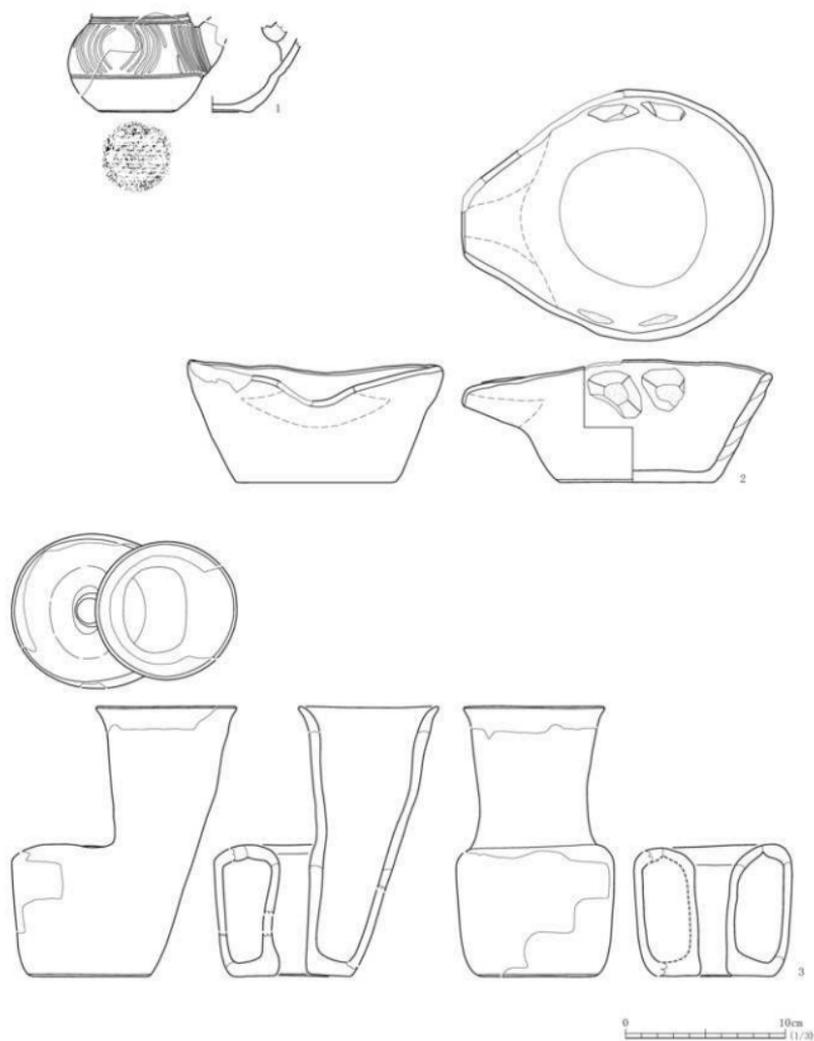
第 160 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (32)

2. V 層



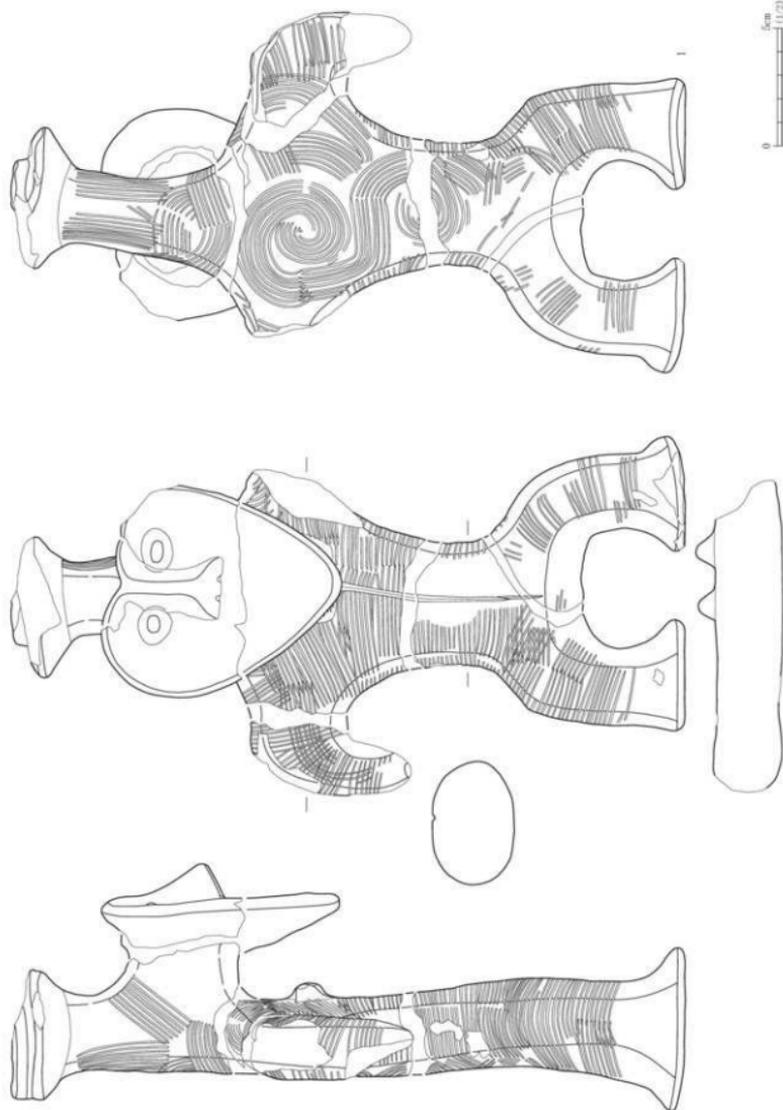
No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-639	SR501	縄文土器	壺	縄文1段・斜位施文。	底面銅代版。	09-2
2	A-597	SR501	縄文土器	壺	縄文1段・横位施文。		09-3
3	A-370	SR501	縄文土器	壺	縄文2段・斜位施文。		09-4
4	A-380	SR501	縄文土器	壺	縄文1段・斜位施文。	底面銅代版。底面打ち欠き。	09-5
5	A-515	SR501	縄文土器	壺	縄文1段・斜位施文。	体部下端伸成後の穿孔。底面木葉版。	09-6
6	A-454	SR501	縄文土器	壺	縄文2段・横位施文。		09-6

第161図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (33)



No.	発掘番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-526	SR501	縄文土器	注口土器	垂条状刺立。	底面銅代板。	08-7
2	A-532	SR501	縄文土器	特殊土器		片口状。内面体部突起2×1対。底部木葉柄。	08-8
3	A-567	SR501	縄文土器	特殊土器		体部中央突起。	08-9

第162図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (34)



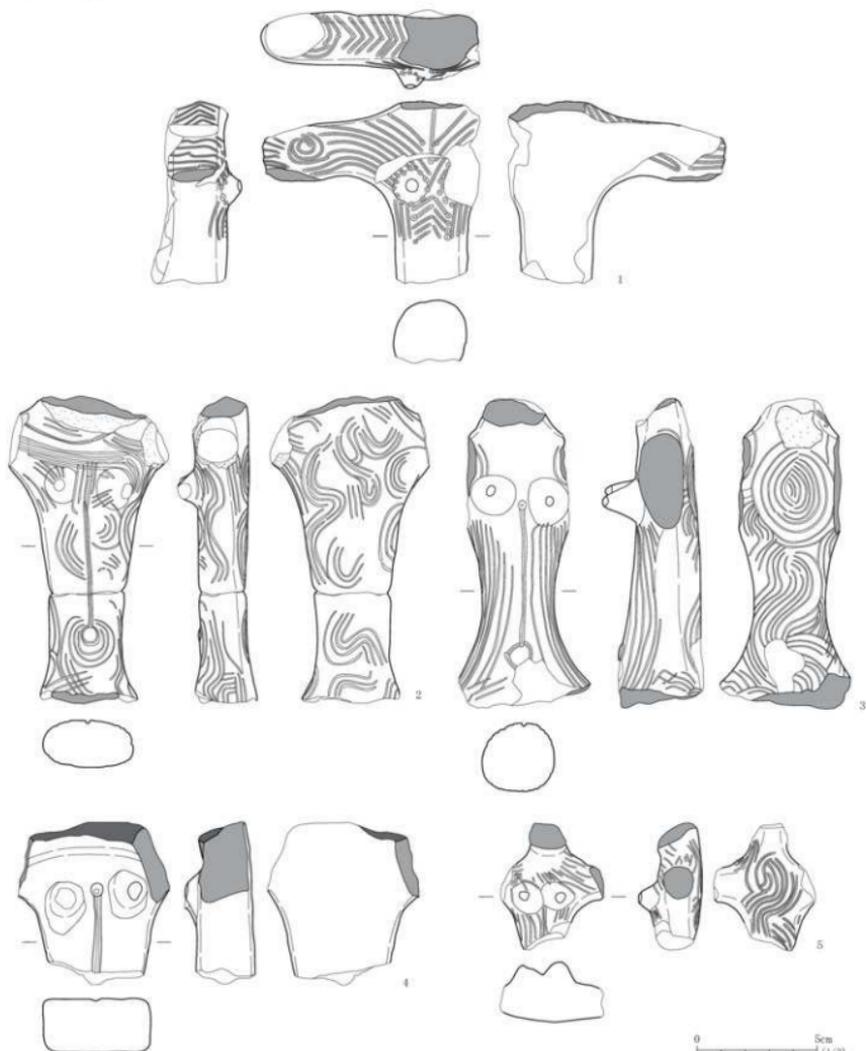
No.	発祥地番号	出土層	図	土質	文様等	備考
1	Pr-100 (SR501・IV区)	Ⅴ層	1	硬質灰土質	文様等	宝珠型底
						高 3.20 × 幅 (15.5) × 厚 3.0 (10cm) 底・脚・脚底・取耳部

第 163 図 V 層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物 (35)



No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-209	SR501	土偶	多委沈線文、櫛歯状沈線文。	顔部片、接合部。	91-1
2	Pa-001	SR501	土偶	沈線文(目)。	顔部片、接合部。	91-2
3	Pa-406	SR501	土偶	櫛歯状沈線文。	顔部片、櫛状肥手状、接合部。	91-3
4	Pa-236	SR501	土偶		顔部片。	-
5	Pa-409	SR501	土偶		顔部片、接合部。	91-4
6	Pa-002	SR501	土偶		顔部片。	91-5
7	Pa-349	SR501	土偶	櫛歯状沈線文、口中線。	顔・胴部片、接合部。	91-6

第 164 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (36)



No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-172	SR501	土器	多糸波線文、斜交土。	胴・胴部片、接合痕。	91-7
2	Pa-165	SR501	土器	柳葉状波線文、正中線。	胴部片、接合痕。	91-8
3	Pa-164	SR501	土器	柳葉状波線文、正中線。	胴部片、接合痕。	91-9
4	Pa-192	SR501	土器	正中線。	胴部片、胴・胴部アスファルト接着痕、接合痕。	-
5	Pa-198	SR501	土器	柳葉状波線文、正中線。	胴部片、接合痕。	91-10

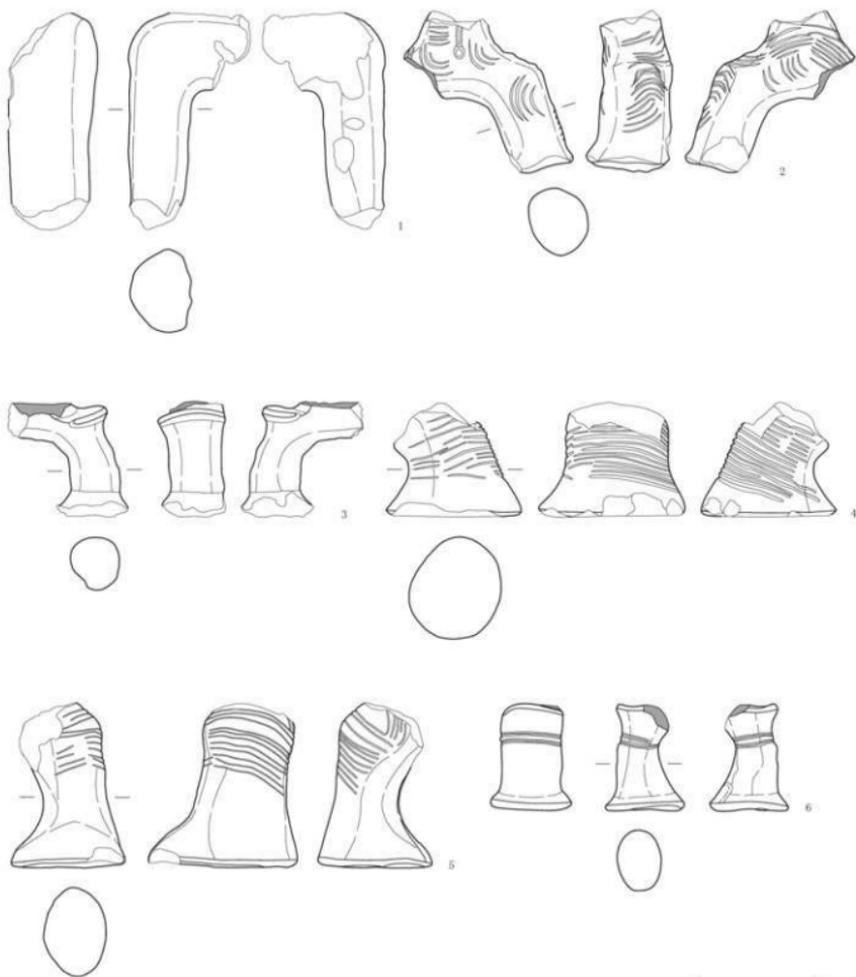
第 165 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (37)



№	発見番号	出土遺構	器 種	文様等	備 考	写真図版
1	Pa-225	SR501	土器	沈線文、棒状沈線文。	胴部片、接合痕。	91-11
2	Pa-193	SR501	土器	陰線文、沈線文。	胴部片。	—
3	Pa-170	SR501	土器	沈線文。	胴・胴部片、接合痕。	91-12
4	Pa-181	SR501	土器	沈線文。	胴・胴部片。	—
5	Pa-122	SR501	土器	沈線文。	胴部片。	—
6	Pa-217	SR501	土器	沈線文。	胴部片、接合痕。	—

第 166 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (38)

2. V 层



序号	器物编号	出土遗址	器名	纹饰等	备注	写真图版
1	Pa-014	SR501	土块	附加片		-
2	Pa-016	SR501	土块	横脊状纹饰, 正中纵	附加片	91-13
3	Pa-114	SR501	土块	纵脊文	附加片, 接合痕	-
4	Pa-031	SR501	土块	多条状横文	附加片	-
5	Pa-177	SR501	土块	横脊状横文	附加片	91-14
6	Pa-055	SR501	土块	纵脊文	附加片, 接合痕	-

第 167 图 V 层 V 区 SR501 河川跡出土遗物 (39)